
桶川市第五次総合振興計画 市民アンケート 報告書

平成22年3月

目次

I 調査の概要

1	調査の目的	3
2	調査期間	3
3	調査方法	3
4	回収状況	3
5	地区区分について	3
6	年齢区分について	4
7	経年比較について	4
8	報告書の見方（凡例）	4

II 集計結果

1	桶川市の住みやすさや生活環境について	7
2	桶川市のまちづくりについて	31
	・まちづくり全般について	31
	・桶川市の土地利用と都市整備について	45
	・景観について	68
	・観光振興について	71
	・子育て環境について	75
3	地球温暖化への取り組みについて	79
4	男女共同参画について	84
5	高齢期の生活について	92
6	協働のまちづくりについて	103
7	桶川市の市政について	108
8	定住意向について	117
9	桶川市のイメージや将来像などについて	124
10	回答者の属性	136

III 自由意見

1	いきいきとした暮らしを創造する都市をつくる	144
2	心豊かな人をはぐくむいきいきとした暮らしを 創造する都市をつくる	147
3	健やかに安心して暮らせる都市をつくる	148
4	活力とにぎわいのある都市をつくる	152

5	安全で住みよい都市をつくる	157
6	身近な生活環境が整備された都市をつくる	163
7	計画の推進	177
8	その他	186

参考資料

依頼文及び調査票	191
----------------	-----

I 調査の概要



1 調査の目的

本調査は、桶川市の現状やまちづくりの取り組みに対する評価や満足度、市民が重要と感じている施策や課題、社会情勢から重点的な取り組みが必要な課題について、市民の意向や行動等の実態を把握することを目的として実施しました。

本調査の結果は、第五次総合振興計画の策定に反映させるとともに、この計画における目的・目標をより適切に設けるための基礎資料として活用していきます。

2 調査期間

平成21年8月20日～平成21年9月7日
(督促状発送：平成21年9月3日)

3 調査方法

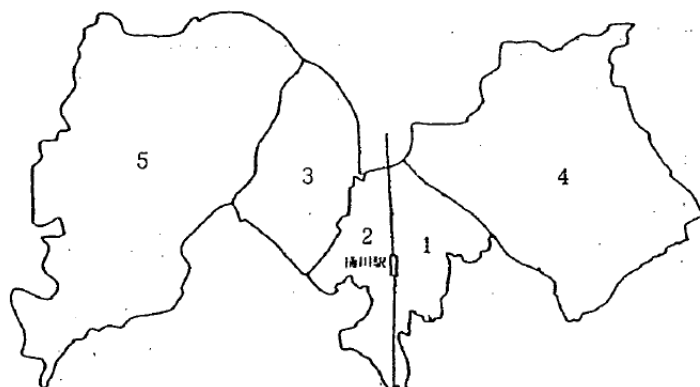
郵送配布・回収 (ハガキによる督促状1回)

4 回収状況

	市民アンケート
発送数	3,000 通
回収数	1,356 通
回収率	45.2%

5 地区区分について

便宜上、桶川市を以下の5地区に分類しています。



1. 旧桶川東地区	東1～2丁目、西1～2丁目、南1～2丁目、北1～2丁目、 寿1～2丁目、神明1～2丁目、末広1～3丁目
2. 旧桶川西地区	泉1～2丁目、鴨川1～2丁目、若宮1～2丁目、朝日1～3丁目
3. 上下日出谷地区	上日出谷、下日出谷、下日出谷西1～3丁目
4. 旧加納村地区	坂田、加納、小針領家、倉田、篠津、五丁台、舎人新田、 赤堀1～2丁目
5. 川田谷地区	川田谷

6 年齢区分について

年齢区分については、10 歳刻みにしています。また、便宜上、18 歳～29 歳までを「20 歳代」としています。

7 経年比較について

平成 12 年度に実施した「市民意識調査」の結果と経年比較をしている設問があります。

8 報告書の見方（凡例）

- (1) 集計結果の％は、小数点第 2 位を四捨五入し第 1 位までの表記としています。ゆえに、合計が 100％に満たない、あるいは 100％を超える場合があります。
- (2) 「回答者数（＝n）」は、回答者全員が答えるべき設問については有効回答総数となり、条件付き設問（例：「問 1 で 1 に○をした方のみお尋ねします」という設問）についてはその設問に答えるべき該当者の数となっています。
- (3) 複数回答の構成比の母数は、回答者数としています。

Ⅱ 集計結果



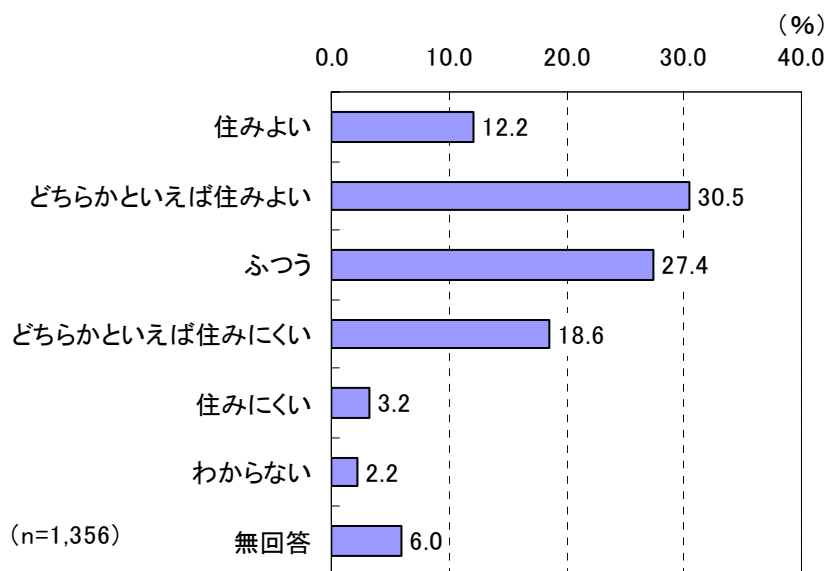
1 桶川市の住みやすさや生活環境について

問1 あなたは、今住んでいる桶川市を住みよい所であると思いますか。（〇は1つ）

全 体

「どちらかといえば住みよい」と答えた人の割合が30.5%と最も高く、次いで「ふつう」が27.4%、「どちらかといえば住みにくい」が18.6%となっています。

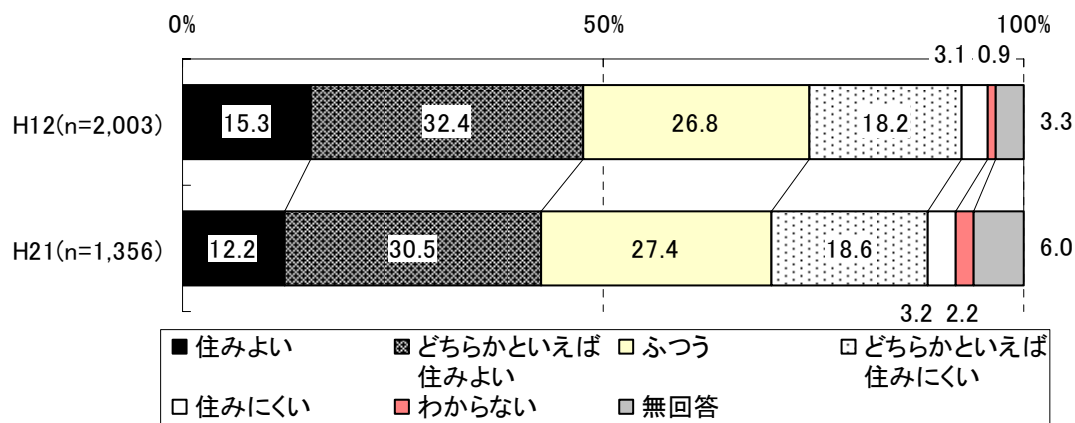
「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と答えた人の割合は42.7%で、**全体の4割強が住みよいと答えています**（「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と答えた人の割合は21.8%と、全体の約2割）。



●経年比較

桶川市の住みやすさについて、平成12年度と比較すると、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と答えた人の割合が47.7%から42.7%と、約5%減少しています。

他方、「ふつう」「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた人の割合はともに微増しています。



年齢別

桶川市の住みやすさについて、最も多い回答は、50 歳代では「ふつう」、それ以外の年代では「どちらかといえば住みよい」となっています。

「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と答えた人の割合が最も高いのは、60 歳～70 歳以上（それぞれ 45.5%）となっています。

他方、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と答えた人の割合が最も高いのは、30 歳代（29.6%）、次いで 40 歳代（26.9%）、20 歳代（25.5%）となっており、全体の傾向として、年代が下がるほど住みにくいと答えています。

		注: 白文字 = 1位 黒文字 = 2位							
		回答者数	住みよい	どちらかといえ ば住みよい	ふつう	どちらかといえ ば住みにくい	住みにくい	わからない	無回答
全体	人数	1,356	165	414	371	252	43	30	81
	構成比		12.2%	30.5%	27.4%	18.6%	3.2%	2.2%	6.0%
18～29歳	人数	106	7	35	33	23	4	2	2
	構成比		6.6%	33.0%	31.1%	21.7%	3.8%	1.9%	1.9%
30～39歳	人数	213	19	69	54	53	10	5	3
	構成比		8.9%	32.4%	25.4%	24.9%	4.7%	2.3%	1.4%
40～49歳	人数	201	27	59	49	47	7	4	8
	構成比		13.4%	29.4%	24.4%	23.4%	3.5%	2.0%	4.0%
50～59歳	人数	237	25	67	74	43	5	5	18
	構成比		10.5%	28.3%	31.2%	18.1%	2.1%	2.1%	7.6%
60～69歳	人数	345	48	109	95	48	11	10	24
	構成比		13.9%	31.6%	27.5%	13.9%	3.2%	2.9%	7.0%
70歳以上	人数	224	33	69	65	31	3	3	20
	構成比		14.7%	30.8%	29.0%	13.8%	1.3%	1.3%	8.9%
無回答	人数	30	6	6	1	7	3	1	6
	構成比		20.0%	20.0%	3.3%	23.3%	10.0%	3.3%	20.0%

居住年数別

桶川市の住みやすさについて、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と答えた人の割合が最も高いのは、居住年数 20 年以上（48.2%）となっています。

他方、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と答えた人の割合が最も高いのは、居住年数 3 年未満（27.2%）で、全体の傾向として、居住年数が短いほど住みにくいと答えています。

		注: 白文字 =1位 黒文字 =2位							
		回答者数	住みよい	どちらかとい えば住み よい	ふつう	どちらかとい えば住み にくい	住みにくい	わからない	無回答
全体	人数	1,356	165	414	371	252	43	30	81
	構成比		12.2%	30.5%	27.4%	18.6%	3.2%	2.2%	6.0%
3年未満	人数	206	19	58	57	49	7	9	7
	構成比		9.2%	28.2%	27.7%	23.8%	3.4%	4.4%	3.4%
3年～5年未満	人数	103	8	25	38	23	2	3	4
	構成比		7.8%	24.3%	36.9%	22.3%	1.9%	2.9%	3.9%
5年～10年未満	人数	162	16	46	45	31	9	2	13
	構成比		9.9%	28.4%	27.8%	19.1%	5.6%	1.2%	8.0%
10年～15年未満	人数	102	10	29	29	23	1	4	6
	構成比		9.8%	28.4%	28.4%	22.5%	1.0%	3.9%	5.9%
15年～20年未満	人数	81	9	21	27	13	3	3	5
	構成比		11.1%	25.9%	33.3%	16.0%	3.7%	3.7%	6.2%
20年以上	人数	666	97	224	172	108	18	8	39
	構成比		14.6%	33.6%	25.8%	16.2%	2.7%	1.2%	5.9%
無回答	人数	36	6	11	3	5	3	1	7
	構成比		16.7%	30.6%	8.3%	13.9%	8.3%	2.8%	19.4%

居住地区別

桶川市の住みやすさについて、最も多い回答は、旧桶川東地区・旧加納村地区では「ふつう」、それ以外の地区では「どちらかといえば住みよい」となっています。

「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と答えた人の割合が最も高いのは旧桶川西地区（51.0%）、次いで川田谷地区（46.1%）、上下日出谷地区（43.5%）、旧加納村地区（40.0%）、最も低いのは旧桶川東地区（37.2%）となっており、旧桶川西地区と旧桶川東地区では約13%の違いが見られます。

注：					白文字	=1位	黒文字	=2位	
		回答者数	住みよい	どちらかとい えば住み よい	ふつう	どちらかとい えば住み にくい	住みにくい	わからない	無回答
全体	人数	1,356	165	414	371	252	43	30	81
	構成比		12.2%	30.5%	27.4%	18.6%	3.2%	2.2%	6.0%
旧桶川東地区	人数	451	42	126	133	99	16	8	27
	構成比		9.3%	27.9%	29.5%	22.0%	3.5%	1.8%	6.0%
旧桶川西地区	人数	326	52	114	91	41	7	7	14
	構成比		16.0%	35.0%	27.9%	12.6%	2.1%	2.1%	4.3%
上下日出谷地区	人数	218	28	67	57	42	8	5	11
	構成比		12.8%	30.7%	26.1%	19.3%	3.7%	2.3%	5.0%
旧加納村地区	人数	238	28	67	70	46	6	7	14
	構成比		11.8%	28.2%	29.4%	19.3%	2.5%	2.9%	5.9%
川田谷地区	人数	76	10	25	16	15	3	1	6
	構成比		13.2%	32.9%	21.1%	19.7%	3.9%	1.3%	7.9%
無回答	人数	47	5	15	4	9	3	2	9
	構成比		10.6%	31.9%	8.5%	19.1%	6.4%	4.3%	19.1%

家族構成別

桶川市の住みやすさについて、最も多い回答は、単身世帯では「ふつう」、それ以外の家族構成では「どちらかといえば住みよい」となっています。

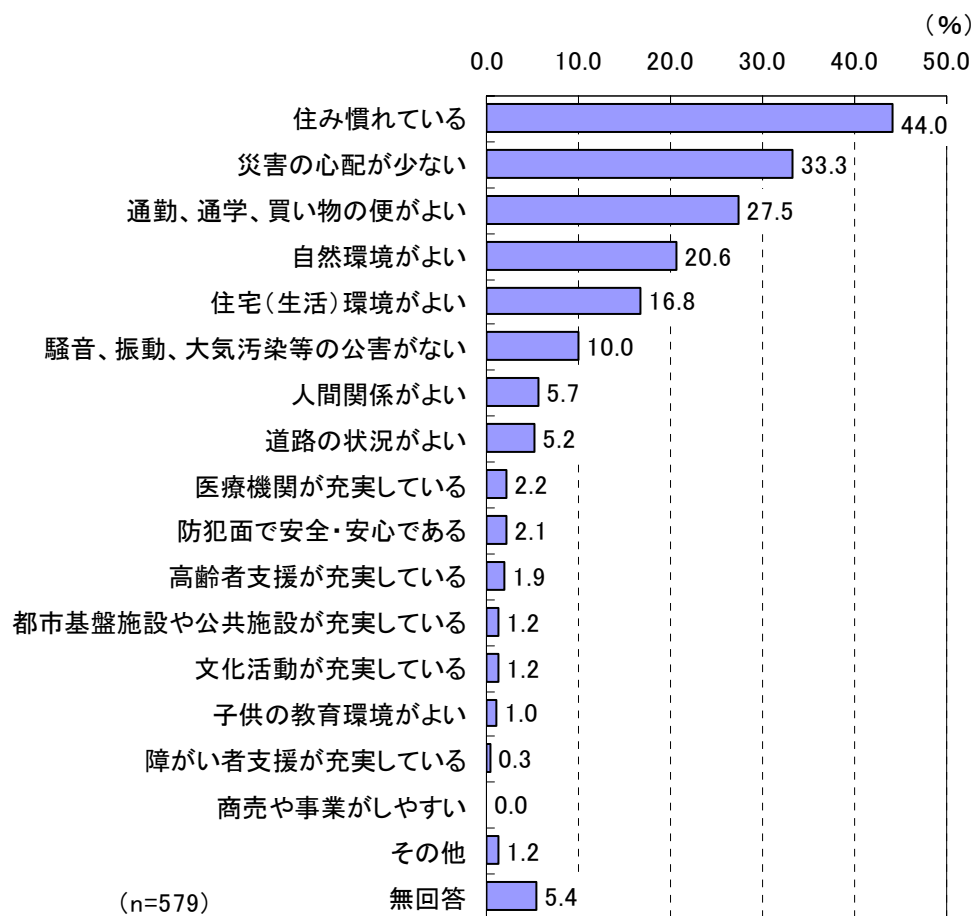
全体的に、家族構成別での大きな違いは見られませんが、三世帯世帯で「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と答えた人の割合が最も高く（53.1%）、二世帯世帯で「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と答えた人の割合が最も高く（29.0%）となっています。

				注:		白文字		=1位		黒文字		=2位	
		回答者数	住みよい	どちらかとい えば住み よい	ふつう	どちらかとい えば住み にくい	住みにくい	わからない	無回答				
全体	人数	1,356	165	414	371	252	43	30	81				
	構成比		12.2%	30.5%	27.4%	18.6%	3.2%	2.2%	6.0%				
夫婦だけ	人数	115	14	33	32	22	1	2	11				
	構成比		12.2%	28.7%	27.8%	19.1%	0.9%	1.7%	9.6%				
二世帯世帯	人数	252	27	78	50	67	6	4	20				
	構成比		10.7%	31.0%	19.8%	26.6%	2.4%	1.6%	7.9%				
三世帯世帯	人数	46	8	21	9	5	1	1	1				
	構成比		17.4%	45.7%	19.6%	10.9%	2.2%	2.2%	2.2%				
単身世帯	人数	665	82	197	212	109	23	15	27				
	構成比		12.3%	29.6%	31.9%	16.4%	3.5%	2.3%	4.1%				
その他	人数	231	27	72	63	40	8	7	14				
	構成比		11.7%	31.2%	27.3%	17.3%	3.5%	3.0%	6.1%				
無回答	人数	47	7	13	5	9	4	1	8				
	構成比		14.9%	27.7%	10.6%	19.1%	8.5%	2.1%	17.0%				

問 1-1 「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。
(〇は2つまで)

全 体

「住み慣れている」と答えた人の割合が 44.0%と最も高く、次いで「災害の心配が低い」が 33.3%、「通勤、通学、買い物の便がよい」が 27.5%となっています。



【その他の主な意見】

- 子ども医療費の拡大
- 大都市と違ってのんびりしている
- 物価が安い など

●経年比較

「住みよい」「どちらかといえば住みよい」理由は、平成12年度・平成21年度とも「住みなれている」が1位となっており、変化はありません。

第2位～3位は、平成12年度がそれぞれ「通勤、通学、買い物の便がよい」「自然環境がよい」であるのに対し、平成21年度ではそれぞれ「災害の心配がない」「通勤、通学、買い物の便がよい」となっており、「災害の心配が低い」の順位・割合がともに上がっています。

その他、「自然環境がよい」「騒音、振動、大気汚染等の公害がない」「人間関係がよい」「道路状況がよい」「子どもの教育環境がよい」「都市基盤施設や公共施設が充実」「商売や事業がしやすい」が順位を落としている他方、新規項目である「住宅（生活）環境がよい」「医療機関が充実している」「防犯面で安心安全である」が上位10位に入っています。

	平成12年度(選択肢数：11)		平成21年度(選択肢数：17)		H12年度との 順位比較
1位	住み慣れている	46.8%	住み慣れている	44.0%	→
2位	通勤、通学、買い物の便がよい	40.3%	災害の心配が少ない	33.3%	↑
3位	自然環境がよい	32.6%	通勤、通学、買い物の便がよい	27.5%	↓
4位	災害の心配が少ない	26.5%	自然環境がよい	20.6%	↓
5位	騒音、振動、大気汚染等の公害がない	16.8%	住宅（生活）環境がよい	16.8%	新規
6位	人間関係がよい	12.0%	騒音、振動、大気汚染等の公害がない	10.0%	↓
7位	道路状況がよい	6.5%	人間関係がよい	5.7%	↓
8位	子どもの教育環境がよい	4.4%	道路の状況がよい	5.2%	↓
9位	都市基盤施設や公共施設が充実	3.0%	医療機関が充実している	2.2%	新規
10位	商売や事業がしやすい	0.6%	防犯面で安全・安心である	2.1%	新規

注：平成12年度と平成21年度では、選択肢数や文言が若干異なるため、正確な比較とはなりません。
(選択数はともに2つまで)

年齢別

「住みよい」「どちらかといえば住みよい」理由として、最も多い回答は、20歳代では「通勤、通学、買い物の便がよい」、それ以外の年代では「住み慣れている」となっています。

その他、20歳では「住宅（生活）環境がよい」（23.8%）「騒音、振動、大気汚染等の公害がない」（14.3%）、40歳代では「自然環境がよい」（26.7%）と答えた人の割合が他の年代と比較して高くなっています。

他方、70歳以上では「住宅（生活）環境がよい」（11.8%）と答えた人の割合が他の年代と比較して低くなっています。

注：白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		回答者数	自然環境がよい	道路の状況がよい	都市基盤施設や公共施設が充実している	住宅（生活）環境がよい	通勤、通学、買い物の便がよい	子供の教育環境がよい	人間関係がよい	住み慣れている
全体	人数	579	119	30	7	97	159	6	33	255
	構成比		20.6%	5.2%	1.2%	16.8%	27.5%	1.0%	5.7%	44.0%
18～29歳	人数	42	7	3	1	10	16	0	1	14
	構成比		16.7%	7.1%	2.4%	23.8%	38.1%	0.0%	2.4%	33.3%
30～39歳	人数	88	15	4	0	15	31	5	4	39
	構成比		17.0%	4.5%	0.0%	17.0%	35.2%	5.7%	4.5%	44.3%
40～49歳	人数	86	23	4	1	14	27	0	2	43
	構成比		26.7%	4.7%	1.2%	16.3%	31.4%	0.0%	2.3%	50.0%
50～59歳	人数	92	18	9	0	20	28	0	5	36
	構成比		19.6%	9.8%	0.0%	21.7%	30.4%	0.0%	5.4%	39.1%
60～69歳	人数	157	32	3	2	23	33	1	13	70
	構成比		20.4%	1.9%	1.3%	14.6%	21.0%	0.6%	8.3%	44.6%
70歳以上	人数	102	20	5	3	12	24	0	7	50
	構成比		19.6%	4.9%	2.9%	11.8%	23.5%	0.0%	6.9%	49.0%
無回答	人数	12	4	2	0	3	0	0	1	3
	構成比		33.3%	16.7%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%

		騒音、振動、大気汚染等の公害がない	災害の心配が少ない	商売や事業がしやすい	防犯面で安全・安心である	高齢者支援が充実している	医療機関が充実している	障がい者支援が充実している	文化活動が充実している	その他	無回答
全体	人数	58	193	0	12	11	13	2	7	7	31
	構成比	10.0%	33.3%	0.0%	2.1%	1.9%	2.2%	0.3%	1.2%	1.2%	5.4%
18～29歳	人数	6	6	0	0	0	0	0	0	0	2
	構成比	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%
30～39歳	人数	5	18	0	3	1	4	0	1	3	5
	構成比	5.7%	20.5%	0.0%	3.4%	1.1%	4.5%	0.0%	1.1%	3.4%	5.7%
40～49歳	人数	8	19	0	2	0	0	0	1	2	5
	構成比	9.3%	22.1%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	2.3%	5.8%
50～59歳	人数	10	33	0	2	0	4	0	1	0	4
	構成比	10.9%	35.9%	0.0%	2.2%	0.0%	4.3%	0.0%	1.1%	0.0%	4.3%
60～69歳	人数	15	68	0	2	5	2	1	2	2	11
	構成比	9.6%	43.3%	0.0%	1.3%	3.2%	1.3%	0.6%	1.3%	1.3%	7.0%
70歳以上	人数	12	45	0	3	5	2	1	2	0	3
	構成比	11.8%	44.1%	0.0%	2.9%	4.9%	2.0%	1.0%	2.0%	0.0%	2.9%
無回答	人数	2	4	0	0	0	1	0	0	0	1
	構成比	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%

居住年数別

「住みよい」「どちらかといえば住みよい」理由として、最も多い回答は、居住年数が3年未満・3年～5年未満では「通勤、通学、買い物の便がよい」、居住年数が5年～10年未満・10年～15年未満・20年以上では「住み慣れている」、居住年数が15年～20年未満では「災害の心配が低い」となっています。

全体的に、居住年数が5年未満では「通勤、通学、買い物の便がよい」「住宅（生活）環境がよい」「道路の状況がよい」という生活の利便性や住宅環境・都市基盤等ハード面の良さを挙げる人が多いのに対し、居住年数が5年以上では「住み慣れている」「災害の心配が低い」を挙げる人が高くなっています。

注： 白文字 = 1位 黒文字 = 2位

	回答者数	自然環境がよい	道路の状況がよい	都市基盤施設や公共施設が充実している	住宅（生活）環境がよい	通勤、通学、買い物の便がよい	子供の教育環境がよい	人間関係がよい	住み慣れている	騒音、振動、大気汚染等の公害がない
全体	人数 579	119	30	7	97	159	6	33	255	58
	構成比	20.6%	5.2%	1.2%	16.8%	27.5%	1.0%	5.7%	44.0%	10.0%
3年未満	人数 77	18	12	1	21	35	3	6	7	9
	構成比	23.4%	15.6%	1.3%	27.3%	45.5%	3.9%	7.8%	9.1%	11.7%
3年～5年未満	人数 33	6	1	0	11	14	1	1	5	4
	構成比	18.2%	3.0%	0.0%	33.3%	42.4%	3.0%	3.0%	15.2%	12.1%
5年～10年未満	人数 62	18	4	0	8	20	0	1	21	8
	構成比	29.0%	6.5%	0.0%	12.9%	32.3%	0.0%	1.6%	33.9%	12.9%
10年～15年未満	人数 39	9	1	1	4	13	1	2	17	2
	構成比	23.1%	2.6%	2.6%	10.3%	33.3%	2.6%	5.1%	43.6%	5.1%
15年～20年未満	人数 30	9	1	0	5	10	0	2	11	2
	構成比	30.0%	3.3%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	6.7%	36.7%	6.7%
20年以上	人数 321	54	9	5	45	64	1	19	188	32
	構成比	16.8%	2.8%	1.6%	14.0%	19.9%	0.3%	5.9%	58.6%	10.0%
無回答	人数 17	5	2	0	3	3	0	2	6	1
	構成比	29.4%	11.8%	0.0%	17.6%	17.6%	0.0%	11.8%	35.3%	5.9%

	災害の心配が少ない	商売や事業がしやすい	防犯面で安全・安心である	高齢者支援が充実している	医療機関が充実している	障がい者支援が充実している	文化活動が充実している	その他	無回答
全体	人数 193	0	12	11	13	2	7	7	31
	構成比	33.3%	0.0%	2.1%	1.9%	2.2%	0.3%	1.2%	5.4%
3年未満	人数 8	0	3	2	2	0	0	2	3
	構成比	10.4%	0.0%	3.9%	2.6%	2.6%	0.0%	2.6%	3.9%
3年～5年未満	人数 8	0	0	1	1	0	2	0	2
	構成比	24.2%	0.0%	0.0%	3.0%	3.0%	0.0%	6.1%	6.1%
5年～10年未満	人数 19	0	2	0	3	0	1	0	3
	構成比	30.6%	0.0%	3.2%	0.0%	4.8%	0.0%	1.6%	4.8%
10年～15年未満	人数 13	0	1	2	0	0	1	1	1
	構成比	33.3%	0.0%	2.6%	5.1%	0.0%	2.6%	2.6%	2.6%
15年～20年未満	人数 13	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	43.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20年以上	人数 129	0	6	6	6	2	3	4	20
	構成比	40.2%	0.0%	1.9%	1.9%	1.9%	0.6%	0.9%	6.2%
無回答	人数 3	0	0	0	1	0	0	0	2
	構成比	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	11.8%

居住地区別

「住みよい」「どちらかといえば住みよい」理由として、最も多い回答は、全ての地区で「住み慣れている」となっています。その他、以下の通り地区ごとの特徴が見られます。

- ① 旧桶川東地区：「通勤・通学、買い物の便がよい」（42.3%）
- ② 旧桶川西地区：「通勤・通学、買い物の便がよい」（36.1%）「災害の心配が低い」（37.3%）
「住宅（生活）環境がよい」（21.1%）
- ③ 上下日出谷地区：「住み慣れている」（51.4%）「騒音、振動、大気汚染等の公害がない」（15.8%）
- ④ 旧加納村地区：「災害の心配が低い」（43.2%）「自然環境が良い」（34.7%）
- ⑤ 川田谷地区：「住み慣れている」（51.4%）「自然環境がよい」（48.6%）「騒音、振動、大気汚染等の公害がない」（17.1%）

注：各地区内の順位ではなく、他地区と比較して相対的に割合が高いものを挙げています。

			注： 白文字 =1位 黒文字 =2位							
		回答者数	自然環境が よい	道路の状況 がよい	都市基盤施設や公共施設が充実している	住宅(生活)環境がよい	通勤、通学、買い物の便がよい	子供の教育環境がよい	人間関係がよい	住み慣れている
全体	人数	579	119	30	7	97	159	6	33	255
	構成比		20.6%	5.2%	1.2%	16.8%	27.5%	1.0%	5.7%	44.0%
旧桶川東地区	人数	168	21	7	2	25	71	1	11	72
	構成比		12.5%	4.2%	1.2%	14.9%	42.3%	0.6%	6.5%	42.9%
旧桶川西地区	人数	166	19	8	3	35	60	1	9	66
	構成比		11.4%	4.8%	1.8%	21.1%	36.1%	0.6%	5.4%	39.8%
上下日出谷地区	人数	95	23	6	0	15	16	0	3	49
	構成比		24.2%	6.3%	0.0%	15.8%	16.8%	0.0%	3.2%	51.6%
旧加納村地区	人数	95	33	4	2	15	9	4	6	44
	構成比		34.7%	4.2%	2.1%	15.8%	9.5%	4.2%	6.3%	46.3%
川田谷地区	人数	35	17	3	0	3	0	0	2	18
	構成比		48.6%	8.6%	0.0%	8.6%	0.0%	0.0%	5.7%	51.4%
無回答	人数	20	6	2	0	4	3	0	2	6
	構成比		30.0%	10.0%	0.0%	20.0%	15.0%	0.0%	10.0%	30.0%

		騒音、振動、大気汚染等の公害がない	災害の心配が少ない	商売や事業がしやすい	防犯面で安全・安心である	高齢者支援が充実している	医療機関が充実している	障がい者支援が充実している	文化活動が充実している	その他	無回答
全体	人数	58	193	0	12	11	13	2	7	7	31
	構成比	10.0%	33.3%	0.0%	2.1%	1.9%	2.2%	0.3%	1.2%	1.2%	5.4%
旧桶川東地区	人数	8	50	0	4	4	4	1	3	4	11
	構成比	4.8%	29.8%	0.0%	2.4%	2.4%	2.4%	0.6%	1.8%	2.4%	6.5%
旧桶川西地区	人数	17	62	0	4	2	6	1	1	3	8
	構成比	10.2%	37.3%	0.0%	2.4%	1.2%	3.6%	0.6%	0.6%	1.8%	4.8%
上下日出谷地区	人数	15	25	0	3	1	2	0	1	0	5
	構成比	15.8%	26.3%	0.0%	3.2%	1.1%	2.1%	0.0%	1.1%	0.0%	5.3%
旧加納村地区	人数	9	41	0	0	2	1	0	1	0	4
	構成比	9.5%	43.2%	0.0%	0.0%	2.1%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	4.2%
川田谷地区	人数	6	9	0	1	2	0	0	0	0	1
	構成比	17.1%	25.7%	0.0%	2.9%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
無回答	人数	3	6	0	0	0	0	0	1	0	2
	構成比	15.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	10.0%

家族構成別

「住みよい」「どちらかといえば住みよい」理由として、最も多い回答は、夫婦だけの家族構成では「災害の心配が低い」、それ以外では「住み慣れている」となっています。

その他、二世帯世帯では「通勤、通学、買物の便が良い」、三世帯世帯では「自然環境が良い」「住み慣れている」「災害の心配が低い」、単身世帯では「住宅環境がよい」「騒音、振動、大気汚染等の公害がない」と答えた人の割合が他の家族構成と比較して高くなっています。他方、三世帯世帯では「住宅環境がよい」と答えた人の割合が6.9%と、他の家族構成と比較して低くなっています。

注: 白文字 = 1位 黒文字 = 2位

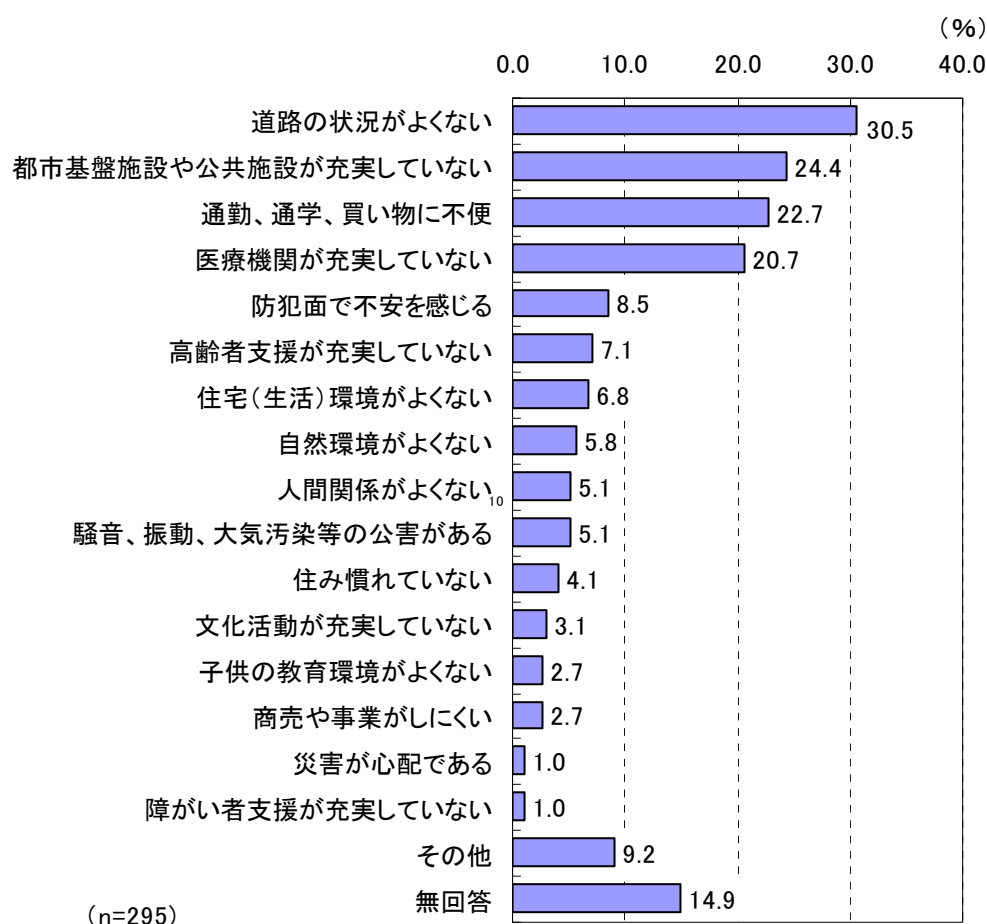
	回答者数	自然環境がよい	道路の状況がよい	都市基盤施設や公共施設が充実している	住宅(生活)環境がよい	通勤、通学、買物の便がよい	子供の教育環境がよい	人間関係がよい	住み慣れている	騒音、振動、大気汚染等の公害がない
全体	人数 579	119	30	7	97	159	6	33	255	58
	構成比	20.6%	5.2%	1.2%	16.8%	27.5%	1.0%	5.7%	44.0%	10.0%
夫婦だけ	人数 47	10	2	0	8	12	0	3	16	5
	構成比	21.3%	4.3%	0.0%	17.0%	25.5%	0.0%	6.4%	34.0%	10.6%
二世帯世帯	人数 105	22	4	1	18	33	1	8	53	10
	構成比	21.0%	3.8%	1.0%	17.1%	31.4%	1.0%	7.6%	50.5%	9.5%
三世帯世帯	人数 29	8	1	1	2	6	1	1	16	1
	構成比	27.6%	3.4%	3.4%	6.9%	20.7%	3.4%	3.4%	55.2%	3.4%
単身世帯	人数 279	54	19	4	51	71	0	13	114	34
	構成比	19.4%	6.8%	1.4%	18.3%	25.4%	0.0%	4.7%	40.9%	12.2%
その他	人数 99	20	2	1	16	33	4	5	48	6
	構成比	20.2%	2.0%	1.0%	16.2%	33.3%	4.0%	5.1%	48.5%	6.1%
無回答	人数 20	5	2	0	2	4	0	3	8	2
	構成比	25.0%	10.0%	0.0%	10.0%	20.0%	0.0%	15.0%	40.0%	10.0%

	災害の心配が少ない	商売や事業がしやすい	防犯面で安全・安心である	高齢者支援が充実している	医療機関が充実している	障がい者支援が充実している	文化活動が充実している	その他	無回答
全体	人数 193	0	12	11	13	2	7	7	31
	構成比	33.3%	0.0%	2.1%	1.9%	2.2%	0.3%	1.2%	5.4%
夫婦だけ	人数 17	0	1	0	4	1	2	1	2
	構成比	36.2%	0.0%	2.1%	0.0%	8.5%	2.1%	4.3%	4.3%
二世帯世帯	人数 37	0	1	2	0	0	0	2	3
	構成比	35.2%	0.0%	1.0%	1.9%	0.0%	0.0%	1.9%	2.9%
三世帯世帯	人数 13	0	2	0	0	0	0	0	1
	構成比	44.8%	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%
単身世帯	人数 89	0	8	7	4	1	3	3	20
	構成比	31.9%	0.0%	2.9%	2.5%	1.4%	0.4%	1.1%	7.2%
その他	人数 31	0	0	1	4	0	2	1	3
	構成比	31.3%	0.0%	0.0%	1.0%	4.0%	0.0%	2.0%	3.0%
無回答	人数 6	0	0	1	1	0	0	0	2
	構成比	30.0%	0.0%	0.0%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	10.0%

問 1-2 「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。
(○は2つまで)

全 体

「道路の状況がよいくない」と答えた人の割合が 30.5%と最も高く、次いで「都市基盤施設や公共施設が充実していない」が 24.4%、「通勤、通学、買い物に不便」が 22.7%となっており、都市のインフラや生活の利便性を挙げる人が多くなっています。



【「その他」の主な意見】

- ゴミの分別が細かい
- 駅前の整備が悪い
- 母子家庭への援助が不十分など

●経年比較

「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」理由は、平成12年度・平成21年度ともに、上位3位に変動はなく、「道路状況がよい」「都市基盤施設や公共施設が不十分」「通勤、通学、買い物に不便」となっています。

その他、平成21年度では「医療機関が充実していない」「防犯面で不安を感じる」「高齢者支援が充実していない」「住宅（生活）環境がよい」の新規選択肢が4位～7位に入っています。

	平成12年度(選択肢数：11)		平成21年度(選択肢数：17)		H12年度との 順位比較
1位	道路状況がよい	55.0%	道路の状況がよい	30.5%	→
2位	都市基盤施設や公共施設が不十分	49.6%	都市基盤施設や公共施設が充実していない	24.4%	→
3位	通勤、通学、買い物に不便	38.9%	通勤、通学、買い物に不便	22.7%	→
4位	自然環境がよい	13.6%	医療機関が充実していない	20.7%	新規
5位	騒音、振動、大気汚染等の公害がある	12.9%	防犯面で不安を感じる	8.5%	新規
6位	人間関係がよい	7.7%	高齢者支援が充実していない	7.1%	新規
7位	子どもの教育環境がよい	6.1%	住宅（生活）環境がよい	6.8%	新規
8位	住み慣れていない	5.4%	自然環境がよい	5.8%	↓
9位	災害の心配がある／商売や事業がしにくい	3.5%	人間関係がよい	5.1%	↓
10位			騒音、振動、大気汚染等の公害がある	5.1%	↓

注：平成12年度と平成21年度では、選択肢数や文言が異なるため、正確な比較とはなりません。
(選択数はともに2つまで)

年齢別

「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」理由として、最も多い回答は、40歳代では「通勤、通学、買い物に不便」、50歳代では「都市基盤施設や公共施設が充実していない」「医療機関が充実していない」、それ以外の年代では「道路の状況がよくない」となっています。

特に、20歳代では「道路の状況がよくない」「防犯面で不安を感じる」、50歳代では「医療機関が充実していない」、60歳以上では「高齢者支援が充実していない」と答えた人の割合が他の年代と比較して高くなっています。

			注:						白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	自然環境が よくない	道路の状況 がよくない	都市基盤施 設や公共施 設が充実し ていない	住宅(生活) 環境がよ くない	通勤、通 学、買い物 に不便	子供の教育 環境がよ くない	人間関係が よくない	住み慣れて いない		
全体	人数	295	17	90	72	20	67	8	15	12		
	構成比		5.8%	30.5%	24.4%	6.8%	22.7%	2.7%	5.1%	4.1%		
18～29歳	人数	27	1	12	5	0	8	0	1	2		
	構成比		3.7%	44.4%	18.5%	0.0%	29.6%	0.0%	3.7%	7.4%		
30～39歳	人数	63	4	24	20	5	14	4	3	5		
	構成比		6.3%	38.1%	31.7%	7.9%	22.2%	6.3%	4.8%	7.9%		
40～49歳	人数	54	2	13	13	1	16	2	1	1		
	構成比		3.7%	24.1%	24.1%	1.9%	29.6%	3.7%	1.9%	1.9%		
50～59歳	人数	48	2	7	16	5	10	0	1	0		
	構成比		4.2%	14.6%	33.3%	10.4%	20.8%	0.0%	2.1%	0.0%		
60～69歳	人数	59	5	19	10	4	9	1	7	1		
	構成比		8.5%	32.2%	16.9%	6.8%	15.3%	1.7%	11.9%	1.7%		
70歳以上	人数	34	2	12	8	3	9	1	0	2		
	構成比		5.9%	35.3%	23.5%	8.8%	26.5%	2.9%	0.0%	5.9%		
無回答	人数	10	1	3	0	2	1	0	2	1		
	構成比		10.0%	30.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	20.0%	10.0%		

		騒音、振 動、大気汚 染等の公害 がある	災害が心配 である	商売や事業 がしにくい	防犯面で不 安を感じる	高齢者支援 が充実して いない	医療機関が 充実してい ない	障がい者支 援が充実し ていない	文化活動が 充実してい ない	その他	無回答
全体	人数	15	3	8	25	21	61	3	9	27	44
	構成比	5.1%	1.0%	2.7%	8.5%	7.1%	20.7%	1.0%	3.1%	9.2%	14.9%
18～29歳	人数	1	0	0	6	0	1	0	0	2	6
	構成比	3.7%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	7.4%	22.2%
30～39歳	人数	4	0	4	6	0	13	1	1	5	4
	構成比	6.3%	0.0%	6.3%	9.5%	0.0%	20.6%	1.6%	1.6%	7.9%	6.3%
40～49歳	人数	1	2	1	5	2	6	0	1	7	14
	構成比	1.9%	3.7%	1.9%	9.3%	3.7%	11.1%	0.0%	1.9%	13.0%	25.9%
50～59歳	人数	4	0	0	4	5	16	1	1	3	8
	構成比	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	10.4%	33.3%	2.1%	2.1%	6.3%	16.7%
60～69歳	人数	4	0	2	2	9	16	0	5	5	6
	構成比	6.8%	0.0%	3.4%	3.4%	15.3%	27.1%	0.0%	8.5%	8.5%	10.2%
70歳以上	人数	1	1	1	1	5	7	1	1	2	5
	構成比	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	14.7%	20.6%	2.9%	2.9%	5.9%	14.7%
無回答	人数	0	0	0	1	0	2	0	0	3	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	30.0%	10.0%

居住年数別

「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」理由として、最も多い回答は、居住年数が3年～5年未満では「通勤、通学、買い物に不便」、5年～10年未満では「都市基盤施設や公共施設が充実していない」、それ以外では「道路の状況がよくない」（10年～15年未満及び15年～20年未満では「都市基盤施設や公共施設が充実していない」も同率）となっています。

また、10年～15年未満では「高齢者支援が充実していない」（16.7%）、20年以上では「医療機関が充実していない」（25.4%）と答えた人の割合が他の居住年数と比較して高くなっており、全体の傾向として、居住年数が長いほど高齢者支援や医療機関の充実を挙げる割合が高くなっています。

		注: 白文字 =1位 黒文字 =2位									
		回答者数	自然環境が よくない	道路の状況 がよくない	都市基盤施 設や公共施 設が充実し ていない	住宅(生活) 環境がよく ない	通勤、通 学、買い物 に不便	子供の教育 環境がよく ない	人間関係が よくない	住み慣れて いない	騒音、振 動、大気汚 染等の公害 がある
全体	人数	295	17	90	72	20	67	8	15	12	15
	構成比		5.8%	30.5%	24.4%	6.8%	22.7%	2.7%	5.1%	4.1%	5.1%
3年未満	人数	56	3	24	11	3	14	1	4	6	3
	構成比		5.4%	42.9%	19.6%	5.4%	25.0%	1.8%	7.1%	10.7%	5.4%
3年～5年未満	人数	25	0	6	5	1	7	1	2	2	1
	構成比		0.0%	24.0%	20.0%	4.0%	28.0%	4.0%	8.0%	8.0%	4.0%
5年～10年未満	人数	40	2	11	12	3	6	2	1	1	4
	構成比		5.0%	27.5%	30.0%	7.5%	15.0%	5.0%	2.5%	2.5%	10.0%
10年～15年未満	人数	24	1	6	6	1	4	0	0	2	1
	構成比		4.2%	25.0%	25.0%	4.2%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	4.2%
15年～20年未満	人数	16	1	6	3	2	5	0	1	0	1
	構成比		6.3%	37.5%	18.8%	12.5%	31.3%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%
20年以上	人数	126	9	35	35	8	30	4	5	0	5
	構成比		7.1%	27.8%	27.8%	6.3%	23.8%	3.2%	4.0%	0.0%	4.0%
無回答	人数	8	1	2	0	2	1	0	2	1	0
	構成比		12.5%	25.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%

		災害が心配である	商売や事業がしにくい	防犯面で不安を感じる	高齢者支援が充実していない	医療機関が充実していない	障がい者支援が充実していない	文化活動が充実していない	その他	無回答
全体	人数	3	8	25	21	61	3	9	27	44
	構成比	1.0%	2.7%	8.5%	7.1%	20.7%	1.0%	3.1%	9.2%	14.9%
3年未満	人数	0	1	8	0	7	0	1	6	8
	構成比	0.0%	1.8%	14.3%	0.0%	12.5%	0.0%	1.8%	10.7%	14.3%
3年～5年未満	人数	0	1	1	0	4	1	1	2	6
	構成比	0.0%	4.0%	4.0%	0.0%	16.0%	4.0%	4.0%	8.0%	24.0%
5年～10年未満	人数	0	2	4	2	9	1	0	4	6
	構成比	0.0%	5.0%	10.0%	5.0%	22.5%	2.5%	0.0%	10.0%	15.0%
10年～15年未満	人数	1	0	2	4	4	0	1	6	3
	構成比	4.2%	0.0%	8.3%	16.7%	16.7%	0.0%	4.2%	25.0%	12.5%
15年～20年未満	人数	0	0	2	2	3	0	1	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	18.8%	0.0%	6.3%	6.3%	6.3%
20年以上	人数	2	4	8	13	32	1	5	6	19
	構成比	1.6%	3.2%	6.3%	10.3%	25.4%	0.8%	4.0%	4.8%	15.1%
無回答	人数	0	0	0	0	2	0	0	2	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%

居住地区別

「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」理由として、最も多い回答は、旧桶川東地区・上下日出谷地区では「道路の状況が良くない」、旧桶川西地区では「医療機関が充実していない」、旧加納村地区・川田谷地区では「通勤、通学、買い物に不便」となっており、全体として以下のような結果となっています。

- ① 旧桶川東地区：「道路の状況が良くない」（38.3%）「都市基盤施設や公共施設が充実していない」（27.8%）
- ② 旧桶川西地区：「医療機関が充実していない」（27.1%）「自然環境が良くない」（10.4%）「住宅(生活)環境が良くない」（10.4%）「人間関係が良くない」（10.4%）「防犯面で不安を感じる」（12.5%）
- ③ 上下日出谷地区：「道路の状況が良くない」（38.0%）「都市基盤施設や公共施設が充実していない」（30.0%）「医療機関が充実していない」（28.0%）「騒音、振動、大気汚等の公害がある」（12.0%）
- ④ 旧加納村地区：「通勤、通学、買い物に不便」（30.8%）「医療機関が充実していない」（25.0%）
- ⑤ 川田谷地区：「通勤、通学、買い物に不便」（61.0%）「道路の状況が良くない」（27.8%）「高齢者支援が充実していない」（16.7%）「騒音、振動、大気汚等の公害ある」（11.1%）

注：各地区内の順位ではなく、他地区と比較して相対的に割合が高いものを挙げています。

		回答者数	自然環境が よくない	道路の状況 が良くない	都市基盤施設や公共施設が 充実していない	住宅(生活)環境が よくない	通勤、通学、 買いものに不便	子供の教育環境が よくない	人間関係が よくない	住み慣れて いない
全体	人数	295	17	90	72	20	67	8	15	12
	構成比		5.8%	30.5%	24.4%	6.8%	22.7%	2.7%	5.1%	4.1%
旧桶川東地区	人数	115	8	44	32	4	28	0	5	6
	構成比		7.0%	38.3%	27.8%	3.5%	24.3%	0.0%	4.3%	5.2%
旧桶川西地区	人数	48	5	11	12	5	4	1	5	1
	構成比		10.4%	22.9%	25.0%	10.4%	8.3%	2.1%	10.4%	2.1%
上下日出谷地区	人数	50	1	19	15	4	7	3	2	1
	構成比		2.0%	38.0%	30.0%	8.0%	14.0%	6.0%	4.0%	2.0%
旧加納村地区	人数	52	2	9	12	4	16	3	0	3
	構成比		3.8%	17.3%	23.1%	7.7%	30.8%	5.8%	0.0%	5.8%
川田谷地区	人数	18	0	5	1	1	11	1	1	0
	構成比		0.0%	27.8%	5.6%	5.6%	61.1%	5.6%	5.6%	0.0%
無回答	人数	12	1	2	0	2	1	0	2	1
	構成比		8.3%	16.7%	0.0%	16.7%	8.3%	0.0%	16.7%	8.3%

		騒音、振動、大気汚染等の公害がある	災害が心配である	商売や事業がしにくい	防犯面で不安を感じる	高齢者支援が充実していない	医療機関が充実していない	障がい者支援が充実していない	文化活動が充実していない	その他	無回答
全体	人数	15	3	8	25	21	61	3	9	27	44
	構成比	5.1%	1.0%	2.7%	8.5%	7.1%	20.7%	1.0%	3.1%	9.2%	14.9%
旧桶川東地区	人数	6	1	4	8	6	15	0	3	8	19
	構成比	5.2%	0.9%	3.5%	7.0%	5.2%	13.0%	0.0%	2.6%	7.0%	16.5%
旧桶川西地区	人数	1	1	2	6	6	13	2	3	7	4
	構成比	2.1%	2.1%	4.2%	12.5%	12.5%	27.1%	4.2%	6.3%	14.6%	8.3%
上下日出谷地区	人数	6	1	1	5	2	14	0	2	4	5
	構成比	12.0%	2.0%	2.0%	10.0%	4.0%	28.0%	0.0%	4.0%	8.0%	10.0%
旧加納村地区	人数	0	0	1	4	4	13	0	1	5	10
	構成比	0.0%	0.0%	1.9%	7.7%	7.7%	25.0%	0.0%	1.9%	9.6%	19.2%
川田谷地区	人数	2	0	0	2	3	4	1	0	1	1
	構成比	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	16.7%	22.2%	5.6%	0.0%	5.6%	5.6%
無回答	人数	0	0	0	0	0	2	0	0	2	5
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	41.7%

家族構成別

「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」理由として、最も多い回答は、三世代世帯では「都市基盤施設や公共施設が充実していない」、それ以外では「道路の状況がよくない」となっています（夫婦だけの家族構成では「都市基盤施設や公共施設が充実していない」も同率）。

特に、三世代世帯では「都市基盤施設や公共施設が充実していない」のほか、「騒音、振動、大気汚染等の公害がある」「医療機関が充実していない」と答えた人の割合が他の家族構成と比較して高くなっており、三世代世帯とそれ以外の家族構成において住みにくさの理由に違いが見られます。

注: 白文字 = 1位 黒文字 = 2位

	回答者数	自然環境が よくない	道路の状況 がよくない	都市基盤施設や公共施設が 充実していない	住宅(生活)環境がよ くない	通勤、通 学、買い物 に不便	子供の教育 環境がよ くない	人間関係が よくない	住み慣れて いない	騒音、振 動、大気汚 染等の公害 がある
全体	人数 295	17	90	72	20	67	8	15	12	15
	構成比	5.8%	30.5%	24.4%	6.8%	22.7%	2.7%	5.1%	4.1%	5.1%
夫婦だけ	人数 23	1	8	8	2	4	0	1	0	1
	構成比	4.3%	34.8%	34.8%	8.7%	17.4%	0.0%	4.3%	0.0%	4.3%
二世代世帯	人数 73	3	27	21	3	19	5	1	3	2
	構成比	4.1%	37.0%	28.8%	4.1%	26.0%	6.8%	1.4%	4.1%	2.7%
三世代世帯	人数 6	0	1	4	0	2	0	0	0	2
	構成比	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
単身世帯	人数 132	9	37	30	11	30	0	7	5	8
	構成比	6.8%	28.0%	22.7%	8.3%	22.7%	0.0%	5.3%	3.8%	6.1%
その他	人数 48	3	13	7	2	10	2	4	3	2
	構成比	6.3%	27.1%	14.6%	4.2%	20.8%	4.2%	8.3%	6.3%	4.2%
無回答	人数 13	1	4	2	2	2	1	2	1	0
	構成比	7.7%	30.8%	15.4%	15.4%	15.4%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%

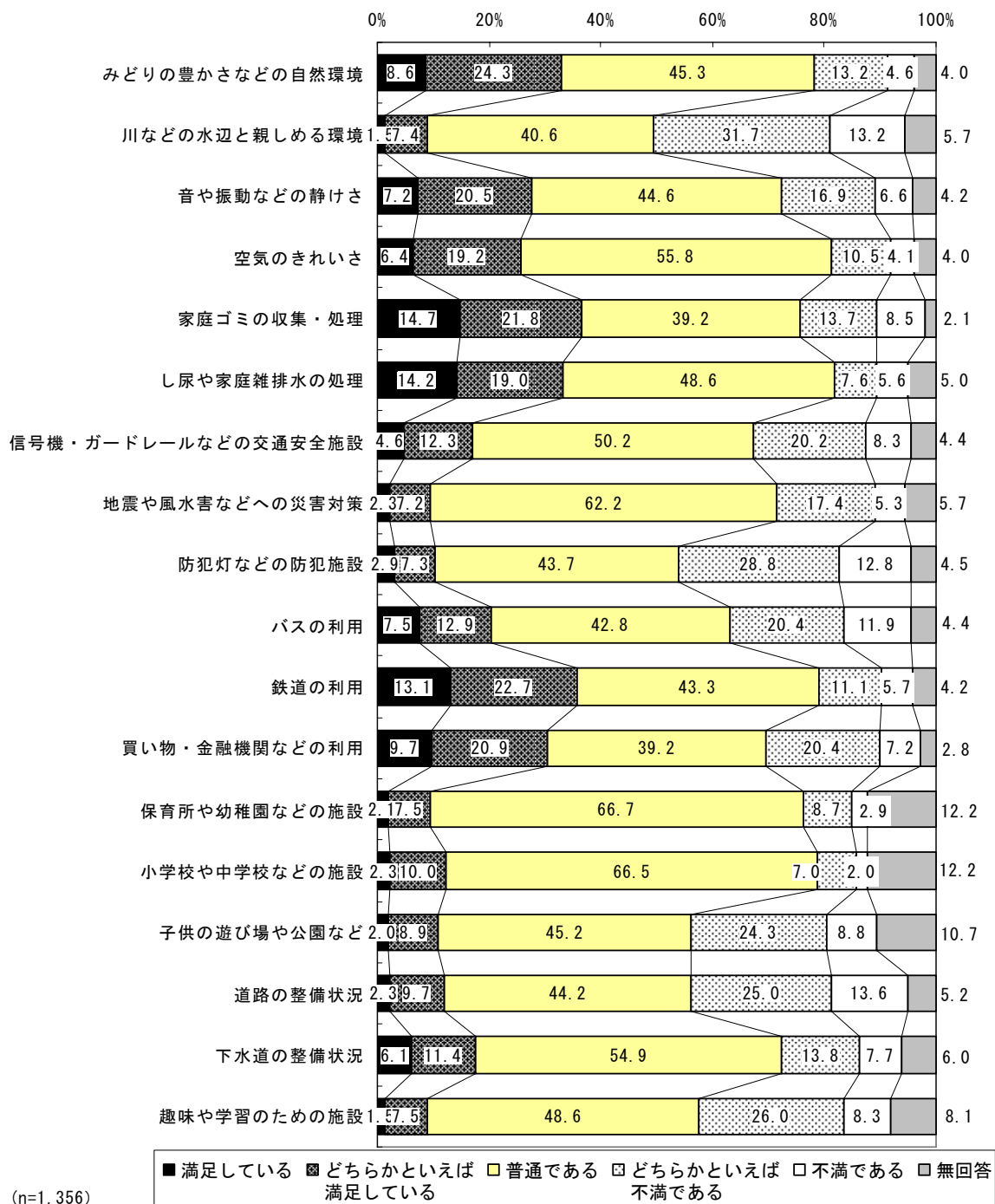
	災害が心配 である	商売や事業 がしにくい	防犯面で不 安を感じる	高齢者支援 が充実してい ない	医療機関が 充実してい ない	障がい者支 援が充実し ていない	文化活動が 充実してい ない	その他	無回答
全体	人数 3	8	25	21	61	3	9	27	44
	構成比	1.0%	2.7%	8.5%	7.1%	20.7%	1.0%	3.1%	14.9%
夫婦だけ	人数 1	0	2	3	5	1	0	2	2
	構成比	4.3%	0.0%	8.7%	13.0%	21.7%	4.3%	0.0%	8.7%
二世代世帯	人数 0	4	4	3	10	0	1	7	14
	構成比	0.0%	5.5%	5.5%	4.1%	13.7%	0.0%	1.4%	19.2%
三世代世帯	人数 0	0	0	0	2	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
単身世帯	人数 1	4	13	10	28	1	5	14	18
	構成比	0.8%	3.0%	9.8%	7.6%	21.2%	0.8%	3.8%	13.6%
その他	人数 1	0	6	5	12	1	3	2	8
	構成比	2.1%	0.0%	12.5%	10.4%	25.0%	2.1%	6.3%	16.7%
無回答	人数 0	0	0	0	4	0	0	2	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	0.0%	0.0%	15.4%

問2 あなたは、桶川市の生活環境について、どのように感じていますか。それぞれの項目について該当する番号を選び○をつけてください。

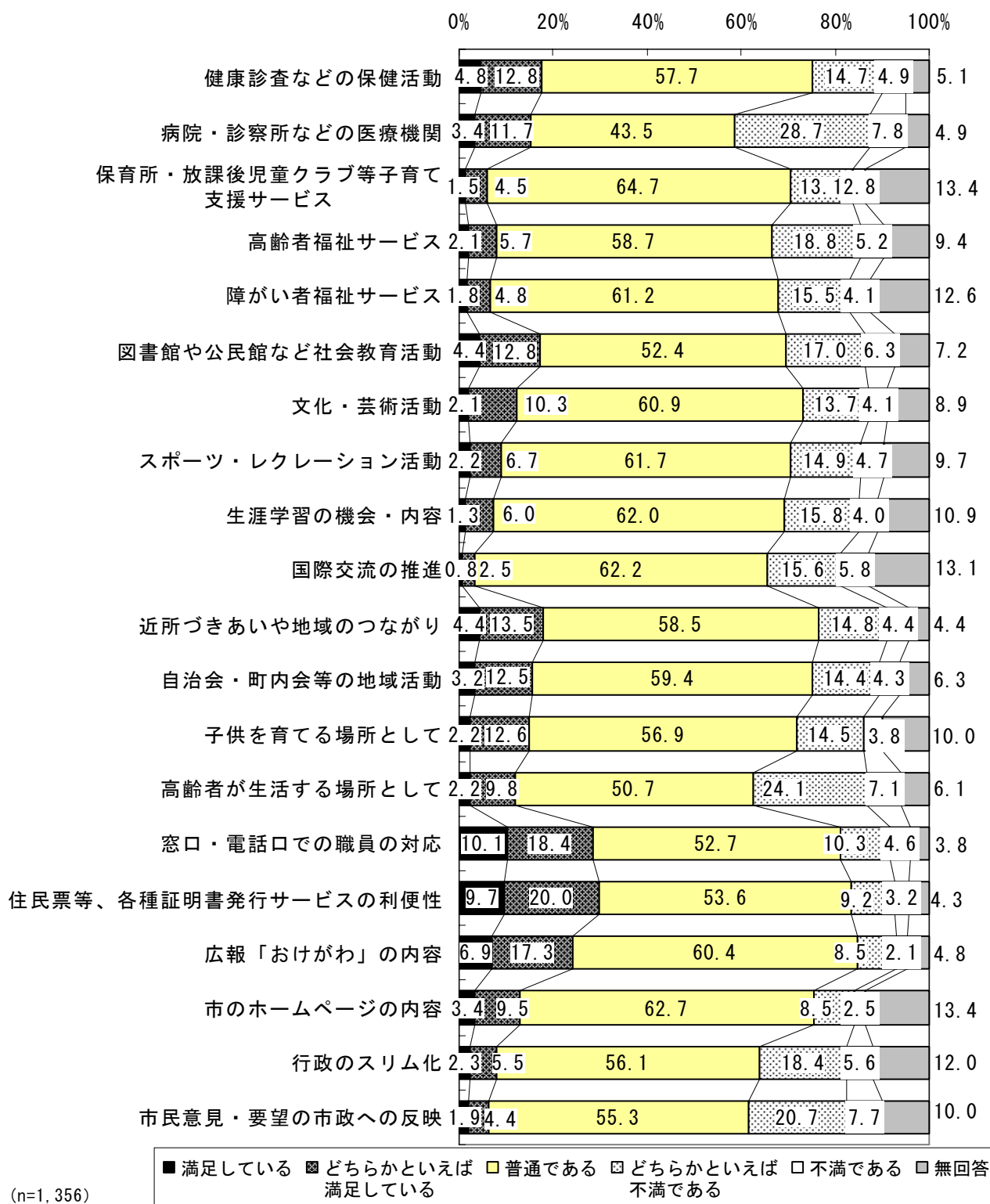
桶川市の生活環境について、「家庭ゴミの収集・処理」「し尿や家庭雑排水の処理」「鉄道の利用」「窓口・電話口での職員の対応」の項目で、「満足している」と答えた人の割合がいずれも10%以上と、評価が高くなっています。

他方、「川など水辺と親しめる環境」「防犯灯などの防犯施設」「バスの利用」「道路の整備状況」の項目で、「不満である」と答えた人の割合がいずれも10%以上と、評価が低くなっています。

A. 快適さ、衛生、安全性、便利さ、公共施設等について



B. 保健医療・福祉、教育・文化、地域社会、市政について



●経年比較

「満足度ランキング」では、第1位に変動はなく、平成12年度・21年度とも「家庭ゴミの収集・処理」となっています。平成21年度で、10年前よりも満足度の順位が上がっているものは「鉄道の利用」となっており、逆に、順位が下がっているものは「みどりの豊かさなどの自然環境」「買い物・金融機関などの利用」「音や振動の静けさ」「空気のきれいさ」となっています。

他方、「不満足度ランキング」では、平成12年度では「バスの利用」でしたが、平成21年度では「川などの水辺と親しめる環境」となっています。平成21年度で不満足度の順位が上がっているものは、「病院・診療所などの医療機関」「趣味や学習のための施設」「子供の遊び場や公園など」「高齢者が生活する場所として」となっています。

【満足度（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）ランキング】

	平成12年度		平成21年度		H12年度との 順位比較
1位	家庭ゴミの収集・処理	40.3%	家庭ゴミの収集・処理	36.6%	→
2位	みどりの豊かさなどの自然環境	36.2%	鉄道の利用	35.8%	↑
3位	し尿や家庭雑排水の処理	35.8%	し尿や家庭雑排水の処理	33.2%	→
4位	買い物・金融機関などの利用	31.8%	みどりの豊かさなどの自然環境	33.0%	↓
5位	音や振動などの静けさ	30.5%	買い物・金融機関などの利用	30.5%	↓
6位	空気のきれいさ	28.9%	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	29.7%	新規
7位	鉄道の利用	28.5%	窓口・電話口での職員対応	28.5%	新規
8位	子供を育てる場所として	24.8%	音や振動などの静けさ	27.7%	↓
9位	近所づきあいや地域のつながり	21.4%	空気のきれいさ	25.6%	↓
10位	下水道の整備状況	18.8%	広報「おけがわ」の内容	24.3%	新規

【不満足度（「どちらかといえば不満である」＋「不満である」）ランキング】

	平成12年度		平成21年度		H12年度との 順位比較
1位	バスの利用	54.7%	川などの水辺と親しめる環境	44.9%	↑
2位	防犯灯などの防犯施設	54.6%	防犯灯などの防犯施設	41.6%	→
3位	道路の整備状況	52.9%	道路の整備状況	38.6%	→
4位	川などの水辺と親しめる環境	50.4%	病院・診療所などの医療機関	36.5%	↑
5位	スポーツ・レクリエーション施設	45.9%	趣味や学習のための施設	34.3%	↑
6位	病院・医院等の医療機関	44.1%	子供の遊び場や公園など	33.2%	↑
7位	子供の遊び場や公園など	41.9%	バスの利用	32.4%	↓
8位	趣味や学習のための施設	41.3%	高齢者が生活する場所として	31.2%	↑
9位	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	37.9%	市民意見・要望の市政への反映	28.5%	新規
10位	市の行政	37.8%	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	28.5%	↓

注：平成12年度と平成21年度では、選択肢の文言が異なるため、正確な比較とはなりません。

【満足度】

「満足している」「不満である」までの5段階の回答を5～1の点数に直し、全回答の平均値を【満足度】とした。

$$\text{満足度} = \{ (\text{満足である}) \times 5 + (\text{どちらかといえば満足している}) \times 4 + (\text{普通である}) \times 3 + (\text{どちらかといえば不満である}) \times 2 + (\text{不満である}) \times 1 \} \div \{ (\text{回答者数} - \text{無回答}) \}$$

全 体

市内生活環境の満足度について、最も点数が高いのは、「し尿や家庭雑排水の処理」(3.330)、次いで「鉄道の利用」(3.276)、「住民票等、各種証明書発行サービスの利便性」(3.250)となっています。

他方、満足度が最も低いのは、「川などの水辺と親しめる環境」(2.493)、次いで「防犯灯などの防犯施設」(2.569)、「道路の整備状況」(2.601)となっています。

全体					
点数の高い3項目			点数の低い3項目		
カ	し尿や家庭雑排水の処理	3.300	イ	川などの水辺と親しめる環境	2.493
サ	鉄道の利用	3.276	ケ	防犯灯などの防犯施設	2.569
メ	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	3.250	タ	道路の整備状況	2.601

	項目	満足度		項目	満足度
ア	みどりの豊かさなどの自然環境	3.200	ト	病院・診療所などの医療機関	2.729
イ	川などの水辺と親しめる環境	2.493	ナ	保育所・放課後児童クラブ等子育て支援サービス	2.870
ウ	音や振動などの静けさ	3.052	ニ	高齢者福祉サービス	2.787
エ	空気のきれいさ	3.138	ヌ	障がい者福祉サービス	2.824
オ	家庭ゴミの収集・処理	3.211	ネ	図書館や公民館など社会教育活動	2.916
カ	し尿や家庭雑排水の処理	3.300	ノ	文化・芸術活動	2.920
キ	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	2.842	ハ	スポーツ・レクリエーション活動	2.854
ク	地震や風水害などへの災害対策	2.827	ヒ	生涯学習の機会・内容	2.830
ケ	防犯灯などの防犯施設	2.569	フ	国際交流の推進	2.735
コ	バスの利用	2.829	ヘ	近所づきあいや地域のつながり	2.985
サ	鉄道の利用	3.276	ホ	自治会・町内会等の地域活動	2.957
シ	買い物・金融機関などの利用	3.057	マ	子供を育てる場所として	2.945
ス	保育所や幼稚園などの施設	2.968	ミ	高齢者が生活する場所として	2.744
セ	小学校や中学校などの施設	3.041	ム	窓口・電話口での職員の対応	3.199
ソ	子供の遊び場や公園など	2.674	メ	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	3.250
タ	道路の整備状況	2.601	モ	広報「おけがわ」の内容	3.195
チ	下水道の整備状況	2.940	ヤ	市のホームページの内容	3.032
ツ	趣味や学習のための施設	2.650	ユ	行政のスリム化	2.778
テ	健康診査などの保健活動	2.977	ヨ	市民意見・要望の市政への反映	2.689

性 別

市内生活環境の満足度について、最も点数が高いのは、男女ともに「し尿や家庭雑排水の処理」となっています。男性では、第2位が「鉄道の利用」、第3位が「住民票等、各種証明書発行サービスの利便性」となっているのに対し、女性は第2、3位の順序が逆になっています。

また、最も点数が低いのは、男女ともに「川などの水辺と親しめる環境」となっており、男性では、第2位が「道路の整備状況」、第3位が「防犯灯などの防犯施設」となっているのに対し、女性は第2、3位の順序が逆になっています。

男性					
点数の高い3項目			点数の低い3項目		
カ	し尿や家庭雑排水の処理	3.318	イ	川などの水辺と親しめる環境	2.469
サ	鉄道の利用	3.308	タ	道路の整備状況	2.544
メ	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	3.215	ケ	防犯灯などの防犯施設	2.599

女性					
点数の高い3項目			点数の低い3項目		
カ	し尿や家庭雑排水の処理	3.281	イ	川などの水辺と親しめる環境	2.523
メ	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	3.267	ケ	防犯灯などの防犯施設	2.541
サ	鉄道の利用	3.259	タ	道路の整備状況	2.638

	項目	満足度			項目	満足度	
		男性	女性			男性	女性
ア	みどりの豊かさなどの自然環境	3.190	3.228	ト	病院・診療所などの医療機関	2.736	2.711
イ	川などの水辺と親しめる環境	2.469	2.523	ナ	保育所・放課後児童クラブ等子育て支援サービス	2.871	2.869
ウ	音や振動などの静けさ	3.100	3.025	ニ	高齢者福祉サービス	2.732	2.829
エ	空気のきれいさ	3.164	3.119	ヌ	障がい者福祉サービス	2.766	2.861
オ	家庭ゴミの収集・処理	3.212	3.188	ネ	図書館や公民館など社会教育活動	2.871	2.945
カ	し尿や家庭雑排水の処理	3.318	3.281	ノ	文化・芸術活動	2.869	2.952
キ	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	2.818	2.856	ハ	スポーツ・レクリエーション活動	2.782	2.898
ク	地震や風水害などへの災害対策	2.834	2.824	ヒ	生涯学習の機会・内容	2.781	2.866
ケ	防犯灯などの防犯施設	2.599	2.541	フ	国際交流の推進	2.650	2.793
コ	バスの利用	2.883	2.787	ヘ	近所づきあいや地域のつながり	2.923	3.034
サ	鉄道の利用	3.308	3.259	ホ	自治会・町内会等の地域活動	2.930	2.979
シ	買い物・金融機関などの利用	3.046	3.067	マ	子供を育てる場所として	2.907	2.972
ス	保育所や幼稚園などの施設	2.968	2.965	ミ	高齢者が生活する場所として	2.716	2.772
セ	小学校や中学校などの施設	3.036	3.038	ム	窓口・電話口での職員の対応	3.123	3.255
ソ	子供の遊び場や公園など	2.694	2.656	メ	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	3.215	3.267
タ	道路の整備状況	2.544	2.638	モ	広報「おけがわ」の内容	3.096	3.252
チ	下水道の整備状況	2.910	2.959	ヤ	市のホームページの内容	2.958	3.083
ツ	趣味や学習のための施設	2.638	2.661	ユ	行政のスリム化	2.719	2.821
テ	健康診査などの保健活動	3.030	2.936	ヨ	市民意見・要望の市政への反映	2.619	2.735

年齢別

市内生活環境の満足度について、最も点数が高いのは、20 歳～30 歳代では「鉄道の利用」、40 歳代では「みどりの豊かさなどの自然環境」、50 歳代では「し尿や家庭雑排水の処理」、60 歳代では「住民票等、各種証明書発行サービスの利便性」、70 歳以上では「家庭ゴミの収集・処理」となっています。

他方、最も点数が低いのは、20 歳～40 歳代では「防犯灯などの防犯施設」であるのに対して、50 歳代以上は「川などの水辺と親しめる環境」となっています。

18～29歳					
点数の高い3項目			点数の低い3項目		
サ	鉄道の利用	3.406	ケ	防犯灯などの防犯施設	2.481
ア	みどりの豊かさなどの自然環境	3.330	イ	川などの水辺と親しめる環境	2.528
カ	し尿や家庭雑排水の処理	3.330	ツ	趣味や学習のための施設	2.575

30～39歳					
点数の高い3項目			点数の低い3項目		
サ	鉄道の利用	3.267	ケ	防犯灯などの防犯施設	2.422
カ	し尿や家庭雑排水の処理	3.226	イ	川などの水辺と親しめる環境	2.438
ア	みどりの豊かさなどの自然環境	3.163	ツ	趣味や学習のための施設	2.480

40～49歳					
点数の高い3項目			点数の低い3項目		
ア	みどりの豊かさなどの自然環境	3.340	ケ	防犯灯などの防犯施設	2.467
カ	し尿や家庭雑排水の処理	3.296	タ	道路の整備状況	2.566
エ	空気のきれいさ	3.171	ヨ	市民意見・要望の市政への反映	2.599

50～59歳					
点数の高い3項目			点数の低い3項目		
カ	し尿や家庭雑排水の処理	3.255	イ	川などの水辺と親しめる環境	2.524
エ	空気のきれいさ	3.224	ケ	防犯灯などの防犯施設	2.524
オ	家庭ゴミの収集・処理	3.216	ツ	趣味や学習のための施設	2.570

60～69歳					
点数の高い3項目			点数の低い3項目		
メ	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	3.405	イ	川などの水辺と親しめる環境	2.444
サ	鉄道の利用	3.357	ケ	防犯灯などの防犯施設	2.590
ム	窓口・電話口での職員の対応	3.305	タ	道路の整備状況	2.594

70歳以上					
点数の高い3項目			点数の低い3項目		
オ	家庭ゴミの収集・処理	3.723	イ	川などの水辺と親しめる環境	2.511
ム	窓口・電話口での職員の対応	3.541	タ	道路の整備状況	2.658
カ	し尿や家庭雑排水の処理	3.490	ソ	子供の遊び場や公園など	2.731

	項目	満足度					
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
ア	みどりの豊かさなどの自然環境	3.330	3.163	3.340	3.197	3.120	3.236
イ	川などの水辺と親しめる環境	2.528	2.438	2.599	2.524	2.444	2.511
ウ	音や振動などの静けさ	3.160	3.043	3.107	3.021	3.012	3.101
エ	空気のきれいさ	2.934	2.990	3.171	3.224	3.195	3.197
オ	家庭ゴミの収集・処理	2.925	2.890	2.950	3.216	3.301	3.723
カ	し尿や家庭雑排水の処理	3.330	3.226	3.296	3.255	3.259	3.490
キ	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	2.896	2.708	2.722	2.884	2.875	2.960
ク	地震や風水害などへの災害対策	2.896	2.778	2.805	2.814	2.866	2.854
ケ	防犯灯などの防犯施設	2.481	2.422	2.467	2.524	2.590	2.900
コ	バスの利用	2.962	2.788	2.663	2.671	2.939	2.960
サ	鉄道の利用	3.406	3.267	3.085	3.198	3.357	3.374
シ	買い物・金融機関などの利用	2.849	2.934	2.826	3.102	3.226	3.214
ス	保育所や幼稚園などの施設	3.057	2.906	2.937	2.982	2.945	3.056
セ	小学校や中学校などの施設	3.124	3.030	3.000	3.018	3.038	3.093
ソ	子供の遊び場や公園など	2.676	2.587	2.735	2.705	2.633	2.731
タ	道路の整備状況	2.717	2.517	2.566	2.635	2.594	2.658
チ	下水道の整備状況	3.094	2.980	2.934	2.878	2.838	3.093
ツ	趣味や学習のための施設	2.575	2.480	2.638	2.570	2.704	2.940
テ	健康診査などの保健活動	3.000	2.794	2.862	2.885	3.050	3.289
ト	病院・診療所などの医療機関	2.857	2.555	2.626	2.642	2.807	2.889
ナ	保育所・放課後児童クラブ等子育て支援サービス	2.981	2.767	2.898	2.860	2.843	2.975
ニ	高齢者福祉サービス	2.961	2.805	2.841	2.726	2.723	2.803
ヌ	障がい者福祉サービス	2.922	2.874	2.863	2.729	2.723	2.952
ネ	図書館や公民館など社会教育活動	2.895	2.709	2.843	2.827	2.990	3.223
ノ	文化・芸術活動	2.952	2.809	2.893	2.837	2.970	3.077
ハ	スポーツ・レクリエーション活動	2.752	2.748	2.827	2.818	2.877	3.073
ヒ	生涯学習の機会・内容	2.848	2.789	2.792	2.767	2.811	3.040
フ	国際交流の推進	2.733	2.759	2.693	2.705	2.713	2.851
ヘ	近所づきあいや地域のつながり	2.876	2.904	2.990	2.935	3.037	3.134
ホ	自治会・町内会等の地域活動	2.913	2.849	2.969	2.872	3.031	3.086
マ	子供を育てる場所として	2.886	2.849	3.037	2.909	2.961	3.029
ミ	高齢者が生活する場所として	2.865	2.748	2.830	2.625	2.693	2.851
ム	窓口・電話口での職員の対応	3.104	3.062	2.990	3.114	3.305	3.541
メ	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	3.160	3.086	3.101	3.147	3.405	3.480
モ	広報「おけがわ」の内容	3.076	3.072	3.096	3.131	3.265	3.431
ヤ	市のホームページの内容	2.962	2.937	2.953	2.962	3.089	3.285
ユ	行政のスリム化	2.857	2.731	2.734	2.706	2.760	2.976
ヨ	市民意見・要望の市政への反映	2.771	2.647	2.599	2.626	2.704	2.835

居住地区別

市内生活環境の満足度について、最も点数が高いのは、旧桶川東地区・旧桶川西地区では「鉄道の利用」、上下日出谷地区では「し尿や家庭雑排水の処理」、旧加納村地区では「家庭ゴミの収集・処理」、川田谷地区では「みどりの豊かさなどの自然環境」となっています。

他方、最も点数が低いのは、旧桶川東地区・旧桶川西地区・旧加納村地区では「川などの水辺と親しめる環境」、上下日出谷地区・川田谷地区では「防犯灯などの防犯施設」となっています。

旧桶川東地区					
点数の高い3項目			点数の低い3項目		
サ	鉄道の利用	3.347	イ	川などの水辺と親しめる環境	2.383
カ	し尿や家庭雑排水の処理	3.316	ソ	子供の遊び場や公園など	2.438
ム	窓口・電話口での職員の対応	3.200	タ	道路の整備状況	2.441

旧桶川西地区					
点数の高い3項目			点数の低い3項目		
サ	鉄道の利用	3.557	イ	川などの水辺と親しめる環境	2.536
カ	し尿や家庭雑排水の処理	3.440	ケ	防犯灯などの防犯施設	2.621
シ	買い物・金融機関などの利用	3.419	ヨ	市民意見・要望の市政への反映	2.649

上下日出谷地区					
点数の高い3項目			点数の低い3項目		
カ	し尿や家庭雑排水の処理	3.321	ケ	防犯灯などの防犯施設	2.458
ア	みどりの豊かさなどの自然環境	3.302	イ	川などの水辺と親しめる環境	2.505
メ	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	3.274	タ	道路の整備状況	2.561

旧加納村地区					
点数の高い3項目			点数の低い3項目		
オ	家庭ゴミの収集・処理	3.379	イ	川などの水辺と親しめる環境	2.563
ア	みどりの豊かさなどの自然環境	3.352	ツ	趣味や学習のための施設	2.642
エ	空気のきれいさ	3.237	タ	道路の整備状況	2.649

川田谷地区					
点数の高い3項目			点数の低い3項目		
ア	みどりの豊かさなどの自然環境	3.836	ケ	防犯灯などの防犯施設	2.613
エ	空気のきれいさ	3.743	タ	道路の整備状況	2.595
オ	家庭ゴミの収集・処理	3.438	チ	下水道の整備状況	2.535

	項目	満足度				
		旧桶川東地区	旧桶川西地区	上下日出谷地区	旧加納村地区	川田谷地区
ア	みどりの豊かさなどの自然環境	2.956	3.289	3.302	3.352	3.836
イ	川などの水辺と親しめる環境	2.383	2.536	2.505	2.563	2.845
ウ	音や振動などの静けさ	2.857	3.160	3.168	3.078	3.403
エ	空気のきれいさ	2.872	3.227	3.269	3.237	3.743
オ	家庭ゴミの収集・処理	3.100	3.240	3.116	3.379	3.438
カ	し尿や家庭雑排水の処理	3.316	3.440	3.321	3.189	2.932
キ	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	2.725	2.990	2.832	2.960	2.681
ク	地震や風水害などへの災害対策	2.800	2.825	2.849	2.890	2.863
ケ	防犯灯などの防犯施設	2.556	2.621	2.458	2.652	2.613
コ	バスの利用	2.863	2.824	2.824	2.813	2.685
サ	鉄道の利用	3.347	3.557	3.075	2.986	3.139
シ	買い物・金融機関などの利用	3.023	3.419	2.995	2.810	2.726
ス	保育所や幼稚園などの施設	2.965	3.018	2.914	2.962	2.956
セ	小学校や中学校などの施設	3.010	3.096	3.020	3.014	3.103
ソ	子供の遊び場や公園など	2.438	2.909	2.762	2.671	2.818
タ	道路の整備状況	2.441	2.837	2.561	2.649	2.595
チ	下水道の整備状況	2.964	3.106	2.957	2.816	2.535
ツ	趣味や学習のための施設	2.603	2.714	2.620	2.642	2.819
テ	健康診査などの保健活動	2.954	2.942	3.019	3.036	3.127
ト	病院・診療所などの医療機関	2.708	2.732	2.746	2.736	2.814
ナ	保育所・放課後児童クラブ等子育て支援サービス	2.862	2.924	2.821	2.866	2.894
ニ	高齢者福祉サービス	2.808	2.801	2.750	2.765	2.829
ヌ	障がい者福祉サービス	2.848	2.821	2.773	2.806	2.821
ネ	図書館や公民館など社会教育活動	2.873	2.977	2.857	2.955	3.000
ノ	文化・芸術活動	2.915	2.946	2.916	2.888	2.957
ハ	スポーツ・レクリエーション活動	2.818	2.881	2.861	2.836	2.986
ヒ	生涯学習の機会・内容	2.821	2.852	2.832	2.788	2.942
フ	国際交流の推進	2.742	2.699	2.760	2.727	2.788
ヘ	近所づきあいや地域のつながり	3.005	2.942	2.967	3.044	3.111
ホ	自治会・町内会等の地域活動	2.986	2.987	2.889	2.924	3.141
マ	子供を育てる場所として	2.828	3.038	2.955	2.995	3.100
ミ	高齢者が生活する場所として	2.706	2.815	2.811	2.705	2.784
ム	窓口・電話口での職員の対応	3.200	3.235	3.150	3.175	3.243
メ	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	3.194	3.341	3.274	3.191	3.284
モ	広報「おけがわ」の内容	3.169	3.246	3.130	3.196	3.222
ヤ	市のホームページの内容	3.031	2.993	3.016	3.048	3.130
ユ	行政のスリム化	2.753	2.799	2.777	2.792	2.866
ヨ	市民意見・要望の市政への反映	2.681	2.649	2.667	2.743	2.754

2 桶川市のまちづくりについて

まちづくり全般について

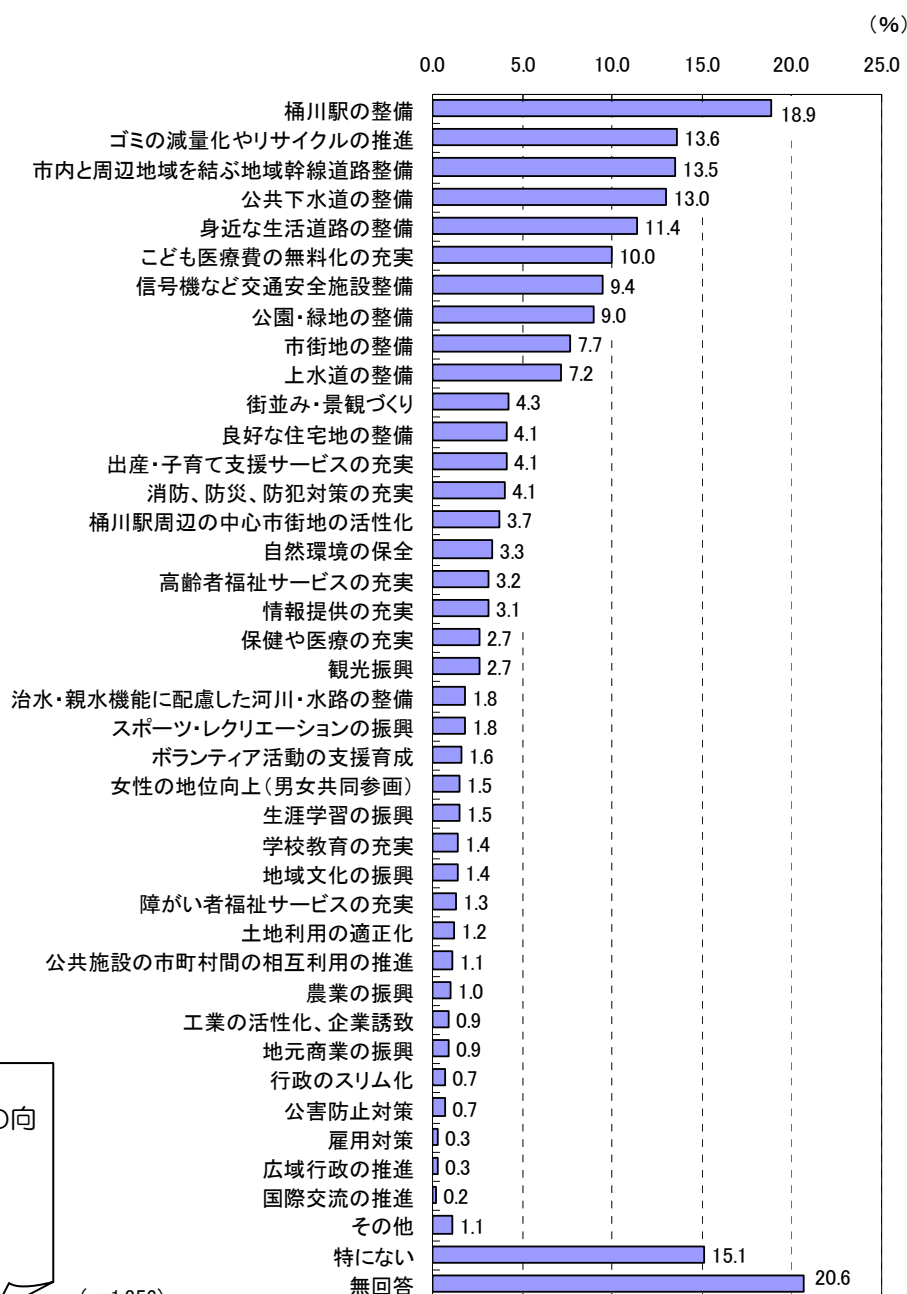
問3 下記の項目のうち、ここ数年で（桶川市に転入して間もない方は、お住まいになってから）よくなったと感じる項目を3つまで選んで、その番号を「回答欄 ア」にご記入ください。また、もっと住みよいまちにするために、これからの市政において、特に力をいれるべき項目について、下記の中から3つまで選び、その番号を「回答欄 イ」にご記入ください。

回答欄	ア よくなったもの 3つ			
	イ 力をいれてほしいもの 3つ			

問3-ア よくなったもの

全 体

「桶川駅の整備」と答えた人の割合が18.9%と最も高く、次いで「ゴミの減量化やリサイクルの推進」が13.6%、「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」が13.5%となっています。



【その他の主な意見】

- 市内循環バスの開始・利便性の向上
- 駅周辺の路上禁煙
- 西口の整備 など

●経年比較

ここ数年で良くなったものは、平成 12 年度では、第 1 位～3 位は「公共下水道の整備」「道路、交通の整備」「公園・緑地の整備」であったのに対して、平成 21 年度では、「桶川駅の整備」（新規選択肢）「ゴミの減量化やサリイクルの推進」「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」（新規選択肢）となっており、経年比較では特に「ゴミの減量化やサリイクルの推進」が高く評価されています。

	平成12年度（選択肢数：33）		平成21年度（選択肢数：40）		H12年度との 順位比較
1 位	公共下水道の整備	21.0%	桶川駅の整備	18.9%	新規
2 位	道路、交通の整備	20.1%	ゴミの減量化やリサイクルの推進	13.6%	↑
3 位	公園・緑地の整備	18.4%	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路の整備	13.5%	新規
4 位	市街地の整備	17.2%	公共下水道の整備	13.0%	↓
5 位	上水道の整備	11.5%	身近な生活道路の整備	11.4%	新規
6 位	スポーツ・レクリエーションの振興	8.5%	こども医療費の無料化の充実	10.0%	新規
7 位	ゴミの減量化やリサイクルの推進	8.1%	信号機など交通安全施設整備	9.4%	新規
8 位	生涯学習の振興	7.3%	公園・緑地の整備	9.0%	↓
9 位	消防、防災、防犯対策の充実	6.9%	市街地の整備	7.7%	↓
10 位	高齢者、障害者等の市民福祉の充実	5.9%	上水道の整備	7.2%	↓

注：平成 12 年度と平成 21 年度では、選択肢の数、文言が若干異なるため、正確な比較とはなりません。
（選択数はともに 3 つまで）

性別

ここ数年で良くなったものとして、最も多い回答は、男女ともに「桶川駅の整備」となっていますが、2番目に多い回答は、男性では「市内と周辺を結ぶ地域幹線道路の整備」、女性では「こども医療費の無料化の充実」と男女の違いが見られます。

全体的に、男性では、道路整備、住宅地整備、街並み・景観づくり、公園・緑地整備、農・工業の活性化など主に都市基盤整備にかかわるもの、女性では、交通安全施設整備、ゴミの減量化・リサイクル、高齢者支援、子育て支援、教育など、主に安心安全、環境、保健・福祉、教育にかかわるものへの評価が高くなっています。

注: 白文字 = 1位 黒文字 = 2位

	回答者数	土地利用の適正化	市街地の整備	桶川駅の整備	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路の整備	身近な生活道路の整備	上水道の整備	公共下水道の整備	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	自然環境の保全
全体	人数 1,356	16	104	256	183	155	97	176	25	45
	構成比	1.2%	7.7%	18.9%	13.5%	11.4%	7.2%	13.0%	1.8%	3.3%
男性	人数 557	8	53	101	97	66	46	77	14	24
	構成比	1.4%	9.5%	18.1%	17.4%	11.8%	8.3%	13.8%	2.5%	4.3%
女性	人数 758	8	46	152	82	85	49	95	10	20
	構成比	1.1%	6.1%	20.1%	10.8%	11.2%	6.5%	12.5%	1.3%	2.6%
無回答	人数 41	0	5	3	4	4	2	4	1	1
	構成比	0.0%	12.2%	7.3%	9.8%	9.8%	4.9%	9.8%	2.4%	2.4%

	良好な住宅地の整備	街並み・景観づくり	信号機など交通安全施設整備	公害防止対策	消防、防災、防犯対策の充実	公園・緑地の整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	保健や医療の充実	高齢者福祉サービスの充実	障がい者福祉サービスの充実
全体	人数 56	58	128	9	55	122	185	36	43	18
	構成比	4.1%	4.3%	9.4%	0.7%	4.1%	13.6%	2.7%	3.2%	1.3%
男性	人数 26	27	50	4	29	63	73	14	15	9
	構成比	4.7%	4.8%	9.0%	0.7%	5.2%	11.3%	2.5%	2.7%	1.6%
女性	人数 30	31	72	5	24	56	103	21	27	8
	構成比	4.0%	4.1%	9.5%	0.7%	3.2%	13.6%	2.8%	3.6%	1.1%
無回答	人数 0	0	6	0	2	3	9	1	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	14.6%	0.0%	4.9%	7.3%	22.0%	2.4%	2.4%

	出産・子育て支援サービスの充実	こども医療費の無料化の充実	女性の地位向上(男女共同参画)	情報提供の充実	国際交流の推進	ボランティア活動の支援育成	農業の振興	工業の活性化、企業誘致	地元商業の振興	雇用対策
全体	人数 56	135	21	42	3	22	13	12	12	4
	構成比	4.1%	10.0%	1.5%	3.1%	0.2%	1.6%	1.0%	0.9%	0.3%
男性	人数 17	28	12	19	1	7	6	9	3	3
	構成比	3.1%	5.0%	2.2%	3.4%	0.2%	1.3%	1.1%	0.5%	0.5%
女性	人数 37	105	9	22	1	15	6	2	8	1
	構成比	4.9%	13.9%	1.2%	2.9%	0.1%	2.0%	0.8%	1.1%	0.1%
無回答	人数 2	2	0	1	1	0	1	1	1	0
	構成比	4.9%	4.9%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%

	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	観光振興	スポーツ・レクリエーションの振興	学校教育の充実	生涯学習の振興	地域文化の振興	広域行政の推進	公共施設の市町村の相互利用の推進	行政のスリム化
全体	人数 50	36	24	19	20	19	4	15	10
	構成比	3.7%	2.7%	1.8%	1.4%	1.5%	0.3%	1.1%	0.7%
男性	人数 19	14	11	6	6	8	3	9	7
	構成比	3.4%	2.5%	2.0%	1.1%	1.1%	0.5%	1.6%	1.3%
女性	人数 31	21	13	13	11	10	1	5	3
	構成比	4.1%	2.8%	1.7%	1.7%	1.5%	0.1%	0.7%	0.4%
無回答	人数 0	1	0	0	3	1	0	1	0
	構成比	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	7.3%	2.4%	0.0%	0.0%

	その他	特にない	無回答
全体	人数 15	205	280
	構成比	1.1%	15.1%
男性	人数 5	93	99
	構成比	0.9%	16.7%
女性	人数 10	108	165
	構成比	1.3%	14.2%
無回答	人数 0	4	16
	構成比	0.0%	9.8%

年齢別

ここ数年で良くなったものとして、最も多い回答は、30歳～40歳代では「こども医療費の無料化の充実」、70歳以上では「公共下水道の整備」、それ以外では「桶川駅の整備」となっています。

その他、50歳以上では「桶川駅の整備」「上水道の整備」「公共下水道の整備」「公園・緑地の整備」という都市基盤・公共施設の整備を挙げた人の割合が、それ以外の年代と比較して高くなっています。

		注：白文字＝1位 黒文字＝2位									
回答者数		土地利用の適正化	市街地の整備	桶川駅の整備	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路の整備	身近な生活道路の整備	上水道の整備	公共下水道の整備	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	自然環境の保全	
全体	人数	1,356	16	104	256	183	155	97	176	25	45
	構成比		1.2%	7.7%	18.9%	13.5%	11.4%	7.2%	13.0%	1.8%	3.3%
18～29歳	人数	106	0	10	21	12	9	3	2	0	4
	構成比		0.0%	9.4%	19.8%	11.3%	8.5%	2.8%	1.9%	0.0%	3.8%
30～39歳	人数	213	3	16	26	35	26	5	12	1	4
	構成比		1.4%	7.5%	12.2%	16.4%	12.2%	2.3%	5.6%	0.5%	1.9%
40～49歳	人数	201	4	15	30	22	23	5	18	2	11
	構成比		2.0%	7.5%	14.9%	10.9%	11.4%	2.5%	9.0%	1.0%	5.5%
50～59歳	人数	237	3	25	51	41	27	22	37	6	6
	構成比		1.3%	10.5%	21.5%	17.3%	11.4%	9.3%	15.6%	2.5%	2.5%
60～69歳	人数	345	5	21	86	47	44	29	63	9	15
	構成比		1.4%	6.1%	24.9%	13.6%	12.8%	8.4%	18.3%	2.6%	4.3%
70歳以上	人数	224	1	15	39	23	22	31	40	7	5
	構成比		0.4%	6.7%	17.4%	10.3%	9.8%	13.8%	17.9%	3.1%	2.2%
無回答	人数	30	0	2	3	3	4	2	4	0	0
	構成比		0.0%	6.7%	10.0%	10.0%	13.3%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%

	良好な住宅地の整備	街並み・景観づくり	信号機など交通安全施設整備	公害防止対策	消防、防災、防犯対策の充実	公園・緑地の整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	保健や医療の充実	高齢者福祉サービスの充実	障がい者福祉サービスの充実
全体	人数 56 4.1%	58 4.3%	128 9.4%	9 0.7%	55 4.1%	122 9.0%	185 13.6%	36 2.7%	43 3.2%	18 1.3%
18～29歳	人数 7 6.6%	5 4.7%	5 4.7%	1 0.9%	6 5.7%	8 7.5%	7 6.6%	6 5.7%	0 0.0%	0 0.0%
30～39歳	人数 8 3.8%	7 3.3%	20 9.4%	0 0.0%	7 3.3%	16 7.5%	24 11.3%	2 0.9%	2 0.9%	1 0.5%
40～49歳	人数 10 5.0%	17 8.5%	17 8.5%	3 1.5%	5 2.5%	13 6.5%	25 12.4%	5 2.5%	5 2.5%	2 1.0%
50～59歳	人数 11 4.6%	10 4.2%	22 9.3%	2 0.8%	7 3.0%	22 9.3%	33 13.9%	7 3.0%	7 3.0%	2 0.8%
60～69歳	人数 18 5.2%	14 4.1%	38 11.0%	2 0.6%	19 5.5%	37 10.7%	56 16.2%	8 2.3%	13 3.8%	7 2.0%
70歳以上	人数 2 0.9%	5 2.2%	22 9.8%	1 0.4%	9 4.0%	24 10.7%	33 14.7%	7 3.1%	15 6.7%	5 2.2%
無回答	人数 0 0.0%	0 0.0%	4 13.3%	0 0.0%	2 6.7%	2 6.7%	7 23.3%	1 3.3%	1 3.3%	1 3.3%

	出産・子育て支援サービスの充実	こども医療費の無料化の充実	女性の地位向上(男女共同参画)	情報提供の充実	国際交流の推進	ボランティア活動の支援育成	農業の振興	工業の活性化、企業誘致	地元商業の振興	雇用対策
全体	人数 56 4.1%	135 10.0%	21 1.5%	42 3.1%	3 0.2%	22 1.6%	13 1.0%	12 0.9%	12 0.9%	4 0.3%
18～29歳	人数 4 3.8%	5 4.7%	0 0.0%	7 6.6%	1 0.9%	0 0.0%	3 2.8%	0 0.0%	3 2.8%	1 0.9%
30～39歳	人数 10 4.7%	37 17.4%	1 0.5%	5 2.3%	0 0.0%	2 0.9%	3 1.4%	2 0.9%	2 0.9%	0 0.0%
40～49歳	人数 13 6.5%	35 17.4%	3 1.5%	9 4.5%	0 0.0%	3 1.5%	2 1.0%	4 2.0%	2 1.0%	0 0.0%
50～59歳	人数 7 3.0%	15 6.3%	2 0.8%	3 1.3%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	2 0.8%	0 0.0%	0 0.0%
60～69歳	人数 10 2.9%	27 7.8%	8 2.3%	15 4.3%	1 0.3%	11 3.2%	0 0.0%	1 0.3%	4 1.2%	2 0.6%
70歳以上	人数 10 4.5%	15 6.7%	7 3.1%	3 1.3%	0 0.0%	5 2.2%	3 1.3%	3 1.3%	0 0.0%	1 0.4%
無回答	人数 2 6.7%	1 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	0 0.0%	1 3.3%	0 0.0%	1 3.3%	0 0.0%

注： 白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		桶川駅周辺の中心市街地の活性化	観光振興	スポーツ・レクリエーションの振興	学校教育の充実	生涯学習の振興	地域文化の振興	広域行政の推進	公共施設の市町村の相互利用の推進	行政のスリム化
全体	人数	50	36	24	19	20	19	4	15	10
	構成比	3.7%	2.7%	1.8%	1.4%	1.5%	1.4%	0.3%	1.1%	0.7%
18～29歳	人数	8	6	0	2	0	1	0	2	2
	構成比	7.5%	5.7%	0.0%	1.9%	0.0%	0.9%	0.0%	1.9%	1.9%
30～39歳	人数	3	5	2	1	0	3	3	1	1
	構成比	1.4%	2.3%	0.9%	0.5%	0.0%	1.4%	1.4%	0.5%	0.5%
40～49歳	人数	7	6	2	6	1	2	0	1	2
	構成比	3.5%	3.0%	1.0%	3.0%	0.5%	1.0%	0.0%	0.5%	1.0%
50～59歳	人数	11	8	6	2	5	4	1	3	0
	構成比	4.6%	3.4%	2.5%	0.8%	2.1%	1.7%	0.4%	1.3%	0.0%
60～69歳	人数	14	8	7	4	7	5	0	4	3
	構成比	4.1%	2.3%	2.0%	1.2%	2.0%	1.4%	0.0%	1.2%	0.9%
70歳以上	人数	6	1	7	4	5	3	0	3	2
	構成比	2.7%	0.4%	3.1%	1.8%	2.2%	1.3%	0.0%	1.3%	0.9%
無回答	人数	1	2	0	0	2	1	0	1	0
	構成比	3.3%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%

		その他	特にない	無回答
全体	人数	15	205	280
	構成比	1.1%	15.1%	20.6%
18～29歳	人数	1	30	17
	構成比	0.9%	28.3%	16.0%
30～39歳	人数	3	58	32
	構成比	1.4%	27.2%	15.0%
40～49歳	人数	4	38	30
	構成比	2.0%	18.9%	14.9%
50～59歳	人数	5	35	47
	構成比	2.1%	14.8%	19.8%
60～69歳	人数	2	27	72
	構成比	0.6%	7.8%	20.9%
70歳以上	人数	0	14	72
	構成比	0.0%	6.3%	32.1%
無回答	人数	0	3	10
	構成比	0.0%	10.0%	33.3%

居住地区別

ここ数年で良くなったものとして、最も多い回答は、旧加納村地区では「身近な生活道路の整備」、それ以外の地区では「桶川駅の整備」、2番目に多い回答は旧桶川東地区・上下日出谷地区地区では「ゴミの減量化やリサイクルの推進」、その他の地区では「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路の整備」となっています。その他、以下の通り地区ごとの特徴が見られます。

- ① 旧桶川東地区：「上水道の整備」（9.1%）
- ② 旧桶川西地区：「桶川駅の整備」（25.8%）「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路の整備」（17.5%）
- ③ 上下日出谷地区：「桶川駅の整備」（23.4%）
- ④ 旧加納村地区：「身近な生活道路の整備」（17.6%）「信号 機など交通安全施設整備」（15.1%）「公園・緑地の整備」「子ども医療費の無料化の充実」（13.0%）「市街地の整備」（11.3%）
- ⑤ 川田谷地区：「子ども医療費の無料化の充実」（13.2%）

注：各地区内の順位ではなく、他地区と比較して相対的に割合が高いものを挙げています。

			注: 白文字 =1位 黒文字 =2位								
		回答者数	土地利用の適正化	市街地の整備	桶川駅の整備	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路の整備	身近な生活道路の整備	上水道の整備	公共下水道の整備	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	自然環境の保全
全体	人数	1,356	16	104	256	183	155	97	176	25	45
	構成比		1.2%	7.7%	18.9%	13.5%	11.4%	7.2%	13.0%	1.8%	3.3%
旧桶川東地区	人数	451	5	28	73	51	32	41	59	9	11
	構成比		1.1%	6.2%	16.2%	11.3%	7.1%	9.1%	13.1%	2.0%	2.4%
旧桶川西地区	人数	326	4	21	84	57	42	27	45	4	11
	構成比		1.2%	6.4%	25.8%	17.5%	12.9%	8.3%	13.8%	1.2%	3.4%
上下日出谷地区	人数	218	3	18	51	30	25	10	29	3	10
	構成比		1.4%	8.3%	23.4%	13.8%	11.5%	4.6%	13.3%	1.4%	4.6%
旧加納村地区	人数	238	1	27	27	28	42	15	35	6	9
	構成比		0.4%	11.3%	11.3%	11.8%	17.6%	6.3%	14.7%	2.5%	3.8%
川田谷地区	人数	76	3	7	14	11	6	1	0	2	3
	構成比		3.9%	9.2%	18.4%	14.5%	7.9%	1.3%	0.0%	2.6%	3.9%
無回答	人数	47	0	3	7	6	8	3	8	1	1
	構成比		0.0%	6.4%	14.9%	12.8%	17.0%	6.4%	17.0%	2.1%	2.1%

		良好な住宅地の整備	街並み・景観づくり	信号機など交通安全施設整備	公害防止対策	消防、防災、防犯対策の充実	公園・緑地の整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	保健や医療の充実	高齢者福祉サービスの充実	障がい者福祉サービスの充実
全体	人数	56	58	128	9	55	122	185	36	43	18
	構成比	4.1%	4.3%	9.4%	0.7%	4.1%	9.0%	13.6%	2.7%	3.2%	1.3%
旧桶川東地区	人数	13	14	38	1	20	27	62	12	21	5
	構成比	2.9%	3.1%	8.4%	0.2%	4.4%	6.0%	13.7%	2.7%	4.7%	1.1%
旧桶川西地区	人数	13	25	23	2	10	34	41	10	9	7
	構成比	4.0%	7.7%	7.1%	0.6%	3.1%	10.4%	12.6%	3.1%	2.8%	2.1%
上下日出谷地区	人数	8	9	15	1	4	21	30	6	3	1
	構成比	3.7%	4.1%	6.9%	0.5%	1.8%	9.6%	13.8%	2.8%	1.4%	0.5%
旧加納村地区	人数	17	7	36	5	13	31	35	6	6	3
	構成比	7.1%	2.9%	15.1%	2.1%	5.5%	13.0%	14.7%	2.5%	2.5%	1.3%
川田谷地区	人数	3	2	9	0	6	6	9	0	3	0
	構成比	3.9%	2.6%	11.8%	0.0%	7.9%	7.9%	11.8%	0.0%	3.9%	0.0%
無回答	人数	2	1	7	0	2	3	8	2	1	2
	構成比	4.3%	2.1%	14.9%	0.0%	4.3%	6.4%	17.0%	4.3%	2.1%	4.3%

		出産・子育て支援サービスの充実	こども医療費の無料化の充実	女性の地位向上(男女共同参画)	情報提供の充実	国際交流の推進	ボランティア活動の支援育成	農業の振興	工業の活性化、企業誘致	地元商業の振興	雇用対策
全体	人数	56	135	21	42	3	22	13	12	12	4
	構成比	4.1%	10.0%	1.5%	3.1%	0.2%	1.6%	1.0%	0.9%	0.9%	0.3%
旧桶川東地区	人数	10	33	7	21	1	8	4	2	5	2
	構成比	2.2%	7.3%	1.6%	4.7%	0.2%	1.8%	0.9%	0.4%	1.1%	0.4%
旧桶川西地区	人数	14	29	5	4	0	5	2	4	2	0
	構成比	4.3%	8.9%	1.5%	1.2%	0.0%	1.5%	0.6%	1.2%	0.6%	0.0%
上下日出谷地区	人数	12	28	2	5	1	4	1	0	2	1
	構成比	5.5%	12.8%	0.9%	2.3%	0.5%	1.8%	0.5%	0.0%	0.9%	0.5%
旧加納村地区	人数	14	31	6	8	0	5	4	5	2	1
	構成比	5.9%	13.0%	2.5%	3.4%	0.0%	2.1%	1.7%	2.1%	0.8%	0.4%
川田谷地区	人数	3	10	1	4	0	0	1	1	0	0
	構成比	3.9%	13.2%	1.3%	5.3%	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%
無回答	人数	3	4	0	0	1	0	1	0	1	0
	構成比	6.4%	8.5%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	2.1%	0.0%	2.1%	0.0%

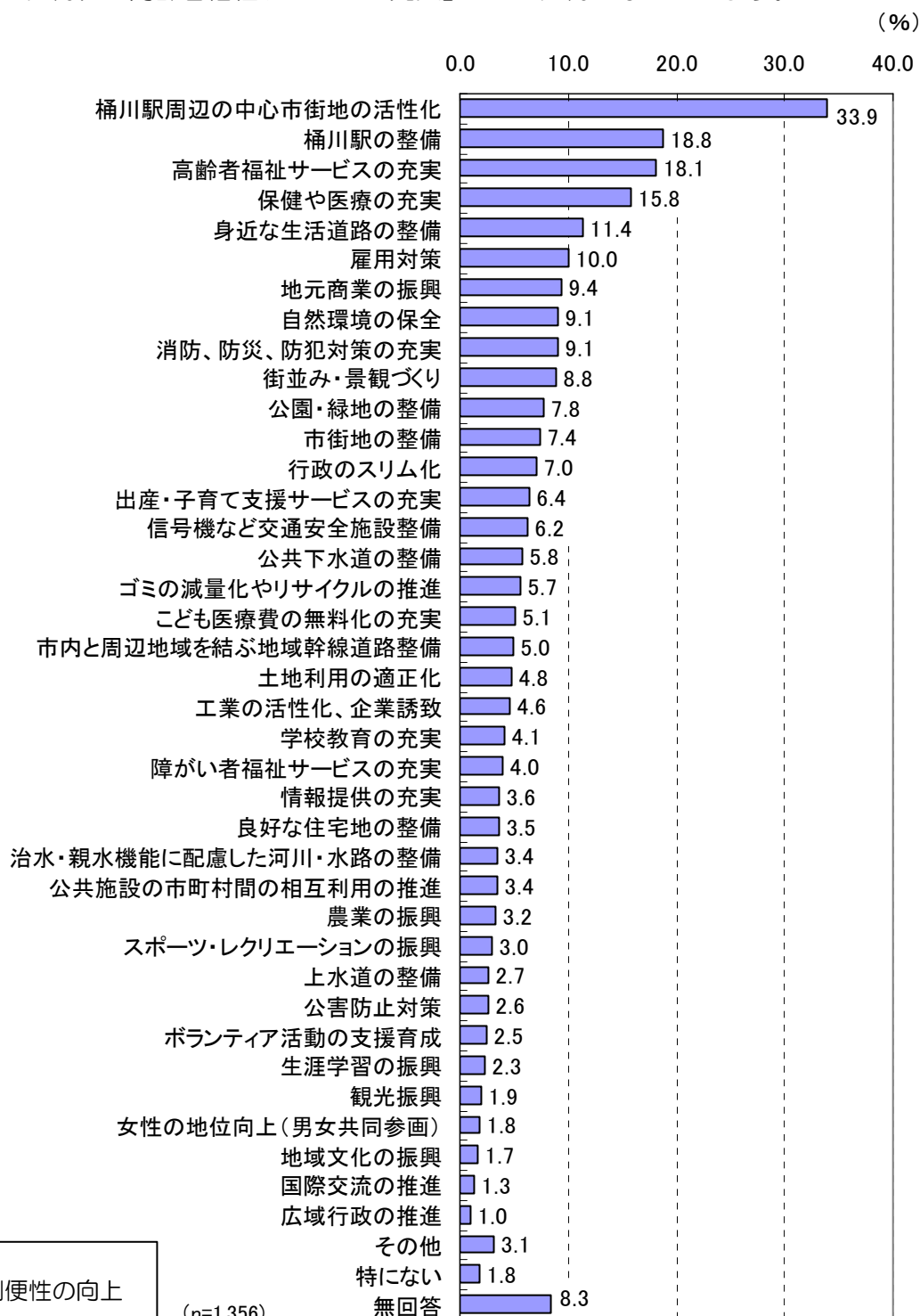
		桶川駅周辺の中心市街地の活性化	観光振興	スポーツ・レクリエーションの振興	学校教育の充実	生涯学習の振興	地域文化の振興	広域行政の推進	公共施設の市町村の相互利用の推進	行政のスリム化
全体	人数	50	36	24	19	20	19	4	15	10
	構成比	3.7%	2.7%	1.8%	1.4%	1.5%	1.4%	0.3%	1.1%	0.7%
旧桶川東地区	人数	17	17	9	8	6	8	1	7	5
	構成比	3.8%	3.8%	2.0%	1.8%	1.3%	1.8%	0.2%	1.6%	1.1%
旧桶川西地区	人数	14	5	7	5	4	4	0	2	1
	構成比	4.3%	1.5%	2.1%	1.5%	1.2%	1.2%	0.0%	0.6%	0.3%
上下日出谷地区	人数	6	3	5	1	3	1	1	2	1
	構成比	2.8%	1.4%	2.3%	0.5%	1.4%	0.5%	0.5%	0.9%	0.5%
旧加納村地区	人数	8	10	2	4	2	4	2	3	2
	構成比	3.4%	4.2%	0.8%	1.7%	0.8%	1.7%	0.8%	1.3%	0.8%
川田谷地区	人数	5	0	0	0	3	1	0	0	1
	構成比	6.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	1.3%	0.0%	0.0%	1.3%
無回答	人数	0	1	1	1	2	1	0	1	0
	構成比	0.0%	2.1%	2.1%	2.1%	4.3%	2.1%	0.0%	2.1%	0.0%

		その他	特にない	無回答
全体	人数	15	205	280
	構成比	1.1%	15.1%	20.6%
旧桶川東地区	人数	4	80	107
	構成比	0.9%	17.7%	23.7%
旧桶川西地区	人数	4	44	58
	構成比	1.2%	13.5%	17.8%
上下日出谷地区	人数	6	34	46
	構成比	2.8%	15.6%	21.1%
旧加納村地区	人数	0	32	36
	構成比	0.0%	13.4%	15.1%
川田谷地区	人数	1	9	21
	構成比	1.3%	11.8%	27.6%
無回答	人数	0	6	12
	構成比	0.0%	12.8%	25.5%

問3-イ 力をいれてほしいもの

全 体

「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」と答えた人の割合が33.9%と最も高く、次いで「桶川駅の整備」が18.8%、「高齢者福祉サービスの充実」が18.1%となっています。



【その他の主な意見】

- バス等交通機関の利便性の向上
- 街灯の設置
- 保育園・子育ての場の充実
- 買い物ができる場所の充実など

●経年比較

今後、市政において力を入れて欲しいものは、平成 12 年度では、第 1 位～3 位は「道路、交通の整備」「高齢者、障害者等の市民福祉の充実」「保健や医療の充実」であったのが、平成 21 年度では、「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」（新規選択肢）「桶川駅の整備」「高齢者福祉サービスの充実」（新規選択肢）となっており、高齢者福祉については 10 年前と変わらずニーズが高く、その他桶川駅周辺の活性化や駅の整備のニーズが高くなっています。

その他、「地元商業の振興」は、平成 12 年度では 10 位外であったのが、平成 21 年度では順位・割合とも上がって 7 位（9.4%）となっており、要望が大きくなっています。

また、平成 21 年度では「身近な生活道路」「雇用対策」「街並み・景観づくり」の新規項目が上位 10 位に入るなど、全体として 10 年前とは異なる結果となっています。

	平成12年度(選択肢数：33)		平成21年度(選択肢数：40)		H12年度との 順位比較
1 位	道路、交通の整備	24.2%	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	33.9%	新規
2 位	高齢者、障害者等の市民福祉の充実	23.6%	桶川駅の整備	18.8%	新規
3 位	保健や医療の充実	19.7%	高齢者福祉サービスの充実	18.1%	—
4 位	ゴミの減量化やリサイクルの推進	18.5%	保健や医療の充実	15.8%	↓
5 位	自然環境の保全	14.6%	身近な生活道路の整備	11.4%	新規
6 位	公共下水道の整備	14.4%	雇用対策	10.0%	新規
7 位	市街地の整備	11.9%	地元商業の振興	9.4%	↑
8 位	消防、防災、防犯対策の充実	10.5%	自然環境の保全	9.1%	↓
9 位	行財政の改革	10.4%	消防、防災、防犯対策の充実	9.1%	↓
10位	公園・緑地の整備	9.7%	街並み・景観づくり	8.8%	新規

注：平成 12 年度と平成 21 年度では、選択肢の数、文言が若干異なるため、正確な比較とはなりません。
(選択数はともに 3 つまで)

注 2：平成 21 年度「高齢者福祉サービスの充実」については、平成 12 年度の選択肢「高齢者、障害者等の市民福祉の充実」と内容が完全には一致せず比較不可能なことから、「—」と記載しています。

性別

今後、市政において力を入れて欲しいものとして、最も多い回答は、男女ともに「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」となっていますが、2番目に多い回答は、男性では「桶川駅の整備」、女性では「高齢者福祉サービスの充実」となっています。

全体的に、男性では、桶川駅の整備、道路整備、住宅地整備、工業の活性化など、都市基盤整備にかかわるもの、女性では、安全施設整備、消防・防災・防犯対策、保健・医療や高齢者サービス、子育て支援や教育など、安心安全、保健・福祉、子育て・教育にかかわるものへのニーズが高くなっています。

		回答者数	土地利用の 適正化	市街地の整 備	桶川駅の整 備	注： 白文字 =1位		黒文字 =2位		自然環境の 保全	
						市内と周辺 地域を結ぶ 地域幹線道 路の整備	身近な生活 道路の整備	上水道の整 備	公共下水道 の整備		治水・親水 機能に配慮 した河川・ 水路の整備
全体	人数	1,356	65	101	255	68	155	36	79	46	123
	構成比		4.8%	7.4%	18.8%	5.0%	11.4%	2.7%	5.8%	3.4%	9.1%
男性	人数	557	24	54	122	41	68	12	38	23	53
	構成比		4.3%	9.7%	21.9%	7.4%	12.2%	2.2%	6.8%	4.1%	9.5%
女性	人数	758	40	43	123	26	82	23	39	22	68
	構成比		5.3%	5.7%	16.2%	3.4%	10.8%	3.0%	5.1%	2.9%	9.0%
無回答	人数	41	1	4	10	1	5	1	2	1	2
	構成比		2.4%	9.8%	24.4%	2.4%	12.2%	2.4%	4.9%	2.4%	4.9%

		良好な住宅 地の整備	街並み・景 観づくり	信号機など 交通安全施 設整備	公害防止対 策	消防、防 災、防犯対 策の充実	公園・緑地 の整備	ゴミの減量 化やリサイ クルの推進	保健や医療 の充実	高齢者福祉 サービスの 充実	障がい者福 祉サービスの 充実
全体	人数	48	120	84	35	123	106	77	214	246	54
	構成比	3.5%	8.8%	6.2%	2.6%	9.1%	7.8%	5.7%	15.8%	18.1%	4.0%
男性	人数	26	55	33	14	48	42	28	78	89	29
	構成比	4.7%	9.9%	5.9%	2.5%	8.6%	7.5%	5.0%	14.0%	16.0%	5.2%
女性	人数	22	63	50	20	73	63	48	133	146	24
	構成比	2.9%	8.3%	6.6%	2.6%	9.6%	8.3%	6.3%	17.5%	19.3%	3.2%
無回答	人数	0	2	1	1	2	1	1	3	11	1
	構成比	0.0%	4.9%	2.4%	2.4%	4.9%	2.4%	2.4%	7.3%	26.8%	2.4%

		出産・子育て支援サービスの充実	こども医療費の無料化の充実	女性の地位向上（男女共同参画）	情報提供の充実	国際交流の推進	ボランティア活動の支援育成	農業の振興	工業の活性化、企業誘致	地元商業の振興	雇用対策
全体	人数	87	69	24	49	17	34	44	63	127	136
	構成比	6.4%	5.1%	1.8%	3.6%	1.3%	2.5%	3.2%	4.6%	9.4%	10.0%
男性	人数	23	20	3	21	8	9	17	37	53	52
	構成比	4.1%	3.6%	0.5%	3.8%	1.4%	1.6%	3.1%	6.6%	9.5%	9.3%
女性	人数	64	47	21	28	9	25	26	24	71	79
	構成比	8.4%	6.2%	2.8%	3.7%	1.2%	3.3%	3.4%	3.2%	9.4%	10.4%
無回答	人数	0	2	0	0	0	0	1	2	3	5
	構成比	0.0%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	4.9%	7.3%	12.2%

		桶川駅周辺の 中心市街地 の活性化	観光振興	スポーツ・ レクリエー ションの振 興	学校教育の 充実	生涯学習の 振興	地域文化の 振興	広域行政の 推進	公共施設の 市町村の相 互利用の推 進	行政のスリ ム化
全体	人数	460	26	41	56	31	23	14	46	95
	構成比	33.9%	1.9%	3.0%	4.1%	2.3%	1.7%	1.0%	3.4%	7.0%
男性	人数	210	10	23	10	11	9	9	18	48
	構成比	37.7%	1.8%	4.1%	1.8%	2.0%	1.6%	1.6%	3.2%	8.6%
女性	人数	239	15	18	44	20	14	5	27	45
	構成比	31.5%	2.0%	2.4%	5.8%	2.6%	1.8%	0.7%	3.6%	5.9%
無回答	人数	11	1	0	2	0	0	0	1	2
	構成比	26.8%	2.4%	0.0%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	4.9%

		その他	特になし	無回答
全体	人数 構成比	42 3.1%	25 1.8%	113 8.3%
	人数 構成比	14 2.5%	11 2.0%	34 6.1%
女性	人数 構成比	27 3.6%	13 1.7%	66 8.7%
	人数 構成比	1 2.4%	1 2.4%	13 31.7%

年齢別

今後、市政において力を入れて欲しいものとして、最も多い回答は、全ての年代で「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」、2番目に多い回答は、20歳代・40歳代では「桶川駅の整備」、30歳代では「出産・子育て支援サービスの充実」、50歳以上では「高齢者福祉サービスの充実」となっています。

その他、20歳代では「市街地の整備」「身近な生活道路の整備」「街並み・景観づくり」「公園・緑地の整備」、30歳代では「街並み・景観づくり」「消防、防災、防犯対策の充実」、40歳代では「雇用対策」、70歳以上では「保健や医療の充実」「地元商業の振興」と答えた人の割合が他の年代と比較して高くなっています。

注：白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		回答者数	土地利用の適正化	市街地の整備	桶川駅の整備	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路の整備	身近な生活道路の整備	上水道の整備	公共下水道の整備	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	自然環境の保全
全体	人数	1,356	65	101	255	68	155	36	79	46	123
	構成比		4.8%	7.4%	18.8%	5.0%	11.4%	2.7%	5.8%	3.4%	9.1%
18～29歳	人数	106	4	11	26	8	16	3	0	3	9
	構成比		3.8%	10.4%	24.5%	7.5%	15.1%	2.8%	0.0%	2.8%	8.5%
30～39歳	人数	213	12	20	37	15	31	3	6	7	18
	構成比		5.6%	9.4%	17.4%	7.0%	14.6%	1.4%	2.8%	3.3%	8.5%
40～49歳	人数	201	7	15	42	12	22	6	10	4	22
	構成比		3.5%	7.5%	20.9%	6.0%	10.9%	3.0%	5.0%	2.0%	10.9%
50～59歳	人数	237	13	17	48	6	26	10	14	7	28
	構成比		5.5%	7.2%	20.3%	2.5%	11.0%	4.2%	5.9%	3.0%	11.8%
60～69歳	人数	345	14	20	55	15	33	9	29	18	34
	構成比		4.1%	5.8%	15.9%	4.3%	9.6%	2.6%	8.4%	5.2%	9.9%
70歳以上	人数	224	13	13	40	10	23	3	19	6	9
	構成比		5.8%	5.8%	17.9%	4.5%	10.3%	1.3%	8.5%	2.7%	4.0%
無回答	人数	30	2	5	7	2	4	2	1	1	3
	構成比		6.7%	16.7%	23.3%	6.7%	13.3%	6.7%	3.3%	3.3%	10.0%

		良好な住宅地の整備	街並み・景観づくり	信号機など交通安全施設整備	公害防止対策	消防、防災、防犯対策の充実	公園・緑地の整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	保健や医療の充実	高齢者福祉サービスの充実	障がい者福祉サービスの充実
全体	人数	48	120	84	35	123	106	77	214	246	54
	構成比	3.5%	8.8%	6.2%	2.6%	9.1%	7.8%	5.7%	15.8%	18.1%	4.0%
18～29歳	人数	10	13	10	2	10	18	6	12	5	1
	構成比	9.4%	12.3%	9.4%	1.9%	9.4%	17.0%	5.7%	11.3%	4.7%	0.9%
30～39歳	人数	10	26	21	3	25	29	13	34	17	6
	構成比	4.7%	12.2%	9.9%	1.4%	11.7%	13.6%	6.1%	16.0%	8.0%	2.8%
40～49歳	人数	6	19	14	6	17	14	14	33	16	10
	構成比	3.0%	9.5%	7.0%	3.0%	8.5%	7.0%	7.0%	16.4%	8.0%	5.0%
50～59歳	人数	7	16	10	5	23	16	14	39	52	14
	構成比	3.0%	6.8%	4.2%	2.1%	9.7%	6.8%	5.9%	16.5%	21.9%	5.9%
60～69歳	人数	9	29	19	9	28	20	19	55	95	19
	構成比	2.6%	8.4%	5.5%	2.6%	8.1%	5.8%	5.5%	15.9%	27.5%	5.5%
70歳以上	人数	6	16	10	9	19	8	10	39	55	4
	構成比	2.7%	7.1%	4.5%	4.0%	8.5%	3.6%	4.5%	17.4%	24.6%	1.8%
無回答	人数	0	1	0	1	1	1	1	2	6	0
	構成比	0.0%	3.3%	0.0%	3.3%	3.3%	3.3%	3.3%	6.7%	20.0%	0.0%

		出産・子育て支援サービスの充実	こども医療費の無料化の充実	女性の地位向上(男女共同参画)	情報提供の充実	国際交流の推進	ボランティア活動の支援育成	農業の振興	工業の活性化、企業誘致	地元商業の振興	雇用対策
全体	人数	87	69	24	49	17	34	44	63	127	136
	構成比	6.4%	5.1%	1.8%	3.6%	1.3%	2.5%	3.2%	4.6%	9.4%	10.0%
18～29歳	人数	13	9	0	4	0	1	4	1	4	9
	構成比	12.3%	8.5%	0.0%	3.8%	0.0%	0.9%	3.8%	0.9%	3.8%	8.5%
30～39歳	人数	38	16	8	5	3	2	4	8	19	23
	構成比	17.8%	7.5%	3.8%	2.3%	1.4%	0.9%	1.9%	3.8%	8.9%	10.8%
40～49歳	人数	6	18	7	9	6	6	8	5	19	29
	構成比	3.0%	9.0%	3.5%	4.5%	3.0%	3.0%	4.0%	2.5%	9.5%	14.4%
50～59歳	人数	6	5	5	10	4	12	7	17	19	28
	構成比	2.5%	2.1%	2.1%	4.2%	1.7%	5.1%	3.0%	7.2%	8.0%	11.8%
60～69歳	人数	15	11	3	13	3	8	17	18	37	36
	構成比	4.3%	3.2%	0.9%	3.8%	0.9%	2.3%	4.9%	5.2%	10.7%	10.4%
70歳以上	人数	9	9	1	8	1	5	4	12	27	7
	構成比	4.0%	4.0%	0.4%	3.6%	0.4%	2.2%	1.8%	5.4%	12.1%	3.1%
無回答	人数	0	1	0	0	0	0	0	2	2	4
	構成比	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	13.3%

		桶川駅周辺の中心市街地の活性化	観光振興	スポーツ・レクリエーションの振興	学校教育の充実	生涯学習の振興	地域文化の振興	広域行政の推進	公共施設の市町村の相互利用の推進	行政のスリム化
全体	人数	460	26	41	56	31	23	14	46	95
	構成比	33.9%	1.9%	3.0%	4.1%	2.3%	1.7%	1.0%	3.4%	7.0%
18～29歳	人数	41	2	7	5	2	2	1	1	4
	構成比	38.7%	1.9%	6.6%	4.7%	1.9%	1.9%	0.9%	0.9%	3.8%
30～39歳	人数	67	5	5	13	1	4	1	10	8
	構成比	31.5%	2.3%	2.3%	6.1%	0.5%	1.9%	0.5%	4.7%	3.8%
40～49歳	人数	71	5	7	17	4	4	3	4	15
	構成比	35.3%	2.5%	3.5%	8.5%	2.0%	2.0%	1.5%	2.0%	7.5%
50～59歳	人数	86	3	13	7	7	5	1	6	17
	構成比	36.3%	1.3%	5.5%	3.0%	3.0%	2.1%	0.4%	2.5%	7.2%
60～69歳	人数	113	6	8	6	12	7	6	11	33
	構成比	32.8%	1.7%	2.3%	1.7%	3.5%	2.0%	1.7%	3.2%	9.6%
70歳以上	人数	73	5	1	6	4	1	2	13	17
	構成比	32.6%	2.2%	0.4%	2.7%	1.8%	0.4%	0.9%	5.8%	7.6%
無回答	人数	9	0	0	2	1	0	0	1	1
	構成比	30.0%	0.0%	0.0%	6.7%	3.3%	0.0%	0.0%	3.3%	3.3%

		その他	特にない	無回答
全体	人数	42	25	113
	構成比	3.1%	1.8%	8.3%
18～29歳	人数	4	4	4
	構成比	3.8%	3.8%	3.8%
30～39歳	人数	8	0	8
	構成比	3.8%	0.0%	3.8%
40～49歳	人数	11	5	6
	構成比	5.5%	2.5%	3.0%
50～59歳	人数	3	4	13
	構成比	1.3%	1.7%	5.5%
60～69歳	人数	10	5	33
	構成比	2.9%	1.4%	9.6%
70歳以上	人数	5	6	41
	構成比	2.2%	2.7%	18.3%
無回答	人数	1	1	8
	構成比	3.3%	3.3%	26.7%

居住地区別

今後、市政において力を入れて欲しいものとして、最も多い回答は、川田谷地区では「高齢者福祉サービスの充実」、それ以外の地区では「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」となっており、地区ごとの特徴は以下の通りとなっています。

- ① 旧桶川東地区：「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」（43.5%）「桶川駅の整備」（27.3%）
「身近な生活道路の整備」（13.5%）「公園・緑地の整備」（10.9%）
- ② 旧桶川西地区：「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」（32.8%）「保健や医療の充実」（22.1%）「消防、防災、防犯対策の充実」（14.7%）
- ③ 上下日出谷地区：「保健や医療の充実」（17.9%）「出産・子育て支援サービスの充実」（10.1%）
- ④ 旧加納村地区：「地元商業の振興」（10.5%）
- ⑤ 川田谷地区：「公共下水道の整備」（19.7%）「信号機など交通安全施設整備」（13.2%）
「上水道の整備」（6.6%）

注：各地区内の順位ではなく、他地区と比較して相対的に割合が高いものを挙げています。

注：							白文字	=1位	黒文字	=2位	
		回答者数	土地利用の 適正化	市街地の整 備	桶川駅の整 備	市内と周辺 地域を結ぶ 地域幹線道 路の整備	身近な生活 道路の整備	上水道の整 備	公共下水道 の整備	治水・親水 機能に配慮 した河川・ 水路の整備	自然環境の 保全
全体	人数	1,356	65	101	255	68	155	36	79	46	123
	構成比		4.8%	7.4%	18.8%	5.0%	11.4%	2.7%	5.8%	3.4%	9.1%
旧桶川東地 区	人数	451	20	42	123	17	61	10	18	14	38
	構成比		4.4%	9.3%	27.3%	3.8%	13.5%	2.2%	4.0%	3.1%	8.4%
旧桶川西地 区	人数	326	14	17	42	11	21	4	4	9	25
	構成比		4.3%	5.2%	12.9%	3.4%	6.4%	1.2%	1.2%	2.8%	7.7%
上下日出谷 地区	人数	218	12	14	24	14	25	4	12	11	26
	構成比		5.5%	6.4%	11.0%	6.4%	11.5%	1.8%	5.5%	5.0%	11.9%
旧加納村地 区	人数	238	14	21	55	19	29	11	28	5	24
	構成比		5.9%	8.8%	23.1%	8.0%	12.2%	4.6%	11.8%	2.1%	10.1%
川田谷地区	人数	76	2	1	3	4	10	5	15	6	5
	構成比		2.6%	1.3%	3.9%	5.3%	13.2%	6.6%	19.7%	7.9%	6.6%
無回答	人数	47	3	6	8	3	9	2	2	1	5
	構成比		6.4%	12.8%	17.0%	6.4%	19.1%	4.3%	4.3%	2.1%	10.6%

		良好な住宅地の整備	街並み・景観づくり	信号機など交通安全施設整備	公害防止対策	消防、防災、防犯対策の充実	公園・緑地の整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	保健や医療の充実	高齢者福祉サービスの充実	障がい者福祉サービスの充実
全体	人数	48	120	84	35	123	106	77	214	246	54
	構成比	3.5%	8.8%	6.2%	2.6%	9.1%	7.8%	5.7%	15.8%	18.1%	4.0%
旧桶川東地区	人数	16	41	18	6	31	49	32	52	69	14
	構成比	3.5%	9.1%	4.0%	1.3%	6.9%	10.9%	7.1%	11.5%	15.3%	3.1%
旧桶川西地区	人数	11	35	19	8	48	21	20	72	67	17
	構成比	3.4%	10.7%	5.8%	2.5%	14.7%	6.4%	6.1%	22.1%	20.6%	5.2%
上下日出谷地区	人数	9	18	19	7	15	13	13	39	37	8
	構成比	4.1%	8.3%	8.7%	3.2%	6.9%	6.0%	6.0%	17.9%	17.0%	3.7%
旧加納村地区	人数	8	19	17	9	23	16	10	35	43	6
	構成比	3.4%	8.0%	7.1%	3.8%	9.7%	6.7%	4.2%	14.7%	18.1%	2.5%
川田谷地区	人数	4	5	10	3	2	2	1	12	20	7
	構成比	5.3%	6.6%	13.2%	3.9%	2.6%	2.6%	1.3%	15.8%	26.3%	9.2%
無回答	人数	0	2	1	2	4	5	1	4	10	2
	構成比	0.0%	4.3%	2.1%	4.3%	8.5%	10.6%	2.1%	8.5%	21.3%	4.3%

		出産・子育て支援サービスの充実	こども医療費の無料化の充実	女性の地位向上(男女共同参画)	情報提供の充実	国際交流の推進	ボランティア活動の支援育成	農業の振興	工業の活性化、企業誘致	地元商業の振興	雇用対策
全体	人数	87	69	24	49	17	34	44	63	127	136
	構成比	6.4%	5.1%	1.8%	3.6%	1.3%	2.5%	3.2%	4.6%	9.4%	10.0%
旧桶川東地区	人数	28	19	6	17	4	11	11	16	46	36
	構成比	6.2%	4.2%	1.3%	3.8%	0.9%	2.4%	2.4%	3.5%	10.2%	8.0%
旧桶川西地区	人数	20	14	11	15	4	9	15	18	32	37
	構成比	6.1%	4.3%	3.4%	4.6%	1.2%	2.8%	4.6%	5.5%	9.8%	11.3%
上下日出谷地区	人数	22	14	3	8	4	5	9	12	16	28
	構成比	10.1%	6.4%	1.4%	3.7%	1.8%	2.3%	4.1%	5.5%	7.3%	12.8%
旧加納村地区	人数	14	14	2	7	3	7	5	11	25	22
	構成比	5.9%	5.9%	0.8%	2.9%	1.3%	2.9%	2.1%	4.6%	10.5%	9.2%
川田谷地区	人数	2	6	1	2	2	1	3	4	5	8
	構成比	2.6%	7.9%	1.3%	2.6%	2.6%	1.3%	3.9%	5.3%	6.6%	10.5%
無回答	人数	1	2	1	0	0	1	1	2	3	5
	構成比	2.1%	4.3%	2.1%	0.0%	0.0%	2.1%	2.1%	4.3%	6.4%	10.6%

		桶川駅周辺の中心市街地の活性化	観光振興	スポーツ・レクリエーションの振興	学校教育の充実	生涯学習の振興	地域文化の振興	広域行政の推進	公共施設の市町村の相互利用の推進	行政のスリム化
全体	人数	460	26	41	56	31	23	14	46	95
	構成比	33.9%	1.9%	3.0%	4.1%	2.3%	1.7%	1.0%	3.4%	7.0%
旧桶川東地区	人数	196	13	15	15	10	7	4	12	30
	構成比	43.5%	2.9%	3.3%	3.3%	2.2%	1.6%	0.9%	2.7%	6.7%
旧桶川西地区	人数	107	6	7	13	8	10	4	13	34
	構成比	32.8%	1.8%	2.1%	4.0%	2.5%	3.1%	1.2%	4.0%	10.4%
上下日出谷地区	人数	51	1	11	14	2	2	3	6	15
	構成比	23.4%	0.5%	5.0%	6.4%	0.9%	0.9%	1.4%	2.8%	6.9%
旧加納村地区	人数	79	4	6	8	9	3	2	11	11
	構成比	33.2%	1.7%	2.5%	3.4%	3.8%	1.3%	0.8%	4.6%	4.6%
川田谷地区	人数	14	2	1	4	1	1	1	2	3
	構成比	18.4%	2.6%	1.3%	5.3%	1.3%	1.3%	1.3%	2.6%	3.9%
無回答	人数	13	0	1	2	1	0	0	2	2
	構成比	27.7%	0.0%	2.1%	4.3%	2.1%	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%

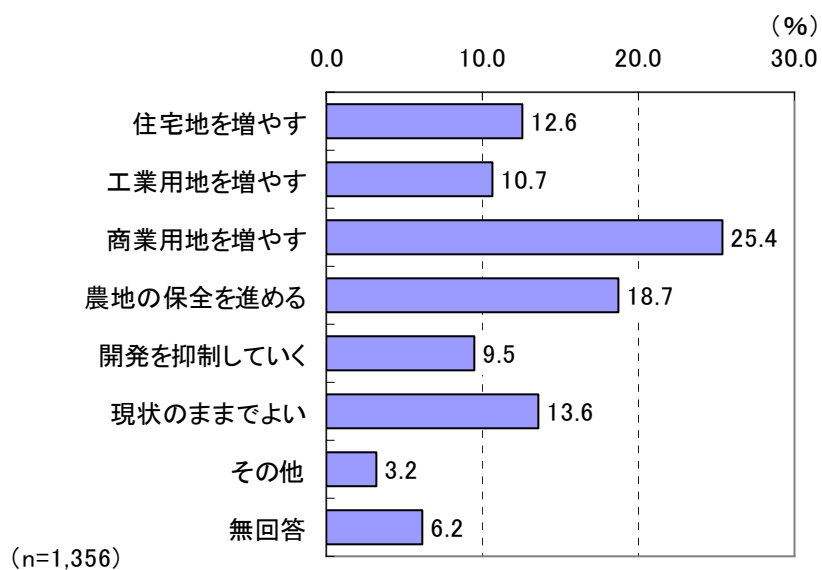
		その他	特にない	無回答
全体	人数	42	25	113
	構成比	3.1%	1.8%	8.3%
旧桶川東地区	人数	14	4	37
	構成比	3.1%	0.9%	8.2%
旧桶川西地区	人数	10	9	18
	構成比	3.1%	2.8%	5.5%
上下日出谷地区	人数	7	6	21
	構成比	3.2%	2.8%	9.6%
旧加納村地区	人数	4	4	16
	構成比	1.7%	1.7%	6.7%
川田谷地区	人数	5	1	12
	構成比	6.6%	1.3%	15.8%
無回答	人数	2	1	9
	構成比	4.3%	2.1%	19.1%

桶川市の土地利用と都市整備について

問4 桶川市の将来を考える上で、土地利用を計画的に図っていく必要がありますが、今後どのような方向性が望ましいとお考えですか。（〇は1つ）

全 体

「商業用地を増やす」と答えた人の割合が25.4%と最も高く、次いで「農地の保全を進める」が18.7%、「住宅地を増やす」が12.6%となっています。

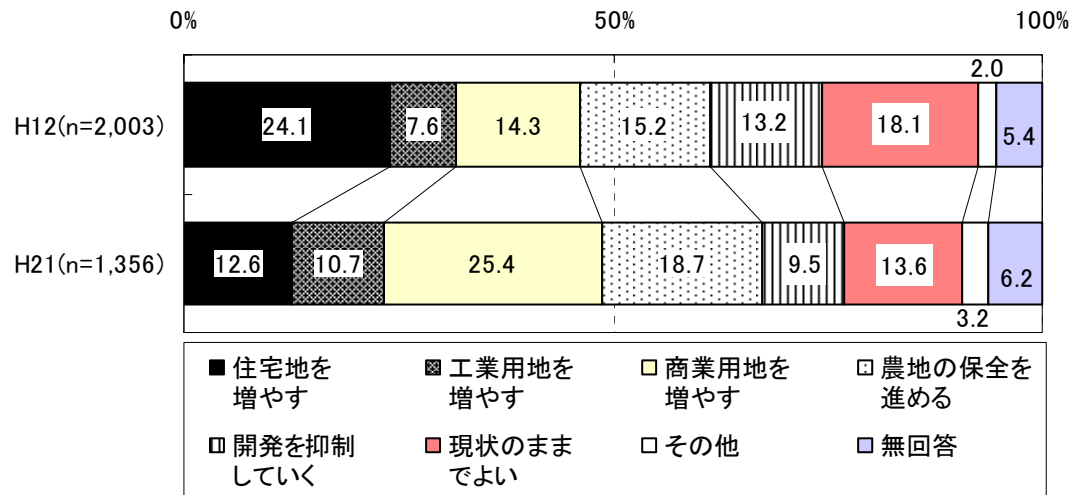


【その他の主な意見】

- 緑地・自然の保全と活用
- 公園の整備
- 東口の活性化 など

●経年比較

桶川市の土地利用の望ましい方向性について、平成 12 年度と比較すると、平成 21 年度では「住宅地を増やす」が約 11%減少、「現状のままでよい」が 4.5%減少している他方、「商業用地を増やす」が約 11%増加、「工業用地を増やす」が約 3%増加、「農地の保全を進める」が 3.5%増加しており、住宅地の増大や現状維持よりも、商業用地・工業用地の増大と農地保全に対する意向が強くなっています。



注：平成 12 年度と平成 21 年度では、文言が若干異なるため、正確な比較とはなりません。

年齢別

桶川市の土地利用の望ましい方向性として、最も多い回答は、50 歳代では「農地の保全を進める」、70 歳以上では「工業用地を増やす」、それ以外の年代では「商業用地を増やす」となっており、特に 20 歳～40 歳代で「商業用地を増やす」と答えた人の割合が高くなっています。

			注：					白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	住宅地を増やす	工業用地を増やす	商業用地を増やす	農地の保全を進める	開発を抑制していく	現状のままでよい	その他	無回答	
全体	人数	1,356	171	145	345	254	129	184	44	84	
	構成比		12.6%	10.7%	25.4%	18.7%	9.5%	13.6%	3.2%	6.2%	
18～29歳	人数	106	7	5	38	23	6	18	5	4	
	構成比		6.6%	4.7%	35.8%	21.7%	5.7%	17.0%	4.7%	3.8%	
30～39歳	人数	213	30	9	79	29	16	33	6	11	
	構成比		14.1%	4.2%	37.1%	13.6%	7.5%	15.5%	2.8%	5.2%	
40～49歳	人数	201	25	10	66	39	20	29	8	4	
	構成比		12.4%	5.0%	32.8%	19.4%	10.0%	14.4%	4.0%	2.0%	
50～59歳	人数	237	26	31	49	60	24	29	7	11	
	構成比		11.0%	13.1%	20.7%	25.3%	10.1%	12.2%	3.0%	4.6%	
60～69歳	人数	345	48	48	70	63	40	41	10	25	
	構成比		13.9%	13.9%	20.3%	18.3%	11.6%	11.9%	2.9%	7.2%	
70歳以上	人数	224	33	39	34	36	19	32	7	24	
	構成比		14.7%	17.4%	15.2%	16.1%	8.5%	14.3%	3.1%	10.7%	
無回答	人数	30	2	3	9	4	4	2	1	5	
	構成比		6.7%	10.0%	30.0%	13.3%	13.3%	6.7%	3.3%	16.7%	

居住地区別

桶川市の土地利用の望ましい方向性として、最も多い回答は、全ての地区で「商業用地を増やす」となっており、特に旧桶川東地区で28.6%と高くなっています。

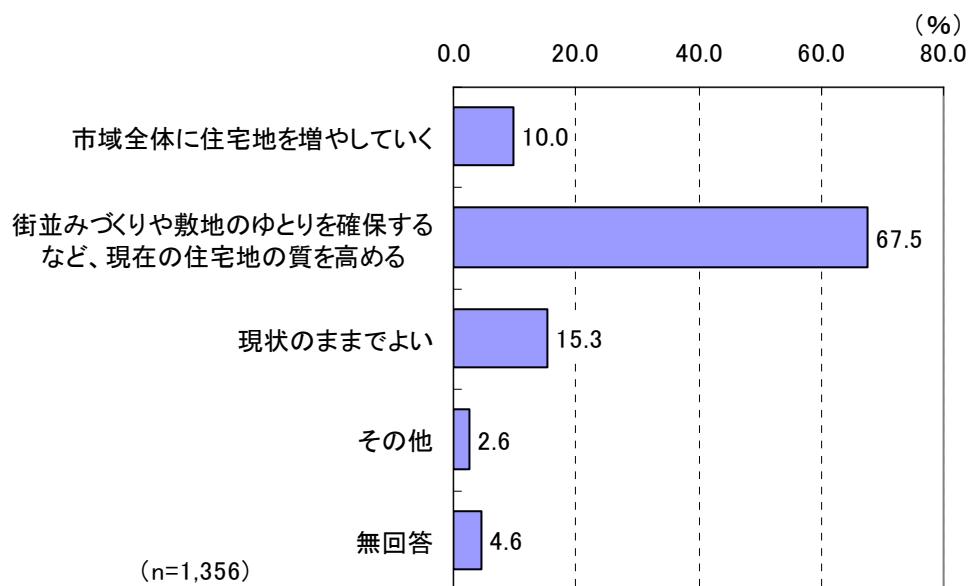
また、2番目に多い回答は、川田谷地区では「住宅地を増やす」、それ以外の地区では「農地の保全を進める」がとなっており、特に旧桶川西地区で22.4%と高くなっています。

		注: 白文字 = 1位 黒文字 = 2位								
		回答者数	住宅地を増やす	工業用地を増やす	商業用地を増やす	農地の保全を進める	開発を抑制していく	現状のままでよい	その他	無回答
全体	人数	1,356	171	145	345	254	129	184	44	84
	構成比		12.6%	10.7%	25.4%	18.7%	9.5%	13.6%	3.2%	6.2%
旧桶川東地区	人数	451	46	51	129	80	43	58	15	29
	構成比		10.2%	11.3%	28.6%	17.7%	9.5%	12.9%	3.3%	6.4%
旧桶川西地区	人数	326	41	35	76	73	26	47	10	18
	構成比		12.6%	10.7%	23.3%	22.4%	8.0%	14.4%	3.1%	5.5%
上下日出谷地区	人数	218	30	21	52	41	23	37	5	9
	構成比		13.8%	9.6%	23.9%	18.8%	10.6%	17.0%	2.3%	4.1%
旧加納村地区	人数	238	37	24	61	39	27	25	9	16
	構成比		15.5%	10.1%	25.6%	16.4%	11.3%	10.5%	3.8%	6.7%
川田谷地区	人数	76	14	9	15	12	6	12	2	6
	構成比		18.4%	11.8%	19.7%	15.8%	7.9%	15.8%	2.6%	7.9%
無回答	人数	47	3	5	12	9	4	5	3	6
	構成比		6.4%	10.6%	25.5%	19.1%	8.5%	10.6%	6.4%	12.8%

問5 今後の住宅地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。
(○は1つ)

全 体

「街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在の住宅地の質を高める」(以下、「現在の住宅の質を高める」)と答えた人の割合が67.5%と、全体の約7割を占めています。

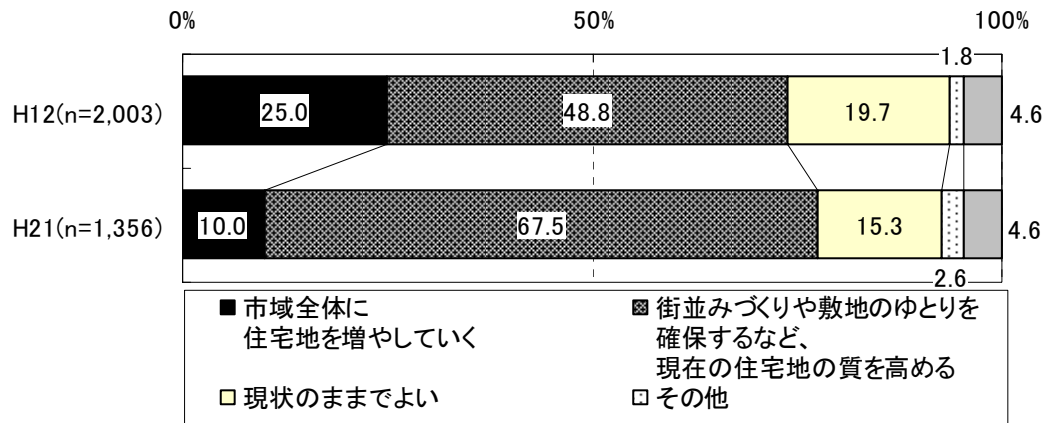


【その他の主な意見】

- 緑・自然の保全。緑を増やす
- これ以上住宅地を増やさない
- 東口の開発を進める など

●経年比較

今後の住宅地の望ましいあり方を、平成 12 年度と比較すると、平成 21 年度では、「街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在地の住宅地の質を高める」が約 20%増加した他方、「市域全体に住宅地を増やしていく」「現状のままでよい」がそれぞれ 15%、4.4%減少しており、現在の住宅の質を高める意向が強まっています。



注：平成 12 年度と平成 21 年度では、選択肢の文言が若干異なるため、正確な比較とはなりません。

年齢別

今後の住宅地の望ましいあり方として、最も多い回答は、全ての年代で「現在の住宅地の質を高める」となっており、特に 20 歳～30 歳代で多くなっています。

他方、70 歳以上では「市域全体に住宅地を増やしていく」と答えた人の割合が他の年代と比較して高くなっています。

		注：白文字 = 1位		黒文字 = 2位			
		回答者数	市域全体に住宅地を増やしていく	街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在の住宅地の質を高める	現状のままでよい	その他	無回答
全体	人数	1,356	135	915	208	35	63
	構成比		10.0%	67.5%	15.3%	2.6%	4.6%
18～29歳	人数	106	4	80	21	0	1
	構成比		3.8%	75.5%	19.8%	0.0%	0.9%
30～39歳	人数	213	23	157	21	4	8
	構成比		10.8%	73.7%	9.9%	1.9%	3.8%
40～49歳	人数	201	20	135	35	9	2
	構成比		10.0%	67.2%	17.4%	4.5%	1.0%
50～59歳	人数	237	23	167	33	7	7
	構成比		9.7%	70.5%	13.9%	3.0%	3.0%
60～69歳	人数	345	37	233	48	11	16
	構成比		10.7%	67.5%	13.9%	3.2%	4.6%
70歳以上	人数	224	27	123	46	3	25
	構成比		12.1%	54.9%	20.5%	1.3%	11.2%
無回答	人数	30	1	20	4	1	4
	構成比		3.3%	66.7%	13.3%	3.3%	13.3%

居住地区別

今後の住宅地の望ましいあり方として、最も多い回答は、全ての地区で「現在の住宅地の質を高める」となっており、特に、旧桶川東地区（70.1%）・旧加納村地区（70.6%）で高くなっています。

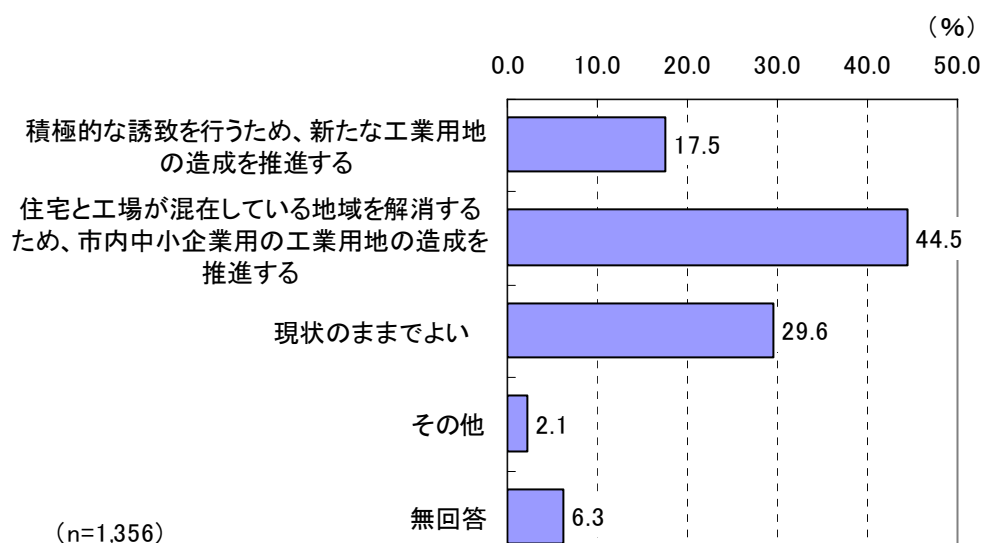
他方、旧桶川西地区では「現状のままでよい」（19.3%）、川田谷地区では「市域全体に住宅をふやしていく」（21.1%）「現状のままでよい」（19.7%）と答えた人の割合が他地区と比較して高くなっています。

			注：	白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	市域全体に住宅地を増やしていく	街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在の住宅地の質を高める	現状のままでよい	その他	無回答
全体	人数	1,356	135	915	208	35	63
	構成比		10.0%	67.5%	15.3%	2.6%	4.6%
旧桶川東地区	人数	451	39	319	56	11	26
	構成比		8.6%	70.7%	12.4%	2.4%	5.8%
旧桶川西地区	人数	326	32	213	63	8	10
	構成比		9.8%	65.3%	19.3%	2.5%	3.1%
上下日出谷地区	人数	218	21	150	39	3	5
	構成比		9.6%	68.8%	17.9%	1.4%	2.3%
旧加納村地区	人数	238	24	168	28	6	12
	構成比		10.1%	70.6%	11.8%	2.5%	5.0%
川田谷地区	人数	76	16	37	15	3	5
	構成比		21.1%	48.7%	19.7%	3.9%	6.6%
無回答	人数	47	3	28	7	4	5
	構成比		6.4%	59.6%	14.9%	8.5%	10.6%

問6 今後の工業用地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。
(〇は1つ)

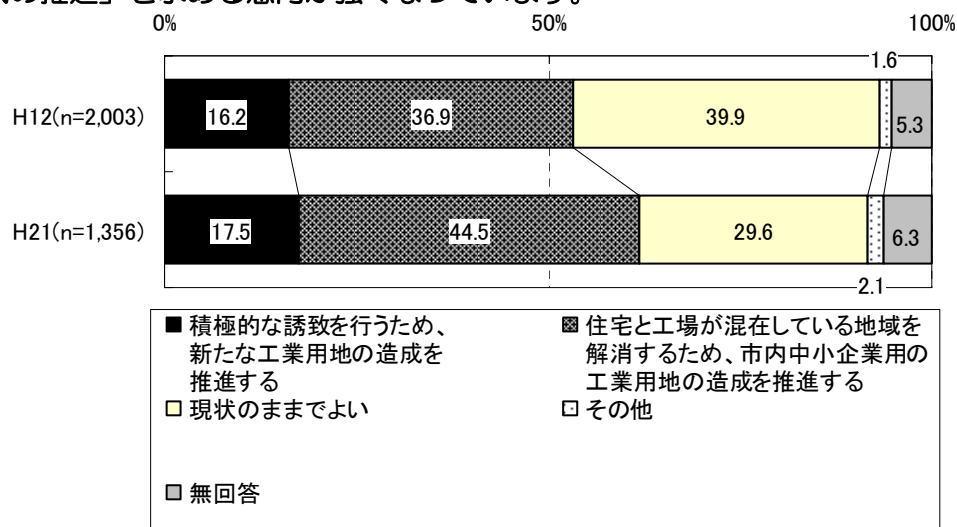
全 体

「住宅と工場が混在している地域を解消するため、市内中小企業用の工業用地の造成を推進する」（以下、「中小企業用の工業用地造成の推進」）と答えた人の割合が44.5%と最も高く、次いで「現状のままでよい」が29.6%、「積極的な誘致を行うため、新たな工業用地の造成を推進する」（以下、「新たな工業用地の造成の推進」）が17.5%となっています。



●経年比較

今後の工業用地の望ましいあり方を、平成12年度と比較すると、平成21年度では「中小企業用の工業用地造成の推進」が7.6%増加しており、全体として、「中小企業用の工業用地造成の推進」を求める意向が強くなっています。



注：平成12年度と平成21年度では、選択肢が異なるため、正確な比較とはなりません。
(平成12年度では、「現状のままでよい」→「工場進出は望まない」)

年齢別

今後の工業用地の望ましいあり方として、最も多い回答は、20 歳代では「現状のままでよい」、それ以外の年代では「中小企業用の工業用地造成の推進」となっています。

全体的に、年代が上がるほど「新たな工業用地の造成の推進」と答えた人の割合が高い他方、年代が下がるほど「現状のままでよい」と答えた人の割合が高くなっています。

			注：	白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	積極的な誘致を行うため、新たな工業用地の造成を高める	住宅と工場が混在している地域を解消するため、市内中小企業用の工業用地の造成を推進する	現状のままでよい	その他	無回答
全体	人数	1,356	237	603	402	29	85
	構成比		17.5%	44.5%	29.6%	2.1%	6.3%
18～29歳	人数	106	8	44	50	2	2
	構成比		7.5%	41.5%	47.2%	1.9%	1.9%
30～39歳	人数	213	31	89	83	0	10
	構成比		14.6%	41.8%	39.0%	0.0%	4.7%
40～49歳	人数	201	28	94	71	3	5
	構成比		13.9%	46.8%	35.3%	1.5%	2.5%
50～59歳	人数	237	39	118	61	8	11
	構成比		16.5%	49.8%	25.7%	3.4%	4.6%
60～69歳	人数	345	69	162	81	13	20
	構成比		20.0%	47.0%	23.5%	3.8%	5.8%
70歳以上	人数	224	54	83	55	3	29
	構成比		24.1%	37.1%	24.6%	1.3%	12.9%
無回答	人数	30	8	13	1	0	8
	構成比		26.7%	43.3%	3.3%	0.0%	26.7%

居住地区別

今後の工業用地の望ましいあり方として、最も多い回答は、全ての地区で「中小企業用の工業用地造成の推進」、次いで「現状のままでよい」となっています。

全体的に、地区ごとの大きな違いは見られませんが、上下日出谷地区では「中小企業用の工業用地造成の推進」が、旧桶川東地区・川田谷地区・旧加納村地区では「新たな工業用地の造成の推進」と答えた人の割合がそれ以外の地区と比較して若干高くなっています。

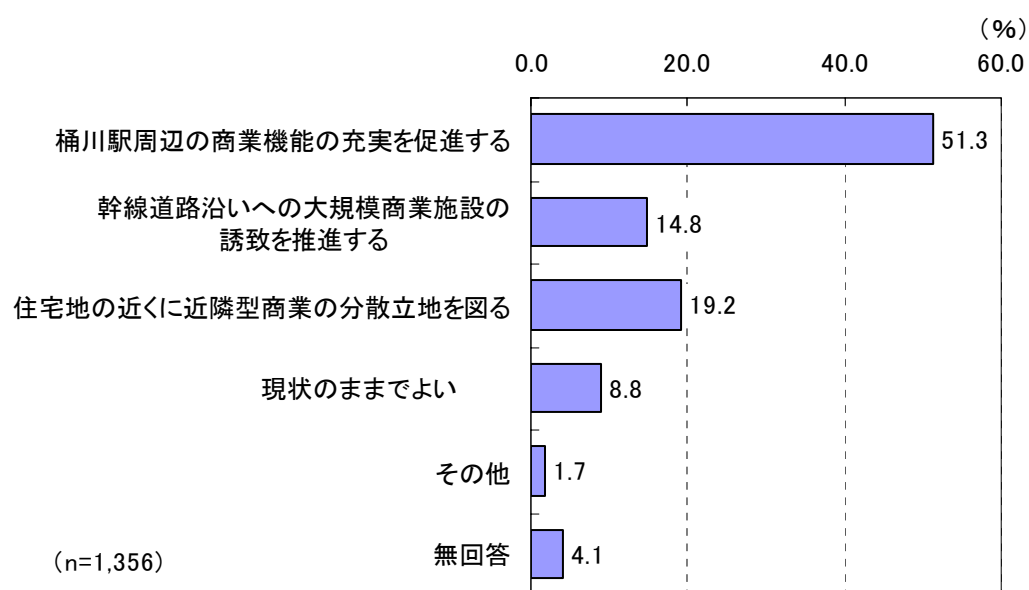
注：				白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	積極的な誘致を行うため、新たな工業用地の造成を高める	住宅と工場が混在している地域を解消するため、市内中小企業用の工業用地の造成を推進する	現状のままでよい	その他	無回答
全体	人数	1,356	237	603	402	29	85
	構成比		17.5%	44.5%	29.6%	2.1%	6.3%
旧桶川東地区	人数	451	88	198	123	9	33
	構成比		19.5%	43.9%	27.3%	2.0%	7.3%
旧桶川西地区	人数	326	52	143	108	6	17
	構成比		16.0%	43.9%	33.1%	1.8%	5.2%
上下日出谷地区	人数	218	26	107	74	4	7
	構成比		11.9%	49.1%	33.9%	1.8%	3.2%
旧加納村地区	人数	238	42	104	72	4	16
	構成比		17.6%	43.7%	30.3%	1.7%	6.7%
川田谷地区	人数	76	14	34	20	4	4
	構成比		18.4%	44.7%	26.3%	5.3%	5.3%
無回答	人数	47	15	17	5	2	8
	構成比		31.9%	36.2%	10.6%	4.3%	17.0%

問7 今後の商業用地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。
(〇は1つ)

全 体

「桶川駅周辺の商業機能の充実を促進する」(以下、「桶川駅周辺の商業機能の充実」)と答えた人の割合が51.3%と最も高く、全体の約半数を占めています。

次いで「住宅地の近くに近隣型商業の分散立地を図る」(以下、「近隣型商業の分散立地」)が19.2%、「幹線道路沿いへの大規模商業施設の誘致を推進する」(以下、「幹線道路沿いの大規模商業施設の誘致」)が14.8%となっています。

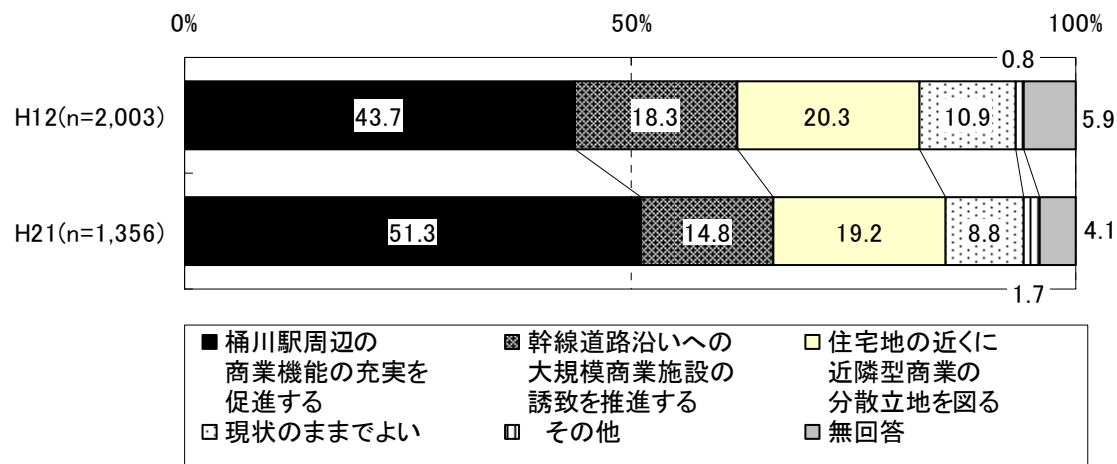


【その他の主な意見】

- 東口の開発を望む
- 環境保全を踏まえた土地利用
- 道路整備 など

●経年比較

今後の商業用地の望ましいあり方を、平成 12 年度と比較すると、平成 21 年度では「桶川駅周辺の商業機能の充実」が約 8% 増加している他方、「幹線道路沿いの大規模商業施設の誘致」は 3.5% 減となっており、全体として桶川駅周辺の商業機能の充実を求める意向が強くなっています。



注：平成 12 年度と平成 21 年度では、選択肢の文言が若干異なるため、正確な比較とはなりません。
 （平成 12 年度：「商業地は既存のままでよい」→平成 21 年度：「現状のままでよい」）

年齢別

今後の商業用地の望ましいあり方として、最も多い回答は、全ての年代で「桶川駅周辺の商業機能の充実」となっており、特に 20 歳代で 57.5% と高くなっています。

2 番目に多い回答は、30 歳では「幹線道路沿いの大規模商業施設の誘致」、それ以外の年代では「近隣型商業の分散立地」となっており、特に 40 歳～70 歳以上で多くなっています。

			注：白文字 = 1 位		黒文字 = 2 位			
		回答者数	桶川駅周辺の商業機能の充実を促進する	幹線道路沿いへの大規模商業施設の誘致を推進する	住宅地の近くに近隣型商業の分散立地を図る	現状のままでよい	その他	無回答
全体	人数	1,356	695	201	261	120	23	56
	構成比		51.3%	14.8%	19.2%	8.8%	1.7%	4.1%
18～29 歳	人数	106	61	14	15	11	4	1
	構成比		57.5%	13.2%	14.2%	10.4%	3.8%	0.9%
30～39 歳	人数	213	110	46	34	16	2	5
	構成比		51.6%	21.6%	16.0%	7.5%	0.9%	2.3%
40～49 歳	人数	201	107	28	42	18	3	3
	構成比		53.2%	13.9%	20.9%	9.0%	1.5%	1.5%
50～59 歳	人数	237	126	40	46	12	5	8
	構成比		53.2%	16.9%	19.4%	5.1%	2.1%	3.4%
60～69 歳	人数	345	178	48	68	31	7	13
	構成比		51.6%	13.9%	19.7%	9.0%	2.0%	3.8%
70 歳以上	人数	224	100	23	48	30	2	21
	構成比		44.6%	10.3%	21.4%	13.4%	0.9%	9.4%
無回答	人数	30	13	2	8	2	0	5
	構成比		43.3%	6.7%	26.7%	6.7%	0.0%	16.7%

地区別

今後の商業用地の望ましいあり方として、最も多い回答は、川田谷地区では「近隣型商業の分散立地」、それ以外の地区では「桶川駅周辺の商業機能の充実」となっています。

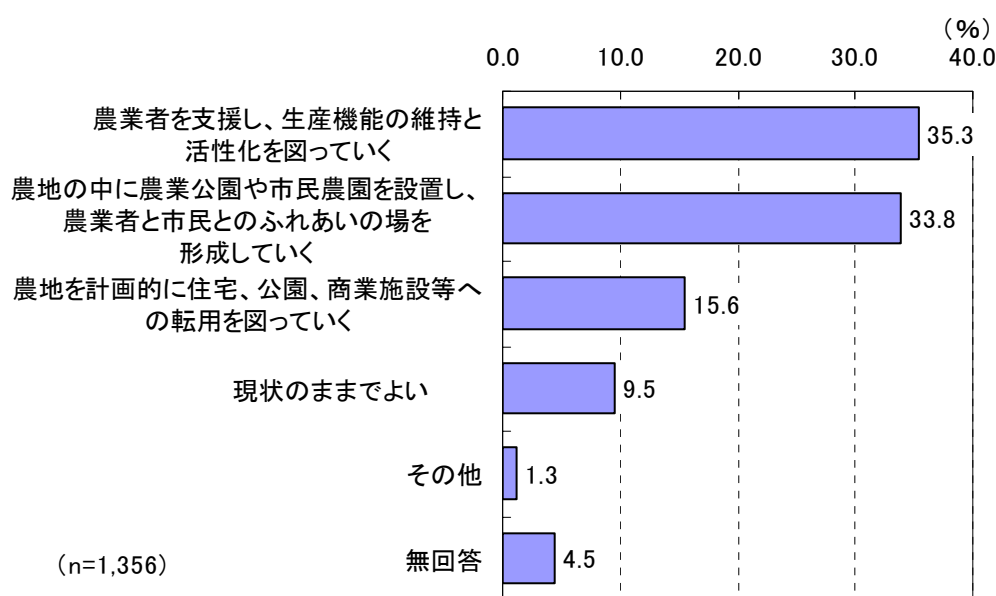
特に、旧桶川東地区では「桶川駅周辺の商業機能の充実」、上下日出谷地区では「幹線道路沿いへの大規模商業施設の誘致」、川田谷地区では「近隣型商業の分散立地」と答えた人の割合が他地区と比較して高くなっています。

			注:		白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	桶川駅周辺の商業機能の充実を促進する	幹線道路沿いへの大規模商業施設の誘致を推進する	住宅地の近くに近隣型商業の分散立地を図る	現状のままでよい	その他	無回答
全体	人数	1,356	695	201	261	120	23	56
	構成比		51.3%	14.8%	19.2%	8.8%	1.7%	4.1%
旧桶川東地区	人数	451	276	51	62	35	7	20
	構成比		61.2%	11.3%	13.7%	7.8%	1.6%	4.4%
旧桶川西地区	人数	326	176	39	66	31	3	11
	構成比		54.0%	12.0%	20.2%	9.5%	0.9%	3.4%
上下日出谷地区	人数	218	95	49	41	23	4	6
	構成比		43.6%	22.5%	18.8%	10.6%	1.8%	2.8%
旧加納村地区	人数	238	107	40	55	20	5	11
	構成比		45.0%	16.8%	23.1%	8.4%	2.1%	4.6%
川田谷地区	人数	76	22	15	26	8	4	1
	構成比		28.9%	19.7%	34.2%	10.5%	5.3%	1.3%
無回答	人数	47	19	7	11	3	0	7
	構成比		40.4%	14.9%	23.4%	6.4%	0.0%	14.9%

問8 今後の市街化調整区域内の農地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。（〇は1つ）

全 体

「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」（以下、「農業者支援」と答えた人の割合が35.3%と最も高く、次いで「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者と市民とのふれあいの場を形成していく」（以下、「ふれあいの場の形成」）が33.8%、「農地を計画的に住宅、公園、商業施設等への転用を図っていく」（以下、「農地の転用」）が15.6%となっています。

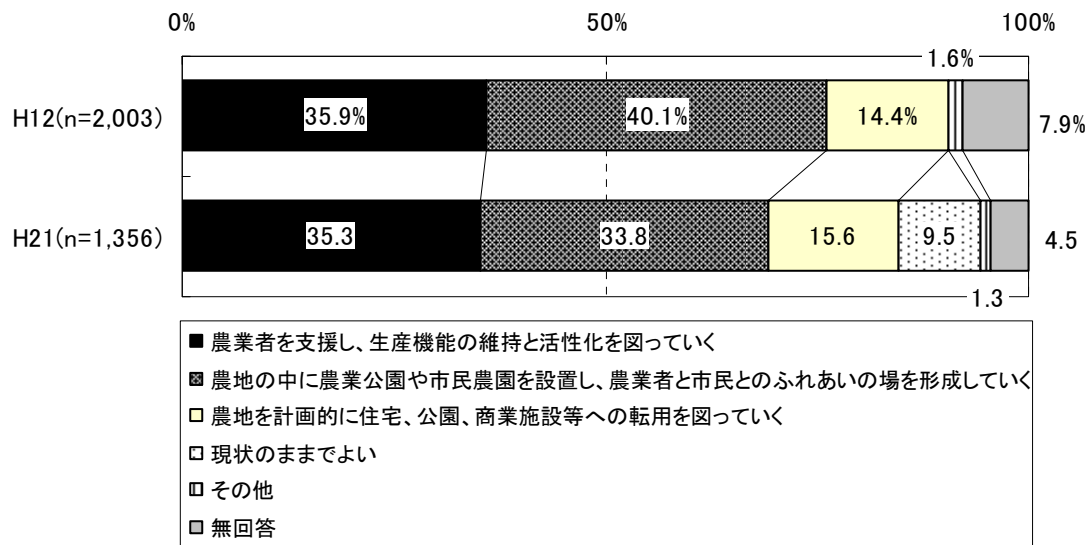


【その他の主な意見】

- 農地の大規模化などによる生産機能の維持と活性化
- 食の安全を確保できる農業の基礎づくりなど

●経年比較

今後の市街化調整区域内の農地のあり方を、平成12年度と比較すると、「農業者支援」「ふれあいの場の形成」がそれぞれ減少している他方、「農地転用」が微増となっています。



注：平成12年度と21年度では、選択肢が若干異なるため、正確な比較とはなりません。
 （平成12年度では、「現状のままでよい」という選択肢はなし）

年齢別

今後の市街化調整区域内の農地のあり方として、第1・2位の回答は、全ての年代において「農業者支援」「ふれあいの場の形成」となっており、全体的に「農地の転用」という回答は少なくなっています。

特に20歳代では「農業者支援」(50.0%)、30歳代では「ふれあいの場の形成」(38.5%) 70歳以上では「農地の転用」(21.0%)と答えた人の割合が、他の年代と比較して高くなっています。

		注：		白文字 = 1位		黒文字 = 2位	
	回答者数	農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく	農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者と市民とのふれあいの場を形成していく	農地を計画的に住宅、公園、商業施設等への転用を図っていく	現状のままでよい	その他	無回答
全体	1,356	479	459	211	129	17	61
	構成比	35.3%	33.8%	15.6%	9.5%	1.3%	4.5%
18～29歳	106	53	29	6	16	2	0
	構成比	50.0%	27.4%	5.7%	15.1%	1.9%	0.0%
30～39歳	213	66	82	36	21	0	8
	構成比	31.0%	38.5%	16.9%	9.9%	0.0%	3.8%
40～49歳	201	81	71	24	20	3	2
	構成比	40.3%	35.3%	11.9%	10.0%	1.5%	1.0%
50～59歳	237	86	82	38	17	5	9
	構成比	36.3%	34.6%	16.0%	7.2%	2.1%	3.8%
60～69歳	345	121	124	51	27	5	17
	構成比	35.1%	35.9%	14.8%	7.8%	1.4%	4.9%
70歳以上	224	67	62	47	24	2	22
	構成比	29.9%	27.7%	21.0%	10.7%	0.9%	9.8%
無回答	30	5	9	9	4	0	3
	構成比	16.7%	30.0%	30.0%	13.3%	0.0%	10.0%

居住地区別

今後の市街化調整区域内の農地のあり方として、最も多い回答は、旧加納村地区・川田谷地区では「ふれあいの場の形成」、それ以外の地区では「農業者支援」となっています。

また、旧加納村地区・川田谷地区では「農地の転用」と答えた人の割合が他地区と比較して高くなっています。

			注：		白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく	農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者と市民とのふれあいの場を形成していく	農地を計画的に住宅、公園、商業施設等への転用を図っていく	現状のままでよい	その他	無回答
全体	人数	1,356	479	459	211	129	17	61
	構成比		35.3%	33.8%	15.6%	9.5%	1.3%	4.5%
旧桶川東地区	人数	451	164	160	57	35	4	31
	構成比		36.4%	35.5%	12.6%	7.8%	0.9%	6.9%
旧桶川西地区	人数	326	137	98	39	40	4	8
	構成比		42.0%	30.1%	12.0%	12.3%	1.2%	2.5%
上下日出谷地区	人数	218	81	74	35	21	3	4
	構成比		37.2%	33.9%	16.1%	9.6%	1.4%	1.8%
旧加納村地区	人数	238	69	86	48	22	4	9
	構成比		29.0%	36.1%	20.2%	9.2%	1.7%	3.8%
川田谷地区	人数	76	22	26	19	6	1	2
	構成比		28.9%	34.2%	25.0%	7.9%	1.3%	2.6%
無回答	人数	47	6	15	13	5	1	7
	構成比		12.8%	31.9%	27.7%	10.6%	2.1%	14.9%

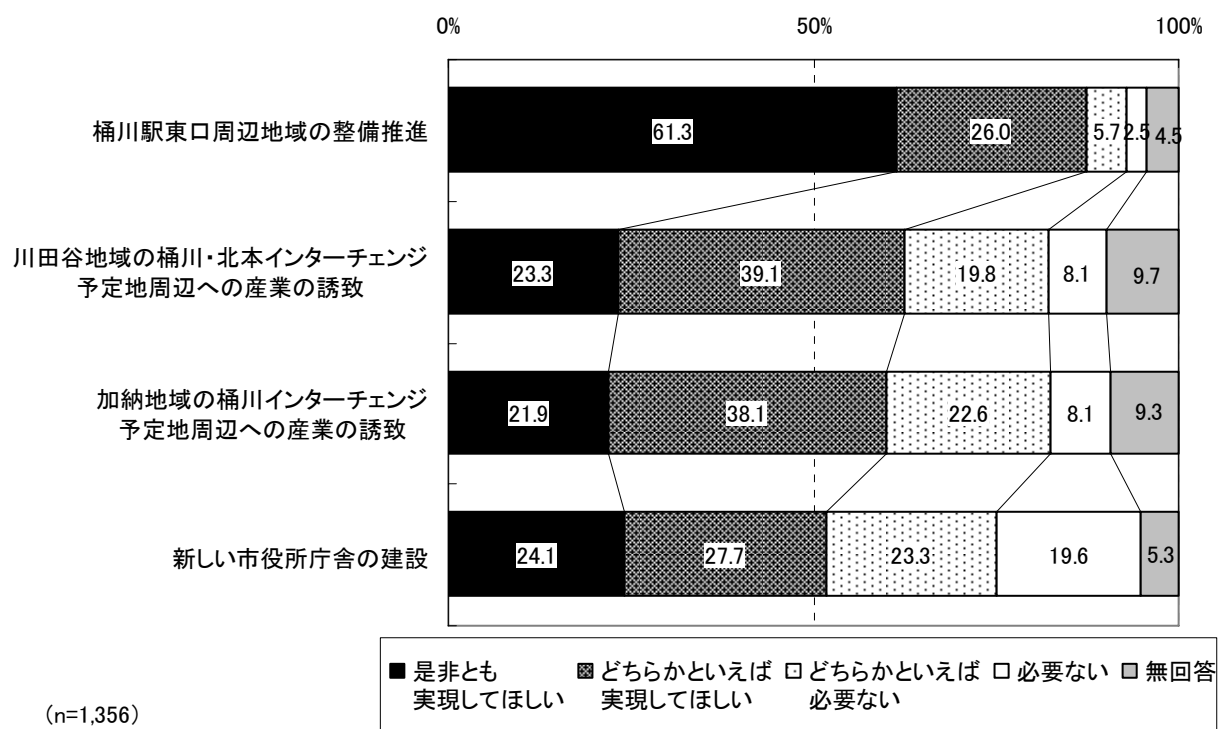
問9 市における長期的な都市整備に関する事業項目について、どのようにお考えですか。該当する番号にそれぞれ○をつけてください。

全 体

「桶川駅東口周辺地域の整備推進」について、「是非とも実現して欲しい」「どちらかといえば実現してほしい」と答えた人の割合が87.3%となっており、全体の約9割が実現を要望しています。

「川田谷地域の桶川・北本インターチェンジ予定地周辺への産業の誘致」「加納地域の桶川インターチェンジ予定地周辺への産業の誘致」については、「是非とも実現して欲しい」「どちらかといえば実現してほしい」と答えた人の割合がそれぞれ62.4%、60.0%となっており、全体の約6割が実現を要望しています。

「新しい市役所庁舎の建設」については、「是非とも実現して欲しい」「どちらかといえば実現してほしい」と答えた人の割合が51.8%となっており、全体の約半数が実現を要望しています。他方、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」と答えた人の割合も42.9%と、他事業と比較して高くなっています。



問9-A 桶川駅東口周辺地域の整備推進

年齢別

桶川駅東口周辺地域の整備推進について、最も多い回答は、全ての年代で「是非とも実現して欲しい」、次いで「どちらかといえば実現してほしい」となっています。

年代ごとの大きな違いは見られませんが、「是非とも実現してほしい」「どちらかといえば実現してほしい」と答えた人の割合が最も高いのは 50 歳代（91.2%）、最も低いのは 70 歳以上（80.8%）となっています。

			注:	白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	是非とも実現してほしい	どちらかといえば実現してほしい	どちらかといえば必要ない	必要ない	無回答
全体	人数	1,356	831	353	77	34	61
	構成比		61.3%	26.0%	5.7%	2.5%	4.5%
18～29歳	人数	106	65	30	7	4	0
	構成比		61.3%	28.3%	6.6%	3.8%	0.0%
30～39歳	人数	213	135	51	18	6	3
	構成比		63.4%	23.9%	8.5%	2.8%	1.4%
40～49歳	人数	201	124	57	11	5	4
	構成比		61.7%	28.4%	5.5%	2.5%	2.0%
50～59歳	人数	237	140	76	9	7	5
	構成比		59.1%	32.1%	3.8%	3.0%	2.1%
60～69歳	人数	345	221	83	19	7	15
	構成比		64.1%	24.1%	5.5%	2.0%	4.3%
70歳以上	人数	224	131	50	12	4	27
	構成比		58.5%	22.3%	5.4%	1.8%	12.1%
無回答	人数	30	15	6	1	1	7
	構成比		50.0%	20.0%	3.3%	3.3%	23.3%

居住地区別

桶川駅東口周辺地域の整備推進について、最も多い回答は、全ての地区で「是非とも実現して欲しい」、次いで「どちらかといえば実現してほしい」となっています。

「是非とも実現してほしい」「どちらかといえば実現してほしい」と答えた人の割合が最も高いのは、旧桶川東地区（91.5%）、次いで旧加納村地区（91.2%）、旧桶川西地区（86.8%）、上下日出谷（83.5%）、最も低いのは川田谷地区（75.0%）となっています。

			注:	白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	是非とも実現してほしい	どちらかといえば実現してほしい	どちらかといえば必要ない	必要ない	無回答
全体	人数	1,356	831	353	77	34	61
	構成比		61.3%	26.0%	5.7%	2.5%	4.5%
旧桶川東地区	人数	451	328	85	11	9	18
	構成比		72.7%	18.8%	2.4%	2.0%	4.0%
旧桶川西地区	人数	326	174	109	25	10	8
	構成比		53.4%	33.4%	7.7%	3.1%	2.5%
上下日出谷地区	人数	218	111	71	19	6	11
	構成比		50.9%	32.6%	8.7%	2.8%	5.0%
旧加納村地区	人数	238	167	50	5	5	11
	構成比		70.2%	21.0%	2.1%	2.1%	4.6%
川田谷地区	人数	76	30	27	11	1	7
	構成比		39.5%	35.5%	14.5%	1.3%	9.2%
無回答	人数	47	21	11	6	3	6
	構成比		44.7%	23.4%	12.8%	6.4%	12.8%

問9-B 川田谷地域の桶川・北本インターチェンジ予定地周辺への産業の誘致

年齢別

川田谷地域の桶川・北本インターチェンジ予定地周辺への産業の誘致について、最も多い回答は、全ての年代で「どちらかといえば実現して欲しい」となっています。

「是非とも実現して欲しい」「どちらかといえば実現して欲しい」と答えた人の割合が最も高いのは40歳代（68.7%）、最も低いのは70歳以上（53.1%）となっており、全体として、20歳～40歳代で実現を求める要望が若干高くなっています。

			注：	白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	是非とも実現してほしい	どちらかといえば実現してほしい	どちらかといえば必要ない	必要ない	無回答
全体	人数	1,356	316	530	268	110	132
	構成比		23.3%	39.1%	19.8%	8.1%	9.7%
18～29歳	人数	106	30	42	20	13	1
	構成比		28.3%	39.6%	18.9%	12.3%	0.9%
30～39歳	人数	213	69	73	42	20	9
	構成比		32.4%	34.3%	19.7%	9.4%	4.2%
40～49歳	人数	201	45	93	43	11	9
	構成比		22.4%	46.3%	21.4%	5.5%	4.5%
50～59歳	人数	237	41	105	54	20	17
	構成比		17.3%	44.3%	22.8%	8.4%	7.2%
60～69歳	人数	345	72	142	67	29	35
	構成比		20.9%	41.2%	19.4%	8.4%	10.1%
70歳以上	人数	224	50	69	37	15	53
	構成比		22.3%	30.8%	16.5%	6.7%	23.7%
無回答	人数	30	9	6	5	2	8
	構成比		30.0%	20.0%	16.7%	6.7%	26.7%

居住地区別

川田谷地域の桶川・北本インターチェンジ予定地周辺への産業の誘致について、最も多い回答は、川田谷地区では「是非とも実現して欲しい」、それ以外の地区では「どちらかといえば実現してほしい」となっており、川田谷地区で実現を求める要望が大きくなっています。

			注：	白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	是非とも実現してほしい	どちらかといえば実現してほしい	どちらかといえば必要ない	必要ない	無回答
全体	人数	1,356	316	530	268	110	132
	構成比		23.3%	39.1%	19.8%	8.1%	9.7%
旧桶川東地区	人数	451	98	177	88	34	54
	構成比		21.7%	39.2%	19.5%	7.5%	12.0%
旧桶川西地区	人数	326	68	132	73	27	26
	構成比		20.9%	40.5%	22.4%	8.3%	8.0%
上下日出谷地区	人数	218	57	80	44	24	13
	構成比		26.1%	36.7%	20.2%	11.0%	6.0%
旧加納村地区	人数	238	53	103	42	14	26
	構成比		22.3%	43.3%	17.6%	5.9%	10.9%
川田谷地区	人数	76	30	25	11	6	4
	構成比		39.5%	32.9%	14.5%	7.9%	5.3%
無回答	人数	47	10	13	10	5	9
	構成比		21.3%	27.7%	21.3%	10.6%	19.1%

問9-C 加納地域の桶川インターチェンジ予定地周辺への産業の誘致

年齢別

加納地域の桶川インターチェンジ予定地周辺への産業の誘致について、最も多い回答は、全ての年代で「どちらかといえば実現してほしい」となっています。

「是非とも実現してほしい」「どちらかといえば実現してほしい」と答えた人の割合が最も高いのは40歳代（68.7%）、最も低いのは70歳以上（53.6%）となっており、全体的に20歳～40歳代の若い世代で実現を求める要望が大きくなっています。

			注: 白文字 = 1位 黒文字 = 2位				
		回答者数	是非とも実現してほしい	どちらかといえば実現してほしい	どちらかといえば必要ない	必要ない	無回答
全体	人数	1,356	297	517	306	110	126
	構成比		21.9%	38.1%	22.6%	8.1%	9.3%
18～29歳	人数	106	24	40	26	14	2
	構成比		22.6%	37.7%	24.5%	13.2%	1.9%
30～39歳	人数	213	66	69	50	18	10
	構成比		31.0%	32.4%	23.5%	8.5%	4.7%
40～49歳	人数	201	49	89	43	12	8
	構成比		24.4%	44.3%	21.4%	6.0%	4.0%
50～59歳	人数	237	43	90	66	21	17
	構成比		18.1%	38.0%	27.8%	8.9%	7.2%
60～69歳	人数	345	68	141	73	30	33
	構成比		19.7%	40.9%	21.2%	8.7%	9.6%
70歳以上	人数	224	37	83	41	13	50
	構成比		16.5%	37.1%	18.3%	5.8%	22.3%
無回答	人数	30	10	5	7	2	6
	構成比		33.3%	16.7%	23.3%	6.7%	20.0%

居住地区別

加納地域の桶川インターチェンジ予定地周辺への産業の誘致について、全ての地区で「どちらかといえば実現してほしい」と答えた人の割合が最も高くなっています。

「是非とも実現してほしい」「どちらかといえば実現してほしい」と答えた人の割合が最も高いのは旧加納村地区（69.0%）、次いで旧桶川東地区（61.2%）、川田谷地区（60.5%）、旧桶川西地区（57.7%）、最も低いのは上下出谷地区（53.7%）となっています。

			注: 白文字 = 1位 黒文字 = 2位				
		回答者数	是非とも実現してほしい	どちらかといえば実現してほしい	どちらかといえば必要ない	必要ない	無回答
全体	人数	1,356	297	517	306	110	126
	構成比		21.9%	38.1%	22.6%	8.1%	9.3%
旧桶川東地区	人数	451	100	176	93	29	53
	構成比		22.2%	39.0%	20.6%	6.4%	11.8%
旧桶川西地区	人数	326	52	136	83	29	26
	構成比		16.0%	41.7%	25.5%	8.9%	8.0%
上下日出谷地区	人数	218	46	71	59	28	14
	構成比		21.1%	32.6%	27.1%	12.8%	6.4%
旧加納村地区	人数	238	72	92	43	13	18
	構成比		30.3%	38.7%	18.1%	5.5%	7.6%
川田谷地区	人数	76	13	33	16	5	9
	構成比		17.1%	43.4%	21.1%	6.6%	11.8%
無回答	人数	47	14	9	12	6	6
	構成比		29.8%	19.1%	25.5%	12.8%	12.8%

問9-D 新しい市役所庁舎の建設

年齢別

新しい市役所庁舎の建設について、「是非とも実現してほしい」「どちらかといえば実現してほしい」と回答している割合が最も高いのは、70歳以上で63.4%、最も低いのは20歳代（37.8%）となっており、全体の傾向として、年代が上がるほど実現を求める要望が大きくなっています。

			注：	白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	是非とも実現してほしい	どちらかといえば実現してほしい	どちらかといえば必要ない	必要ない	無回答
全体	人数	1,356	327	375	316	266	72
	構成比		24.1%	27.7%	23.3%	19.6%	5.3%
18～29歳	人数	106	22	18	36	30	0
	構成比		20.8%	17.0%	34.0%	28.3%	0.0%
30～39歳	人数	213	48	50	51	58	6
	構成比		22.5%	23.5%	23.9%	27.2%	2.8%
40～49歳	人数	201	43	47	59	48	4
	構成比		21.4%	23.4%	29.4%	23.9%	2.0%
50～59歳	人数	237	53	67	67	42	8
	構成比		22.4%	28.3%	28.3%	17.7%	3.4%
60～69歳	人数	345	91	110	63	59	22
	構成比		26.4%	31.9%	18.3%	17.1%	6.4%
70歳以上	人数	224	64	78	37	21	24
	構成比		28.6%	34.8%	16.5%	9.4%	10.7%
無回答	人数	30	6	5	3	8	8
	構成比		20.0%	16.7%	10.0%	26.7%	26.7%

居住地区別

新しい市役所庁舎の建設について、最も多い回答は、旧桶川東地区・川田谷地区では「是非とも実現してほしい」、それ以外の地区では「どちらかといえば実現してほしい」となっています。

「是非とも実現してほしい」「どちらかといえば実現してほしい」と答えた人の割合が最も高いのは、川田谷地区（57.9%）、次いで旧加納村地区（55.1%）、旧桶川東地区（52.1%）、上下日出谷地区（50.9%）、最も低いのは旧桶川西地区（49.0%）となっています。

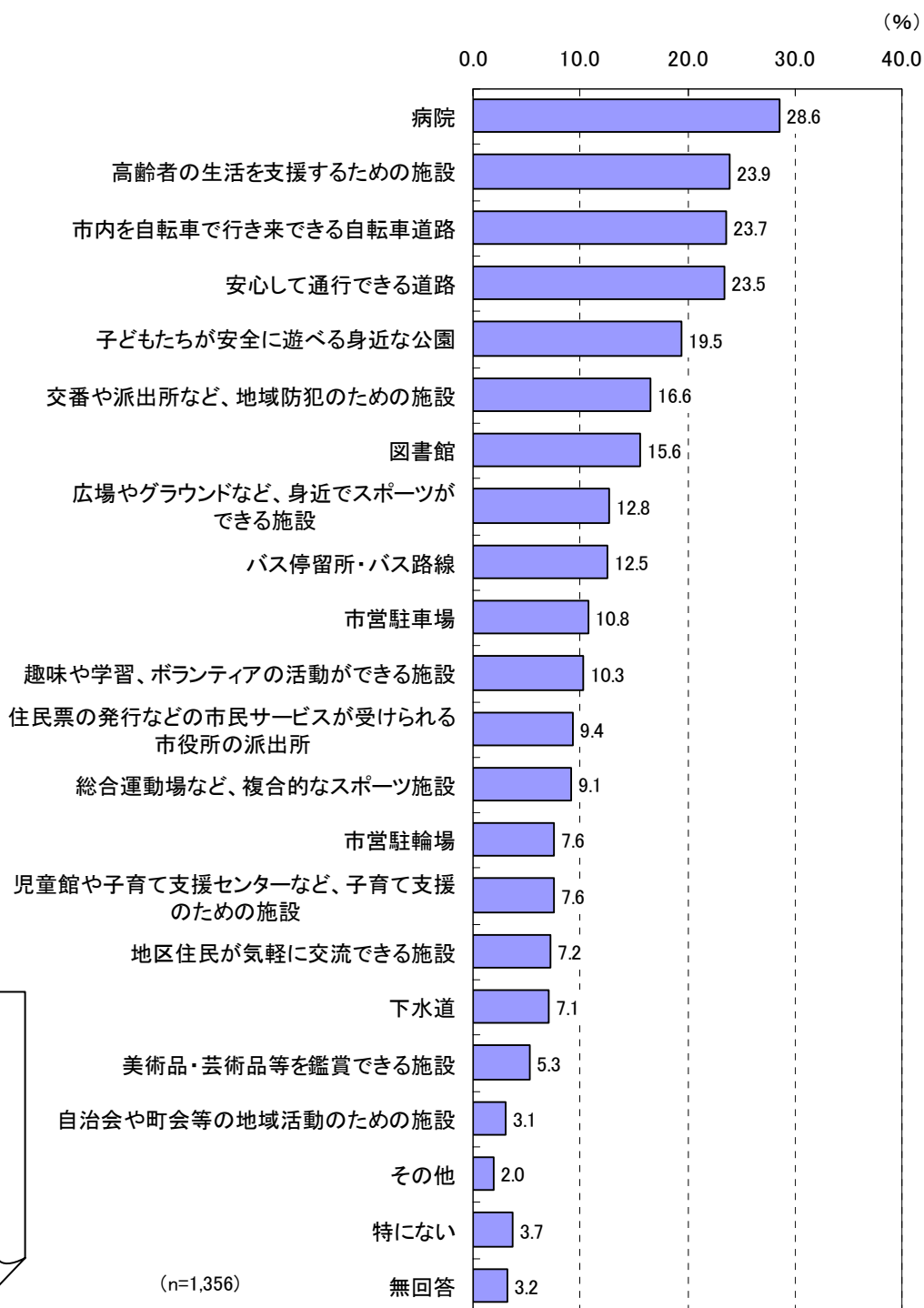
			注:	白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	是非とも実現してほしい	どちらかといえば実現してほしい	どちらかといえば必要ない	必要ない	無回答
全体	人数	1,356	327	375	316	266	72
	構成比		24.1%	27.7%	23.3%	19.6%	5.3%
旧桶川東地区	人数	451	119	116	104	82	30
	構成比		26.4%	25.7%	23.1%	18.2%	6.7%
旧桶川西地区	人数	326	65	95	83	72	11
	構成比		19.9%	29.1%	25.5%	22.1%	3.4%
上下日出谷地区	人数	218	45	66	50	48	9
	構成比		20.6%	30.3%	22.9%	22.0%	4.1%
旧加納村地区	人数	238	64	67	53	44	10
	構成比		26.9%	28.2%	22.3%	18.5%	4.2%
川田谷地区	人数	76	24	20	17	9	6
	構成比		31.6%	26.3%	22.4%	11.8%	7.9%
無回答	人数	47	10	11	9	11	6
	構成比		21.3%	23.4%	19.1%	23.4%	12.8%

問10 お住まいの地域や市内に特に整備を望む公共施設はありますか。（〇は3つまで）

全 体

「病院」と答えた人の割合が 28.6%と最も高く、次いで「高齢者の生活を支援するための施設」が 23.9%、「市内を自転車で行き来できる自転車道路」が 23.7%となっています。

他方、「自治会や町会等の地域活動のための施設」と答えた人の割合は 3.1%と最も低く、次いで「美術品・芸術品等を鑑賞できる施設」が 5.3%、「下水道」が 7.1%と、ニーズが低くなっています。



【その他の主な意見】

- 道路整備
- プール
- バス路線の充実など

●経年比較

居住地域や市内に特に整備を望む公共施設を、平成 12 年度と比較すると、「病院」「子どもたちが安全に遊べる身近な公園」「図書館」「広場やグラウンドなど、身近でスポーツができる施設」がそれぞれ第 1 位、5 位、7 位、8 位で同順となっています（注：「子どもたちが～」 「広場や～」は平成 12 年度と文言が異なります）。

その他、「高齢者の生活を支援するための施設」や「交番や派出所など、地域防犯のための施設」は割合・順位とも上がっており、ニーズが高くなっています（注：「高齢者～」 「交番や派出所など～」は平成 12 年度と文言が異なります）。

他方、「市営駐車場」「バス停留所・バス路線」は、順位・割合とも大幅に下がり、「下水道」や「自転車置き場」は 10 位外となるなど、バス停や駐車・駐輪場のニーズが減っています。

	平成12年度（選択肢数：22）		平成21年度（選択肢数：21）		H12年度との 順位比較
1 位	病院	27.8%	病院	28.6%	→
2 位	道路・歩道	22.0%	高齢者の生活を支援するための施設	23.9%	新規
3 位	市営駐車場	21.7%	市内を自転車で行き来できる自転車道路	23.7%	新規
4 位	バス停留所・バス路線	20.2%	安心して通行できる道路	23.5%	新規
5 位	公園	18.5%	子どもたちが安全に遊べる身近な公園	19.5%	新規
6 位	下水道	13.1%	交番や派出所など、地域防犯のための施設	16.6%	新規
7 位	図書館	13.0%	図書館	15.6%	→
8 位	総合運動場	12.3%	広場やグラウンドなど、身近でスポーツができる施設	12.8%	新規
9 位	老人ホーム	11.9%	バス停留所・バス路線	12.5%	↓
10 位	自転車置き場	11.6%	市営駐車場	10.8%	↓

注：平成 12 年度と 21 年度では、選択肢数や文言が異なるため、正確な比較とはなりません。
（選択肢数はともに 3 つまで）

年齢別

居住地域や市内に特に整備を望む公共施設として、最も多い回答は、20 歳代では「広場やグラウンドなど、身近でスポーツができる施設」「子どもたちが安全に遊べる身近な公園」「安心して通行できる道路」（全て同率）、30 歳～50 歳代では「病院」、60 歳以上では「高齢者の生活を支援するための施設」と、年齢ごとの違いが見られます。

また、20 歳代では「市営駐車場」、30 歳代では「児童館や子育て支援センターなど、子育て支援のための施設」、40 歳代では「図書館」、50 歳～60 歳代では「地区住民が気軽に交流できる施設」と答えた人の割合が他の年代と比較して高くなっています。

注： 白文字 =1位 黒文字 =2位

	回答者数	市営駐車場	市営駐輪場	自治会や町会等の地域活動のための施設	趣味や学習、ボランティアの活動ができる施設	地区住民が気軽に交流できる施設	図書館	総合運動場など、複合的なスポーツ施設	広場やグラウンドなど、身近でスポーツができる施設	子どもたちが安全に遊べる身近な公園
全体	人数 1,356	146	103	42	140	98	212	124	173	264
	構成比	10.8%	7.6%	3.1%	10.3%	7.2%	15.6%	9.1%	12.8%	19.5%
18～29歳	人数 106	13	15	0	13	1	19	28	32	32
	構成比	12.3%	14.2%	0.0%	12.3%	0.9%	17.9%	26.4%	30.2%	30.2%
30～39歳	人数 213	21	19	2	21	7	39	24	33	58
	構成比	9.9%	8.9%	0.9%	9.9%	3.3%	18.3%	11.3%	15.5%	27.2%
40～49歳	人数 201	30	17	3	19	8	45	20	21	34
	構成比	14.9%	8.5%	1.5%	9.5%	4.0%	22.4%	10.0%	10.4%	16.9%
50～59歳	人数 237	28	16	3	29	24	38	18	21	33
	構成比	11.8%	6.8%	1.3%	12.2%	10.1%	16.0%	7.6%	8.9%	13.9%
60～69歳	人数 345	35	20	20	35	40	50	22	42	66
	構成比	10.1%	5.8%	5.8%	10.1%	11.6%	14.5%	6.4%	12.2%	19.1%
70歳以上	人数 224	16	14	12	20	15	16	11	20	39
	構成比	7.1%	6.3%	5.4%	8.9%	6.7%	7.1%	4.9%	8.9%	17.4%
無回答	人数 30	3	2	2	3	3	5	1	4	2
	構成比	10.0%	6.7%	6.7%	10.0%	10.0%	16.7%	3.3%	13.3%	6.7%

	病院	高齢者の生活を支援するための施設	住民票の発行などの市民サービスが受けられる市役所の派出所	美術品・芸術品等を鑑賞できる施設	市内を自転車で行き来できる自転車道	交番や派出所など、地域防犯のための施設	バス停留所・バス路線	安心して通行できる道路	児童館や子育て支援センターなど、子育て支援のための施設	下水道
全体	人数 388	324	127	72	321	225	170	318	103	96
	構成比	28.6%	23.9%	9.4%	5.3%	23.7%	16.6%	12.5%	23.5%	7.1%
18～29歳	人数 17	5	11	4	20	11	7	32	9	2
	構成比	16.0%	4.7%	10.4%	3.8%	18.9%	10.4%	6.6%	30.2%	1.9%
30～39歳	人数 65	18	18	6	50	41	28	54	27	11
	構成比	30.5%	8.5%	8.5%	2.8%	23.5%	19.2%	13.1%	25.4%	12.7%
40～49歳	人数 56	31	13	11	51	34	31	53	13	10
	構成比	27.9%	15.4%	6.5%	5.5%	25.4%	16.9%	15.4%	26.4%	6.5%
50～59歳	人数 74	69	19	12	55	37	33	46	13	23
	構成比	31.2%	29.1%	8.0%	5.1%	23.2%	15.6%	13.9%	19.4%	5.5%
60～69歳	人数 97	108	37	26	89	64	35	78	24	33
	構成比	28.1%	31.3%	10.7%	7.5%	25.8%	18.6%	10.1%	22.6%	7.0%
70歳以上	人数 73	82	27	13	51	34	31	52	15	14
	構成比	32.6%	36.6%	12.1%	5.8%	22.8%	15.2%	13.8%	23.2%	6.7%
無回答	人数 6	11	2	0	5	4	5	3	2	3
	構成比	20.0%	36.7%	6.7%	0.0%	16.7%	13.3%	16.7%	10.0%	6.7%

	その他	特にない	無回答
全体	人数 27	50	44
	構成比	2.0%	3.7%
18～29歳	人数 5	4	7
	構成比	4.7%	3.8%
30～39歳	人数 8	7	4
	構成比	3.8%	3.3%
40～49歳	人数 3	12	4
	構成比	1.5%	6.0%
50～59歳	人数 3	12	6
	構成比	1.3%	5.1%
60～69歳	人数 5	4	7
	構成比	1.4%	1.2%
70歳以上	人数 1	9	18
	構成比	0.4%	4.0%
無回答	人数 2	2	4
	構成比	6.7%	6.7%

居住地区別

居住地域や市内に特に整備を望む公共施設として、最も多い回答は、旧桶川東地区では「安心して通行できる道路」、それ以外の地区では「病院」となっており地区ごとの特徴は以下のようになっています。

- ① 旧桶川東地区：「安心して通行できる道路」（29.0%）「子供たちが安全に遊べる身近な公園」（26.8%）
- ② 旧桶川西地区：「病院」（31.3%）「高齢者の生活を支援するための施設」（29.1%）
- ③ 上下日出谷地区：「交番や派出所など、地域防犯のための施設」（22.9%）
- ④ 旧加納村地区：「病院」（30.7%）「子供たちが安全に遊べる身近な公園」（21.4%）
- ⑤ 川田谷地区：「病院」（36.8%）「バス停留所・バス路線」（34.2%）「住民票の発行などの市民サービスが受けられる市役所の派出所」（17.1%）「下水道」（21.1%）

注：各地区内の順位ではなく、他地区と比較して相対的に割合が高いものを挙げています。

		回答者数	市営駐車場	市営駐輪場	自治会や町会等の地域活動のための施設	趣味や学習、ボランティアの活動ができる施設	地区住民が気軽に交流できる施設	図書館	総合運動場など、複合的なスポーツ施設	広場やグラウンドなど、身近でスポーツができる施設	子どもたちが安全に遊べる身近な公園
全体	人数	1,356	146	103	42	140	98	212	124	173	264
	構成比		10.8%	7.6%	3.1%	10.3%	7.2%	15.6%	9.1%	12.8%	19.5%
旧桶川東地区	人数	451	38	37	21	45	31	65	47	70	121
	構成比		8.4%	8.2%	4.7%	10.0%	6.9%	14.4%	10.4%	15.5%	26.8%
旧桶川西地区	人数	326	31	23	9	46	20	55	24	44	40
	構成比		9.5%	7.1%	2.8%	14.1%	6.1%	16.9%	7.4%	13.5%	12.3%
上下日出谷地区	人数	218	32	15	3	24	18	36	21	25	37
	構成比		14.7%	6.9%	1.4%	11.0%	8.3%	16.5%	9.6%	11.5%	17.0%
旧加納村地区	人数	238	35	23	5	18	17	39	25	25	51
	構成比		14.7%	9.7%	2.1%	7.6%	7.1%	16.4%	10.5%	10.5%	21.4%
川田谷地区	人数	76	7	3	3	5	8	7	4	5	8
	構成比		9.2%	3.9%	3.9%	6.6%	10.5%	9.2%	5.3%	6.6%	10.5%
無回答	人数	47	3	2	1	2	4	10	3	4	7
	構成比		6.4%	4.3%	2.1%	4.3%	8.5%	21.3%	6.4%	8.5%	14.9%

		病院	高齢者の生活を支援するための施設	住民票の発行などの市民サービスが受けられる市役所の派出所	美術品・芸術品等を鑑賞できる施設	市内を自転車で行き来できる自転車道路	交番や派出所など、地域防犯のための施設	バス停留所・バス路線	安心して通行できる道路	児童館や子育て支援センターなど、子育て支援のための施設	下水道
全体	人数	388	324	127	72	321	225	170	318	103	96
	構成比	28.6%	23.9%	9.4%	5.3%	23.7%	16.6%	12.5%	23.5%	7.6%	7.1%
旧桶川東地区	人数	116	100	44	21	118	79	28	131	29	23
	構成比	25.7%	22.2%	9.8%	4.7%	26.2%	17.5%	6.2%	29.0%	6.4%	5.1%
旧桶川西地区	人数	102	95	17	19	76	53	36	68	26	8
	構成比	31.3%	29.1%	5.2%	5.8%	23.3%	16.3%	11.0%	20.9%	8.0%	2.5%
上下日出谷地区	人数	55	43	22	13	49	50	36	47	24	18
	構成比	25.2%	19.7%	10.1%	6.0%	22.5%	22.9%	16.5%	21.6%	11.0%	8.3%
旧加納村地区	人数	73	55	29	12	53	30	38	48	14	27
	構成比	30.7%	23.1%	12.2%	5.0%	22.3%	12.6%	16.0%	20.2%	5.9%	11.3%
川田谷地区	人数	28	18	13	4	15	5	26	16	6	16
	構成比	36.8%	23.7%	17.1%	5.3%	19.7%	6.6%	34.2%	21.1%	7.9%	21.1%
無回答	人数	14	13	2	3	10	8	6	8	4	4
	構成比	29.8%	27.7%	4.3%	6.4%	21.3%	17.0%	12.8%	17.0%	8.5%	8.5%

		その他	特にない	無回答
全体	人数	27	50	44
	構成比	2.0%	3.7%	3.2%
旧桶川東地区	人数	5	9	16
	構成比	1.1%	2.0%	3.5%
旧桶川西地区	人数	11	22	5
	構成比	3.4%	6.7%	1.5%
上下日出谷地区	人数	4	7	5
	構成比	1.8%	3.2%	2.3%
旧加納村地区	人数	3	7	11
	構成比	1.3%	2.9%	4.6%
川田谷地区	人数	2	2	2
	構成比	2.6%	2.6%	2.6%
無回答	人数	2	3	5
	構成比	4.3%	6.4%	10.6%

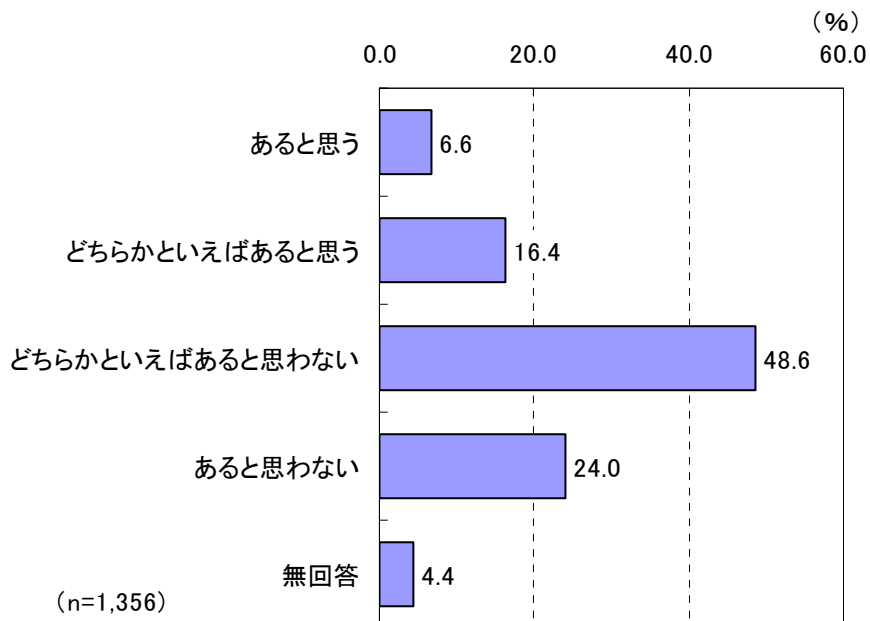
景観について

問 11 あなたは、桶川市には優れた景観があると思いますか。（○は1つ）

全 体

「どちらかといえばあると思わない」と答えた人の割合が 48.6%と最も高く、次いで「あると思わない」が 24.0%、「どちらかといえばあると思う」が 16.4%となっています。

「どちらかといえばあると思わない」「あると思わない」と答えた人の割合は 72.6%と、全体の7割強が優れた景観があると思わない、と答えています。



性 別

桶川市には優れた景観があるかについて、最も多い回答は、男女とも「どちらかといえばあると思わない」となっており、男女による違いは見られません。

			注: 白文字 = 1位			黒文字 = 2位	
			あると思う	どちらかといえばあると思う	どちらかといえばあると思わない	あると思わない	無回答
全体	人数	1,356	90	222	659	325	60
	構成比		6.6%	16.4%	48.6%	24.0%	4.4%
男性	人数	557	39	85	279	141	13
	構成比		7.0%	15.3%	50.1%	25.3%	2.3%
女性	人数	758	48	130	368	169	43
	構成比		6.3%	17.2%	48.5%	22.3%	5.7%
無回答	人数	41	3	7	12	15	4
	構成比		7.3%	17.1%	29.3%	36.6%	9.8%

年齢別

桶川市には優れた景観があるかについて、最も多い回答は、全ての年代で「どちらかといえばあると思う」となっています。

「あると思う」「どちらかといえばあると思う」と答えた人の割合が最も高いのは40歳代（27.9%）、次いで30歳代（25.8%）、60歳代（24.7%）、50歳代（21.5%）、20歳代（18.9%）、最も低いのは70歳以上（15.2%）となっており、20歳代・70歳以上で景観への評価が低くなっています。

		注：	白文字	=1位	黒文字	=2位	
		回答者数	あると思う	どちらかとい えはある と思う	どちらかとい えはある と思わない	あると思わ ない	無回答
全体	人数	1,356	90	222	659	325	60
	構成比		6.6%	16.4%	48.6%	24.0%	4.4%
18～29歳	人数	106	9	11	56	28	2
	構成比		8.5%	10.4%	52.8%	26.4%	1.9%
30～39歳	人数	213	10	45	99	55	4
	構成比		4.7%	21.1%	46.5%	25.8%	1.9%
40～49歳	人数	201	19	37	97	44	4
	構成比		9.5%	18.4%	48.3%	21.9%	2.0%
50～59歳	人数	237	14	37	122	56	8
	構成比		5.9%	15.6%	51.5%	23.6%	3.4%
60～69歳	人数	345	21	64	165	70	25
	構成比		6.1%	18.6%	47.8%	20.3%	7.2%
70歳以上	人数	224	12	22	113	63	14
	構成比		5.4%	9.8%	50.4%	28.1%	6.3%
無回答	人数	30	5	6	7	9	3
	構成比		16.7%	20.0%	23.3%	30.0%	10.0%

居住地区別

桶川市には優れた景観があるかについて、最も多い回答は、全ての地区において「どちらかといえばあると思わない」となっています。

「あると思う」「どちらかといえばあると思う」と答えた人の割合が最も高いのは、川田谷地区（36.9%）、次いで旧桶川西地区・上下日出谷地区（それぞれ25.7%）、旧加納村地区（20.2%）、最も低いのは旧桶川東地区（18.8%）となっています。

			注：白文字 = 1位			黒文字 = 2位	
		回答者数	あると思う	どちらかとい えればある と思う	どちらかとい えればある と思わない	あると思わ ない	無回答
全体	人数	1,356	90	222	659	325	60
	構成比		6.6%	16.4%	48.6%	24.0%	4.4%
旧桶川東地区	人数	451	28	57	233	113	20
	構成比		6.2%	12.6%	51.7%	25.1%	4.4%
旧桶川西地区	人数	326	19	65	154	78	10
	構成比		5.8%	19.9%	47.2%	23.9%	3.1%
上下日出谷地区	人数	218	15	41	103	50	9
	構成比		6.9%	18.8%	47.2%	22.9%	4.1%
旧加納村地区	人数	238	14	34	119	60	11
	構成比		5.9%	14.3%	50.0%	25.2%	4.6%
川田谷地区	人数	76	10	18	31	10	7
	構成比		13.2%	23.7%	40.8%	13.2%	9.2%
無回答	人数	47	4	7	19	14	3
	構成比		8.5%	14.9%	40.4%	29.8%	6.4%

問12 問11で、「1. あると思う」、あるいは、「2. どちらかといえばあると思う」を選んだ方におたずねします。特に優れた景観として挙げられるものを具体的にお書きください。

桶川市の優れた景観として、第1位：「荒川周辺」、第2位：「桶川駅西口周辺」、第3位：「自然・みどり」となっており、自然と現代的な景観が上位3位を占めています。

次いで、都市公園の「城山公園」、「富士山が見える風景」という眺望景観、「旧中山道桶川宿」という歴史的な景観が続いています。

【第1位】荒川周辺 (50)

- ・荒川、土手周辺。 ・荒川近郊の緑豊かな風景
- ・荒川を車で渡る時、農地や草原の景色がすばらしいと思う
- ・荒川土手より見る夕陽（泉福寺の南側）など

【第2位】桶川駅西口周辺 (34)

- ・駅前（西口）の並木道と駅西口公園のベンチにすわっている景色
- 西口の道路両側に樹木が植えられていて、ホッとしますなど

【第3位】自然・みどり (33)

- ・郊外の緑 ・雑木林があちこちにある ・林とか森が近くに有るなど

【第4位】城山公園 (28)

- ・城山公園（さくらの頃がとてもよい） など

【第5位】富士山が見える風景 (25)

- ・市役所近くの陸橋から見える富士山 ・荒川河岸から見る富士山
- ・秋から冬、ペニ花陸橋から見た富士山晴れの日のみごとです
- ・やすらぎの里の裏通りより眺める富士山（両親のようです） など

【第6位】旧中山道桶川宿 (24)

- ・旧中山道の町並みの景観でしょうか。寂れてはいるけれど、眺めるとなつかしい。昔々の盛んな頃の想像が…
- ・新しいものと古いものの（共生）東口開発は必要と思いますが、旧中山道の町並みを保存しながら、観光化と特産物の販売等を実施する（市民全員で考える事が大切）など

【第7位】歴史 (22)

- ・桶川市全体として、あまり近代化の波にのらず、少し歩けば田、畑のある景観、これがすばらしいと思います（近代化すべて良いではないと思うのですが…？）

【第8位】泉福寺 (20)

- ・泉福寺の前のイチョウ並木 ・泉福寺周辺の景色、及び眺望

【第9位】川田谷 (17)

- ・川田谷、泉福寺あたりと、その西側の風景。土手から見る夕陽は、最高だと思います
- 泉福寺は北条攻めの折、上杉謙信が布陣した寺。その辺のPRも是非

【第10位】べに花ふるさと館 (16)

- ・べにばなふるさと館は優れたものと思っています

【その他】

田園、べに花畑、太郎右衛門橋、ホンダエアポート、秩父山が見える風景、高層ビルがない、赤堀川、など

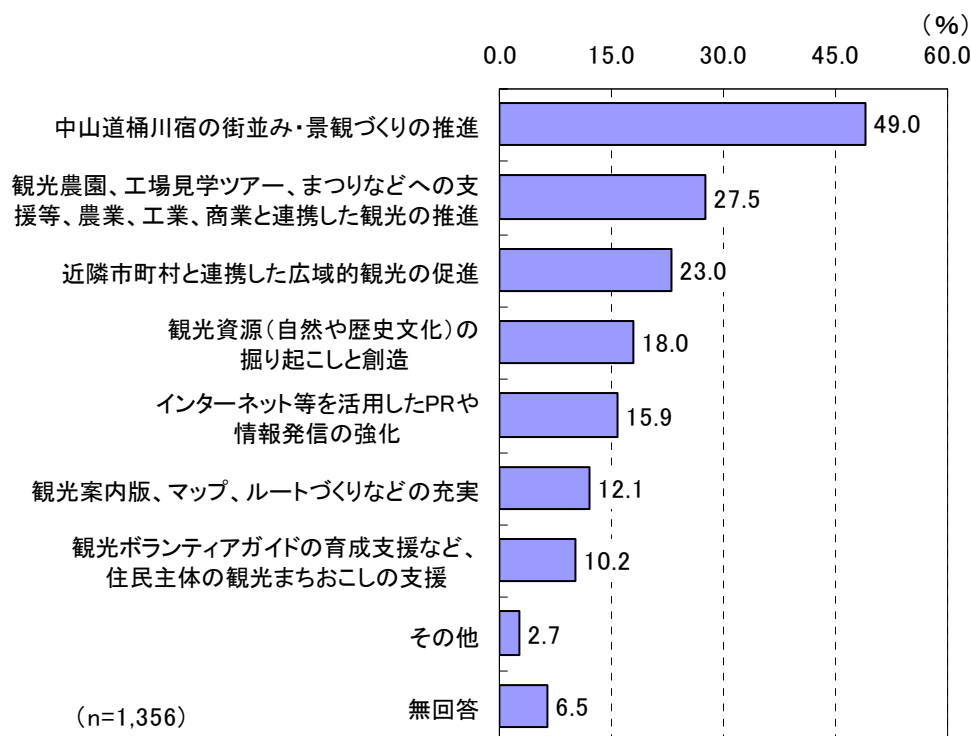
観光振興について

問 13 あなたは、桶川市の更なる観光振興のために、市は、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。（〇は2つまで）

全 体

「中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進」（以下、「中山道桶川宿の景観づくり」）と答えた人の割合が 49.0%と最も高く、全体の約半数を占めています。

次いで、「観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進」（以下、「農・工・商と連携した観光の推進」）が 27.5%、「近隣市町村と連携した広域的観光の促進」（以下、「広域観光の推進」）が 23.0%となっています。



【その他の主な意見】

- 桶川駅の整備
- キャラクターや新しい名物の創造
- 桶川市に観光資源があるのか疑問
- 市民参加 など

年齢別

桶川市の観光振興のために今後市が特に力を入れていくべきこととして、最も多い回答は、全ての年代において「中山道桶川宿の景観づくり」、2番目に多い回答は、70歳以上では「広域観光の推進」、それ以外の年代では「農・工・商と連携した観光の推進」となっています。

また、20歳代では「インターネット等を活用したPRや情報発信の強化」、30歳代では「中山道桶川宿の景観づくり」、60歳代では「観光資源（自然や歴史文化）の掘り起こしと創造」と答えた人の割合が他の年代と比較して高くなっています。

「観光ボランティアガイドの育成支援など、住民主体の観光まちおこしの支援」では、20歳～40歳代の若い世代よりも50歳代以上の年代で高くなっています。

注： 白文字 =1位 黒文字 =2位

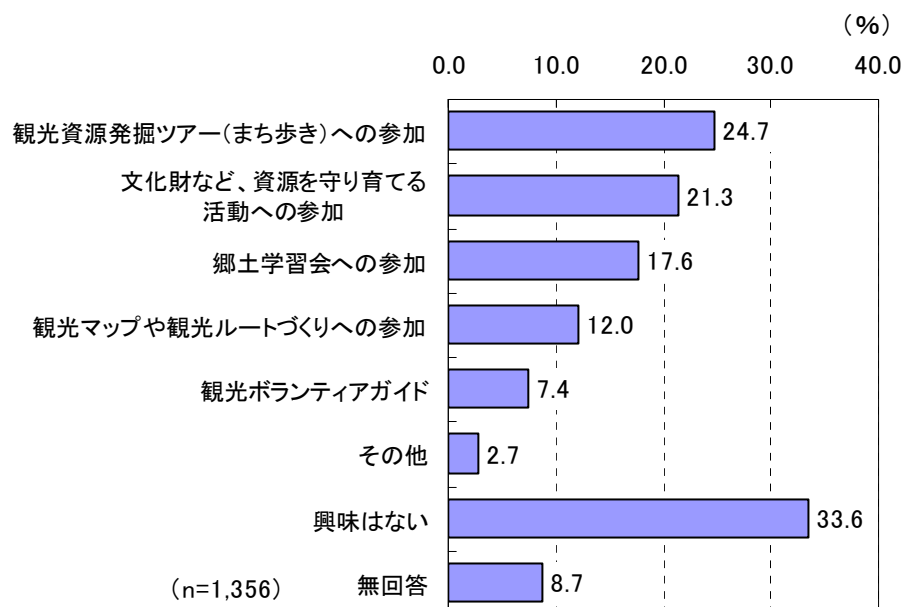
		回答者数	インターネット等を活用したPRや情報発信の強化	観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進	観光資源（自然や歴史文化）の掘り起こしと創造	観光案内版、マップ、ルートづくりなどの充実	中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進	観光ボランティアガイドの育成支援など、住民主体の観光まちおこしの支援	近隣市町村と連携した広域的観光の促進	その他	無回答
全体	人数	1,356	216	373	244	164	665	138	312	36	88
	構成比		15.9%	27.5%	18.0%	12.1%	49.0%	10.2%	23.0%	2.7%	6.5%
18～29歳	人数	106	25	40	19	11	44	7	19	6	1
	構成比		23.6%	37.7%	17.9%	10.4%	41.5%	6.6%	17.9%	5.7%	0.9%
30～39歳	人数	213	42	66	24	18	108	18	48	8	12
	構成比		19.7%	31.0%	11.3%	8.5%	50.7%	8.5%	22.5%	3.8%	5.6%
40～49歳	人数	201	36	56	36	25	100	13	39	4	13
	構成比		17.9%	27.9%	17.9%	12.4%	49.8%	6.5%	19.4%	2.0%	6.5%
50～59歳	人数	237	38	64	47	26	118	29	55	7	11
	構成比		16.0%	27.0%	19.8%	11.0%	49.8%	12.2%	23.2%	3.0%	4.6%
60～69歳	人数	345	41	92	77	46	173	46	88	3	19
	構成比		11.9%	26.7%	22.3%	13.3%	50.1%	13.3%	25.5%	0.9%	5.5%
70歳以上	人数	224	31	49	37	33	107	23	55	7	28
	構成比		13.8%	21.9%	16.5%	14.7%	47.8%	10.3%	24.6%	3.1%	12.5%
無回答	人数	30	3	6	4	5	15	2	8	1	4
	構成比		10.0%	20.0%	13.3%	16.7%	50.0%	6.7%	26.7%	3.3%	13.3%

問 14 あなたは、観光振興にかかわる、次のどの活動への参加に興味がありますか。（〇は2つまで）

全 体

「興味はない」と答えた人の割合の人が 33.6%と最も高く、全体の約 3 割強が興味がない、と答えています。

興味がある人のなかでは、「観光資源発掘ツアー（まち歩き）への参加」（以下、「まち歩き」）と答えた人の割合が 24.7%と最も高く、次いで「文化財など、資源を守り育てる活動への参加」（以下、「文化財の保全活動」）が 21.3%、「郷土学習会への参加」が 17.6%となっています。



【その他の主な意見】

- 興味はあるが、参加できない（高齢のため、仕事があるため、体力不足のため、など）
- 農業体験やアグリビジネス
- 郷土品開発 など

性 別

観光振興にかかわる活動への参加について、最も多い回答は、男女ともに「興味はない」となっています。

興味のある活動の中で、男性では「文化財の保全活動」「観光マップや観光ルートづくりへの参加」（以下、「マップ・ルートづくり」）と回答した人の割合が女性よりも高くなっています。他方、女性では「まち歩き」「観光ボランティアガイド」と回答した人の割合が男性よりも高くなっています。

						注:	白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	郷土学習会 への参加	観光資源発 掘ツアー (まち歩き) への参加	観光マップ や観光ルー トづくりへの 参加	文化財など、資源を 守り育てる 活動への参 加	観光ボラン ティアガイド	その他	興味はない	無回答
全体	人数	1,356	239	335	163	289	101	37	455	118
	構成比		17.6%	24.7%	12.0%	21.3%	7.4%	2.7%	33.6%	8.7%
男性	人数	557	100	128	81	138	34	11	195	40
	構成比		18.0%	23.0%	14.5%	24.8%	6.1%	2.0%	35.0%	7.2%
女性	人数	758	136	199	75	141	63	25	249	68
	構成比		17.9%	26.3%	9.9%	18.6%	8.3%	3.3%	32.8%	9.0%
無回答	人数	41	3	8	7	10	4	1	11	10
	構成比		7.3%	19.5%	17.1%	24.4%	9.8%	2.4%	26.8%	24.4%

注：白文字 = 1位 黒文字 = 2位

年 齢 別

観光振興にかかわる活動への参加について、最も多い回答は、20 歳～40 歳代では「興味はない」、50 歳～70 歳以上では「まち歩き」となっており、全体として若い世代の興味が低くなっています。

他方、20 歳～40 歳代では「文化財の保全活動」への興味が相対的に高くなっています。また、60 歳～70 歳以上では「郷土学習会への参加」と答えた人の割合が他の年代と比較して高くなっています。

			注：白文字＝1位 黒文字＝2位							
		回答者数	郷土学習会 への参加	観光資源発 掘ツアー (まち歩き) への参加	観光マップ や観光ルー トづくりへの 参加	文化財など、資源を 守り育てる 活動への参 加	観光ボラン ティアガイド	その他	興味はない	無回答
全体	人数	1,356	239	335	163	289	101	37	455	118
	構成比		17.6%	24.7%	12.0%	21.3%	7.4%	2.7%	33.6%	8.7%
18～29歳	人数	106	7	12	13	24	8	2	54	5
	構成比		6.6%	11.3%	12.3%	22.6%	7.5%	1.9%	50.9%	4.7%
30～39歳	人数	213	19	29	26	34	21	3	113	9
	構成比		8.9%	13.6%	12.2%	16.0%	9.9%	1.4%	53.1%	4.2%
40～49歳	人数	201	32	36	28	49	14	5	79	6
	構成比		15.9%	17.9%	13.9%	24.4%	7.0%	2.5%	39.3%	3.0%
50～59歳	人数	237	39	82	32	51	20	7	66	16
	構成比		16.5%	34.6%	13.5%	21.5%	8.4%	3.0%	27.8%	6.8%
60～69歳	人数	345	83	111	35	79	24	9	83	32
	構成比		24.1%	32.2%	10.1%	22.9%	7.0%	2.6%	24.1%	9.3%
70歳以上	人数	224	55	59	23	43	11	10	54	45
	構成比		24.6%	26.3%	10.3%	19.2%	4.9%	4.5%	24.1%	20.1%
無回答	人数	30	4	6	6	9	3	1	6	5
	構成比		13.3%	20.0%	20.0%	30.0%	10.0%	3.3%	20.0%	16.7%

注：白文字 = 1位 黒文字 = 2位

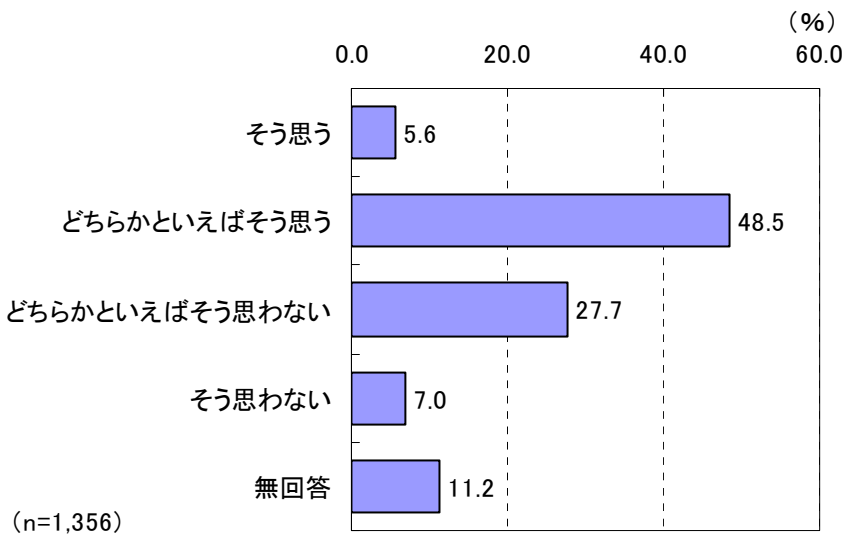
子育て環境について

問 15 あなたは、桶川市は、安心して子育てしやすいまちだと思いますか。（〇は1つ）

全 体

「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合が 48.5%、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 27.7%、「そう思わない」が 7.0%となっています。

「どちらかといえばそう思う」「そう思う」と答えた人の割合は 54.1%と、全体の半数強が子育てしやすい、と答えています。



性 別

桶川市が安心して子育てしやすいまちかについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合は、男性で 51.7%、女性で 56.2%となっており、女性の割合が若干高くなっています。

		注: 白文字 = 1位		黒文字 = 2位			
		回答者数	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い	無回答
全体	人数	1,356	76	657	376	95	152
	構成比		5.6%	48.5%	27.7%	7.0%	11.2%
男性	人数	557	21	267	182	37	50
	構成比		3.8%	47.9%	32.7%	6.6%	9.0%
女性	人数	758	47	379	183	53	96
	構成比		6.2%	50.0%	24.1%	7.0%	12.7%
無回答	人数	41	8	11	11	5	6
	構成比		19.5%	26.8%	26.8%	12.2%	14.6%

年齢別

桶川市が安心して子育てしやすいまちかについて、最も多い回答は、20歳代では「どちらかといえばそう思う」、それ以外の年代では「どちらかといえばそう思う」となっています。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合が最も高いのは、40歳代（60.2%）、最も低いのは20歳代（45.3%）となっており、全体の傾向として、年代が若くなるほど子育て環境を評価していません。

		注: 白文字 = 1位		黒文字 = 2位			
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思う	そう思わない	無回答
全体	人数	1,356	76	657	376	95	152
	構成比		5.6%	48.5%	27.7%	7.0%	11.2%
18～29歳	人数	106	6	42	48	8	2
	構成比		5.7%	39.6%	45.3%	7.5%	1.9%
30～39歳	人数	213	8	103	68	24	10
	構成比		3.8%	48.4%	31.9%	11.3%	4.7%
40～49歳	人数	201	7	114	50	16	14
	構成比		3.5%	56.7%	24.9%	8.0%	7.0%
50～59歳	人数	237	11	131	61	10	24
	構成比		4.6%	55.3%	25.7%	4.2%	10.1%
60～69歳	人数	345	26	157	96	22	44
	構成比		7.5%	45.5%	27.8%	6.4%	12.8%
70歳以上	人数	224	15	100	44	12	53
	構成比		6.7%	44.6%	19.6%	5.4%	23.7%
無回答	人数	30	3	10	9	3	5
	構成比		10.0%	33.3%	30.0%	10.0%	16.7%

居住地区別

桶川市が安心して子育てしやすいまちかについて、最も多い回答は、全ての地区において「どちらかといえばそう思う」、次いで「どちらかといえばそう思わない」となっています。

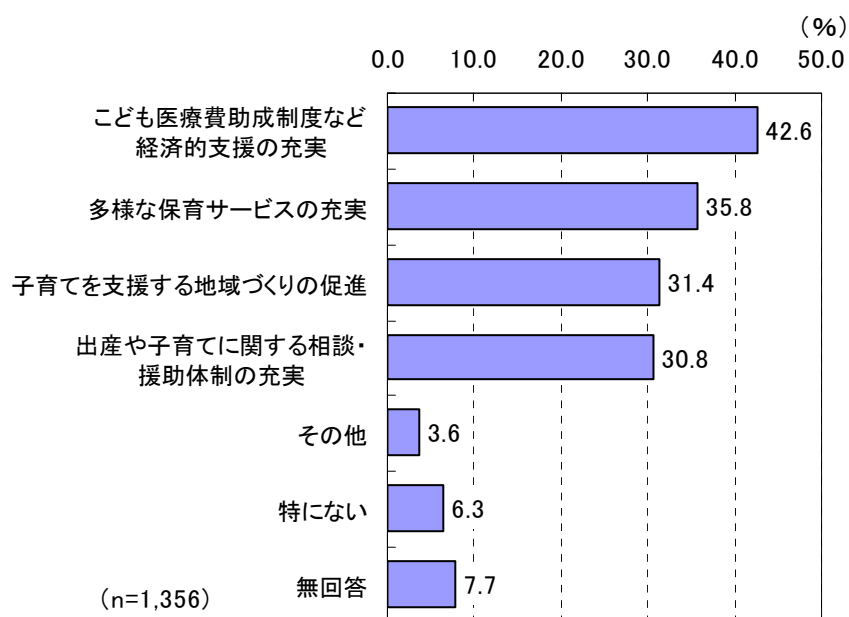
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合が最も高いのは、川田谷地区（60.5%）、次いで旧桶川西地区（59.2%）、上下日出谷地区（56.4%）、旧加納村地区（55.5%）、最も低いのは旧桶川東地区（48.4%）となっています。

		注: 白文字 = 1位		黒文字 = 2位			
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思う	そう思わない	無回答
全体	人数	1,356	76	657	376	95	152
	構成比		5.6%	48.5%	27.7%	7.0%	11.2%
旧桶川東地区	人数	451	21	197	144	35	54
	構成比		4.7%	43.7%	31.9%	7.8%	12.0%
旧桶川西地区	人数	326	13	180	74	21	38
	構成比		4.0%	55.2%	22.7%	6.4%	11.7%
上下日出谷地区	人数	218	15	108	58	16	21
	構成比		6.9%	49.5%	26.6%	7.3%	9.6%
旧加納村地区	人数	238	15	117	68	15	23
	構成比		6.3%	49.2%	28.6%	6.3%	9.7%
川田谷地区	人数	76	6	40	18	4	8
	構成比		7.9%	52.6%	23.7%	5.3%	10.5%
無回答	人数	47	6	15	14	4	8
	構成比		12.8%	31.9%	29.8%	8.5%	17.0%

問 16 安心して子どもを育てられるまちにするために、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。（〇は2つまで）

全 体

「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」（以下、「経済的支援の充実」）と答えた人の割合が 42.6%と最も高く、次いで「多様な保育サービスの充実」が 35.8%、「子育てを支援する地域づくりの促進」が 31.4%となっています。



【その他の主な意見】

- 産婦人科・小児科の充実
- 安心して遊べる場所の整備
- 安心して歩ける道路の整備
- 防犯対策の充実
- 母子家庭支援の見直し・充実
など

年齢別

安心して子どもを育てられるまちにするために市が取り組むべきこととして、最も多い回答は、50 歳代では「多様な保育サービスの充実」、それ以外の年代では「経済的支援の充実」となっています。

また、20 歳代では「出産や子育てに関する相談・援助体制の充実」「経済的支援の充実」、30 歳代では「多様な保育サービスの充実」、60 歳代では「子育てを支援する地域づくりの促進」と答えた人の割合が他の年代と比較して高くなっています。

		注: 白文字					=1位	黒文字	=2位
		回答者数	出産や子育てに関する 相談・援助 体制の充実	多様な保育 サービスの 充実	子育てを支 援する地域 づくりの促 進	こども医療 費助成制度 など経済的 支援の充実	その他	特にない	無回答
全体	人数	1,356	417	485	426	577	49	86	105
	構成比		30.8%	35.8%	31.4%	42.6%	3.6%	6.3%	7.7%
18～29歳	人数	106	44	38	25	58	7	6	1
	構成比		41.5%	35.8%	23.6%	54.7%	6.6%	5.7%	0.9%
30～39歳	人数	213	63	94	68	100	9	9	7
	構成比		29.6%	44.1%	31.9%	46.9%	4.2%	4.2%	3.3%
40～49歳	人数	201	56	64	61	85	13	10	10
	構成比		27.9%	31.8%	30.3%	42.3%	6.5%	5.0%	5.0%
50～59歳	人数	237	67	89	81	83	6	24	17
	構成比		28.3%	37.6%	34.2%	35.0%	2.5%	10.1%	7.2%
60～69歳	人数	345	113	108	121	142	11	23	29
	構成比		32.8%	31.3%	35.1%	41.2%	3.2%	6.7%	8.4%
70歳以上	人数	224	68	81	58	98	2	13	36
	構成比		30.4%	36.2%	25.9%	43.8%	0.9%	5.8%	16.1%
無回答	人数	30	6	11	12	11	1	1	5
	構成比		20.0%	36.7%	40.0%	36.7%	3.3%	3.3%	16.7%

居住地区別

安心して子どもを育てられるまちにするために市が取り組むべきこととして、最も多い回答は、旧加納村地区では「多様な保育サービスの充実」、それ以外の地区では「経済的支援の充実」となっています。

また、旧桶川東地区では「子育てを支援する地域づくりの促進」、上下日出谷地区では「経済的支援の充実」、旧加納村地区では「出産や子育てに関する相談・援助体制の充実」「多様な保育サービスの充実」、川田谷地区では「経済的支援の充実」と答えた人の割合が他地区と比較して高くなっています。

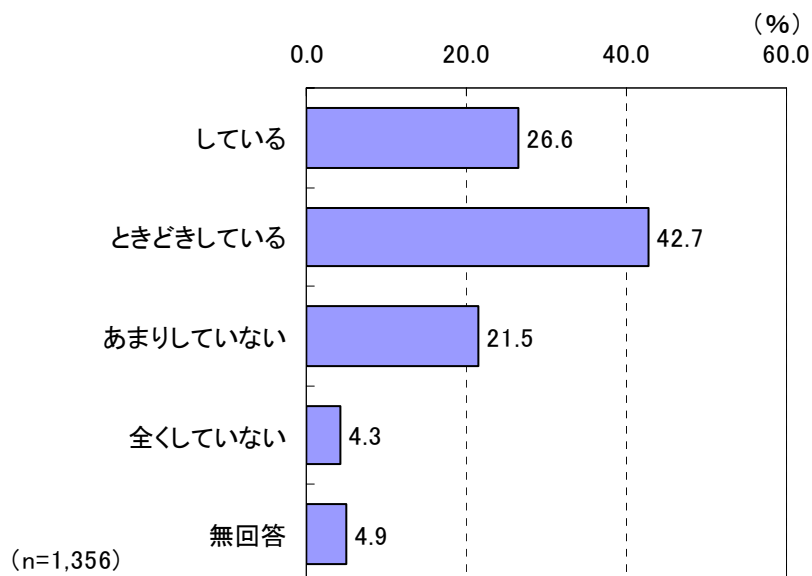
		回答者数	出産や子育てに関する 相談・援助 体制の充実	多様な保育 サービスの 充実	子育てを支 援する地域 づくりの促 進	注: 白文字	=1位	黒文字	=2位
						こども医療 費助成制度 など経済的 支援の充実	その他	特にない	無回答
全体	人数	1,356	417	485	426	577	49	86	105
	構成比		30.8%	35.8%	31.4%	42.6%	3.6%	6.3%	7.7%
旧桶川東地区	人数	451	126	146	162	191	12	35	33
	構成比		27.9%	32.4%	35.9%	42.4%	2.7%	7.8%	7.3%
旧桶川西地区	人数	326	104	117	94	131	10	24	30
	構成比		31.9%	35.9%	28.8%	40.2%	3.1%	7.4%	9.2%
上下日出谷地区	人数	218	66	80	60	105	14	11	14
	構成比		30.3%	36.7%	27.5%	48.2%	6.4%	5.0%	6.4%
旧加納村地区	人数	238	83	97	73	96	7	12	14
	構成比		34.9%	40.8%	30.7%	40.3%	2.9%	5.0%	5.9%
川田谷地区	人数	76	23	28	23	34	4	3	7
	構成比		30.3%	36.8%	30.3%	44.7%	5.3%	3.9%	9.2%
無回答	人数	47	15	17	14	20	2	1	7
	構成比		31.9%	36.2%	29.8%	42.6%	4.3%	2.1%	14.9%

3 地球温暖化への取り組みについて

問 17 あなたは、普段の生活の中で、地球温暖化への取り組みをしていますか。（○は1つ）

全 体

「ときどきしている」と答えた人の割合が 42.7%とも最も高く、次いで「している」が 26.6%となっており、全体の約7割が地球温暖化への取り組みを行っていると答えています。他方、「全くしていない」と答えた人の割合は 4.3%にとどまっています。



性 別

普段の生活の中で地球環境問題への取り組みについて、最も多い回答は、男女ともに「ときどきしている」となっています。

「している」「ときどきしている」と答えた人の割合は、男性では60.3%、女性では76.0%となっており、男性よりも女性の方が取り組んでいる割合が高くなっています。

			注:	白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	している	ときどきして いる	あまりして いない	全くしてい ない	無回答
全体	人数	1,356	361	579	291	58	67
	構成比		26.6%	42.7%	21.5%	4.3%	4.9%
男性	人数	557	118	218	172	30	19
	構成比		21.2%	39.1%	30.9%	5.4%	3.4%
女性	人数	758	228	348	114	28	40
	構成比		30.1%	45.9%	15.0%	3.7%	5.3%
無回答	人数	41	15	13	5	0	8
	構成比		36.6%	31.7%	12.2%	0.0%	19.5%

年 齢 別

普段の生活の中で地球環境問題への取り組みについて、最も多い回答は、全ての年代で「ときどきしている」となっています。

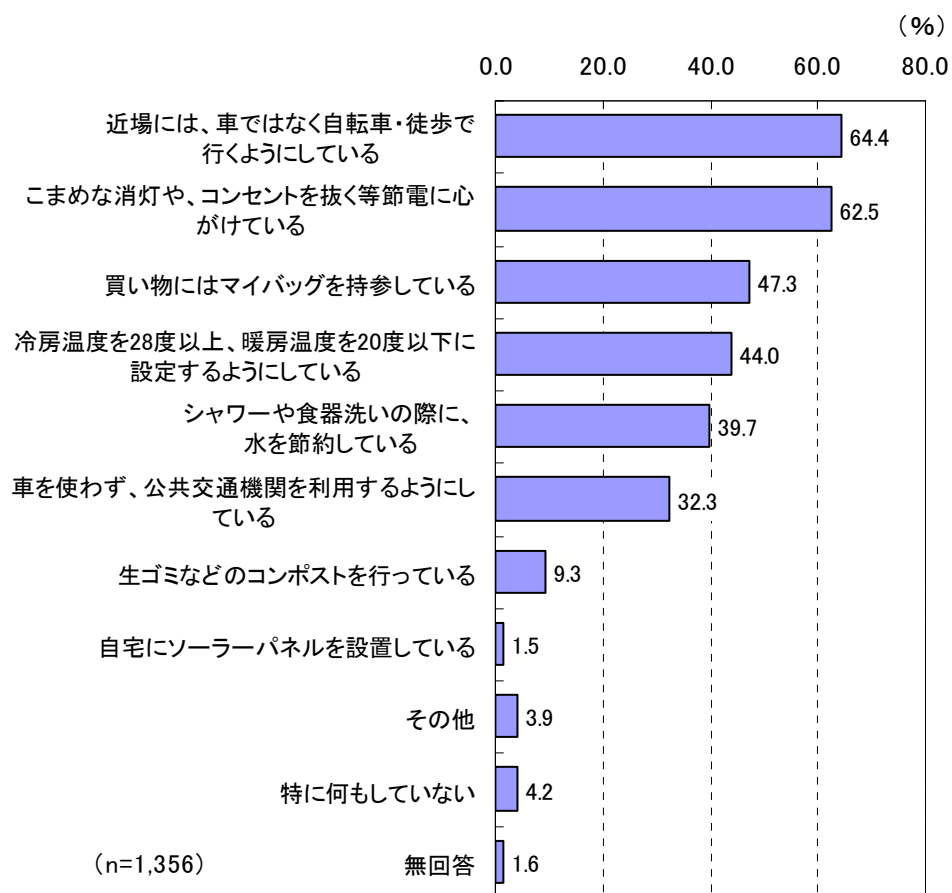
「している」「ときどきしている」と答えた人の割合が最も高いのは40歳代（77.6%）、次いで60歳代が（68.4%）、50歳代（67.9%）、20歳代が（67.0%）、最も低いのは30歳代で（66.6）となっており、若い世代での取り組みが比較的少なくなっています。

			注: 白文字		=1位	黒文字	=2位
		回答者数	している	ときどきして いる	あまりして いない	全くして いない	無回答
全体	人数	1,356	361	579	291	58	67
	構成比		26.6%	42.7%	21.5%	4.3%	4.9%
18～29歳	人数	106	18	53	28	6	1
	構成比		17.0%	50.0%	26.4%	5.7%	0.9%
30～39歳	人数	213	48	94	55	13	3
	構成比		22.5%	44.1%	25.8%	6.1%	1.4%
40～49歳	人数	201	54	102	35	6	4
	構成比		26.9%	50.7%	17.4%	3.0%	2.0%
50～59歳	人数	237	61	100	60	5	11
	構成比		25.7%	42.2%	25.3%	2.1%	4.6%
60～69歳	人数	345	99	137	70	20	19
	構成比		28.7%	39.7%	20.3%	5.8%	5.5%
70歳以上	人数	224	68	81	40	8	27
	構成比		30.4%	36.2%	17.9%	3.6%	12.1%
無回答	人数	30	13	12	3	0	2
	構成比		43.3%	40.0%	10.0%	0.0%	6.7%

問 18 (地球温暖化への取組みについて) 次のうち、あなたが取り組んでいるものはありますか
(○はあてはまるものすべて)

全 体

「近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている」(以下、「近場には自転車・徒歩で行く」)と答えた人の割合が 64.4%と最も高く、次いで「こまめな消灯や、コンセントを抜く等節電に心がけている」(以下、「節電に心がけている」)が 62.5%、「買い物にはマイバッグを持参している」(以下、「マイバッグを持参している」)が 47.3%となっています。



【その他の主な意見】

- エアコンはなるべく使わない
- 節水・節電
- 排水への配慮（合成洗剤を控えるなど）
- 緑化
- 生ゴミを土に埋める
- 自然エネルギーの利用
- マイ箸・マイボトル・マイカップの利用など

性 別

地球温暖化への取り組みとして、最も多い回答は、男性では「近場には自転車・徒歩で行く」、女性では「節電に心がけている」となっています。

全ての項目において、女性の取り組んでいる割合が男性よりも高く、特に「マイバッグを持参している」では、男性よりも約35%高くなっています。

注: 白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		回答者数	車を使わず、公共交通機関を利用している	近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている	買い物にはマイバッグを持参している	冷房温度を28度以上、暖房温度を20度以下に設定している	こまめな消灯や、コンセントを抜く等節電に心がけている	自宅にソーラーパネルを設置している	シャワーや食器洗いの際に、水を節約している	生ゴミなどのコンポストを行っている
全体	人数	1,356	438	873	642	596	848	21	538	126
	構成比		32.3%	64.4%	47.3%	44.0%	62.5%	1.5%	39.7%	9.3%
男性	人数	557	164	348	154	205	321	8	196	46
	構成比		29.4%	62.5%	27.6%	36.8%	57.6%	1.4%	35.2%	8.3%
女性	人数	758	261	502	475	375	505	12	330	70
	構成比		34.4%	66.2%	62.7%	49.5%	66.6%	1.6%	43.5%	9.2%
無回答	人数	41	13	23	13	16	22	1	12	10
	構成比		31.7%	56.1%	31.7%	39.0%	53.7%	2.4%	29.3%	24.4%

		その他	特に何もしていない	無回答
全体	人数	53	57	22
	構成比	3.9%	4.2%	1.6%
男性	人数	18	44	9
	構成比	3.2%	7.9%	1.6%
女性	人数	33	12	7
	構成比	4.4%	1.6%	0.9%
無回答	人数	2	1	6
	構成比	4.9%	2.4%	14.6%

年齢別

地球温暖化への取り組みとして、最も多い回答は、20 歳～40 歳代では「節電に心がけている」、50 歳～70 歳以上では「近場には、自転車・徒歩で行く」となっています。

また、20 歳代では、「車を使わず、公共交通機関を利用するようにしている」、30 歳代では「マイバッグを持参している」、70 歳以上では「近場には、自転車・徒歩で行く」「冷房温度を28度以上、暖房温度を20度以上以下に設定するようにしている」「節電に心がけている」「生ゴミなどのコンポストを行っている」「シャワーや食器洗いの際に水を節約している」と答えた人の割合が他の年代と比較して高くなっており、特に70 歳以上での各項目への取り組みの割合が高くなっています。

			注: 白文字 =1位 黒文字 =2位							
		回答者数	車を使わず、公共交通機関を利用するようにしている	近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている	買い物にはマイバッグを持参している	冷房温度を28度以上、暖房温度を20度以下に設定するようにしている	こまめな消灯や、コンセントを抜く等節電に心がけている	自宅にソーラーパネルを設置している	シャワーや食器洗いの際に、水を節約している	生ゴミなどのコンポストを行っている
全体	人数	1,356	438	873	642	596	848	21	538	126
	構成比		32.3%	64.4%	47.3%	44.0%	62.5%	1.5%	39.7%	9.3%
18～29歳	人数	106	54	61	40	45	62	2	35	1
	構成比		50.9%	57.5%	37.7%	42.5%	58.5%	1.9%	33.0%	0.9%
30～39歳	人数	213	60	114	115	89	125	4	80	17
	構成比		28.2%	53.5%	54.0%	41.8%	58.7%	1.9%	37.6%	8.0%
40～49歳	人数	201	60	120	101	81	129	5	74	11
	構成比		29.9%	59.7%	50.2%	40.3%	64.2%	2.5%	36.8%	5.5%
50～59歳	人数	237	72	159	103	107	143	1	83	14
	構成比		30.4%	67.1%	43.5%	45.1%	60.3%	0.4%	35.0%	5.9%
60～69歳	人数	345	109	237	160	152	217	6	144	41
	構成比		31.6%	68.7%	46.4%	44.1%	62.9%	1.7%	41.7%	11.9%
70歳以上	人数	224	73	166	110	108	155	2	112	36
	構成比		32.6%	74.1%	49.1%	48.2%	69.2%	0.9%	50.0%	16.1%
無回答	人数	30	10	16	13	14	17	1	10	6
	構成比		33.3%	53.3%	43.3%	46.7%	56.7%	3.3%	33.3%	20.0%

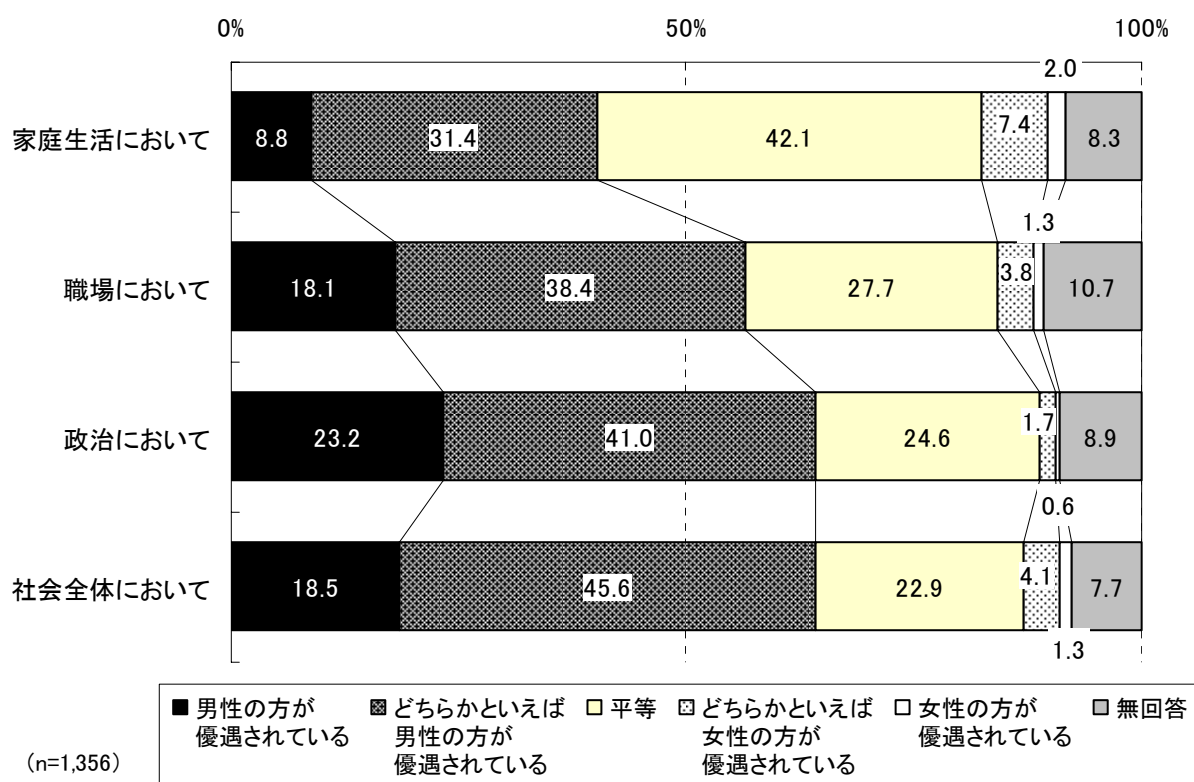
		その他	特に何もしていない	無回答
全体	人数	53	57	22
	構成比	3.9%	4.2%	1.6%
18～29歳	人数	4	9	2
	構成比	3.8%	8.5%	1.9%
30～39歳	人数	11	11	1
	構成比	5.2%	5.2%	0.5%
40～49歳	人数	13	5	2
	構成比	6.5%	2.5%	1.0%
50～59歳	人数	7	11	2
	構成比	3.0%	4.6%	0.8%
60～69歳	人数	7	18	5
	構成比	2.0%	5.2%	1.4%
70歳以上	人数	9	2	8
	構成比	4.0%	0.9%	3.6%
無回答	人数	2	1	2
	構成比	6.7%	3.3%	6.7%

4 男女共同参画について

問 19 あなたは、生活や社会における男女の地位について、どのようにお考えですか。
(それぞれの項目で○は1つ)

全 体

男女の地位が「平等」と答えた人の割合が最も高いのは、「家庭生活において」(42.1%)、次いで「職場において」(27.7%)、「政治において」(24.6%)、最も低い「社会全体において」(22.9%)となっており、社会全体を平等と考えている人は2割強にとどまっています。



問 19-A 家庭生活において

性 別

家庭生活における男女の地位について、最も多い回答は、男性では「平等」、女性では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」となっています。

「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた人の割合は、男性では26.2%、女性では51.7%となっており、男女で認識が大きく異なっています（25.5%差）。

			注:		白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと いえば男性 の方が優遇 されている	平等	どちらかと いえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答
全体	人数	1,356	120	426	571	100	27	112
	構成比		8.8%	31.4%	42.1%	7.4%	2.0%	8.3%
男性	人数	557	16	130	302	51	15	43
	構成比		2.9%	23.3%	54.2%	9.2%	2.7%	7.7%
女性	人数	758	101	291	254	42	10	60
	構成比		13.3%	38.4%	33.5%	5.5%	1.3%	7.9%
無回答	人数	41	3	5	15	7	2	9
	構成比		7.3%	12.2%	36.6%	17.1%	4.9%	22.0%

年 齢 別

家庭生活における男女の地位について、最も多い回答は、60歳代では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、それ以外の年代では「平等」となっています。

全体として年代が下がるほど「平等」と答えた人の割合が高くなっています。

			注：		白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと いえば男性 の方が優遇 されている	平等	どちらかと いえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答
全体	人数	1,356	120	426	571	100	27	112
	構成比		8.8%	31.4%	42.1%	7.4%	2.0%	8.3%
18～29歳	人数	106	10	22	57	8	5	4
	構成比		9.4%	20.8%	53.8%	7.5%	4.7%	3.8%
30～39歳	人数	213	22	61	96	17	7	10
	構成比		10.3%	28.6%	45.1%	8.0%	3.3%	4.7%
40～49歳	人数	201	25	58	86	15	7	10
	構成比		12.4%	28.9%	42.8%	7.5%	3.5%	5.0%
50～59歳	人数	237	23	86	99	12	3	14
	構成比		9.7%	36.3%	41.8%	5.1%	1.3%	5.9%
60～69歳	人数	345	15	131	128	32	3	36
	構成比		4.3%	38.0%	37.1%	9.3%	0.9%	10.4%
70歳以上	人数	224	23	66	91	12	0	32
	構成比		10.3%	29.5%	40.6%	5.4%	0.0%	14.3%
無回答	人数	30	2	2	14	4	2	6
	構成比		6.7%	6.7%	46.7%	13.3%	6.7%	20.0%

問 19-B 職場において

性 別

職場における男女の地位について、最も多い回答は、男女ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」となっています。

「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた人の割合は、男性では 45.8%、女性では 65.4%となっており、男女での認識が異なっています（19.6%差）。

			注：		白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと いえば男性 の方が優遇 されている	平等	どちらかと いえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答
全体	人数	1,356	245	521	376	52	17	145
	構成比		18.1%	38.4%	27.7%	3.8%	1.3%	10.7%
男性	人数	557	54	201	199	32	11	60
	構成比		9.7%	36.1%	35.7%	5.7%	2.0%	10.8%
女性	人数	758	183	313	167	20	3	72
	構成比		24.1%	41.3%	22.0%	2.6%	0.4%	9.5%
無回答	人数	41	8	7	10	0	3	13
	構成比		19.5%	17.1%	24.4%	0.0%	7.3%	31.7%

年 齢 別

職場における男女の地位について、最も多い回答は、20 歳代では「平等」、それ以外の年代では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」となっています。

「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた人の割合が最も高いのは、30 歳代（63.3%）、最も低いのは 20 歳代（50.0%）となっており、若い年代においても違いが見られます。

また、70 歳以上では、男性が優遇されていると回答した割合が低め（51.3%）になっています。

			注:	白文字	=1位	黒文字	=2位	
		回答者数	男性の方が 優遇されて いる	どちらかとい えば男性 の方が優遇 されている	平等	どちらかとい えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答
全体	人数	1,356	245	521	376	52	17	145
	構成比		18.1%	38.4%	27.7%	3.8%	1.3%	10.7%
18～29歳	人数	106	22	31	35	12	3	3
	構成比		20.8%	29.2%	33.0%	11.3%	2.8%	2.8%
30～39歳	人数	213	48	87	59	9	4	6
	構成比		22.5%	40.8%	27.7%	4.2%	1.9%	2.8%
40～49歳	人数	201	33	77	63	16	2	10
	構成比		16.4%	38.3%	31.3%	8.0%	1.0%	5.0%
50～59歳	人数	237	60	80	76	4	2	15
	構成比		25.3%	33.8%	32.1%	1.7%	0.8%	6.3%
60～69歳	人数	345	52	150	88	10	3	42
	構成比		15.1%	43.5%	25.5%	2.9%	0.9%	12.2%
70歳以上	人数	224	26	89	45	1	0	63
	構成比		11.6%	39.7%	20.1%	0.4%	0.0%	28.1%
無回答	人数	30	4	7	10	0	3	6
	構成比		13.3%	23.3%	33.3%	0.0%	10.0%	20.0%

問 19-C 政治において

性 別

政治における男女の地位について、最も多い回答は、男女ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」となっています。

「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた人の割合は、男性では51.5%、女性では75.2%となっており、男女で認識が大きく異なっています（23.7%差）。

			注:		白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと いえば男性 の方が優遇 されている	平等	どちらかと いえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答
全体	人数	1,356	315	556	333	23	8	121
	構成比		23.2%	41.0%	24.6%	1.7%	0.6%	8.9%
男性	人数	557	74	213	204	14	6	46
	構成比		13.3%	38.2%	36.6%	2.5%	1.1%	8.3%
女性	人数	758	232	338	115	8	2	63
	構成比		30.6%	44.6%	15.2%	1.1%	0.3%	8.3%
無回答	人数	41	9	5	14	1	0	12
	構成比		22.0%	12.2%	34.1%	2.4%	0.0%	29.3%

年 齢 別

政治における男女の地位について、最も多い回答は、20 歳代では「男性の方が優遇されている」、それ以外の年代では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」となっています。

「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた人の割合が最も高いのは、30 歳代（76.1%）、最も低いのは 70 歳以上（51.8%）となっています。

			注:		白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと いえば男性 の方が優遇 されている	平等	どちらかと いえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答
全体	人数	1,356	315	556	333	23	8	121
	構成比		23.2%	41.0%	24.6%	1.7%	0.6%	8.9%
18～29歳	人数	106	36	31	32	1	1	5
	構成比		34.0%	29.2%	30.2%	0.9%	0.9%	4.7%
30～39歳	人数	213	66	96	41	1	2	7
	構成比		31.0%	45.1%	19.2%	0.5%	0.9%	3.3%
40～49歳	人数	201	56	80	46	6	3	10
	構成比		27.9%	39.8%	22.9%	3.0%	1.5%	5.0%
50～59歳	人数	237	70	88	62	2	2	13
	構成比		29.5%	37.1%	26.2%	0.8%	0.8%	5.5%
60～69歳	人数	345	48	172	84	8	0	33
	構成比		13.9%	49.9%	24.3%	2.3%	0.0%	9.6%
70歳以上	人数	224	32	84	57	4	0	47
	構成比		14.3%	37.5%	25.4%	1.8%	0.0%	21.0%
無回答	人数	30	7	5	11	1	0	6
	構成比		23.3%	16.7%	36.7%	3.3%	0.0%	20.0%

問 19-D 社会全体において

性 別

社会全体における男女の地位について、最も多い回答は、男女ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」となっています。

「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた人の割合は、男性では48.8%、女性では76.5%となっており、家庭、職場、政治での地位と比較して男女の認識における違いが最も大きくなっています（27.7%差）。

			注: 白文字		=1位	黒文字	=2位	
		回答者数	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと いえば男性 の方が優遇 されている	平等	どちらかと いえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答
全体	人数	1,356	251	618	311	55	17	104
	構成比		18.5%	45.6%	22.9%	4.1%	1.3%	7.7%
男性	人数	557	49	223	193	36	14	42
	構成比		8.8%	40.0%	34.6%	6.5%	2.5%	7.5%
女性	人数	758	197	383	111	14	2	51
	構成比		26.0%	50.5%	14.6%	1.8%	0.3%	6.7%
無回答	人数	41	5	12	7	5	1	11
	構成比		12.2%	29.3%	17.1%	12.2%	2.4%	26.8%

年 齢 別

社会全体における男女の地位について、最も多い回答は、全ての年代において「どちらかといえば男性の方が優遇されている」となっています。

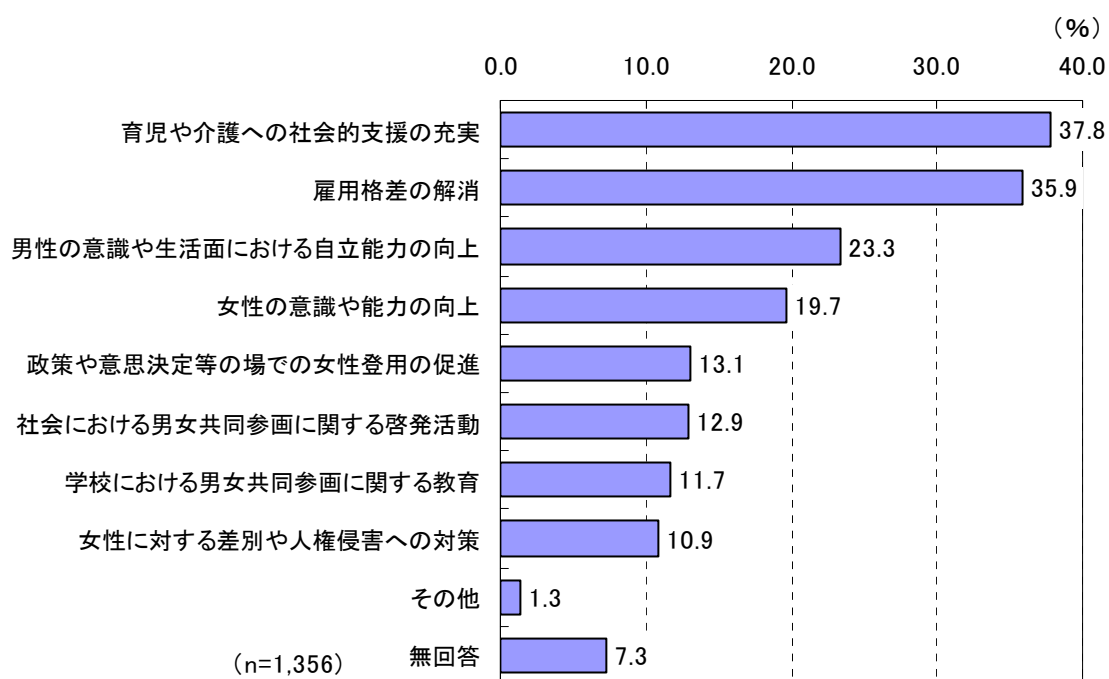
「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた人の割合が最も高いのは、50 歳代（68.0%）、最も低いのは70 歳以上（52.3%）となっています。

		回答者数	注: 白文字 =1位		黒文字 =2位			
			男性の方が 優遇されて いる	どちらかと いえば男性 の方が優遇 されている	平等	どちらかと いえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答
全体	人数	1,356	251	618	311	55	17	104
	構成比		18.5%	45.6%	22.9%	4.1%	1.3%	7.7%
18～29歳	人数	106	20	47	32	3	1	3
	構成比		18.9%	44.3%	30.2%	2.8%	0.9%	2.8%
30～39歳	人数	213	52	92	45	13	5	6
	構成比		24.4%	43.2%	21.1%	6.1%	2.3%	2.8%
40～49歳	人数	201	43	93	42	9	6	8
	構成比		21.4%	46.3%	20.9%	4.5%	3.0%	4.0%
50～59歳	人数	237	53	108	56	8	2	10
	構成比		22.4%	45.6%	23.6%	3.4%	0.8%	4.2%
60～69歳	人数	345	50	181	73	12	1	28
	構成比		14.5%	52.5%	21.2%	3.5%	0.3%	8.1%
70歳以上	人数	224	27	90	57	5	2	43
	構成比		12.1%	40.2%	25.4%	2.2%	0.9%	19.2%
無回答	人数	30	6	7	6	5	0	6
	構成比		20.0%	23.3%	20.0%	16.7%	0.0%	20.0%

問 20 男女共同参画社会の実現のために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

全 体

「育児や介護への社会的支援の充実」と答えた人の割合が 37.8%と最も高く、次いで「雇用格差の解消」が 35.9%、「男性の意識や生活面における自立能力の向上」（以下、「男性の自立能力の向上」）が 23.3%となっています。



【その他の主な意見】

- もう十分（既に男女共同参画社会になっている）
- 平等でなくて良い
- 男女個体差への理解が必要
- 女性優遇（制度）の廃止 など

性 別

男女共同参画社会の実現のために必要なこととして、最も多い回答は、男女ともに「育児や介護への社会的支援の充実」、次いで「雇用格差の解消」となっています。

男女による大きな違いは見られませんが、男性では「社会における男女共同参画に関する啓発活動」と答えた人の割合が女性よりも若干高くなっています。

他方、女性では「育児や介護への社会的支援の充実」「雇用格差の解消」「女性に対する差別や人権侵害への対策」と答えた人の割合が男性よりも高くなっています。

			注:				白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	社会における男女共同参画に関する啓発活動	学校における男女共同参画に関する教育	雇用格差の解消	政策や意思決定等の場での女性登用の促進	女性の意識や能力の向上	男性の意識や生活面における自立能力の向上	育児や介護への社会的支援の充実	女性に対する差別や人権侵害への対策
全体	人数	1,356	175	158	487	177	267	316	513	148
	構成比		12.9%	11.7%	35.9%	13.1%	19.7%	23.3%	37.8%	10.9%
男性	人数	557	88	72	193	68	114	131	196	42
	構成比		15.8%	12.9%	34.6%	12.2%	20.5%	23.5%	35.2%	7.5%
女性	人数	758	84	84	281	100	148	176	306	100
	構成比		11.1%	11.1%	37.1%	13.2%	19.5%	23.2%	40.4%	13.2%
無回答	人数	41	3	2	13	9	5	9	11	6
	構成比		7.3%	4.9%	31.7%	22.0%	12.2%	22.0%	26.8%	14.6%

		その他	無回答
全体	人数	18	99
	構成比	1.3%	7.3%
男性	人数	13	36
	構成比	2.3%	6.5%
女性	人数	5	53
	構成比	0.7%	7.0%
無回答	人数	0	10
	構成比	0.0%	24.4%

年齢別

男女共同参画社会の実現のために必要なこととして、最も多い回答は、50 歳代・70 歳以上では「雇用格差の解消」、それ以外の年代では「育児や介護への社会的支援の充実」となっています。

また、30 歳代では「育児や介護への社会的支援の充実」、40 歳代では「女性の意識や能力の向上」、50 歳代では「雇用格差の解消」、60 歳代では「学校における男女共同参画に関する教育」、70 歳以上で「社会における男女共同参画に関する啓発活動」と答えた人の割合が他の年代と比較して高くなっており、年齢別の違いが見られます。

			注: 白文字 =1位 黒文字 =2位							
		回答者数	社会における男女共同参画に関する啓発活動	学校における男女共同参画に関する教育	雇用格差の解消	政策や意思決定等の場での女性登用の促進	女性の意識や能力の向上	男性の意識や生活面における自立能力の向上	育児や介護への社会的支援の充実	女性に対する差別や人権侵害への対策
全体	人数	1,356	175	158	487	177	267	316	513	148
	構成比		12.9%	11.7%	35.9%	13.1%	19.7%	23.3%	37.8%	10.9%
18～29歳	人数	106	16	14	36	15	18	26	45	11
	構成比		15.1%	13.2%	34.0%	14.2%	17.0%	24.5%	42.5%	10.4%
30～39歳	人数	213	11	23	79	24	43	54	111	14
	構成比		5.2%	10.8%	37.1%	11.3%	20.2%	25.4%	52.1%	6.6%
40～49歳	人数	201	25	10	75	28	50	48	78	25
	構成比		12.4%	5.0%	37.3%	13.9%	24.9%	23.9%	38.8%	12.4%
50～59歳	人数	237	34	31	96	36	45	56	72	26
	構成比		14.3%	13.1%	40.5%	15.2%	19.0%	23.6%	30.4%	11.0%
60～69歳	人数	345	50	50	111	47	70	79	128	37
	構成比		14.5%	14.5%	32.2%	13.6%	20.3%	22.9%	37.1%	10.7%
70歳以上	人数	224	37	28	77	20	38	46	71	33
	構成比		16.5%	12.5%	34.4%	8.9%	17.0%	20.5%	31.7%	14.7%
無回答	人数	30	2	2	13	7	3	7	8	2
	構成比		6.7%	6.7%	43.3%	23.3%	10.0%	23.3%	26.7%	6.7%

		その他	無回答
全体	人数	18	99
	構成比	1.3%	7.3%
18～29歳	人数	2	4
	構成比	1.9%	3.8%
30～39歳	人数	4	10
	構成比	1.9%	4.7%
40～49歳	人数	5	7
	構成比	2.5%	3.5%
50～59歳	人数	2	15
	構成比	0.8%	6.3%
60～69歳	人数	3	28
	構成比	0.9%	8.1%
70歳以上	人数	2	29
	構成比	0.9%	12.9%
無回答	人数	0	6
	構成比	0.0%	20.0%

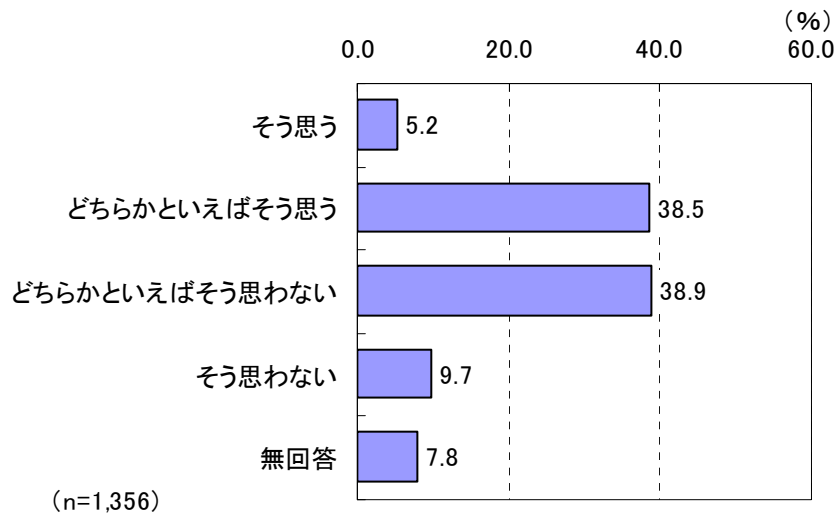
5 高齢期の生活について

問 21 あなたは、桶川市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思いますか。（○は1つ）

全 体

「どちらかといえばそう思わない」と答えた人の割合が 38.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 38.5%、「そう思わない」が 9.7%となっています。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合は 43.7%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えた人の割合は、48.6%と、桶川市が高齢者が安心して住み続けられるまちだと思わない人が若干多くなっています。



性 別

桶川市が高齢者が住み続けられるまちについて、最も多い回答は、男性では「どちらかといえばそう思う」であるのに対して、女性は「どちらかといえばそう思う」となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合は、男性が42.6%、女性が45.2%となっており、女性が若干高くなっています。

			注： 白文字 =1位		黒文字 =2位		
		回答者数	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い	無回答
全体	人数	1,356	70	522	527	131	106
	構成比		5.2%	38.5%	38.9%	9.7%	7.8%
男性	人数	557	21	216	239	47	34
	構成比		3.8%	38.8%	42.9%	8.4%	6.1%
女性	人数	758	45	298	274	76	65
	構成比		5.9%	39.3%	36.1%	10.0%	8.6%
無回答	人数	41	4	8	14	8	7
	構成比		9.8%	19.5%	34.1%	19.5%	17.1%

年 齢 別

桶川市が高齢者が住み続けられるまちについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合が最も高いのは20歳代(49.0%)、最も低いのは60歳代(39.4%)となっており、60歳代での評価が低くなっています。

			注： 白文字 =1位			黒文字 =2位	
		回答者数	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	無回答
全体	人数	1,356	70	522	527	131	106
	構成比		5.2%	38.5%	38.9%	9.7%	7.8%
18～29歳	人数	106	10	42	46	6	2
	構成比		9.4%	39.6%	43.4%	5.7%	1.9%
30～39歳	人数	213	6	91	79	26	11
	構成比		2.8%	42.7%	37.1%	12.2%	5.2%
40～49歳	人数	201	8	89	76	16	12
	構成比		4.0%	44.3%	37.8%	8.0%	6.0%
50～59歳	人数	237	10	91	91	26	19
	構成比		4.2%	38.4%	38.4%	11.0%	8.0%
60～69歳	人数	345	20	116	140	36	33
	構成比		5.8%	33.6%	40.6%	10.4%	9.6%
70歳以上	人数	224	15	86	84	15	24
	構成比		6.7%	38.4%	37.5%	6.7%	10.7%
無回答	人数	30	1	7	11	6	5
	構成比		3.3%	23.3%	36.7%	20.0%	16.7%

居住地区別

桶川市が高齢者が住み続けられるまちかについて、最も多い回答は、旧桶川西地区・川田谷地区では「どちらかといえばそう思う」、それ以外の地区では「どちらかといえばそう思わない」となっています。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合が最も高いのは、川田谷地区（54.0%）、次いで旧桶川西地区（50.0%）、旧加納村地区（44.5%）、上下日出谷地区（42.6%）、最も低いのは旧桶川東地区（38.1%）となっています。

			注: 白文字 =1位			黒文字 =2位	
回答者数			そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	無回答
全体	人数	1,356	70	522	527	131	106
	構成比		5.2%	38.5%	38.9%	9.7%	7.8%
旧桶川東地区	人数	451	19	153	194	45	40
	構成比		4.2%	33.9%	43.0%	10.0%	8.9%
旧桶川西地区	人数	326	13	150	109	31	23
	構成比		4.0%	46.0%	33.4%	9.5%	7.1%
上下日出谷地区	人数	218	11	82	86	19	20
	構成比		5.0%	37.6%	39.4%	8.7%	9.2%
旧加納村地区	人数	238	16	90	98	21	13
	構成比		6.7%	37.8%	41.2%	8.8%	5.5%
川田谷地区	人数	76	6	35	23	7	5
	構成比		7.9%	46.1%	30.3%	9.2%	6.6%
無回答	人数	47	5	12	17	8	5
	構成比		10.6%	25.5%	36.2%	17.0%	10.6%

家族構成別

桶川市が高齢者が住み続けられるまちかについて、最も多い回答は、夫婦だけ、二世帯世帯では「どちらかといえばそう思う」、三世帯世帯、単身世帯では「どちらかといえばそう思わない」となっています。

全体的に大きな違いは見られませんが、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と答えた人の割合が三世帯世帯（54.3%）で高くなっています。

			注: 白文字 =1位			黒文字 =2位	
		回答者数	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わな い	無回答
全体	人数	1,356	70	522	527	131	106
	構成比		5.2%	38.5%	38.9%	9.7%	7.8%
夫婦だけ	人数	115	7	46	40	12	10
	構成比		6.1%	40.0%	34.8%	10.4%	8.7%
二世帯世帯	人数	252	13	100	96	22	21
	構成比		5.2%	39.7%	38.1%	8.7%	8.3%
三世帯世帯	人数	46	1	19	22	3	1
	構成比		2.2%	41.3%	47.8%	6.5%	2.2%
単身世帯	人数	665	34	252	260	66	53
	構成比		5.1%	37.9%	39.1%	9.9%	8.0%
その他	人数	231	11	91	94	22	13
	構成比		4.8%	39.4%	40.7%	9.5%	5.6%
無回答	人数	47	4	14	15	6	8
	構成比		8.5%	29.8%	31.9%	12.8%	17.0%

住居形態別

桶川市が高齢者が住み続けられるまちかについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合が最も高いのは一戸建持ち家（45.2%）、最も低いのは社宅（独身寮、公務員住宅を含む）（27.8%）となっています。

社宅に住んでいる人で、桶川市が高齢者が住み続けられるまちではない、と答えた人の割合が高くなっています。

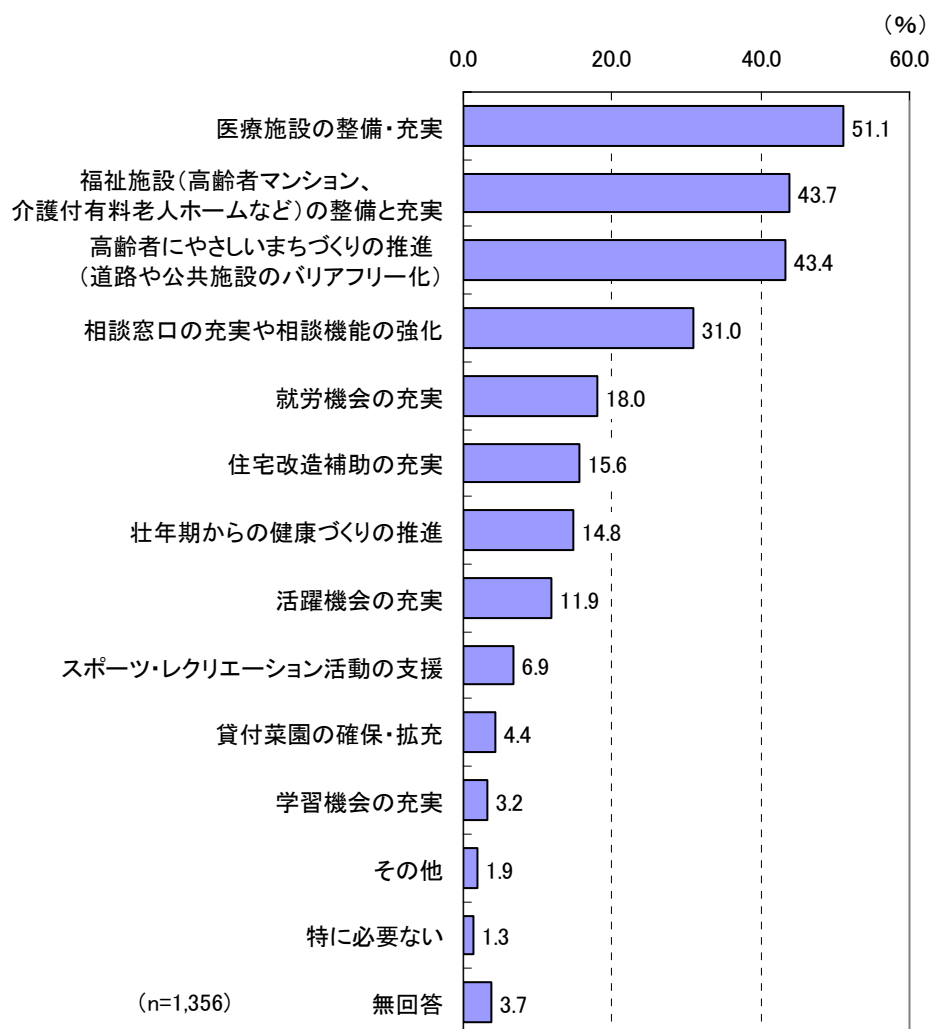
			注： 白文字 = 1位		黒文字 = 2位		
			そう思う	どちらかとい えればそう 思う	どちらかとい えればそう 思わない	そう思わな い	無回答
全体	人数	1,356	70	522	527	131	106
	構成比		5.2%	38.5%	38.9%	9.7%	7.8%
一戸建持ち家	人数	691	40	272	262	64	53
	構成比		5.8%	39.4%	37.9%	9.3%	7.7%
一戸建以外持ち 家 (分譲マンション等)	人数	121	4	47	46	14	10
	構成比		3.3%	38.8%	38.0%	11.6%	8.3%
民営借家 (民間アパートを含 む)	人数	415	19	158	171	41	26
	構成比		4.6%	38.1%	41.2%	9.9%	6.3%
公営(県営、公 団、公社)の賃貸 住宅	人数	54	2	20	20	4	8
	構成比		3.7%	37.0%	37.0%	7.4%	14.8%
社宅(独身寮、公 務員住宅を含む)	人数	18	0	5	11	1	1
	構成比		0.0%	27.8%	61.1%	5.6%	5.6%
その他	人数	26	4	12	7	1	2
	構成比		15.4%	46.2%	26.9%	3.8%	7.7%
無回答	人数	31	1	8	10	6	6
	構成比		3.2%	25.8%	32.3%	19.4%	19.4%

問 22 高齢者の生活を支えるために、市が特に取り組むべきことは何だと思えますか。（〇は3つまで）

全 体

「医療施設の整備・充実」と答えた人の割合が51.1%と最も高く、約半数を占めています。次いで「福祉施設（高齢者マンション、介護付有料老人ホームなど）の整備と充実」（以下、「福祉施設の整備と充実」）が43.7%、「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」（以下、「高齢者にやさしいまちづくり」）が43.4%となっており、施設整備や道路・公共施設のバリアフリー化など、ハード面に関する要望が大きくなっています。

他方、「学習機会の充実」（3.2%）「貸付菜園の確保・拡充」（4.4%）「スポーツ・レクリエーション活動の充実」（6.9%）など、活動機会の提供に関する要望が小さくなっています。



【その他の主な意見】

- 交通の利便性の向上（バス便の本数増加や駅東口へのエレベーター整備）
- 医療費などの経済的支援
- 交流の促進や居場所作り

●経年比較

高齢者の生活を支えるために市が特に取り組むべきことを、平成12年度と比較すると、平成21年度では「医療施設の整備・充実」「福祉施設の整備と充実」「相談窓口の充実や相談機能の強化」のほか、「就労機会の充実」「住宅改造補助の充実」「壮年期からの健康づくりの推進」「スポーツ・レクリエーション活動の支援」のニーズが高まっています。

	平成12年度（選択肢数：14）		平成21年度（選択肢数：13）		H12年度との 順位比較
1位	年金の充実	48.7%	医療施設の整備・充実	51.1%	↑
2位	医療施設の整備・充実	35.7%	福祉施設（高齢者マンション、 介護付有料老人ホームなど）の 整備と充実	43.7%	↑
3位	高齢者にやさしいまちづくりの推進	34.2%	高齢者にやさしいまちづくりの推進 （道路や公共施設のバリアフリー化）	43.4%	→
4位	高齢者福祉施設の整備と充実	25.8%	相談窓口の充実や相談機能の強化	31.0%	↑
5位	介護保険の拡大拡充	24.5%	就労機会の充実	18.0%	↑
6位	高齢者の就労機会の充実	21.4%	住宅改造補助の充実	15.6%	↑
7位	相談窓口の充実や相談機能の強化	13.2%	壮年期からの健康づくりの推進	14.8%	↑
8位	高齢者の活躍機会の充実	12.6%	活躍機会の充実	11.9%	→
9位	介護用品助成の充実強化	11.9%	スポーツ・レクリエーション活動の支援	6.9%	↑
10位	高齢者のための住宅改造補助の充実／ 壮年期からの健康づくりの充実	11.3%	貸付菜園の確保・拡充	4.4%	新規

注：平成12年度と平成21年度では、選択肢の数、文言が若干異なるため、正確な比較とはなりません。
（平成21年度ではない選択肢：「年金の充実」「介護保険の拡大・拡充」「介護用品助成の充実強化」）

性 別

高齢者の生活を支えるために市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、男女ともに「医療施設の整備・充実」となっています。

全体的に、男女による大きな違いは見られませんが、女性では「活躍機会の充実」「福祉施設の整備と充実」「住宅改造補助の充実」「高齢者にやさしいまちづくり」など、ハード整備に関する回答の割合が男性よりも高くなっています。

他方、男性では「就労機会の充実」「貸付菜園の確保・拡充」などの割合が女性よりも高くなっています。

		注：白文字 = 1位 黒文字 = 2位									
		回答者数	相談窓口の充実や相談機能の強化	壮年期からの健康づくりの推進	学習機会の充実	スポーツ・レクリエーション活動の支援	就労機会の充実	活躍機会の充実	福祉施設（高齢者マンション、介護付有料老人ホームなど）の整備と充実	住宅改造補助の充実	高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）
全体	人数	1,356	420	201	43	93	244	161	593	212	589
	構成比		31.0%	14.8%	3.2%	6.9%	18.0%	11.9%	43.7%	15.6%	43.4%
男性	人数	557	176	88	17	41	110	58	229	76	223
	構成比		31.6%	15.8%	3.1%	7.4%	19.7%	10.4%	41.1%	13.6%	40.0%
女性	人数	758	230	109	25	48	128	101	346	130	351
	構成比		30.3%	14.4%	3.3%	6.3%	16.9%	13.3%	45.6%	17.2%	46.3%
無回答	人数	41	14	4	1	4	6	2	18	6	15
	構成比		34.1%	9.8%	2.4%	9.8%	14.6%	4.9%	43.9%	14.6%	36.6%

		医療施設の整備・充実	貸付菜園の確保・拡充	その他	特に必要ない	無回答
全体	人数	693	60	26	18	50
	構成比	51.1%	4.4%	1.9%	1.3%	3.7%
男性	人数	286	32	14	14	20
	構成比	51.3%	5.7%	2.5%	2.5%	3.6%
女性	人数	387	28	12	3	24
	構成比	51.1%	3.7%	1.6%	0.4%	3.2%
無回答	人数	20	0	0	1	6
	構成比	48.8%	0.0%	0.0%	2.4%	14.6%

年齢別

高齢者の生活を支えるために市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、20歳～40歳代では「高齢者にやさしいまちづくり」、50歳～70歳以上では、「医療施設の整備・充実」となっており、前者では特に20歳代（59.4%）、後者では特に70歳以上（56.7%）で高くなっています。

また、20歳代では「壮年期からの健康づくりの推進」「スポーツ・レクリエーション活動の充実」、30歳代では「住宅改造補助の充実」、40歳代では「就労機会の充実」、70歳以上では「相談窓口の充実や相談機能の充実」と答えた人の割合が他の年代と比較して高くなっています。

注：白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		回答者数	相談窓口の 充実や相談 機能の強化	壮年期から の健康づく りの推進	学習機会の 充実	スポーツ・ レクリエー ション活動 の支援	就労機会の 充実	活躍機会の 充実	福祉施設 (高齢者マ ンション、介 護付有料老 人ホームな ど)の整備 と充実	住宅改造補 助の充実	高齢者にや さしいまち づくりの推 進(道路や 公共施設の バリアフ リー化)
全体	人数	1,356	420	201	43	93	244	161	593	212	589
	構成比		31.0%	14.8%	3.2%	6.9%	18.0%	11.9%	43.7%	15.6%	43.4%
18～29歳	人数	106	21	25	3	13	19	18	30	12	63
	構成比		19.8%	23.6%	2.8%	12.3%	17.9%	17.0%	28.3%	11.3%	59.4%
30～39歳	人数	213	44	14	2	18	49	33	80	47	109
	構成比		20.7%	6.6%	0.9%	8.5%	23.0%	15.5%	37.6%	22.1%	51.2%
40～49歳	人数	201	62	24	7	13	50	36	76	33	95
	構成比		30.8%	11.9%	3.5%	6.5%	24.9%	17.9%	37.8%	16.4%	47.3%
50～59歳	人数	237	80	37	10	12	50	26	106	33	94
	構成比		33.8%	15.6%	4.2%	5.1%	21.1%	11.0%	44.7%	13.9%	39.7%
60～69歳	人数	345	114	63	15	25	65	32	172	54	117
	構成比		33.0%	18.3%	4.3%	7.2%	18.8%	9.3%	49.9%	15.7%	33.9%
70歳以上	人数	224	90	35	5	10	6	15	116	28	100
	構成比		40.2%	15.6%	2.2%	4.5%	2.7%	6.7%	51.8%	12.5%	44.6%
無回答	人数	30	9	3	1	2	5	1	13	5	11
	構成比		30.0%	10.0%	3.3%	6.7%	16.7%	3.3%	43.3%	16.7%	36.7%

		医療施設の 整備・充実	貸付菜園の 確保・拡充	その他	特に必要 ない	無回答
全体	人数	693	60	26	18	50
	構成比	51.1%	4.4%	1.9%	1.3%	3.7%
18～29歳	人数	47	7	0	4	1
	構成比	44.3%	6.6%	0.0%	3.8%	0.9%
30～39歳	人数	107	12	13	1	6
	構成比	50.2%	5.6%	6.1%	0.5%	2.8%
40～49歳	人数	91	8	3	1	5
	構成比	45.3%	4.0%	1.5%	0.5%	2.5%
50～59歳	人数	128	8	4	4	9
	構成比	54.0%	3.4%	1.7%	1.7%	3.8%
60～69歳	人数	179	16	4	2	14
	構成比	51.9%	4.6%	1.2%	0.6%	4.1%
70歳以上	人数	127	9	1	5	12
	構成比	56.7%	4.0%	0.4%	2.2%	5.4%
無回答	人数	14	0	1	1	3
	構成比	46.7%	0.0%	3.3%	3.3%	10.0%

居住地区別

高齢者の生活を支えるために市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、旧桶川西地区では「福祉施設の整備と充実」、それ以外の地区では「医療施設の整備・充実」となっています。

また、旧桶川東地区では「高齢者にやさしいまちづくり」、旧桶川西地区では「福祉施設の整備と充実」、旧加納村地区では「相談窓口の充実や相談機能の強化」、上下日出谷地区では「医療施設の整備・充実」、川田谷地区では「壮年期からの健康づくりの推進」と答えた人の割合が他地区と比較して高くなっています。

			注: 白文字 =1位 黒文字 =2位								
		回答者数	相談窓口の 充実や相談 機能の強化	壮年期から の健康づく りの推進	学習機会の 充実	スポーツ・ レクリエー ション活動 の支援	就労機会の 充実	活躍機会の 充実	福祉施設 (高齢者マ ンション、介 護付有料老 人ホームな ど)の整備 と充実	住宅改造補 助の充実	高齢者にや さいまち づくりの推 進(道路や 公共施設の バリアフ リー化)
全体	人数	1,356	420	201	43	93	244	161	593	212	589
	構成比		31.0%	14.8%	3.2%	6.9%	18.0%	11.9%	43.7%	15.6%	43.4%
旧桶川東 地区	人数	451	136	59	17	37	82	56	190	59	211
	構成比		30.2%	13.1%	3.8%	8.2%	18.2%	12.4%	42.1%	13.1%	46.8%
旧桶川西 地区	人数	326	105	49	10	18	61	47	160	51	135
	構成比		32.2%	15.0%	3.1%	5.5%	18.7%	14.4%	49.1%	15.6%	41.4%
上下日出谷 地区	人数	218	57	30	4	17	43	23	89	42	99
	構成比		26.1%	13.8%	1.8%	7.8%	19.7%	10.6%	40.8%	19.3%	45.4%
旧加納村 地区	人数	238	88	38	9	12	34	23	103	42	97
	構成比		37.0%	16.0%	3.8%	5.0%	14.3%	9.7%	43.3%	17.6%	40.8%
川田谷地区	人数	76	20	18	2	4	16	6	35	13	30
	構成比		26.3%	23.7%	2.6%	5.3%	21.1%	7.9%	46.1%	17.1%	39.5%
無回答	人数	47	14	7	1	5	8	6	16	5	17
	構成比		29.8%	14.9%	2.1%	10.6%	17.0%	12.8%	34.0%	10.6%	36.2%

		医療施設の整備・充実	貸付菜園の確保・拡充	その他	特に必要ない	無回答
全体	人数	693	60	26	18	50
	構成比	51.1%	4.4%	1.9%	1.3%	3.7%
旧桶川東地区	人数	223	22	10	7	23
	構成比	49.4%	4.9%	2.2%	1.6%	5.1%
旧桶川西地区	人数	157	7	6	4	8
	構成比	48.2%	2.1%	1.8%	1.2%	2.5%
上下日出谷地区	人数	122	11	2	1	7
	構成比	56.0%	5.0%	0.9%	0.5%	3.2%
旧加納村地区	人数	126	15	6	4	7
	構成比	52.9%	6.3%	2.5%	1.7%	2.9%
川田谷地区	人数	41	3	2	1	1
	構成比	53.9%	3.9%	2.6%	1.3%	1.3%
無回答	人数	24	2	0	1	4
	構成比	51.1%	4.3%	0.0%	2.1%	8.5%

家族構成別

高齢者の生活を支えるために市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、全ての家族構成で「医療施設の整備・充実」となっており、2番目に多い回答は、夫婦だけ・二世世代世帯・単身世帯では「福祉施設の整備と充実」、三世世代世帯では「高齢者にやさしいまちづくり」となっています。

その他、三世世代世帯では「住宅改造補助の充実」と答えた人の割合が他と比較して高くなっています。

注: 白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		回答者数	相談窓口の 充実や相談 機能の強化	壮年期から の健康づく りの推進	学習機会の 充実	スポーツ・ レクリエー ション活動 の支援	就労機会の 充実	活躍機会の 充実	福祉施設 (高齢者マ ンション、介 護付有料老 人ホームな ど)の整備 と充実	住宅改造補 助の充実	高齢者にや さしいまち づくりの推 進(道路や 公共施設の バリアフ リー化)
全体	人数	3,403	420	201	43	93	244	161	593	212	589
	構成比		12.3%	5.9%	1.3%	2.7%	7.2%	4.7%	17.4%	6.2%	17.3%
夫婦だけ	人数	283	42	18	5	6	9	9	49	20	48
	構成比		14.8%	6.4%	1.8%	2.1%	3.2%	3.2%	17.3%	7.1%	17.0%
二世世代世帯	人数	627	69	32	10	20	43	40	116	40	114
	構成比		11.0%	5.1%	1.6%	3.2%	6.9%	6.4%	18.5%	6.4%	18.2%
三世世代世帯	人数	124	15	10	2	5	6	8	15	14	20
	構成比		12.1%	8.1%	1.6%	4.0%	4.8%	6.5%	12.1%	11.3%	16.1%
単身世帯	人数	1,675	205	109	20	48	124	77	294	99	279
	構成比		12.2%	6.5%	1.2%	2.9%	7.4%	4.6%	17.6%	5.9%	16.7%
その他	人数	581	73	24	5	10	52	24	100	34	111
	構成比		12.6%	4.1%	0.9%	1.7%	9.0%	4.1%	17.2%	5.9%	19.1%
無回答	人数	113	16	8	1	4	10	3	19	5	17
	構成比		14.2%	7.1%	0.9%	3.5%	8.8%	2.7%	16.8%	4.4%	15.0%

		医療施設の 整備・充実	貸付菜園の 確保・拡充	その他	特に必要 ない	無回答
全体	人数	693	60	26	18	50
	構成比	20.4%	1.8%	0.8%	0.5%	1.5%
夫婦だけ	人数	65	8	1	1	2
	構成比	23.0%	2.8%	0.4%	0.4%	0.7%
二世世代世帯	人数	119	8	6	3	7
	構成比	19.0%	1.3%	1.0%	0.5%	1.1%
三世世代世帯	人数	26	3	0	0	0
	構成比	21.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
単身世帯	人数	340	31	15	10	24
	構成比	20.3%	1.9%	0.9%	0.6%	1.4%
その他	人数	121	9	4	3	11
	構成比	20.8%	1.5%	0.7%	0.5%	1.9%
無回答	人数	22	1	0	1	6
	構成比	19.5%	0.9%	0.0%	0.9%	5.3%

住居形態別

高齢者の生活を支えるために市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、一戸建持ち家・民営借家では「医療施設の整備・充実」、一戸建以外持ち家・公営の賃貸住宅では「福祉施設の整備と充実」（一戸建以外持ち家は「高齢者にやさしいまちづくり」も同率）、社宅では「高齢者にやさしいまちづくりの推進」となっており、2番目に多い回答は、全体の上位3項目のいずれかになっています。

その他、民営借家・社宅では「就労機会の充実」と答えた人の割合が他と比較して高くなっています。

			注: 白文字 =1位 黒文字 =2位								
		回答者数	相談窓口の 充実や相談 機能の強化	壮年期から の健康づく りの推進	学習機会の 充実	スポーツ・ レクリエー ション活動 の支援	就労機会の 充実	活躍機会の 充実	福祉施設 （高齢者マ ンション、介 護付有料老 人ホームな ど）の整備 と充実	住宅改造補 助の充実	高齢者にやさ しいまちづ くりの推進 （道路や公 共施設のバ リアフリー化）
全体	人数	3,403	420	201	43	93	244	161	593	212	589
	構成比		12.3%	5.9%	1.3%	2.7%	7.2%	4.7%	17.4%	6.2%	17.3%
一戸建持ち家	人数	1,762	222	118	24	46	95	77	307	126	286
	構成比		12.6%	6.7%	1.4%	2.6%	5.4%	4.4%	17.4%	7.2%	16.2%
一戸建以外持ち家 （分譲マンション等）	人数	311	35	16	4	8	18	12	65	16	65
	構成比		11.3%	5.1%	1.3%	2.6%	5.8%	3.9%	20.9%	5.1%	20.9%
民営借家 （民間アパートを含む）	人数	1012	130	52	11	30	104	61	156	51	180
	構成比		12.8%	5.1%	1.1%	3.0%	10.3%	6.0%	15.4%	5.0%	17.8%
公営（県営、公団、公 社）の賃貸住宅	人数	134	14	5	2	3	11	8	31	6	24
	構成比		10.4%	3.7%	1.5%	2.2%	8.2%	6.0%	23.1%	4.5%	17.9%
社宅（独身寮、公務員住 宅を含む）	人数	48	3	3	0	3	5	0	10	3	11
	構成比		6.3%	6.3%	0.0%	6.3%	10.4%	0.0%	20.8%	6.3%	22.9%
その他	人数	64	8	3	1	0	5	0	11	5	12
	構成比		12.5%	4.7%	1.6%	0.0%	7.8%	0.0%	17.2%	7.8%	18.8%
無回答	人数	72	8	4	1	3	6	3	13	5	11
	構成比		11.1%	5.6%	1.4%	4.2%	8.3%	4.2%	18.1%	6.9%	15.3%

		医療施設の整備・充実	貸付菜園の確保・拡充	その他	特に必要ない	無回答
全体	人数	693	60	26	18	50
	構成比	20.4%	1.8%	0.8%	0.5%	1.5%
一戸建持ち家	人数	381	34	11	9	26
	構成比	21.6%	1.9%	0.6%	0.5%	1.5%
一戸建以外持ち家（分譲マンション等）	人数	63	1	4	1	3
	構成比	20.3%	0.3%	1.3%	0.3%	1.0%
民営借家（民間アパートを含む）	人数	186	22	8	7	14
	構成比	18.4%	2.2%	0.8%	0.7%	1.4%
公営（県営、公団、公社）の賃貸住宅	人数	25	1	2	0	2
	構成比	18.7%	0.7%	1.5%	0.0%	1.5%
社宅（独身寮、公務員住宅を含む）	人数	9	0	0	0	1
	構成比	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
その他	人数	15	2	1	0	1
	構成比	23.4%	3.1%	1.6%	0.0%	1.6%
無回答	人数	14	0	0	1	3
	構成比	19.4%	0.0%	0.0%	1.4%	4.2%

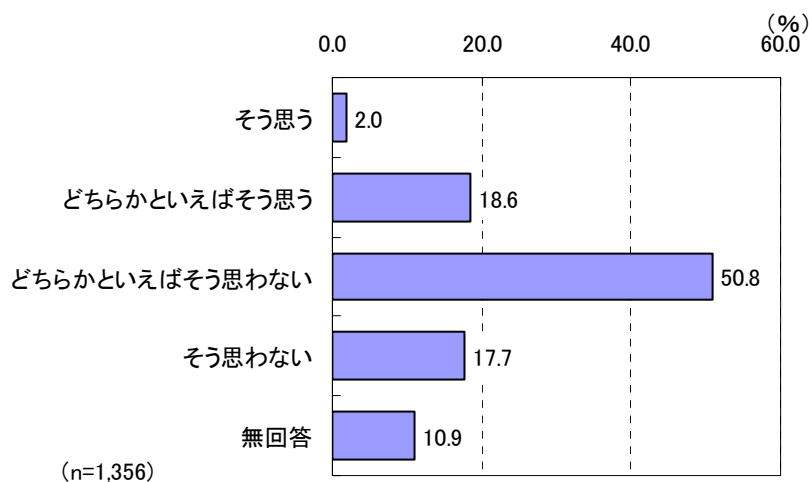
6 協働のまちづくりについて

問 23 あなたは、桶川市では、協働のまちづくりが進んでいると思いますか。（○は1つ）

全 体

「どちらかといえばそう思わない」と答えた人の割合が 50.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 18.6%となっています。

「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は 68.5%と、全体の約7割が協働のまちづくりが進んでいない、と答えています。



年齢別

桶川市で「協働のまちづくり」が進んでいるかについて、最も多い回答は、全ての年代において「どちらかといえばそう思わない」となっています。

「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えた人の割合が最も高いのは、30歳代（78.9%）、次いで20歳代（74.5%）となっており、全体として、20歳～30歳代の若い世代でそう思わない人の割合が高くなっています。

		注:		白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	そう思う	どちらかとい えはそう 思う	どちらかとい えはそう 思わない	そう思わ ない	無回答
全体	人数	1,356	27	252	689	240	148
	構成比		2.0%	18.6%	50.8%	17.7%	10.9%
18～29歳	人数	106	1	21	58	21	5
	構成比		0.9%	19.8%	54.7%	19.8%	4.7%
30～39歳	人数	213	1	29	113	55	15
	構成比		0.5%	13.6%	53.1%	25.8%	7.0%
40～49歳	人数	201	3	44	99	42	13
	構成比		1.5%	21.9%	49.3%	20.9%	6.5%
50～59歳	人数	237	6	31	133	37	30
	構成比		2.5%	13.1%	56.1%	15.6%	12.7%
60～69歳	人数	345	9	63	174	48	51
	構成比		2.6%	18.3%	50.4%	13.9%	14.8%
70歳以上	人数	224	7	59	99	30	29
	構成比		3.1%	26.3%	44.2%	13.4%	12.9%
無回答	人数	30	0	5	13	7	5
	構成比		0.0%	16.7%	43.3%	23.3%	16.7%

居住地区別

桶川市で「協働のまちづくり」が進んでいるかについて、最も多い回答は、全ての地区において「どちらかといえばそう思わない」となっています。

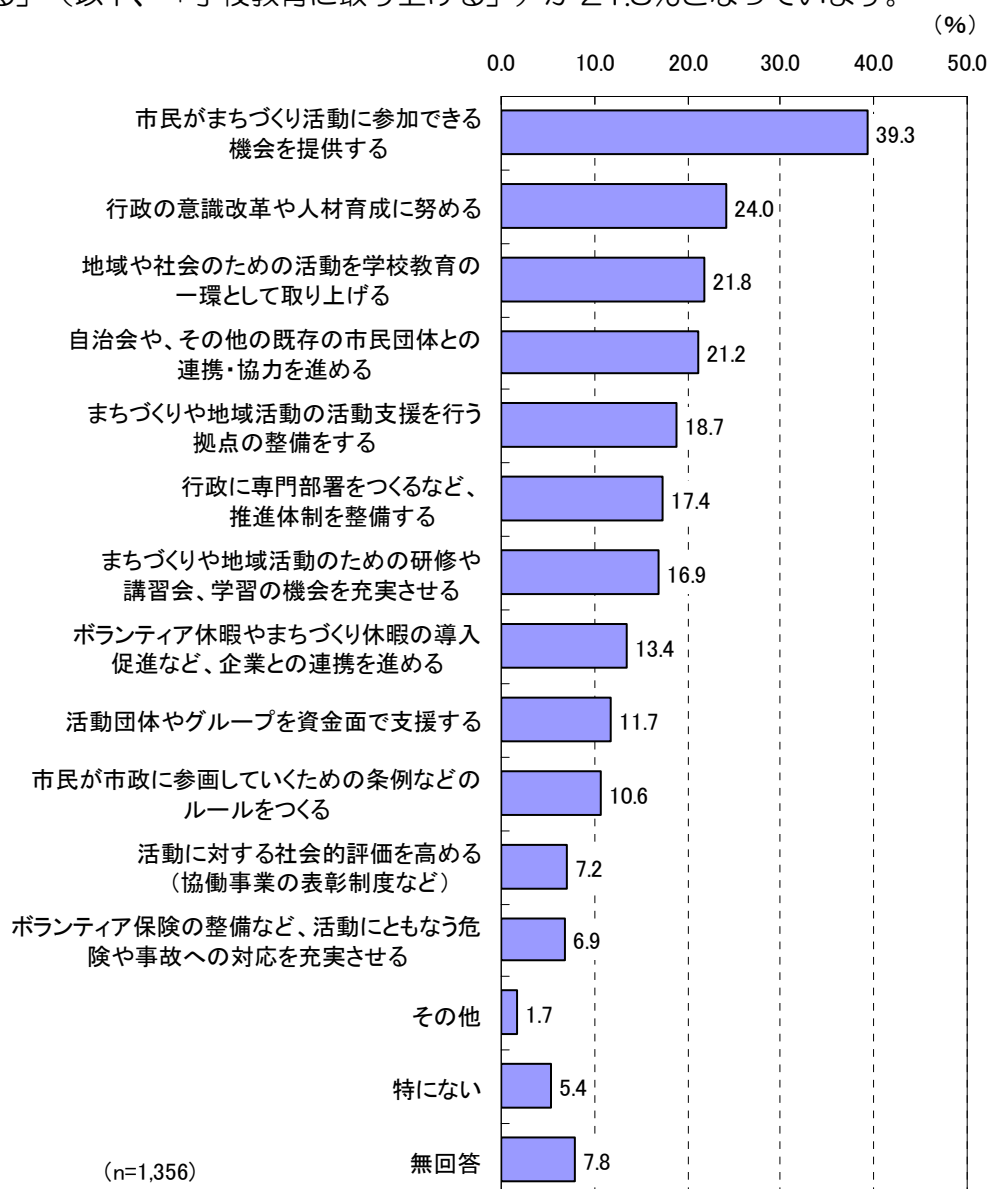
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合が最も高いのは川田谷地区（25.0%）、次いで旧桶川西地区（23.3%）、旧加納村地区（22.7%）、上下日出谷地区（20.2%）、最も低いのは旧桶川東地区（17.3%）となっています。

		注:		白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わ ない	無回答
全体	人数	1,356	27	252	689	240	148
	構成比		2.0%	18.6%	50.8%	17.7%	10.9%
旧桶川東地区	人数	451	10	68	234	83	56
	構成比		2.2%	15.1%	51.9%	18.4%	12.4%
旧桶川西地区	人数	326	3	73	156	56	38
	構成比		0.9%	22.4%	47.9%	17.2%	11.7%
上下日出谷地区	人数	218	2	42	118	38	18
	構成比		0.9%	19.3%	54.1%	17.4%	8.3%
旧加納村地区	人数	238	6	48	120	44	20
	構成比		2.5%	20.2%	50.4%	18.5%	8.4%
川田谷地区	人数	76	3	16	40	10	7
	構成比		3.9%	21.1%	52.6%	13.2%	9.2%
無回答	人数	47	3	5	21	9	9
	構成比		6.4%	10.6%	44.7%	19.1%	19.1%

問 24 桶川市が今後さらに「協働のまちづくり」を進める上で、市が特に取り組むべきことは何だと思われますか。（〇は3つまで）

全 体

「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」（以下、「参加の機会の提供」と答えた人の割合が 39.3%と最も高く、次いで「行政の意識改革や人材育成に努める」（以下、「行政の意識改革・人材育成」）が 24.0%、「地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる」（以下、「学校教育に取り上げる」）が 21.8%となっています。



【その他の主な意見】

- 行政改革
- 情報の周知
- 広聴の機会の充実 など

年齢別

「協働のまちづくり」を進める上で市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、全ての年代において「参加の機会の提供」となっています。2番目に多い回答は、20～30歳代では「学校教育に取り上げる」（20歳代では「ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、企業との連携を進める」（以下、「ボランティア・まちづくり休暇の導入」）も同率）、40歳～60歳代では「行政の意識改革・人材育成」、70歳以上では「自治会やその他の既存の市民団体との連携・協力を進める」（以下、「既存市民団体との連携・協力」）と、世代ごとの違いが見られます。

その他、40歳～50歳代では、「行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する」（以下、「行政の専門部署創設」）、60歳代では、「まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする」（以下、「まちづくり・地域活動支援の拠点整備」）「活動団体やグループを資金面で支援する」（以下、「資金的支援」）と答えた人の割合が他の年代と比較して高くなっています。

注： 白文字 =1位 黒文字 =2位

		回答者数	市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する	まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする	まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる	自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める	地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる	活動に対する社会的評価を高める（協働事業の表彰制度など）	ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、企業との連携を進める	ボランティア保険の整備など、活動にともなう危険や事故への対応を充実させる	活動団体やグループを資金面で支援する
全体	人数	1,356	533	254	229	287	296	97	182	94	158
	構成比		39.3%	18.7%	16.9%	21.2%	21.8%	7.2%	13.4%	6.9%	11.7%
18～29歳	人数	106	34	15	14	19	32	9	32	8	6
	構成比		32.1%	14.2%	13.2%	17.9%	30.2%	8.5%	30.2%	7.5%	5.7%
30～39歳	人数	213	87	35	28	38	57	21	40	8	22
	構成比		40.8%	16.4%	13.1%	17.8%	26.8%	9.9%	18.8%	3.8%	10.3%
40～49歳	人数	201	71	42	26	32	44	17	36	14	21
	構成比		35.3%	20.9%	12.9%	15.9%	21.9%	8.5%	17.9%	7.0%	10.4%
50～59歳	人数	237	99	54	37	51	44	20	27	17	24
	構成比		41.8%	22.8%	15.6%	21.5%	18.6%	8.4%	11.4%	7.2%	10.1%
60～69歳	人数	345	143	60	78	76	76	16	30	23	55
	構成比		41.4%	17.4%	22.6%	22.0%	22.0%	4.6%	8.7%	6.7%	15.9%
70歳以上	人数	224	89	41	43	63	37	14	14	20	26
	構成比		39.7%	18.3%	19.2%	28.1%	16.5%	6.3%	6.3%	8.9%	11.6%
無回答	人数	30	10	7	3	8	6	0	3	4	4
	構成比		33.3%	23.3%	10.0%	26.7%	20.0%	0.0%	10.0%	13.3%	13.3%

		行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する	市民が市政に参画していくための条例などのルールをつくる	行政の意識改革や人材育成に努める	その他	特にない	無回答
全体	人数	236	144	326	23	73	106
	構成比	17.4%	10.6%	24.0%	1.7%	5.4%	7.8%
18～29歳	人数	10	8	17	1	11	5
	構成比	9.4%	7.5%	16.0%	0.9%	10.4%	4.7%
30～39歳	人数	34	22	47	4	11	10
	構成比	16.0%	10.3%	22.1%	1.9%	5.2%	4.7%
40～49歳	人数	39	16	57	4	10	11
	構成比	19.4%	8.0%	28.4%	2.0%	5.0%	5.5%
50～59歳	人数	46	28	67	4	13	15
	構成比	19.4%	11.8%	28.3%	1.7%	5.5%	6.3%
60～69歳	人数	60	45	85	3	13	30
	構成比	17.4%	13.0%	24.6%	0.9%	3.8%	8.7%
70歳以上	人数	41	20	49	5	15	29
	構成比	18.3%	8.9%	21.9%	2.2%	6.7%	12.9%
無回答	人数	6	5	4	2	0	6
	構成比	20.0%	16.7%	13.3%	6.7%	0.0%	20.0%

居住地区別

「協働のまちづくり」を進める上で市が特に取り組むべきこととして、最も多い回答は、全ての地区において「参加の機会の提供」であり、次いで「行政の意識改革・人材育成」（川田谷地区では、「学校教育に取り上げる」も同率２位）となっています。

その他、旧桶川東地区では「まちづくり・地域活動支援の拠点整備」、旧桶川西地区では「ボランティア・まちづくり休暇の導入」、旧加納村地区では「参加の機会の提供」「まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる」「既存市民団体との連携・協力」「行政の意識改革・人材育成」、川田谷地区では「学校教育に取り上げる」と答えた人の割合が他地区と比較して高くなっています。

注： 白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		回答者数	市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する	まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする	まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる	自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める	地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる	活動に対する社会的評価を高める（協働事業の表彰制度など）	ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、企業との連携を進める	ボランティア保険の整備など、活動にともなう危険や事故への対応を充実させる	活動団体やグループを資金面で支援する
全体	人数	1,356	533	254	229	287	296	97	182	94	158
	構成比		39.3%	18.7%	16.9%	21.2%	21.8%	7.2%	13.4%	6.9%	11.7%
旧桶川東地区	人数	451	175	96	67	93	96	38	52	34	49
	構成比		38.8%	21.3%	14.9%	20.6%	21.3%	8.4%	11.5%	7.5%	10.9%
旧桶川西地区	人数	326	132	58	59	69	70	25	52	17	39
	構成比		40.5%	17.8%	18.1%	21.2%	21.5%	7.7%	16.0%	5.2%	12.0%
上下日出谷地区	人数	218	86	33	31	43	51	15	32	17	26
	構成比		39.4%	15.1%	14.2%	19.7%	23.4%	6.9%	14.7%	7.8%	11.9%
旧加納村地区	人数	238	101	39	51	59	47	11	29	13	30
	構成比		42.4%	16.4%	21.4%	24.8%	19.7%	4.6%	12.2%	5.5%	12.6%
川田谷地区	人数	76	28	15	15	17	20	7	10	8	9
	構成比		36.8%	19.7%	19.7%	22.4%	26.3%	9.2%	13.2%	10.5%	11.8%
無回答	人数	47	11	13	6	6	12	1	7	5	5
	構成比		23.4%	27.7%	12.8%	12.8%	25.5%	2.1%	14.9%	10.6%	10.6%

		行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する	市民が市政に参画していくための条例などのルールをつくる	行政の意識改革や人材育成に努める	その他	特にない	無回答
全体	人数	236	144	326	23	73	106
	構成比	17.4%	10.6%	24.0%	1.7%	5.4%	7.8%
旧桶川東地区	人数	83	51	97	5	20	39
	構成比	18.4%	11.3%	21.5%	1.1%	4.4%	8.6%
旧桶川西地区	人数	60	36	78	7	18	25
	構成比	18.4%	11.0%	23.9%	2.1%	5.5%	7.7%
上下日出谷地区	人数	27	27	54	5	15	14
	構成比	12.4%	12.4%	24.8%	2.3%	6.9%	6.4%
旧加納村地区	人数	42	22	69	3	15	14
	構成比	17.6%	9.2%	29.0%	1.3%	6.3%	5.9%
川田谷地区	人数	14	3	20	1	5	4
	構成比	18.4%	3.9%	26.3%	1.3%	6.6%	5.3%
無回答	人数	10	5	8	2	0	10
	構成比	21.3%	10.6%	17.0%	4.3%	0.0%	21.3%

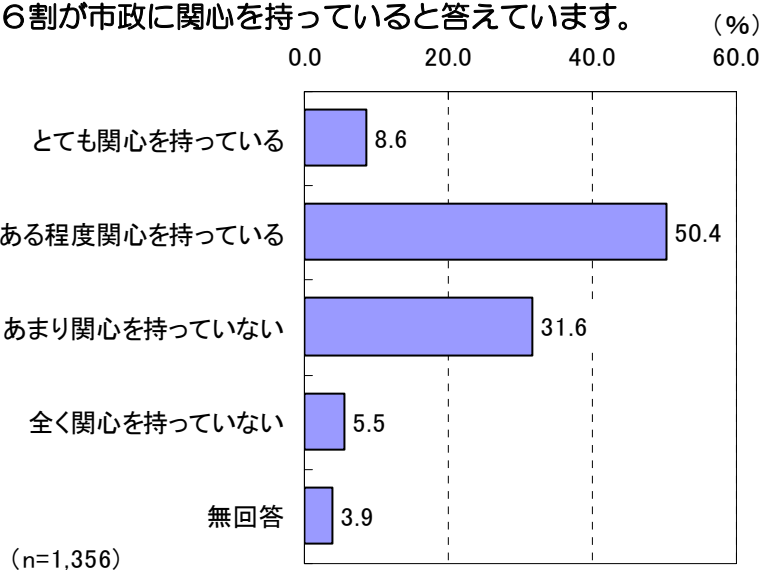
7 桶川市の市政について

問 25 市政全般に対するあなたの関心度について、該当するものを選んで下さい。（○は1つ）

全 体

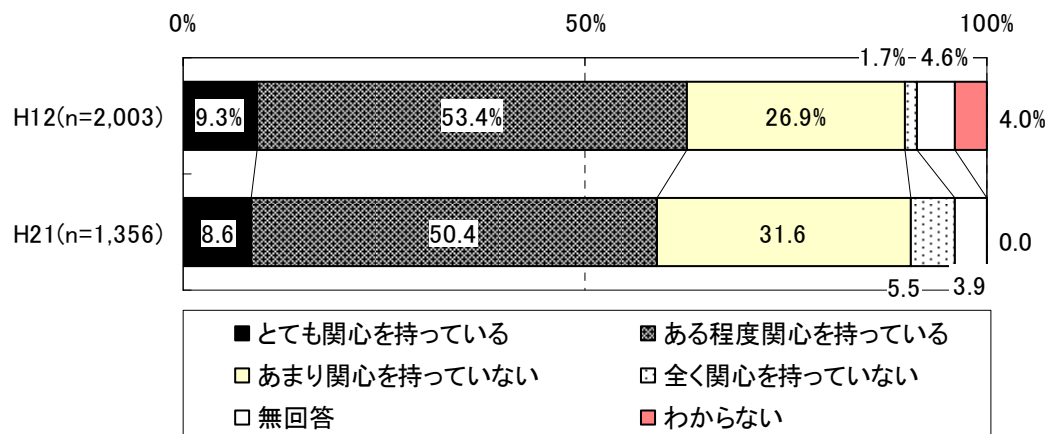
「ある程度関心を持っている」と答えた人の割合が 50.4%と最も高く、次いで「余り関心を持っていない」が 31.6%、「とても関心を持っている」が 8.6%となっています。

「とても関心を持っている」「ある程度関心を持っている」と答えた人の割合は 59.0%と、全体の約6割が市政に関心を持っていると答えています。



●経年比較

市政全般に対する関心度について、平成12年度と比較すると、「とても関心を持っている」「ある程度関心を持っている」と答えた人の割合が62.7%から59.0%へと若干減少しています。他方、「全く関心を持っていない」「あまり関心をもっていない」と答えた人の割合が、28.6%から37.1%に増加しており、10年前よりも市政への関心度が低くなっています。



注：平成12年度と平成21年度では、選択肢が異なるため、正確な比較とはなりません。
（平成12年度にしかない選択肢：「わからない」）

性 別

市政全般に対する関心度について、最も多い回答は、男女ともに「ある程度関心を持っている」、次いで「あまり関心を持っていない」となっており、男女による違いは見られません。

			注:	白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	とても関心 を持っている	ある程度関 心を持っている	あまり関心 を持っていない	全く関心 を持っていない	無回答
全体	人数	1,356	116	683	429	75	53
	構成比		8.6%	50.4%	31.6%	5.5%	3.9%
男性	人数	557	49	279	178	35	16
	構成比		8.8%	50.1%	32.0%	6.3%	2.9%
女性	人数	758	61	388	242	39	28
	構成比		8.0%	51.2%	31.9%	5.1%	3.7%
無回答	人数	41	6	16	9	1	9
	構成比		14.6%	39.0%	22.0%	2.4%	22.0%

年 齢 別

市政全般に対する関心度について、最も多い回答は、20 歳代・40 歳代で「あまり関心を持っていない」、それ以外の年代では「ある程度関心を持っている」となっています。

「とても関心を持っている」「ある程度関心を持っている」と答えた人の割合が最も高いのは70 歳以上（78.1%）、最も低いのは20 歳代（25.5%）となっており、年代が上がるほど市政への関心が高い傾向にあります。

			注:	白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	とても関心 を持っている	ある程度関 心を持っている	あまり関心 を持っていない	全く関心を持 っていない	無回答
全体	人数	1,356	116	683	429	75	53
	構成比		8.6%	50.4%	31.6%	5.5%	3.9%
18～29歳	人数	106	2	25	57	20	2
	構成比		1.9%	23.6%	53.8%	18.9%	1.9%
30～39歳	人数	213	12	93	82	21	5
	構成比		5.6%	43.7%	38.5%	9.9%	2.3%
40～49歳	人数	201	18	83	90	8	2
	構成比		9.0%	41.3%	44.8%	4.0%	1.0%
50～59歳	人数	237	6	122	93	8	8
	構成比		2.5%	51.5%	39.2%	3.4%	3.4%
60～69歳	人数	345	38	207	73	13	14
	構成比		11.0%	60.0%	21.2%	3.8%	4.1%
70歳以上	人数	224	33	142	27	4	18
	構成比		14.7%	63.4%	12.1%	1.8%	8.0%
無回答	人数	30	7	11	7	1	4
	構成比		23.3%	36.7%	23.3%	3.3%	13.3%

居住年数別

市政全般に対する関心度について、最も多い回答は、居住年数が3年未満・10年～15年未満では「あまり関心を持っていない」、それ以外の居住年数では「ある程度関心を持っている」となっています。

「とても関心を持っている」「ある程度関心を持っている」と答えた人の割合が最も高いのは、居住年数20年以上（67.4%）、最も低いのは3年未満（42.2%）となっており、居住年数が長いほど市政への関心が高い傾向にあります。

			注：	白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	とても関心 を持っている	ある程度関 心を持っている	あまり関心 を持っていない	全く関心 を持っていない	無回答
全体	人数	1,356	116	683	429	75	53
	構成比		8.6%	50.4%	31.6%	5.5%	3.9%
3年未満	人数	206	13	74	86	26	7
	構成比		6.3%	35.9%	41.7%	12.6%	3.4%
3年～5年未満	人数	103	11	45	39	6	2
	構成比		10.7%	43.7%	37.9%	5.8%	1.9%
5年～10年未満	人数	162	8	82	52	16	4
	構成比		4.9%	50.6%	32.1%	9.9%	2.5%
10年～15年未満	人数	102	8	42	47	2	3
	構成比		7.8%	41.2%	46.1%	2.0%	2.9%
15年～20年未満	人数	81	6	43	29	2	1
	構成比		7.4%	53.1%	35.8%	2.5%	1.2%
20年以上	人数	666	62	387	166	21	30
	構成比		9.3%	58.1%	24.9%	3.2%	4.5%
無回答	人数	36	8	10	10	2	6
	構成比		22.2%	27.8%	27.8%	5.6%	16.7%

居住地区別

市政全般に対する関心度について、最も多い回答は、全ての地区において「ある程度関心を持っている」となっています。

「とても関心を持っている」「ある程度関心を持っている」と答えた人の割合が最も高いのは旧加納村地区（62.2%）、次いで川田谷地区（61.8%）、旧桶川西地区（61.1%）、上下日出谷地区（56.9%）、最も低いのは旧桶川東地区（55.8%）となっています。

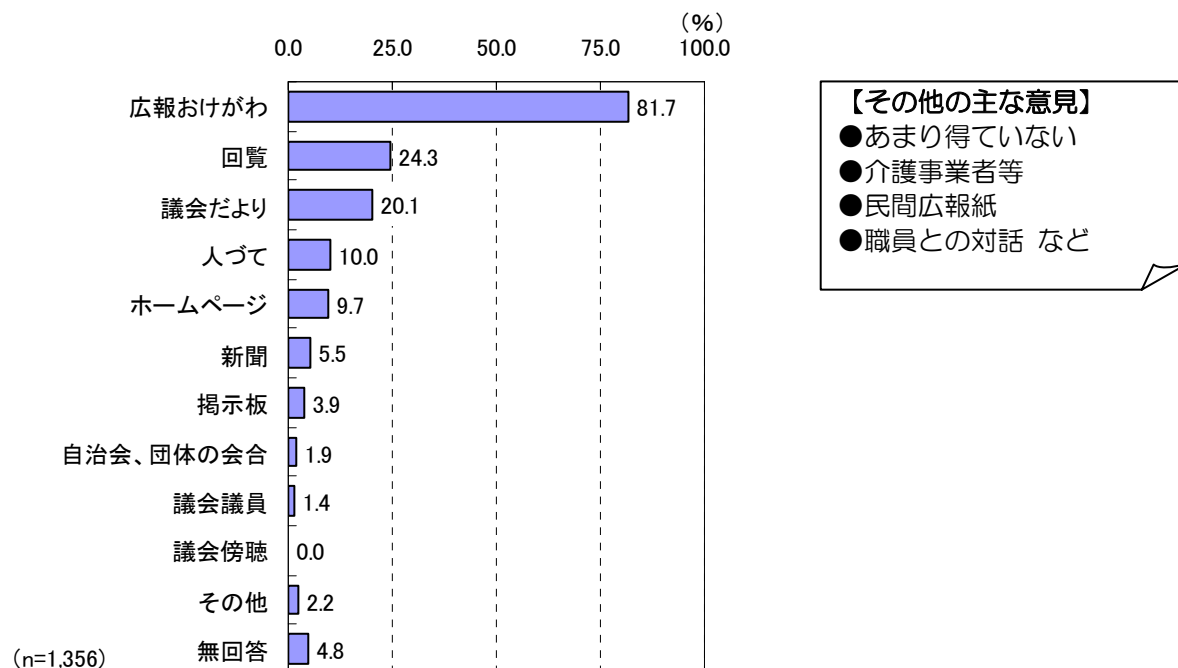
			注： 白文字 =1位			黒文字 =2位	
		回答者数	とても関心 を持っている	ある程度関 心を持ってい る	あまり関心 を持ってい ない	全く関心 を持っていな い	無回答
全体	人数	1,356	116	683	429	75	53
	構成比		8.6%	50.4%	31.6%	5.5%	3.9%
旧桶川東地区	人数	451	39	213	155	29	15
	構成比		8.6%	47.2%	34.4%	6.4%	3.3%
旧桶川西地区	人数	326	28	171	97	19	11
	構成比		8.6%	52.5%	29.8%	5.8%	3.4%
上下日出谷地区	人数	218	19	105	76	10	8
	構成比		8.7%	48.2%	34.9%	4.6%	3.7%
旧加納村地区	人数	238	18	130	76	8	6
	構成比		7.6%	54.6%	31.9%	3.4%	2.5%
川田谷地区	人数	76	6	41	17	7	5
	構成比		7.9%	53.9%	22.4%	9.2%	6.6%
無回答	人数	47	6	23	8	2	8
	構成比		12.8%	48.9%	17.0%	4.3%	17.0%

問26 市役所の仕事や行事などについて、何から情報を得ていますか。（○は主なもの2つまで）

全 体

「広報おけがわ」と答えた人の割合が81.7%と、全体の約8割を占めています。次いで「回覧」が24.3%、「議会だより」が20.1%となっています。

「ホームページ」と答えた人の割合は10%以下と低くなっています。



●経年比較

市役所の仕事や行事などについての情報源は、平成12年度と比較すると、第1位「広報おけがわ」、4位「人づて」、7位「掲示板」、9位「議会議員」は10年前とへ変化がありません。その他、平成21年度では、「回覧」「ホームページ」「議会傍聴」の順位が上がり、「議会だより」「新聞」「自治会、団体の会合」の順位が下がっています。

	平成12年度(選択肢：13)		平成21年度(選択肢：11)		H12年度との 順位比較
1位	広報おけがわ	90.0%	広報おけがわ	81.7%	→
2位	議会だより	31.7%	回覧	24.3%	↑
3位	回覧	31.6%	議会だより	20.1%	↓
4位	人づて	8.2%	人づて	10.0%	→
5位	新聞等マスコミ	5.1%	ホームページ	9.7%	↑
6位	自治会、団体の会合	3.1%	新聞	5.5%	↓
7位	掲示板	2.4%	掲示板	3.9%	→
8位	生涯学習紙「智求号」	1.9%	自治会、団体の会合	1.9%	↓
9位	議会議員	1.7%	議会議員	1.4%	→
10位	ホームページ	1.0%	議会傍聴	0.0%	↑

注：平成12年度と平成21年度では、選択肢や文言が異なるため、正確な比較とはなりません。
 （平成21年度では、「生涯学習紙『智求号』」は選択肢にない。）

年齢別

市役所の仕事や行事などについての情報源として、最も多い回答は、全ての年代において「広報おけがわ」となっています。

全体として、20歳～40歳代では「ホームページ」「人づて」、50歳～70歳以上では「広報おけがわ」「議会だより」「回覧」と答えた人の割合が高くなっています。

注：白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		回答者数	広報おけがわ	議会だより	回覧	新聞	掲示板	ホームページ	議会傍聴	議会議員	自治会、団体の会合
全体	人数	1,356	1,108	272	330	74	53	132	0	19	26
	構成比		81.7%	20.1%	24.3%	5.5%	3.9%	9.7%	0.0%	1.4%	1.9%
18～29歳	人数	106	71	4	10	7	3	29	0	0	0
	構成比		67.0%	3.8%	9.4%	6.6%	2.8%	27.4%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	人数	213	154	25	36	9	8	42	0	7	2
	構成比		72.3%	11.7%	16.9%	4.2%	3.8%	19.7%	0.0%	3.3%	0.9%
40～49歳	人数	201	155	29	40	12	8	33	0	3	2
	構成比		77.1%	14.4%	19.9%	6.0%	4.0%	16.4%	0.0%	1.5%	1.0%
50～59歳	人数	237	205	48	65	13	7	15	0	3	6
	構成比		86.5%	20.3%	27.4%	5.5%	3.0%	6.3%	0.0%	1.3%	2.5%
60～69歳	人数	345	302	87	86	22	19	11	0	3	6
	構成比		87.5%	25.2%	24.9%	6.4%	5.5%	3.2%	0.0%	0.9%	1.7%
70歳以上	人数	224	199	71	83	10	7	0	0	3	9
	構成比		88.8%	31.7%	37.1%	4.5%	3.1%	0.0%	0.0%	1.3%	4.0%
無回答	人数	30	22	8	10	1	1	2	0	0	1
	構成比		73.3%	26.7%	33.3%	3.3%	3.3%	6.7%	0.0%	0.0%	3.3%

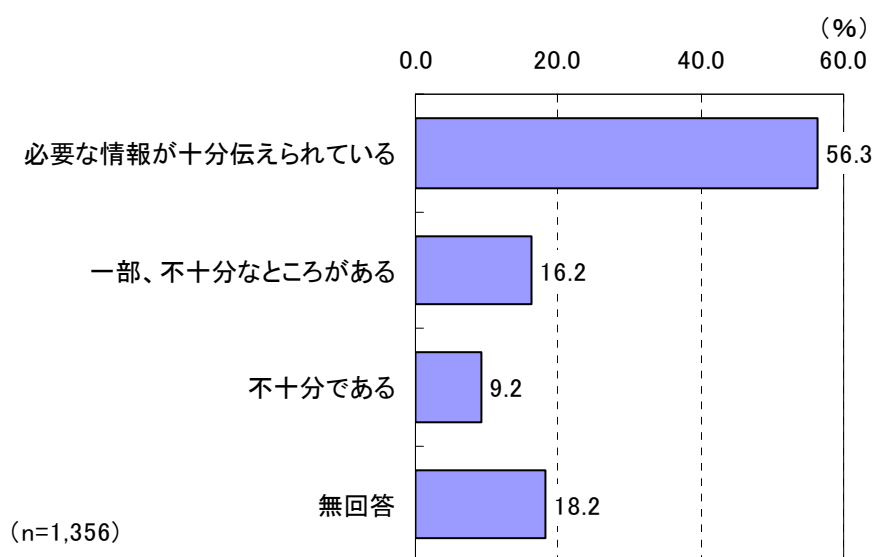
		人づて	その他	無回答
全体	人数	135	30	65
	構成比	10.0%	2.2%	4.8%
18～29歳	人数	20	6	1
	構成比	18.9%	5.7%	0.9%
30～39歳	人数	29	4	15
	構成比	13.6%	1.9%	7.0%
40～49歳	人数	23	4	8
	構成比	11.4%	2.0%	4.0%
50～59歳	人数	20	5	11
	構成比	8.4%	2.1%	4.6%
60～69歳	人数	28	6	18
	構成比	8.1%	1.7%	5.2%
70歳以上	人数	13	4	8
	構成比	5.8%	1.8%	3.6%
無回答	人数	2	1	4
	構成比	6.7%	3.3%	13.3%

問27 あなたは市役所からの市政情報の提供についてどのようにお考えですか。（○は1つ）
 なお、「不十分なところ」については、（ ）内に具体的にお書きください。

全 体

「必要な情報が十分に伝えられている」と答えた人の割合が56.3%と最も高く、全体の半数強を占めています。

他方、「一部、不十分なところがある」「不十分である」と答えた人の割合は約25%となっています。



【不十分なところ】

- 広報おけがわの見やすさ、親しみやすさ、配布方法 など
- 議会の情報が不十分
- 市の仕事の進捗状況に関する情報
- 開発案件に関する情報
- 市民意見の掲載 など

年齢別

市役所からの市政情報の提供について、最も多い回答は、すべての年代で「必要な情報が十分に伝えられている」となっています。

「必要な情報が十分に伝えられている」と答えた人の割合が最も高いのは70歳以上となっています。他方、「一部、不十分なところがある」「不十分である」と答えた人の割合が最も高いのは40歳代(35.3%)、次いで20歳代(30.2%)、30歳代(29.1%)、50歳代(27.5%)、60歳代(21.5%)、70歳以上(15.2%)となっており、市政情報の提供については、70歳以上で最も高く評価されています。

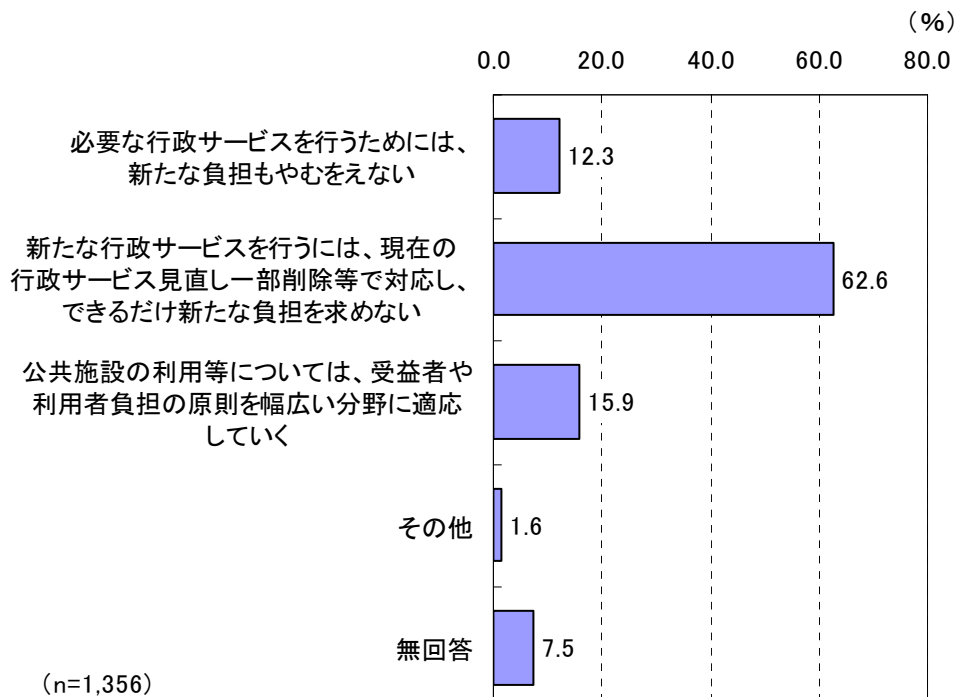
		注:	白文字 = 1位	黒文字 = 2位		
		回答者数	必要な情報が十分に伝えられている	一部、不十分なところがある	不十分である	無回答
全体	人数	1,356	764	220	125	247
	構成比		56.3%	16.2%	9.2%	18.2%
18～29歳	人数	106	66	11	21	8
	構成比		62.3%	10.4%	19.8%	7.5%
30～39歳	人数	213	121	34	28	30
	構成比		56.8%	16.0%	13.1%	14.1%
40～49歳	人数	201	104	49	22	26
	構成比		51.7%	24.4%	10.9%	12.9%
50～59歳	人数	237	126	49	16	46
	構成比		53.2%	20.7%	6.8%	19.4%
60～69歳	人数	345	202	45	28	70
	構成比		58.6%	13.0%	8.1%	20.3%
70歳以上	人数	224	134	30	4	56
	構成比		59.8%	13.4%	1.8%	25.0%
無回答	人数	30	11	2	6	11
	構成比		36.7%	6.7%	20.0%	36.7%

問28 あなたは、行政サービスとそれに伴う負担の仕方について、どのようにお考えですか。（〇は1つ）

全 体

「新たな行政サービスを行うには、現在の行政サービスを見直し一部削除等に対応し、できるだけ新たな負担を求めない」（以下、「新たな負担を求めない」と答えた人の割合が62.6%と、全体の6割強を占めています。

他方、「公共施設の利用等については、受益者や利用者負担の原則を幅広い分野に適用していく」（以下、「受益者・利用者負担の原則適用」）は15.9%、「必要な行政サービスを行うためには、新たな負担もやむをえない」（以下、「新たな負担もやむをえない」）は12.3%となっています。

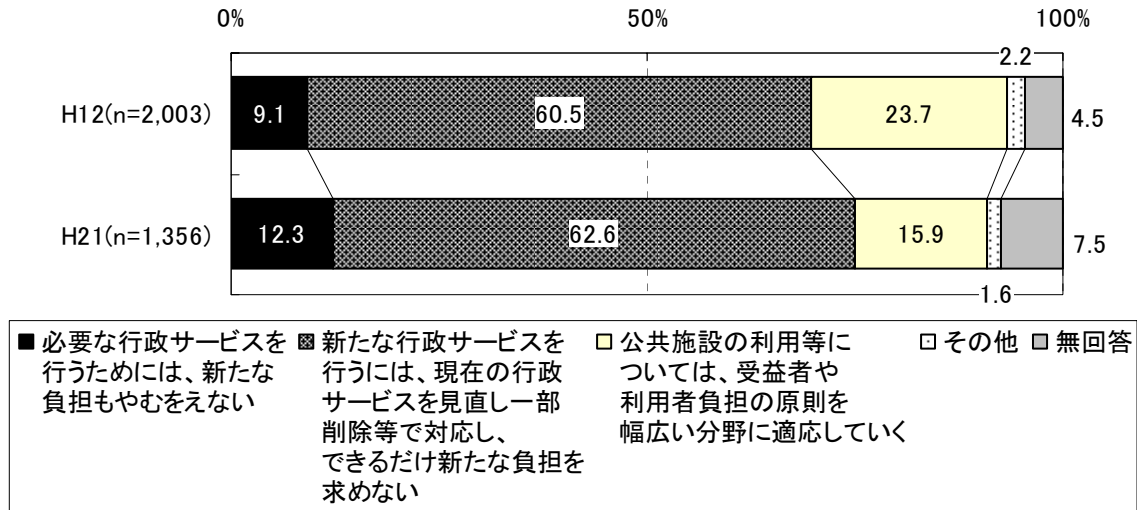


【その他の主な意見】

- まずは無駄をなくす
- 人件費等の削減やサービスの見直し等で、市民の負担は増やさず、サービスの向上を図るなど

●経年比較

行政サービスとそれに伴う負担の仕方について、平成 12 年度と比較すると、平成 21 年度では、「新たな負担を求めない」「新たな負担もやむをえない」が増加している他方、「受益者・利用者負担の原則適応」が減少しています。



年齢別

行政サービスとそれに伴う負担の仕方について、最も多い回答は、全ての年代で「新たな負担を求めない」となっています。

20 歳代・70 歳以上では「新たな負担もやむをえない」、30 歳代では「新たな負担を求めない」、50 歳代・70 歳以上では「受益者・利用者負担の原則適応」と答えた人の割合が他の年代と比較して高くなっています。

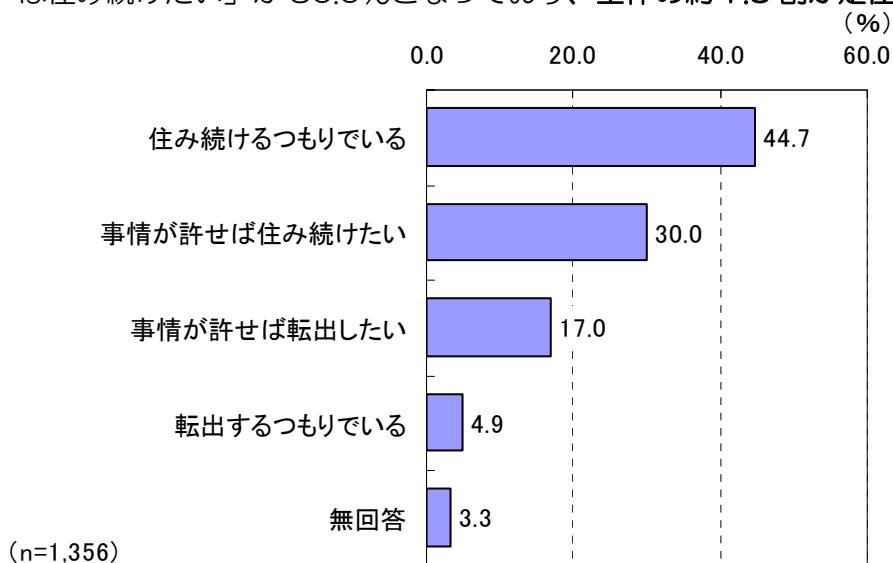
		注: 白文字 = 1位 黒文字 = 2位					
		回答者数	必要な行政サービスを行うためには、新たな負担もやむをえない	新たな行政サービスを行うには、現在の行政サービスを見直し一部削除等に対応し、できるだけ新たな負担を求めない	公共施設の利用等については、受益者や利用者負担の原則を幅広い分野に適応していく	その他	無回答
全体	人数	1,356	167	849	216	22	102
	構成比		12.3%	62.6%	15.9%	1.6%	7.5%
18～29歳	人数	106	16	73	10	1	6
	構成比		15.1%	68.9%	9.4%	0.9%	5.7%
30～39歳	人数	213	18	152	29	4	10
	構成比		8.5%	71.4%	13.6%	1.9%	4.7%
40～49歳	人数	201	21	136	27	6	11
	構成比		10.4%	67.7%	13.4%	3.0%	5.5%
50～59歳	人数	237	27	146	45	5	14
	構成比		11.4%	61.6%	19.0%	2.1%	5.9%
60～69歳	人数	345	43	205	60	6	31
	構成比		12.5%	59.4%	17.4%	1.7%	9.0%
70歳以上	人数	224	39	114	44	0	27
	構成比		17.4%	50.9%	19.6%	0.0%	12.1%
無回答	人数	30	3	23	1	0	3
	構成比		10.0%	76.7%	3.3%	0.0%	10.0%

8 定住意向について

問 29 あなたは、今後も桶川市に住み続けたいと思いますか。（〇は 1 つ）

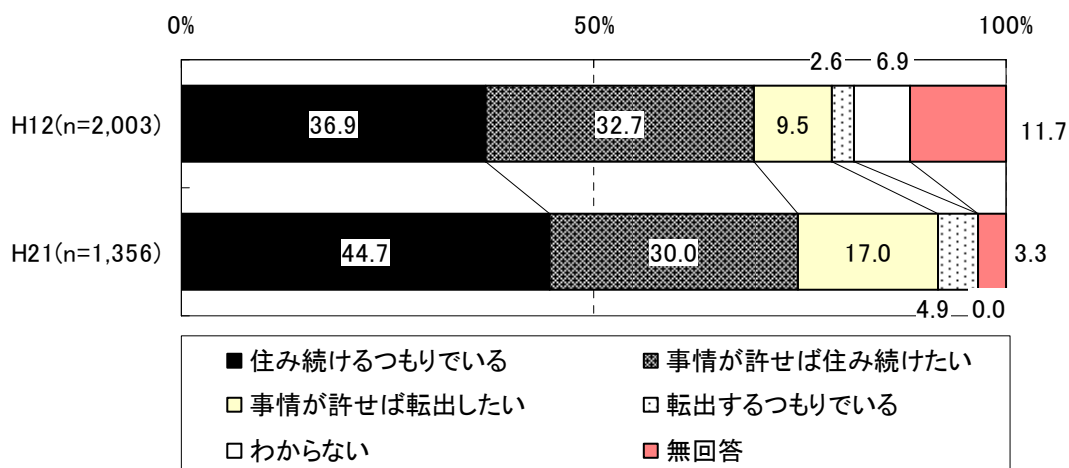
全 体

「住み続けるつもりでいる」と答えた人の割合が 44.7%と最も高く、次いで「事情が許せば住み続けたい」が 30.0%となっており、全体の約 7.5 割が定住意向を持っています。



●経年比較

桶川市での定住意向について、平成 12 年度は「ずっと住んでいたい」「当分住んでいたい」と答えた人の割合が 69.6%とあったのに対し、平成 21 年度では「住み続けるつもりでいる」「事情が許せば住み続けたい」と答えた人の割合は 74.7%となっており、定住意向は約 5%増加しています。他方、「事情が許せば転出したい」「転出するつもりでいる」も約 7%増加しています。



注：平成 12 年度と平成 21 年度では、選択肢の数や文言が異なるため、正確な比較とはなりません。
(平成 12 年度の選択肢は、①ずっと住んでいたい、②当分住んでいたい、③移転したい、④移転の予定である、⑤わからない)

性 別

桶川市での定住意向について、最も多い回答は、男女ともに「住み続けるつもりでいる」となっています。「住み続けるつもりでいる」と答えた人の割合は女性の方が男性よりも高くなっていますが、「住み続けるつもりでいる」「事情が許せば住み続けたい」と答えた人の割合の合計は、男性では75.2%、女性では74.4%となっており、全体としては男性の定住意向がより高くなっています。

			注:	白文字	= 1位	黒文字	= 2位
		回答者数	住み続ける つもりでい る	事情が許せ ば住み続け たい	事情が許せ ば転出した い	転出するつ もりでいる	無回答
全体	人数	1,356	606	407	231	67	45
	構成比		44.7%	30.0%	17.0%	4.9%	3.3%
男性	人数	557	226	193	96	26	16
	構成比		40.6%	34.6%	17.2%	4.7%	2.9%
女性	人数	758	359	205	131	39	24
	構成比		47.4%	27.0%	17.3%	5.1%	3.2%
無回答	人数	41	21	9	4	2	5
	構成比		51.2%	22.0%	9.8%	4.9%	12.2%

年 齢 別

桶川市での定住意向について、最も多い回答は、20歳～30歳代で「事情が許せば住み続けたい」、それ以外の年代では「住み続けるつもりでいる」となっています。

「住み続けるつもりでいる」「事情が許せば住み続けたい」と答えた人の割合が最も高いのは70歳以上（88.0%）、最も低いのは20歳代（58.5%）となっており、全体的に年齢が上がるほど定住意向が高い傾向にあります。

			注:	白文字	= 1位	黒文字	= 2位
		回答者数	住み続ける つもりでい る	事情が許せ ば住み続け たい	事情が許せ ば転出した い	転出するつ もりでいる	無回答
全体	人数	1,356	606	407	231	67	45
	構成比		44.7%	30.0%	17.0%	4.9%	3.3%
18～29歳	人数	106	16	46	23	19	2
	構成比		15.1%	43.4%	21.7%	17.9%	1.9%
30～39歳	人数	213	63	75	49	19	7
	構成比		29.6%	35.2%	23.0%	8.9%	3.3%
40～49歳	人数	201	73	70	48	6	4
	構成比		36.3%	34.8%	23.9%	3.0%	2.0%
50～59歳	人数	237	99	80	38	13	7
	構成比		41.8%	33.8%	16.0%	5.5%	3.0%
60～69歳	人数	345	186	88	49	8	14
	構成比		53.9%	25.5%	14.2%	2.3%	4.1%
70歳以上	人数	224	155	42	20	0	7
	構成比		69.2%	18.8%	8.9%	0.0%	3.1%
無回答	人数	30	14	6	4	2	4
	構成比		46.7%	20.0%	13.3%	6.7%	13.3%

居住年数別

桶川市での定住意向について、「住み続けるつもりでいる」「事情が許せば住み続けたい」と答えた人の割合が最も高いのは居住年数 20 年以上（82.2%）、最も低いのは 3 年未満（61.1%）となっており、全体的に居住年数が高いほど定住意向が高い傾向にあります。

		注：		白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	住み続けるつもりでいる	事情が許せば住み続けたい	事情が許せば転出した	転出するつもりでいる	無回答
全体	人数	1,356	606	407	231	67	45
	構成比		44.7%	30.0%	17.0%	4.9%	3.3%
3年未満	人数	206	47	79	48	27	5
	構成比		22.8%	38.3%	23.3%	13.1%	2.4%
3年～5年未満	人数	103	22	45	24	9	3
	構成比		21.4%	43.7%	23.3%	8.7%	2.9%
5年～10年未満	人数	162	65	52	31	9	5
	構成比		40.1%	32.1%	19.1%	5.6%	3.1%
10年～15年未満	人数	102	30	44	24	0	4
	構成比		29.4%	43.1%	23.5%	0.0%	3.9%
15年～20年未満	人数	81	34	23	18	3	3
	構成比		42.0%	28.4%	22.2%	3.7%	3.7%
20年以上	人数	666	390	157	81	17	21
	構成比		58.6%	23.6%	12.2%	2.6%	3.2%
無回答	人数	36	18	7	5	2	4
	構成比		50.0%	19.4%	13.9%	5.6%	11.1%

居住地区別

桶川市での定住意向について、最も多い回答は、全ての地区において「住み続けるつもりでいる」、次いで「事情が許せば住み続けたい」となっています。

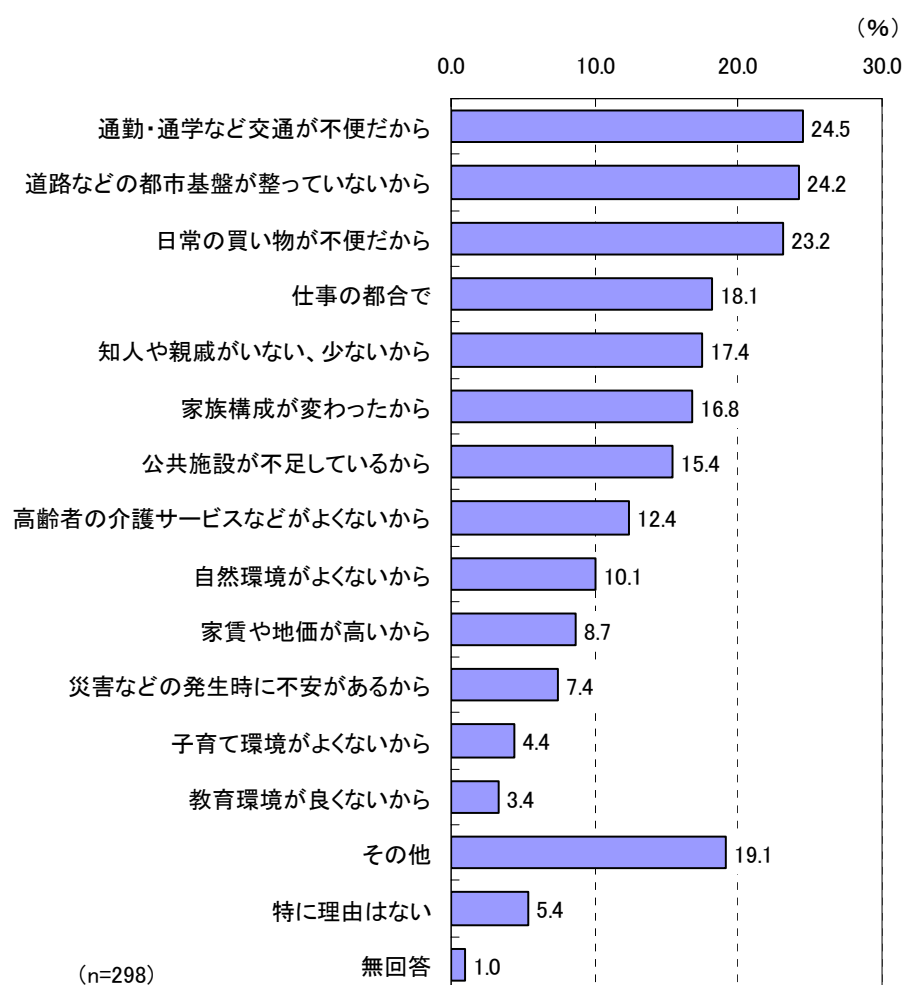
「住み続けるつもりでいる」「事情が許せば住み続けたい」と答えた人の割合が最も高いのは旧加納村地区（80.6%）、川田谷地区（80.3%）、旧桶川西地区（77.0%）、上下日出谷地区（73.9%）、最も低いのは旧桶川東地区（69.6%）となっています。

			注:	白文字	=1位	黒文字	=2位
		回答者数	住み続けるつもりでいる	事情が許せば住み続けたい	事情が許せば転出した	転出するつもりでいる	無回答
全体	人数	1,356	606	407	231	67	45
	構成比		44.7%	30.0%	17.0%	4.9%	3.3%
旧桶川東地区	人数	451	188	126	96	28	13
	構成比		41.7%	27.9%	21.3%	6.2%	2.9%
旧桶川西地区	人数	326	137	114	43	22	10
	構成比		42.0%	35.0%	13.2%	6.7%	3.1%
上下日出谷地区	人数	218	105	56	40	9	8
	構成比		48.2%	25.7%	18.3%	4.1%	3.7%
旧加納村地区	人数	238	116	76	33	6	7
	構成比		48.7%	31.9%	13.9%	2.5%	2.9%
川田谷地区	人数	76	38	23	12	0	3
	構成比		50.0%	30.3%	15.8%	0.0%	3.9%
無回答	人数	47	22	12	7	2	4
	構成比		46.8%	25.5%	14.9%	4.3%	8.5%

問 30 問 29 で「3. 事情が許せば転出したい」、あるいは「4. 転出するつもりでいる」を選んだ方におたずねします。その理由は何でしょうか。（〇は3つまで）

全 体

「通勤・通学など交通が不便だから」と答えた人の割合が 24.5%、次いで「道路などの都市基盤が整っていないから」が 24.2%、「日常の買い物が不便だから」が 23.2%となっており、問 1-2「住みにくい」理由の上位3項目（「道路の状況がよくない」「都市基盤施設や公共施設が充実していない」「通勤、通学、買い物に不便」）と同様の結果となっており、住みにくさと転出の理由がほぼ同じとなっています。



【その他の主な意見】

- 家庭の事情（学校卒業、親の介護、帰郷等）
- まちに魅力がないから
- 税金・公共料金が高いから
- ゴミの分別が複雑だから など

●経年比較

「事情が許せば転出したい」「転出するつもりでいる」理由について、平成12年度と比較すると、平成21年度においても、引き続きまちの利便性に関する項目（「もっと便利な場所がよい」、「通勤・通学など交通が不便だから」）が第1位となっています。

	平成12年度（選択肢数：6）		平成21年度（選択肢数：15）	
1位	もっと便利な場所がよい	28.1%	通勤・通学など交通が不便だから	24.5%
2位	環境を変えたい	24.8%	道路などの都市基盤が整っていないから	24.2%
3位	住みにくい	15.7%	日常の買い物が不便だから	23.2%
4位	他に住居を購入	12.4%	仕事の都合で	18.1%
5位	転勤	5.0%	知人や親戚がいない、少ないから	17.4%
6位	その他	12.0%	家族構成が変わったから	16.8%
7位			公共施設が不足しているから	15.4%
8位			高齢者の介護サービスなどがよくないから	12.4%
9位			自然環境がよくないから	10.1%
10位			家賃や地価が高いから	8.7%

注：平成12年度と平成21年度では、選択肢の文言や数が異なるため、正確な比較とはなりません。
（選択数は、平成12年度では1つまで、平成21年度では3つまで）

性 別

「事情が許せば転出したい」「転出するつもりでいる」理由として、最も多い回答は、男性では「道路などの都市基盤が整っていないから」、女性では「日常の買い物が不便だから」となっており、男女の違いが見られます。

また、男性では「道路などの都市基盤が整っていないから」と答えた人の割合が女性よりも高くなっています。他方、女性では「家族構成が変わったから」「子育て環境がよくないから」と答えた人の割合が男性よりも高くなっています。

		回答者数	家族構成が 変わったから	家賃や地価 が高いから	仕事の都合 で	通勤・通学 など交通が 不便だから	日常の買い 物が不便だ から	知人や親戚 がいない、 少ないから	教育環境が 良くないか ら	高齢者の介 護サービス などがよく ないから	自然環境が よくないか ら
全体	人数	298	50	26	54	73	69	52	10	37	30
	構成比		16.8%	8.7%	18.1%	24.5%	23.2%	17.4%	3.4%	12.4%	10.1%
男性	人数	122	11	9	20	30	26	21	5	17	12
	構成比		9.0%	7.4%	16.4%	24.6%	21.3%	17.2%	4.1%	13.9%	9.8%
女性	人数	170	38	16	32	41	42	29	5	20	16
	構成比		22.4%	9.4%	18.8%	24.1%	24.7%	17.1%	2.9%	11.8%	9.4%
無回答	人数	6	1	1	2	2	1	2	0	0	2
	構成比		16.7%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%

注：白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		道路などの 都市基盤が 整っていない から	公共施設が 不足してい るから	災害などの 発生時に不 安があるか ら	子育て環境 がよくない から	その他	特に理由は ない	無回答
全体	人数	72	46	22	13	57	16	3
	構成比	24.2%	15.4%	7.4%	4.4%	19.1%	5.4%	1.0%
男性	人数	37	18	7	2	32	7	1
	構成比	30.3%	14.8%	5.7%	1.6%	26.2%	5.7%	0.8%
女性	人数	33	27	15	11	25	9	1
	構成比	19.4%	15.9%	8.8%	6.5%	14.7%	5.3%	0.6%
無回答	人数	2	1	0	0	0	0	1
	構成比	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%

年齢別

「事情が許せば転出したい」「転出するつもりでいる」理由として、最も多い回答は、20歳代では「日常の買い物が不便だから」、30歳～50歳代では「通勤・通学など交通が不便だから」、60歳代では「高齢者の介護サービスなどがよくないから」、70歳以上では「道路などの都市基盤が整っていないから」「知人や親戚がいない、低いから」となっています。

全体的に、20歳～40歳代では「仕事の都合で」「通勤・通学など交通が不便だから」「日常の買い物が不便だから」「教育環境が良くないから」「子育て環境が良くないから」、50歳～70歳以上では「家族構成が変わったから」「知人や親戚がいない、低いから」「高齢者の介護サービスなどがよくないから」「災害などの発生時に不安があるから」と答えた人の割合がその他の年代と比較して高くなっており、子育て世代とそれ以外での違いが見られます。

注：白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		回答者数	家族構成が変わったから	家賃や地価が高いから	仕事の都合で	通勤・通学など交通が不便だから	日常の買い物が不便だから	知人や親戚がいない、少ないから	教育環境が良くないから	高齢者の介護サービスなどがよくないから	自然環境が良くないから
全体	人数	298	50	26	54	73	69	52	10	37	30
	構成比		16.8%	8.7%	18.1%	24.5%	23.2%	17.4%	3.4%	12.4%	10.1%
18～29歳	人数	42	4	5	10	11	18	7	2	0	2
	構成比		9.5%	11.9%	23.8%	26.2%	42.9%	16.7%	4.8%	0.0%	4.8%
30～39歳	人数	68	5	5	17	20	17	8	4	2	7
	構成比		7.4%	7.4%	25.0%	29.4%	25.0%	11.8%	5.9%	2.9%	10.3%
40～49歳	人数	54	3	3	7	16	14	8	4	5	5
	構成比		5.6%	5.6%	13.0%	29.6%	25.9%	14.8%	7.4%	9.3%	9.3%
50～59歳	人数	51	11	7	10	12	6	9	0	5	6
	構成比		21.6%	13.7%	19.6%	23.5%	11.8%	17.6%	0.0%	9.8%	11.8%
60～69歳	人数	57	20	4	4	8	9	11	0	21	6
	構成比		35.1%	7.0%	7.0%	14.0%	15.8%	19.3%	0.0%	36.8%	10.5%
70歳以上	人数	20	6	1	4	3	4	7	0	4	2
	構成比		30.0%	5.0%	20.0%	15.0%	20.0%	35.0%	0.0%	20.0%	10.0%
無回答	人数	6	1	1	2	3	1	2	0	0	2
	構成比		16.7%	16.7%	33.3%	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%

		道路などの都市基盤が整っていないから	公共施設が不足しているから	災害などの発生時に不安があるから	子育て環境が良くないから	その他	特に理由は無い	無回答
全体	人数	72	46	22	13	57	16	3
	構成比	24.2%	15.4%	7.4%	4.4%	19.1%	5.4%	1.0%
18～29歳	人数	9	7	0	4	8	1	1
	構成比	21.4%	16.7%	0.0%	9.5%	19.0%	2.4%	2.4%
30～39歳	人数	18	7	3	4	15	2	0
	構成比	26.5%	10.3%	4.4%	5.9%	22.1%	2.9%	0.0%
40～49歳	人数	14	11	2	3	10	2	0
	構成比	25.9%	20.4%	3.7%	5.6%	18.5%	3.7%	0.0%
50～59歳	人数	9	6	3	0	13	4	1
	構成比	17.6%	11.8%	5.9%	0.0%	25.5%	7.8%	2.0%
60～69歳	人数	13	10	10	1	9	7	0
	構成比	22.8%	17.5%	17.5%	1.8%	15.8%	12.3%	0.0%
70歳以上	人数	7	3	4	1	2	0	1
	構成比	35.0%	15.0%	20.0%	5.0%	10.0%	0.0%	5.0%
無回答	人数	2	2	0	0	0	0	0
	構成比	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

居住地区別

「事情が許せば転出したい」「転出するつもりでいる」理由として、最も多い回答は、旧桶川東地区では「道路などの都市基盤が整っていないから」、旧桶川西地区・旧加納村地区では、「通勤・通学など交通が不便だから」、上下日出谷地区では「家族構成が変わったから」、川田谷地区では「日常の買い物が不便だから」となっており、地区ごとの特徴は以下の通りとなっています。

- ① 旧桶川東地区：「道路などの都市基盤が整っていないから」（29.8%）、「日常の買い物が不便だから」（24.2%）
- ② 旧桶川西地区：「通勤・通学など交通が不便だから」（30.8%）、「仕事の都合で」（24.6%）、「家賃や地価が高いから」（13.8%）
- ③ 上下日出谷地区：「家族構成が変わったから」（24.5%）、「公共施設が不足しているから」22.4%「知人や親戚がいない、低いから」（20.4%）、「高齢者の介護サービスなどがよくないから」（20.4%）
- ④ 旧加納村地区：「通勤・通学など交通が不便だから」（33.3%）「道路などの都市基盤が整っていないから」（21.4%）「子育て環境がよくないから」（10.3%）
- ⑤ 川田谷地区：「日常の買い物が不便だから」（50.0%）「高齢者の介護サービスなどがよくないから」（33.3%）

注：各地区内の順位ではなく、他地区と比較して相対的に割合が高いものを挙げています。

			注： 白文字 =1位							黒文字 =2位	
		回答者数	家族構成が 変わったから	家賃や地価 が高いから	仕事の都合 で	通勤・通学 など交通が 不便だから	日常の買い 物が不便だ から	知人や親戚 がいない、 少ないから	教育環境が 良くないか ら	高齢者の介 護サービス などがよく ないから	自然環境が よくないか ら
全体	人数	298	50	26	54	73	69	52	10	37	30
	構成比		16.8%	8.7%	18.1%	24.5%	23.2%	17.4%	3.4%	12.4%	10.1%
旧桶川東 地区	人数	124	18	10	22	24	30	21	4	14	13
	構成比		14.5%	8.1%	17.7%	19.4%	24.2%	16.9%	3.2%	11.3%	10.5%
旧桶川西 地区	人数	65	9	9	16	20	13	11	3	6	8
	構成比		13.8%	13.8%	24.6%	30.8%	20.0%	16.9%	4.6%	9.2%	12.3%
上下日出谷 地区	人数	49	12	4	9	11	11	10	1	10	2
	構成比		24.5%	8.2%	18.4%	22.4%	22.4%	20.4%	2.0%	20.4%	4.1%
旧加納村 地区	人数	39	8	2	4	13	8	6	2	3	4
	構成比		20.5%	5.1%	10.3%	33.3%	20.5%	15.4%	5.1%	7.7%	10.3%
川田谷地区	人数	12	2	0	0	3	6	2	0	4	1
	構成比		16.7%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	16.7%	0.0%	33.3%	8.3%
無回答	人数	9	1	1	3	2	1	2	0	0	2
	構成比		11.1%	11.1%	33.3%	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%

		道路などの 都市基盤が 整っていないから	公共施設が 不足してい るから	災害などの 発生時に不 安があるか ら	子育て環境 がよくない から	その他	特に理由は ない	無回答
全体	人数	72	46	22	13	57	16	3
	構成比	24.2%	15.4%	7.4%	4.4%	19.1%	5.4%	1.0%
旧桶川東 地区	人数	37	17	11	4	22	7	3
	構成比	29.8%	13.7%	8.9%	3.2%	17.7%	5.6%	2.4%
旧桶川西 地区	人数	9	10	5	2	13	2	0
	構成比	13.8%	15.4%	7.7%	3.1%	20.0%	3.1%	0.0%
上下日出谷 地区	人数	9	11	2	2	10	3	0
	構成比	18.4%	22.4%	4.1%	4.1%	20.4%	6.1%	0.0%
旧加納村 地区	人数	11	6	3	4	8	3	0
	構成比	28.2%	15.4%	7.7%	10.3%	20.5%	7.7%	0.0%
川田谷地区	人数	2	1	1	1	2	1	0
	構成比	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%	16.7%	8.3%	0.0%
無回答	人数	4	1	0	0	2	0	0
	構成比	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%

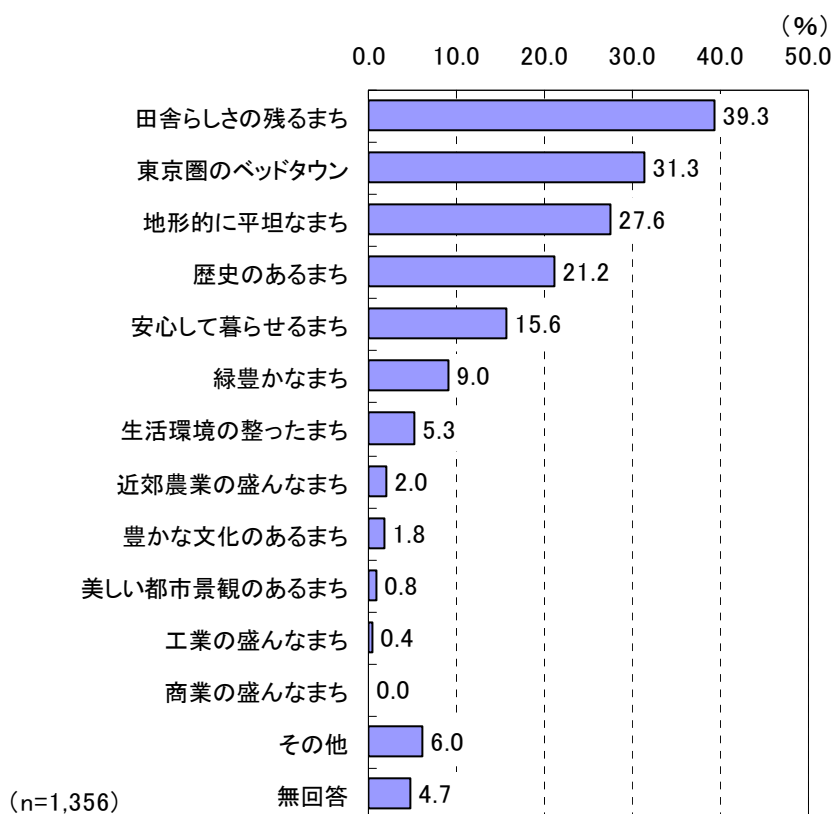
9 桶川市のイメージや将来像などについて

問 31 桶川市についてどのようなイメージをお持ちですか。（〇は2つまで）

全 体

「田舎らしさの残るまち」と答えた人の割合が 39.3%と最も高く、次いで「東京圏のベッドタウン」が 31.3%、「地形的に平坦なまち」が 27.6%となっています。

他方、「商業の盛んなまち」と答えた人の割合は 0.0%と最も低く、次いで「工業の盛んなまち」「美しい都市景観のあるまち」「豊かな文化のあるまち」「近郊農業の盛んなまち」と答えた人の割合はいずれも 2.0%以下と、非常に低くなっています。



【その他の主な意見】

- ストーカー殺人のまち・犯罪の多いまち
- 特徴がないまち、何もないまち
- 地味なまち
- 他と比較して劣るまち
- さびれたまち
- 新しいものを受け入れない、新しいものにチャレンジしないまち
- 税金が高いまち
- 間通過されるまち

●経年比較

桶川市のイメージについて、平成12年度と比較すると、上位3位に変動はなく、第1位が「田舎らしさの残るまち」、第2位が「東京圏のベッドタウン」、第3位が「（地形的に）平坦なまち」となっており、第4位以降も、大幅な順位の変化はありません。

	平成12年度（選択肢数：13）		平成21年度（選択肢数：）		H12年度との 順位比較
1位	田舎らしさの残るまち	57.0%	田舎らしさの残るまち	39.3%	→
2位	東京圏のベッドタウン	45.0%	東京圏のベッドタウン	31.3%	→
3位	平坦なまち	36.9%	地形的に平坦なまち	27.6%	→
4位	安心して暮らせるまち	27.6%	歴史のあるまち	21.2%	↑
5位	歴史のあるまち	25.8%	安心して暮らせるまち	15.6%	↓
6位	緑豊かなまち	20.7%	緑豊かなまち	9.0%	→
7位	近郊農業の盛んなまち	12.6%	生活環境の整ったまち	5.3%	↑
8位	生活環境の整ったまち	9.4%	近郊農業の盛んなまち	2.0%	↓
9位	豊かな文化のあるまち	4.6%	豊かな文化のあるまち	1.8%	→
10位	美しい都市景観のあるまち	2.3%	美しい都市景観のあるまち	0.8%	→

注：平成12年度と21年度では、選択肢の文言が異なるため、正確な比較とはなりません。
（選択数は、平成12年度では3つまで、平成21年度では2つまで）

性 別

桶川市のイメージについて、最も多い回答は、男女ともに「田舎らしさの残るまち」、次いで「東京圏のベッドタウン」となっていますが、男性では「東京圏のベッドタウン」が女性よりも、女性では「田舎らしさの残るまち」が男性よりも高くなっています。

		回答者数	歴史のある まち	豊かな文化 のあるまち	緑豊かなま ち	美しい都市 景観のある まち	田舎らしさ の残るまち	生活環境の 整ったまち	東京圏の ベッドタウン	近郊農業の 盛んなまち	工業の盛ん なまち
全体	人数	1,356	287	25	122	11	533	72	425	27	6
	構成比		21.2%	1.8%	9.0%	0.8%	39.3%	5.3%	31.3%	2.0%	0.4%
男性	人数	557	113	12	50	6	207	33	195	11	2
	構成比		20.3%	2.2%	9.0%	1.1%	37.2%	5.9%	35.0%	2.0%	0.4%
女性	人数	758	167	13	70	5	314	37	221	13	4
	構成比		22.0%	1.7%	9.2%	0.7%	41.4%	4.9%	29.2%	1.7%	0.5%
無回答	人数	41	7	0	2	0	12	2	9	3	0
	構成比		17.1%	0.0%	4.9%	0.0%	29.3%	4.9%	22.0%	7.3%	0.0%

注：白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		商業の盛ん なまち	安心して暮 らせるまち	地形的に平 坦なまち	その他	無回答
全体	人数	0	212	374	82	64
	構成比	0.0%	15.6%	27.6%	6.0%	4.7%
男性	人数	0	86	156	41	19
	構成比	0.0%	15.4%	28.0%	7.4%	3.4%
女性	人数	0	117	212	37	36
	構成比	0.0%	15.4%	28.0%	4.9%	4.7%
無回答	人数	0	9	6	4	9
	構成比	0.0%	22.0%	14.6%	9.8%	22.0%

年齢別

桶川市のイメージについて、最も多い回答は、70歳以上では「地形的に平坦なまち」、それ以外の年代では「田舎らしさの残るまち」となっています。

全体的に、20歳～40歳代では「田舎らしさの残るまち」「緑豊かなまち」、50歳～70歳以上では「歴史のあるまち」「安心して暮らせるまち」「地形的に平坦なまち」が他世代と比較して高くなっており、世代による違いが見られます。

また、20歳代では「歴史のあるまち」「東京圏のベッドタウン」「地形的に平坦なまち」と答えた人の割合が他の年代と比較して低い他方、「生活環境の整ったまち」が他の年代と比較して高いなど、他の年代と異なったイメージを持っています。

		注: 白文字 = 1位 黒文字 = 2位									
		回答者数	歴史のあるまち	豊かな文化のあるまち	緑豊かなまち	美しい都市景観のあるまち	田舎らしさの残るまち	生活環境の整ったまち	東京圏のベッドタウン	近郊農業の盛んなまち	工業の盛んなまち
全体	人数	1,356	287	25	122	11	533	72	425	27	6
	構成比		21.2%	1.8%	9.0%	0.8%	39.3%	5.3%	31.3%	2.0%	0.4%
18～29歳	人数	106	17	0	11	0	57	10	26	2	3
	構成比		16.0%	0.0%	10.4%	0.0%	53.8%	9.4%	24.5%	1.9%	2.8%
30～39歳	人数	213	37	8	21	2	85	14	67	6	1
	構成比		17.4%	3.8%	9.9%	0.9%	39.9%	6.6%	31.5%	2.8%	0.5%
40～49歳	人数	201	40	6	24	1	81	10	72	3	0
	構成比		19.9%	3.0%	11.9%	0.5%	40.3%	5.0%	35.8%	1.5%	0.0%
50～59歳	人数	237	44	2	23	0	97	14	80	7	0
	構成比		18.6%	0.8%	9.7%	0.0%	40.9%	5.9%	33.8%	3.0%	0.0%
60～69歳	人数	345	89	7	25	6	122	14	106	3	2
	構成比		25.8%	2.0%	7.2%	1.7%	35.4%	4.1%	30.7%	0.9%	0.6%
70歳以上	人数	224	52	2	17	2	82	9	67	4	0
	構成比		23.2%	0.9%	7.6%	0.9%	36.6%	4.0%	29.9%	1.8%	0.0%
無回答	人数	30	8	0	1	0	9	1	7	2	0
	構成比		26.7%	0.0%	3.3%	0.0%	30.0%	3.3%	23.3%	6.7%	0.0%

		商業の盛んなまち	安心して暮らせるまち	地形的に平坦なまち	その他	無回答
全体	人数	0	212	374	82	64
	構成比	0.0%	15.6%	27.6%	6.0%	4.7%
18～29歳	人数	0	11	20	6	2
	構成比	0.0%	10.4%	18.9%	5.7%	1.9%
30～39歳	人数	0	21	41	20	8
	構成比	0.0%	9.9%	19.2%	9.4%	3.8%
40～49歳	人数	0	26	42	12	5
	構成比	0.0%	12.9%	20.9%	6.0%	2.5%
50～59歳	人数	0	42	64	16	11
	構成比	0.0%	17.7%	27.0%	6.8%	4.6%
60～69歳	人数	0	65	112	18	17
	構成比	0.0%	18.8%	32.5%	5.2%	4.9%
70歳以上	人数	0	41	90	7	16
	構成比	0.0%	18.3%	40.2%	3.1%	7.1%
無回答	人数	0	6	5	3	5
	構成比	0.0%	20.0%	16.7%	10.0%	16.7%

居住年数別

桶川市のイメージについて、最も多い回答は、全ての居住年数において「田舎らしさの残るまち」となっています。2番目に多い回答は、3年未満・10年～15年未満では「地形的に平坦なまち」、それ以外では「東京圏のベッドタウン」となっています。

その他、3年未満では「生活環境の整ったまち」、15年～20年未満では「歴史のあるまち」、20年以上では「東京圏のベッドタウン」「安心して暮らせるまち」「地形的に平坦なまち」が他と比較して高くなっています。

注: 白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		回答者数	歴史のあるまち	豊かな文化のあるまち	緑豊かなまち	美しい都市景観のあるまち	田舎らしさの残るまち	生活環境の整ったまち	東京圏のベッドタウン	近郊農業の盛んなまち	工業の盛んなまち
全体	人数	2,240	287	25	122	11	533	72	425	27	6
	構成比		12.8%	1.1%	5.4%	0.5%	23.8%	3.2%	19.0%	1.2%	0.3%
3年未満	人数	321	39	6	22	2	84	17	56	8	2
	構成比		12.1%	1.9%	6.9%	0.6%	26.2%	5.3%	17.4%	2.5%	0.6%
3年～5年未満	人数	171	21	1	10	0	47	6	34	2	1
	構成比		12.3%	0.6%	5.8%	0.0%	27.5%	3.5%	19.9%	1.2%	0.6%
5年～10年未満	人数	256	32	4	22	3	66	5	47	5	2
	構成比		12.5%	1.6%	8.6%	1.2%	25.8%	2.0%	18.4%	2.0%	0.8%
10年～15年未満	人数	167	25	1	12	1	40	3	25	3	0
	構成比		15.0%	0.6%	7.2%	0.6%	24.0%	1.8%	15.0%	1.8%	0.0%
15年～20年未満	人数	136	22	1	7	1	40	5	22	1	0
	構成比		16.2%	0.7%	5.1%	0.7%	29.4%	3.7%	16.2%	0.7%	0.0%
20年以上	人数	1,132	137	11	48	4	245	35	233	5	1
	構成比		12.1%	1.0%	4.2%	0.4%	21.6%	3.1%	20.6%	0.4%	0.1%
無回答	人数	57	11	1	1	0	11	1	8	3	0
	構成比		19.3%	1.8%	1.8%	0.0%	19.3%	1.8%	14.0%	5.3%	0.0%

		商業の盛んなまち	安心して暮らせるまち	地形的に平坦なまち	その他	無回答
全体	人数	0	212	374	82	64
	構成比	0.0%	9.5%	16.7%	3.7%	2.9%
3年未満	人数	0	20	45	15	5
	構成比	0.0%	6.2%	14.0%	4.7%	1.6%
3年～5年未満	人数	0	10	32	4	3
	構成比	0.0%	5.8%	18.7%	2.3%	1.8%
5年～10年未満	人数	0	21	27	11	11
	構成比	0.0%	8.2%	10.5%	4.3%	4.3%
10年～15年未満	人数	0	15	30	7	5
	構成比	0.0%	9.0%	18.0%	4.2%	3.0%
15年～20年未満	人数	0	10	19	5	3
	構成比	0.0%	7.4%	14.0%	3.7%	2.2%
20年以上	人数	0	129	215	37	32
	構成比	0.0%	11.4%	19.0%	3.3%	2.8%
無回答	人数	0	7	6	3	5
	構成比	0.0%	12.3%	10.5%	5.3%	8.8%

居住地区別

桶川市のイメージについて、最も多い回答は、旧桶川東地区では「東京圏のベッドタウン」、それ以外の地区では「田舎らしさの残るまち」となっています。

- ① 旧桶川東地区：「東京圏のベッドタウン」（35.6%）「地形的に平坦なまち」（32.8%）「歴史のあるまち」（25.7%）
- ② 旧桶川西地区：「東京圏のベッドタウン」（35.6%）「地形的に平坦なまち」（28.2%）「生活環境の整ったまち」（7.1%）
- ③ 上下日出谷地区：「田舎らしさの残るまち」（46.3%）、「安心して暮らせるまち」（19.7%）
- ④ 旧加納村地区：「田舎らしさの残るまち」（45.4%）「地形的に平坦なまち」（28.6%）
- ⑤ 川田谷地区：「田舎らしさの残るまち」（48.7%）「歴史のあるまち」（30.3%）、「緑豊かなまち」（26.3%）

注：各地区内の順位ではなく、他地区と比較して相対的に割合が高いものを挙げています。

			注: 白文字 =1位 黒文字 =2位								
		回答者数	歴史のあるまち	豊かな文化のあるまち	緑豊かなまち	美しい都市景観のあるまち	田舎らしさの残るまち	生活環境の整ったまち	東京圏のベッドタウン	近郊農業の盛んなまち	工業の盛んなまち
全体	人数	1,356	287	25	122	11	533	72	425	27	6
	構成比		21.2%	1.8%	9.0%	0.8%	39.3%	5.3%	31.3%	2.0%	0.4%
旧桶川東地区	人数	451	116	10	26	3	153	16	156	7	2
	構成比		25.7%	2.2%	5.8%	0.7%	33.9%	3.5%	34.6%	1.6%	0.4%
旧桶川西地区	人数	326	62	3	22	2	119	23	116	5	3
	構成比		19.0%	0.9%	6.7%	0.6%	36.5%	7.1%	35.6%	1.5%	0.9%
上下日出谷地区	人数	218	39	1	23	1	101	14	57	4	0
	構成比		17.9%	0.5%	10.6%	0.5%	46.3%	6.4%	26.1%	1.8%	0.0%
旧加納村地区	人数	238	38	6	30	2	108	14	72	8	1
	構成比		16.0%	2.5%	12.6%	0.8%	45.4%	5.9%	30.3%	3.4%	0.4%
川田谷地区	人数	76	23	3	20	2	37	1	12	1	0
	構成比		30.3%	3.9%	26.3%	2.6%	48.7%	1.3%	15.8%	1.3%	0.0%
無回答	人数	47	9	2	1	1	15	4	12	2	0
	構成比		19.1%	4.3%	2.1%	2.1%	31.9%	8.5%	25.5%	4.3%	0.0%

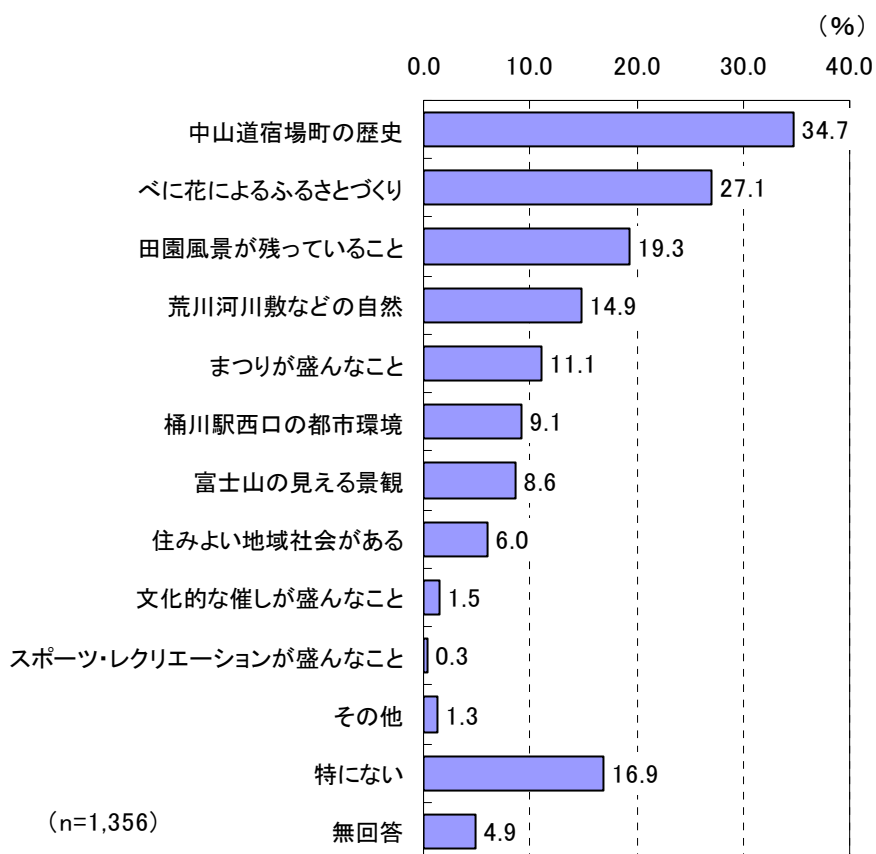
		商業の盛んなまち	安心して暮らせるまち	地形的に平坦なまち	その他	無回答
全体	人数	0	212	374	82	64
	構成比	0.0%	15.6%	27.6%	6.0%	4.7%
旧桶川東地区	人数	0	69	148	26	14
	構成比	0.0%	15.3%	32.8%	5.8%	3.1%
旧桶川西地区	人数	0	55	92	24	13
	構成比	0.0%	16.9%	28.2%	7.4%	4.0%
上下日出谷地区	人数	0	43	43	18	11
	構成比	0.0%	19.7%	19.7%	8.3%	5.0%
旧加納村地区	人数	0	32	68	7	14
	構成比	0.0%	13.4%	28.6%	2.9%	5.9%
川田谷地区	人数	0	6	12	3	4
	構成比	0.0%	7.9%	15.8%	3.9%	5.3%
無回答	人数	0	7	11	4	8
	構成比	0.0%	14.9%	23.4%	8.5%	17.0%

問32 桶川市の自然、歴史文化、生活環境などで誇れるもの、自慢できるものは何ですか。（〇は2つまで）

全 体

「中山道宿場町の歴史」と答えた人の割合が 34.7%と最も高く、次いで「べに花によるふるさとづくり」が 27.1%、「田園風景が残っていること」が 19.3%となっています。

「特にない」も 16.9%と、上位3項目の次に高くなっています。



【その他の主な意見】

- ホンダエアポート
- ない。わからない。
- さいたま文学館
- 川田谷の歴史文化
- 遺跡
- 子どもが畑の体験ができる、季節の食べ物が食べられる など

●経年比較

桶川市の自然、歴史文化、生活環境などで誇れるもの、自慢できるものについて、平成12年度と比較すると、上位3位に変動はなく、第1位が「中山道宿場町の歴史」、第2位が「べに花によるふるさとづくり」、第3位が、「田園風景が残っていること」となっています。

第4位以降についても、大幅な順位の変化はありませんが、「桶川駅西口の都市環境」は順位・割合とも減少し、「荒川河川敷などの自然」「まつりが盛んなこと」はともに割合は減少していますが、順位が上がっています。

	平成12年度(選択肢数：15)		平成21年度(選択肢数：12)		H12年度との 順位比較
1位	中山道宿場町の歴史	32.6%	中山道宿場町の歴史	34.7%	→
2位	べに花によるふるさとづくり	28.8%	べに花によるふるさとづくり	27.1%	→
3位	田園風景が残っていること	22.1%	田園風景が残っていること	19.3%	→
4位	桶川駅西口の都市環境	17.6%	荒川河川敷などの自然	14.9%	↑
5位	荒川河川敷などの自然	15.7%	まつりが盛んなこと	11.1%	↑
6位	まつりが盛んなこと	12.4%	桶川駅西口の都市環境	9.1%	↓
7位	富士山に見える景観	11.1%	富士山に見える景観	8.6%	→
8位	住みよい地域社会がある	6.1%	住みよい地域社会がある	6.0%	→
9位	スポーツ・レクリエーションが盛んなこと	2.0%	文化的な催しが盛んなこと	1.5%	↑
10位	文化的催しが盛んなこと	1.8%	スポーツ・レクリエーションが盛んなこと	0.3%	↓

注：平成12年度と平成21年度では、選択肢数が異なるため、正確な比較とはなりません
(選択数は、平成12年度・平成21年度ともに2つまで)

性 別

桶川市の自然、歴史文化、生活環境などで誇れるもの、自慢できるものとして、最も多い回答は、男女ともに「中山道宿場町の歴史」、次いで「べに花によるふるさとづくり」となっています。

全体的に性別による大きな違いは見られませんが、男性では「荒川河川敷などの自然」と答えた人の割合が女性よりも高くなっています。他方、女性では「中山道宿場町の歴史」「べに花によるふるさとづくり」「田園風景が残っていること」「まつりが盛んなこと」と答えた人の割合が男性よりも若干高くなっています。

		回答者数	荒川河川敷 などの自然	中山道宿場 町の歴史	富士山の見 える景観	スポーツ・レ クリエーシ ョンが盛 んなこと	文化的な催 しが盛んな こと	桶川駅西口 の都市環境	べに花によ るふるさと づくり	田園風景が 残っている こと	まつりが盛 んなこと
全体	人数	1,356	202	471	116	4	20	124	367	262	150
	構成比		14.9%	34.7%	8.6%	0.3%	1.5%	9.1%	27.1%	19.3%	11.1%
男性	人数	557	97	181	50	2	6	49	135	99	53
	構成比		17.4%	32.5%	9.0%	0.4%	1.1%	8.8%	24.2%	17.8%	9.5%
女性	人数	758	102	276	61	2	13	72	222	157	93
	構成比		13.5%	36.4%	8.0%	0.3%	1.7%	9.5%	29.3%	20.7%	12.3%
無回答	人数	41	3	14	5	0	1	3	10	6	4
	構成比		7.3%	34.1%	12.2%	0.0%	2.4%	7.3%	24.4%	14.6%	9.8%

注：白文字＝1位 黒文字＝2位

		住みよい地 域社会があ る	その他	特にな い	無回答
全体	人数	82	17	229	67
	構成比	6.0%	1.3%	16.9%	4.9%
男性	人数	31	10	112	25
	構成比	5.6%	1.8%	20.1%	4.5%
女性	人数	47	7	109	35
	構成比	6.2%	0.9%	14.4%	4.6%
無回答	人数	4	0	8	7
	構成比	9.8%	0.0%	19.5%	17.1%

年齢別

桶川市の自然、歴史文化、生活環境などで誇れるもの、自慢できるものとして、最も多い回答は、20歳～40歳代では「べに花によるふるさとづくり」、50歳～70歳以上では「中山道宿場町の歴史」となっています。

また、20歳代では「荒川など河川敷などの自然」「中山道宿場町の歴史」「田園風景が残っていること」が全世代の中で最も低い他方、「まつりが盛んなこと」と答えた人の割合が全世代の中で最も高くなっています。

その他、50歳～70歳以上では「桶川駅西口の都市環境」と答えた人の割合がそれ以外の年代よりも高くなっています。

		回答者数	注: 白文字 =1位 黒文字 =2位								
			荒川河川敷などの自然	中山道宿場町の歴史	富士山に見える景観	スポーツ・レクリエーションが盛んなこと	文化的な催しが盛んなこと	桶川駅西口の都市環境	べに花によるふるさとづくり	田園風景が残っていること	まつりが盛んなこと
全体	人数	1,356	202	471	116	4	20	124	367	262	150
	構成比		14.9%	34.7%	8.6%	0.3%	1.5%	9.1%	27.1%	19.3%	11.1%
18～29歳	人数	106	11	25	10	0	0	7	33	16	18
	構成比		10.4%	23.6%	9.4%	0.0%	0.0%	6.6%	31.1%	15.1%	17.0%
30～39歳	人数	213	28	63	22	0	3	8	70	34	33
	構成比		13.1%	29.6%	10.3%	0.0%	1.4%	3.8%	32.9%	16.0%	15.5%
40～49歳	人数	201	26	67	16	0	2	7	69	46	20
	構成比		12.9%	33.3%	8.0%	0.0%	1.0%	3.5%	34.3%	22.9%	10.0%
50～59歳	人数	237	46	74	19	0	2	22	55	43	17
	構成比		19.4%	31.2%	8.0%	0.0%	0.8%	9.3%	23.2%	18.1%	7.2%
60～69歳	人数	345	56	143	27	0	10	41	75	74	40
	構成比		16.2%	41.4%	7.8%	0.0%	2.9%	11.9%	21.7%	21.4%	11.6%
70歳以上	人数	224	32	90	17	4	3	37	55	41	20
	構成比		14.3%	40.2%	7.6%	1.8%	1.3%	16.5%	24.6%	18.3%	8.9%
無回答	人数	30	3	9	5	0	0	2	10	8	2
	構成比		10.0%	30.0%	16.7%	0.0%	0.0%	6.7%	33.3%	26.7%	6.7%

		住みよい地域社会がある	その他	特にない	無回答
全体	人数	82	17	229	67
	構成比	6.0%	1.3%	16.9%	4.9%
18～29歳	人数	9	0	20	4
	構成比	8.5%	0.0%	18.9%	3.8%
30～39歳	人数	6	3	43	8
	構成比	2.8%	1.4%	20.2%	3.8%
40～49歳	人数	20	3	29	3
	構成比	10.0%	1.5%	14.4%	1.5%
50～59歳	人数	14	4	50	17
	構成比	5.9%	1.7%	21.1%	7.2%
60～69歳	人数	21	4	47	16
	構成比	6.1%	1.2%	13.6%	4.6%
70歳以上	人数	11	3	34	16
	構成比	4.9%	1.3%	15.2%	7.1%
無回答	人数	1	0	6	3
	構成比	3.3%	0.0%	20.0%	10.0%

居住地区別

桶川市の自然、歴史文化、生活環境などで誇れるもの、自慢できるものとして、最も多い回答は、旧桶川東地区・旧桶川西地区・上下日出谷地区では「中山道宿場町の歴史」、旧加納村地区、川田谷地区では「べに花によるふるさとづくり」となっています。

各地区の特徴は以下の通りとなっています。

- ① 旧桶川東地区：「中山道宿場町の歴史」（40.6%）「まつりが盛んなこと」（18.8%）
- ② 旧桶川西地区：「中山道宿場町の歴史」（34.7%）「桶川駅西口の都市環境」（15.6%）
- ③ 上下日出谷地区：「田園風景が残っていること」（28.0%）「荒川河川敷などの自然」（21.6%）
- ④ 旧加納村地区：「べに花によるふるさとづくり」（34.0%）「中山道宿場町の歴史」（31.5%）
「田園風景が残っていること」（26.9%）
- ⑤ 川田谷地区：「べに花によるふるさとづくり」（30.3%）「荒川河川敷などの自然」（27.6%）
「田園風景が残っていること」（23.7%）「富士山に見える景観」（18.4%）

注：各地区内の順位ではなく、他地区と比較して相対的に割合が高いものを挙げています。

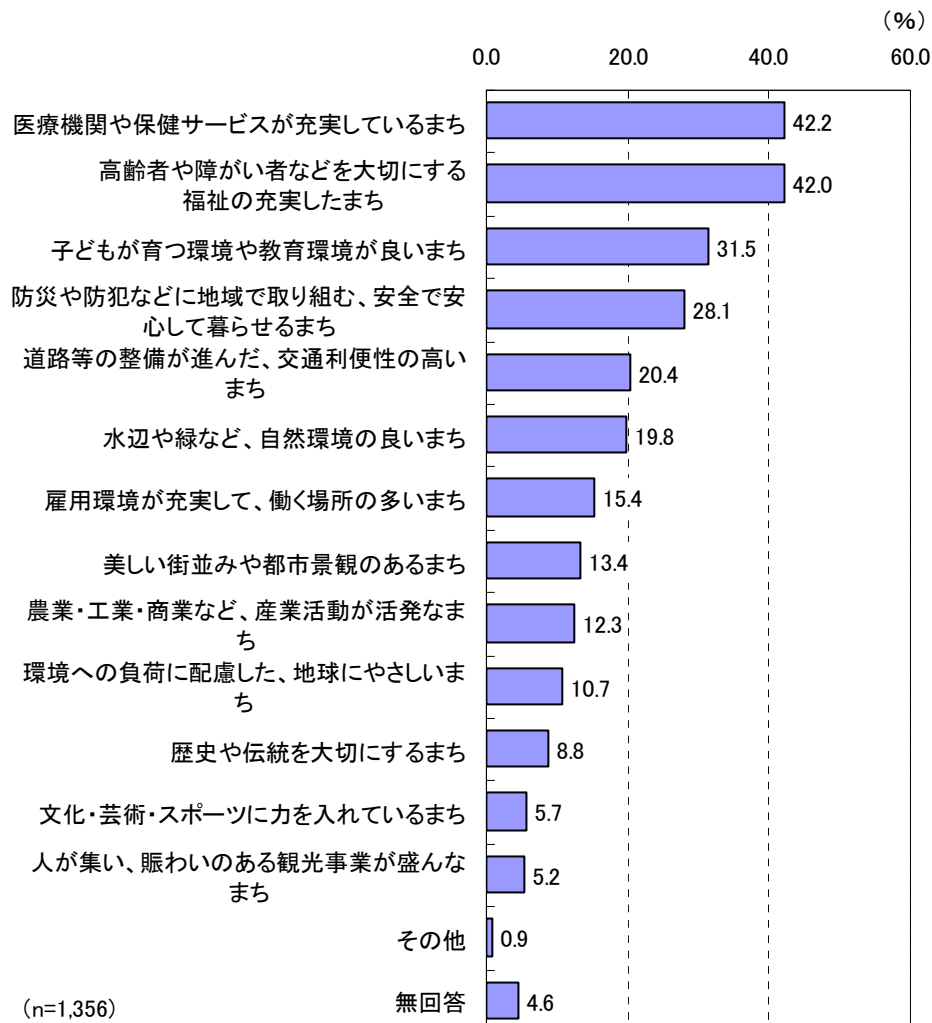
		回答者数	注： 白文字 =1位 黒文字 =2位								
			荒川河川敷などの自然	中山道宿場町の歴史	富士山に見える景観	スポーツ・レクリエーションが盛んなこと	文化的な催しが盛んなこと	桶川駅西口の都市環境	べに花によるふるさとづくり	田園風景が残っていること	まつりが盛んなこと
全体	人数	1,356	202	471	116	4	20	124	367	262	150
	構成比		14.9%	34.7%	8.6%	0.3%	1.5%	9.1%	27.1%	19.3%	11.1%
旧桶川東地区	人数	451	46	183	27	3	5	26	118	56	85
	構成比		10.2%	40.6%	6.0%	0.7%	1.1%	5.8%	26.2%	12.4%	18.8%
旧桶川西地区	人数	326	49	113	31	0	3	51	90	54	21
	構成比		15.0%	34.7%	9.5%	0.0%	0.9%	15.6%	27.6%	16.6%	6.4%
上下日出谷地区	人数	218	47	62	24	0	5	23	42	61	15
	構成比		21.6%	28.4%	11.0%	0.0%	2.3%	10.6%	19.3%	28.0%	6.9%
旧加納村地区	人数	238	36	75	15	1	5	17	81	64	21
	構成比		15.1%	31.5%	6.3%	0.4%	2.1%	7.1%	34.0%	26.9%	8.8%
川田谷地区	人数	76	21	21	14	0	2	1	23	18	4
	構成比		27.6%	27.6%	18.4%	0.0%	2.6%	1.3%	30.3%	23.7%	5.3%
無回答	人数	47	3	17	5	0	0	6	13	9	4
	構成比		6.4%	36.2%	10.6%	0.0%	0.0%	12.8%	27.7%	19.1%	8.5%

		住みよい地域社会がある	その他	特にない	無回答
全体	人数	82	17	229	67
	構成比	6.0%	1.3%	16.9%	4.9%
旧桶川東地区	人数	26	3	88	21
	構成比	5.8%	0.7%	19.5%	4.7%
旧桶川西地区	人数	24	7	48	16
	構成比	7.4%	2.1%	14.7%	4.9%
上下日出谷地区	人数	15	2	32	11
	構成比	6.9%	0.9%	14.7%	5.0%
旧加納村地区	人数	11	3	45	8
	構成比	4.6%	1.3%	18.9%	3.4%
川田谷地区	人数	5	2	9	3
	構成比	6.6%	2.6%	11.8%	3.9%
無回答	人数	1	0	7	8
	構成比	2.1%	0.0%	14.9%	17.0%

問33 あなたは、10年後の桶川市がどのようなまちであってほしいと思いますか。（〇は3つまで）

全 体

「医療機関や保健サービスが充実しているまち」（以下、「医療・保健サービスが充実したまち」）と答えた人の割合が 42.2%と最も高く、次いで「高齢者や障がい者などを大切にす
る福祉の充実したまち」（以下、「福祉の充実したまち」）が 42.0%、「子どもが育つ環境
や教育環境が良いまち」が 31.5%となっています。



【その他の主な意見】

- 商業施設が充実し、買い物が便利
なまち など

●経年比較

10年後の桶川市に望む将来像について、平成12年度と比較すると、第1位は、平成12年度では「生活環境が整備された都市」、平成21年度では「医療機関や保健サービスが充実しているまち」（新規選択肢）となっています。第2位は、「福祉の充実したまち」（平成12年度では「福祉のゆきとどいた都市」）で同位となっています。

その他、「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」は順位が上がり、「水辺や緑など、自然環境の良いまち」は順位が下がっています。その他、美しい都市景観のあるまちや地球にやさしいまちなどの新規項目が入っています。

	平成12年度（選択肢数：9）		平成21年度（選択肢数：14）		H12年度との 順位比較
1位	生活環境が整備された都市	55.8%	医療機関や保健サービスが充実しているまち	42.2%	新規
2位	福祉のゆきとどいた都市	52.9%	高齢者や障がい者などを大切にする福祉の充実したまち	42.0%	→
3位	緑や水辺を生かした自然豊かな都市	41.7%	子どもが育つ環境や教育環境が良いまち	31.5%	↑
4位	教育と文化を誇る都市	12.6%	防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち	28.1%	新規
5位	商業に活気のある都市	7.2%	道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち	20.4%	新規
6位	農業と商工業の調和した都市	6.8%	水辺や緑など、自然環境の良いまち	19.8%	↓
7位	研究機関や大学のある都市	4.9%	雇用環境が充実して、働く場所の多いまち	15.4%	新規
8位	工業の発展した都市	1.3%	美しい街並みや都市景観のあるまち	13.4%	新規
9位	その他	1.7%	農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち	12.3%	新規
10位			環境への負荷に配慮した、地球にやさしいまち	10.7%	新規

注：平成12年度と平成21年度では、選択肢数や文言が異なるため、正確な比較とはなりません。
（選択数は、平成12年度では2つまで、平成21年度では3つまで）

年齢別

10年後の桶川市に望む将来像として、最も多い回答は、20歳代では「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」、30歳～40歳代では「医療・保健サービスが充実したまち」、50歳～70歳以上では「福祉の充実したまち」となっています。

その他、20歳代では「道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち」「環境への負荷に配慮した、地球にやさしいまち」「美しい街並みや都市景観のあるまち」「歴史や伝統を大切にするまち」、30歳代では「水辺や緑など、自然環境の良いまち」、70歳以上では「防災や防犯などに地域で取り組む安全で安心して暮らせるまち」と答えた人の割合の人の割合が、全世代の中で最も高くなっています。

また、40歳～50歳代では「雇用関係が充実して、働く場所の多いまち」と答えた人の割合が他の年代と比較して高くなっているなど、年代による違いが見られます。

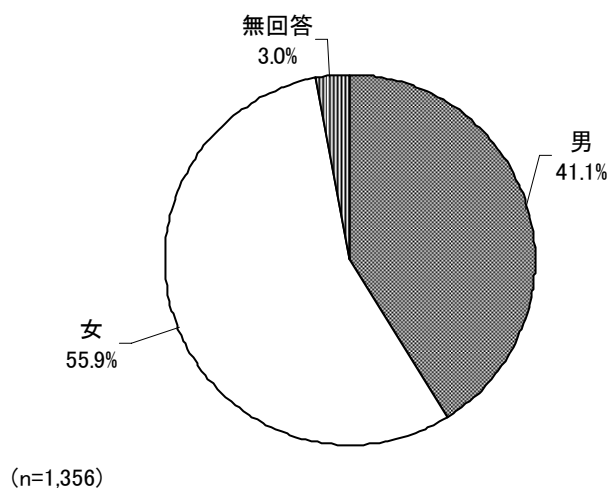
			注: 白文字 = 1位 黒文字 = 2位								
		回答者数	子どもが育つ環境や教育環境が良いまち	医療機関や保健サービスが充実しているまち	文化・芸術・スポーツに力を入れているまち	高齢者や障がい者などを大切にする福祉の充実したまち	道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち	水辺や緑など、自然環境の良いまち	環境への負荷に配慮した、地球にやさしいまち	農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち	雇用環境が充実して、働く場所の多いまち
全体	人数	1,356	427	572	77	570	277	268	145	167	209
	構成比		31.5%	42.2%	5.7%	42.0%	20.4%	19.8%	10.7%	12.3%	15.4%
18～29歳	人数	106	47	34	8	21	37	27	17	9	12
	構成比		44.3%	32.1%	7.5%	19.8%	34.9%	25.5%	16.0%	8.5%	11.3%
30～39歳	人数	213	89	90	14	54	49	55	12	26	29
	構成比		41.8%	42.3%	6.6%	25.4%	23.0%	25.8%	5.6%	12.2%	13.6%
40～49歳	人数	201	66	80	13	65	49	34	32	28	35
	構成比		32.8%	39.8%	6.5%	32.3%	24.4%	16.9%	15.9%	13.9%	17.4%
50～59歳	人数	237	58	103	14	110	32	56	27	37	42
	構成比		24.5%	43.5%	5.9%	46.4%	13.5%	23.6%	11.4%	15.6%	17.7%
60～69歳	人数	345	88	160	21	184	54	61	35	39	48
	構成比		25.5%	46.4%	6.1%	53.3%	15.7%	17.7%	10.1%	11.3%	13.9%
70歳以上	人数	224	73	92	6	122	50	28	19	24	34
	構成比		32.6%	41.1%	2.7%	54.5%	22.3%	12.5%	8.5%	10.7%	15.2%
無回答	人数	30	6	13	1	14	6	7	3	4	9
	構成比		20.0%	43.3%	3.3%	46.7%	20.0%	23.3%	10.0%	13.3%	30.0%

		美しい街並みや都市景観のあるまち	防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち	歴史や伝統を大切にするまち	人が集い、賑わいのある観光事業が盛んなまち	その他	無回答
全体	人数	182	381	120	71	12	62
	構成比	13.4%	28.1%	8.8%	5.2%	0.9%	4.6%
18～29歳	人数	19	23	18	9	1	2
	構成比	17.9%	21.7%	17.0%	8.5%	0.9%	1.9%
30～39歳	人数	32	58	16	16	4	7
	構成比	15.0%	27.2%	7.5%	7.5%	1.9%	3.3%
40～49歳	人数	31	38	25	9	2	7
	構成比	15.4%	18.9%	12.4%	4.5%	1.0%	3.5%
50～59歳	人数	31	71	20	9	2	12
	構成比	13.1%	30.0%	8.4%	3.8%	0.8%	5.1%
60～69歳	人数	38	108	25	15	3	19
	構成比	11.0%	31.3%	7.2%	4.3%	0.9%	5.5%
70歳以上	人数	28	79	14	11	0	12
	構成比	12.5%	35.3%	6.3%	4.9%	0.0%	5.4%
無回答	人数	3	4	2	2	0	3
	構成比	10.0%	13.3%	6.7%	6.7%	0.0%	10.0%

10 回答者の属性

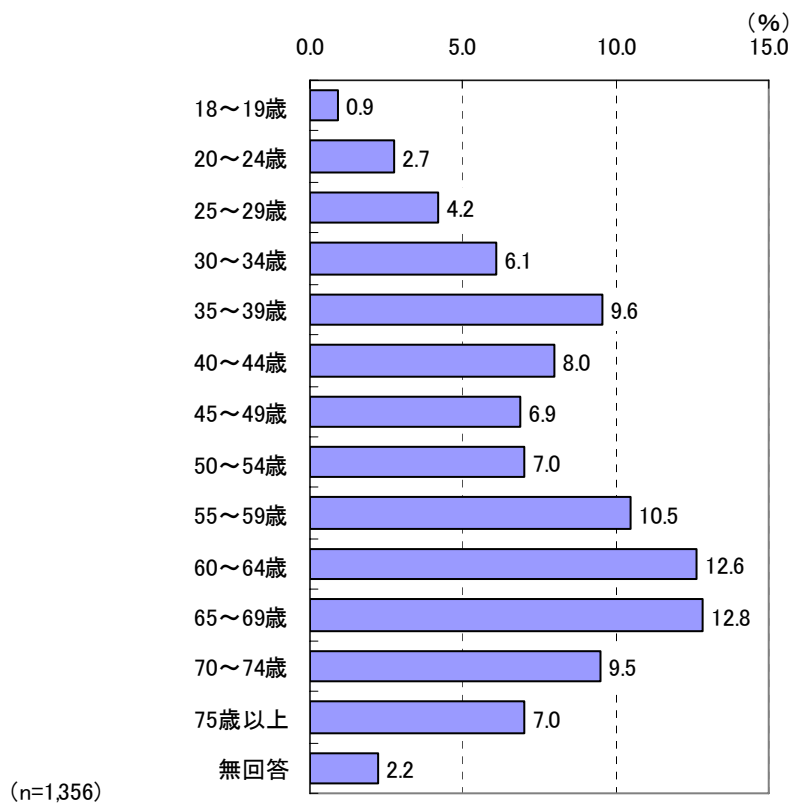
F1 性別

男性が41.1%、女性が55.9%となっています。



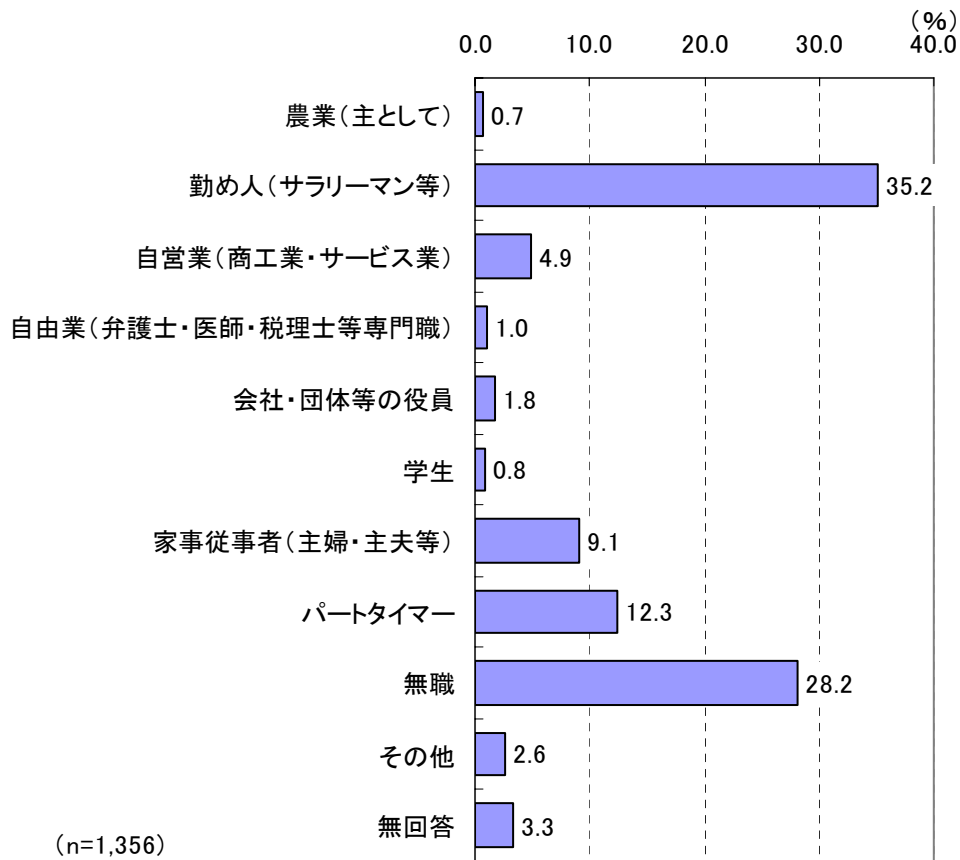
F2 年齢

「65～69歳」が12.8%と最も高く、次いで「60～64歳」が12.6%、「55～59歳」が10.5%となっています。



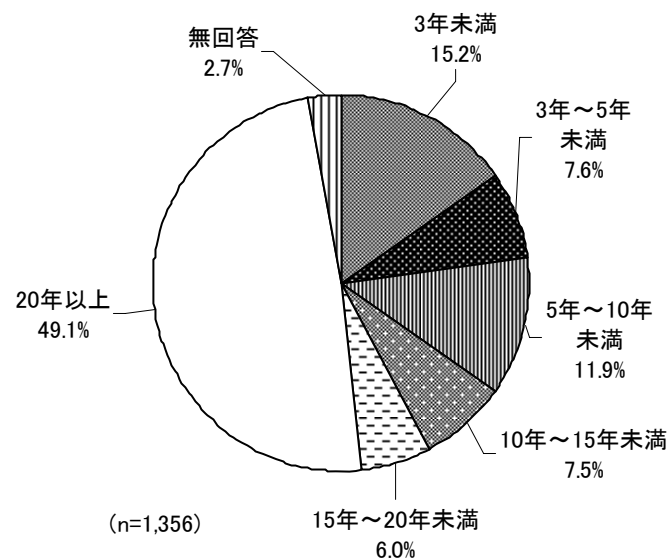
F3 職業

「勤め人（サラリーマン等）」が 35.2%と最も高く、次いで「無職」が 28.2%、「パートタイマー」が 12.3%となっています。



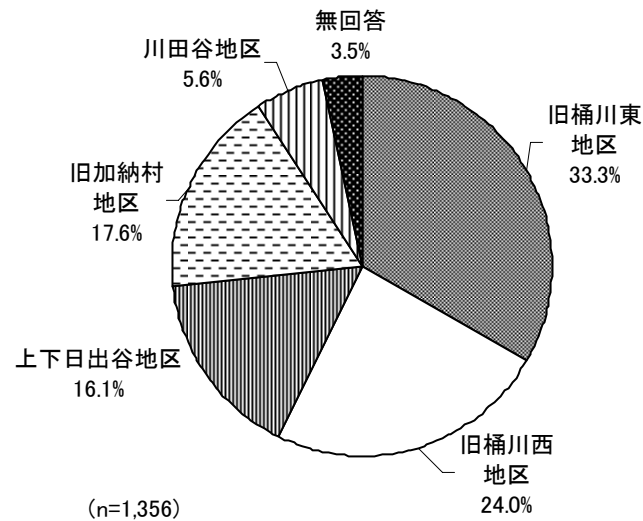
F4 居住年数

「20 年以上」が 49.1%と最も高く、全体の約半数を占めています。次いで「3 年未満」が 15.2%、「5 年～10 年未満」が 11.9%となっています。



F5 居住地区

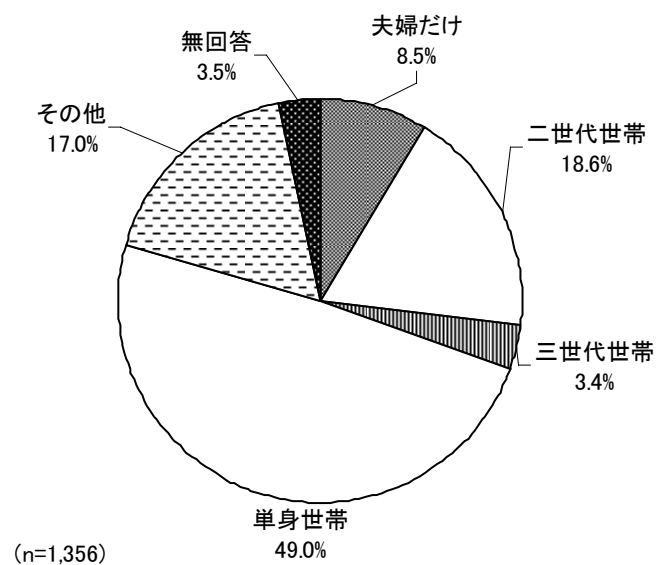
「旧桶川東地区」が 33.3%と最も高く、約3割を占めています。次いで「旧桶川西地区」が 24.0%、「旧加納村地区」が 17.6%となっています。



F6 家族構成

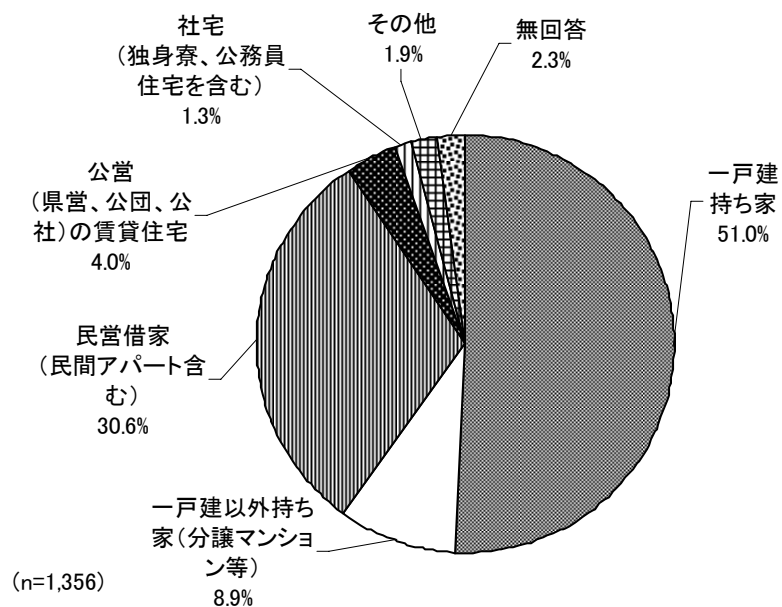
「単身世帯」が 49.0%と約半数を占め、次いで「二世代世帯」が 18.6%、「夫婦だけ」が 8.5%となっています。

「三世代世帯」は 3.4%と5%未満となっています。



F7 住居形態

「一戸建持ち家」が51.0%と最も高く、約半数を占めています。次いで「民営借家（民間アパート含む）」が30.6%、「一戸建以外持ち家（分譲マンション等）」が8.9%となっています。





III 自由意見



● 自由意見の掲載方法について

- ※ 原則、原文のまま掲載しています。ただし、個人を特定できる情報については削除しています。
- ※ 同一の回答者が複数の項目について述べている意見のうち、可能なものについては施策別に切り分けて掲載しています。また、1つの文章が複数の項目にまたがる場合は、再掲しています。
- ※ 自由意見の件数は、再掲を含んだ延べ件数となっています。
- ※ 自由意見は、第四次総合振興計画における課題把握を行うために、同計画の項目別に記載しています（以下、施策別件数を記載したリストは第四次総合振興計画の項目となっています）。

● 施策別件数 （1,180 件）

施策			件数
大項目	中項目	小項目	
①いきいきとした暮らしを創造する都市をつくる	市民文化の創造	市民文化活動	11
		文化財	3
	男女共同参画社会の実現	男女共同参画社会	0
	生涯学習の振興	生活学習振興体制	4
		公民館・図書館・歴史民族資料館	11
	生涯スポーツの振興	生涯スポーツ	5
	交流の推進	地域交流	19
		国際交流	1
②心豊かなひとをはぐくむ都市をつくる		コミュニティ	8
		NPO・ボランティア	8
	児童青少年の健全育成	児童青少年の健全育成	5
	教育の充実	就学前教育	4
		義務教育	10
	人権教育・啓発の推進	人権教育・啓発	0
	同和教育・同和対策の推進	同和教育・同和対策	0
			0
③健やかに安心して暮らせる都市をつくる	保健・医療の充実	地域保健活動	6
		地域医療体制	9
	福祉の充実	地域福祉づくり	24
		高齢者福祉	16
		障害者（児）福祉	4
		児童福祉	11
		子育て支援	13
		ひとり親家庭福祉	5
		低所得者福祉	4
		社会保険・年金制度	2
④活力とにぎわいのある都市をつくる	産業の振興	農業	10
		商業	95
		工業	21
		観光	14
	勤労者福祉の充実	勤労者福祉	10
⑤安全で住みよい都市をつくる	良質な生活基盤の形成	緑と景観の創造	24
		公園・緑地	48
	安全な生活基盤の形成	防災	6
		消防・救急	0
		防犯	27
		国民保護	0
		交通安全	17
		消費生活	0
	環境にやさしいまちづくり	環境保全	22
		ごみ処理	25
		し尿処理	0
		斎場・墓地	1
⑥身近な生活環境が整備された都市をつくる	都市基盤の整備	土地利用	21
		市街地整備	175
		道路	117
		交通	53
		河川・水路	6
		上水道	1
		下水道	9
⑦計画の推進	市民参加の推進	市民参加・参画	68
	計画的な行財政運営	行政運営	111
		財政運営	29
	広域行政、地方分権の推進	広域行政	2
⑧その他		地方分権	18
			67
合計			1180

1 いきいきとした暮らしを創造する都市をつくる

1-1 市民文化の創造

1-1-1 市民文化活動 (11 件)

1. 文化施設、芸術施設の充実→埼玉県は音楽がさかんなイメージです。なので、音楽ホールなどの施設を充実させ、もっと音楽にふれ合える機会を作ってほしいです。日本全体を見て、文化に力を入れている地域は少ない気がします。
2. 文化、芸術、文学関係の方針がないのが不満。その点が本庄市や所沢市と全然ちがう。経済的だけでなく、もっと自立した自治区になって欲しい。
3. 市民演劇グループ、市民オーケストラなどの創設。
4. 活気ある街づくり(問 33 の 8)を望みますが、まず、市民の日常生活の基盤が充実することを希望します。医療、保健サービス、文化、芸術に力を入れて下さい。特に図書館は高齢者、学生、子供の為の知的サロンとしてもっと多機能のサービス、内容の充実(知的欲求を満足出来るような)施設の拡大と充実を計って欲しいです。図書館や公民館が自慢できる市になってもらいたいです。
5. 桶川市は少し文化活動が遅れている気がする。
6. 文化的な催しを盛んにして。
7. 上尾や北本のマネではない桶川らしさを具現化すること。文化、芸術に特色を見出したい。
8. ◎現在、西側地域に文化施設が集中。東部地域に工業を誘致、図書館併設文化施設を、坂田・加納方面の活性化を。◎桶川市唯一の文化の殿堂、響の森市民ギャラリー、借りるのに苦勞している。市民の公平、また収入を上げる販売目的の業者に貸し出しするのは如何なものか。芸術文化発表の場として、桶川文化発展の場としてのギャラリーでありたい。◎ギャラリーの使用予約方法の改善を望む(インターネットなど)。◎アート展、絵画等展示作品(プチホール)では照明が不足していて、せっかくの作品も台なし、展示物に対応出来るよう照明など施設の改善を望む。
9. ひびきの森、市民ホールで、演奏会等、安く開催して欲しい。
10. 桶川市の文化活動を活発にして、桶川市に対する親交を深め、良好な教育を行い、今後すばらしい市民を発掘していく。
11. 文化、芸術に力を入れて下さい。

1-1-2 文化財 (3 件)

1. 泉福寺〔東の比叡山〕の整備。
2. 市内の歴史的遺産を保存し緑豊かな自然を残しながら商業、農業を盛んにして平和で楽しく過していききたい。
3. 文化的要素を取り入れ、歴史を見直し、桶川の発展を望む。

1-2 男女共同参画社会の実現

1-2-1 男女共同参画社会

※該当意見なし

1-3 生涯学習の振興

1-3-1 生涯学習振興体制 (4 件)

1. 市民が教養を高めるための努力をするべき。
2. 桶川市民全体のモラルのレベルアップを図る(1)教育制度の充実に特化する(2)地域ボランティアの育成(3)意識の向上を図るための支援制度
3. 郷土に対する愛着がさらに増すような施策を。
4. 子供を教育する人材の育成を積極的に行なうことによって、人間力のある子供の育成が充実し、それが将来の桶川をよい方向へ導く大切な力になっていくと思います。また、桶川出身で活躍されている方を招き、講演会などを聞き、桶川に対する誇りのようなものが持てるようになると、桶川という街を大切にしようという意識につながっていくと思います。

1-3-2 公民館・図書館・歴史民俗資料館 (11 件)

1. 図書館が少ない。
2. 図書は延滞のみ有料にすべき。
3. 現在、西側地域に文化施設が集中、東部地域に工業を誘致、図書館併設文化施設を、坂田・加納方面の活性化を。◎桶川市唯一の文化の殿堂、響の森市民ギャラリー、借りるのに苦労している。市民の公平、また収入を上げる販売目的の業者に貸し出しするのは如何なものか。芸術文化発表の場として、桶川文化発展の場としてのギャラリーでありたい。◎ギャラリーの使用予約方法の改善を望む(インターネットなど)。◎アート展、絵画等展示作品(プチホール)では照明が不足していて、せっかくの作品も台なし、展示物に対応出来るよう照明など施設の改善を望む。
4. 図書館(マイン、公民館)の乱雑なところが、改善予定とか。期待します。
5. 図書館は高齢者、学生、子供の為の知的サロンとしてももっと多機能のサービス、内容の充実(知的欲求を満足出来るような)施設の拡大と充実を計って欲しいです。図書館や公民館が自慢できる市になってもらいたいです。
6. 又、子供達が自然の中で色々な事を学べるようなレクリエーション施設(公園や博物館の様な)があればうれしいです。個人的には図書館をもっと利用しやすい様にしてほしいです。本も少ないし、子供達がくつをぬいでゆっくり本を読めるスペースがあれば、小さい子でも利用しやすいと思います。
7. 図書館の本が古い、種類が少ない。他の市まで行かなくては用が足りない、現状のままだったらなくした方がまし。
8. 図書館の蔵書類が少ない。マイン内にある事は便利であり、時間も満足。サービスもよい。
9. これからの社会の支えになる子供達の育成の為、公園、児童館、図書館など充実した支援をしてほしい。
10. 図書館機能の充実。
11. 他市町村と比べ、誰でも参加できるスポーツ、ダンスなど健康にやさしい練習場が少ない。各自治会館などをもっと利用して、近場でできる様にしてほしい。東公民館、べにばな会館、川田谷など行くのに遠いと、習いたくても行けない(健康な人作り)。

1-4 生涯スポーツの振興

1-4-1 生涯スポーツ (5 件)

1. 家の近くにスポーツ施設がないので、西側の(サンアリーナなどで)スポーツの活動があるのがいいな…遠くて参加できないな、とうらやましく思います。
2. 運動場やグラウンドなどスポーツできる施設が有るとありがたい。
3. 体力作り(スポーツ施設の充実)…少子化・高齢化…。
4. スポーツのできるグラウンドを造って、潤いのある市にして欲しいです。
5. 子供から高齢の方まで利用出来る公園、運動場にするマウンド付き少年少女野球場、サッカー、テニス多目的広場、ジャブジャブ池など常に市民が利用し集まる他市町村に誇れる施設を望む。

1-5 交流の推進

1-5-1 地域交流 (19 件)

1. 高崎線を中心としたまちづくりになるが、桶川市は東西に深く、広がった地形をしており、中央との連絡(交通だけでなく、文化や施設面での)、交流が求められていると感じる。インフラの整備と共に地域との交流も必要だろう。
2. 桶川の良さをもう一度見直し、よい点は積極的にアピールしていく(上尾などに比してアピール不足)。
3. 桶川は他市の住民から「何もない町」「田舎」「行く意味が無い」と思われています(特に若年層から)。もっと若い人が来て楽しいという町づくりも必要なのではないのでしょうか。自然を守ることも必要ですが、若い世代はそれでは満足できません。娯楽施設やレジャースポットを作ってもらいたいと思います。
4. 歴史的な景観を大切にしたい。また、その様な味わい深い町になって欲しい。
5. 中山道の活気を取り戻す。
6. まだ排他的な風習が残って居り、開けた町づくりには少し遠い感じがします。人口の増加もほとんどなく、これでは市の発展も望めません。桶川市の持っている歴史を大切にする事は勿論ですが、外部からのすべての導入に積極的になるべきです。
7. 全国及び世界各地との姉妹都市関係を結んだり、他地域との交流を深めて桶川市の活性化を図る。
8. 休日に過ごしやすい環境をつくること。べに花ふるさとづくり以外に何かはなやかで、インパクトのあるイベントをつくる、など期待します。
9. 桶川出身で活躍されている方を招き、講演会などを聞き、桶川に対する誇りのようなものが持てるようになると、桶川という街を大切にしていこうという意識につながっていくと思います。

10. 昔ながらの伝統や素朴さを若い人が受け継ぐだけでも、違うと思います。
11. ベに花ウォーク、ベに花館はイメージも良く、続けてほしい。
12. もう少し市民が気軽に楽しめるイベントを作り日時をわかりやすく知らせてほしい。
13. 歩きながらのタバコ。吸がらの投捨て等、全市歩行中禁煙政治を。
14. ベに花ふる里館をもっと充実させ、他からも人が集まるようにしていく。
15. ベに花まつりにベに花音頭を作り、花笠や桶川音頭、つりが楽しめる所を作るとか、これらを組み合わせることもいいのではないかと思います。
16. 中山道商店街が活気づいてくれると、それにともなって観光面でも伸びると思う。桶川の夏祭りはとても情緒があってステキだと思う。これからも続けてほしい。イメージ的には川越みたいな街並みで…。
17. 中山道宿場町の古い街並を残しつつ、新しい商業化を図り、観光事業を発展させれば良いのではないのでしょうか？その中で市民も桶川に関心を持つような活動の場を作っていく。ベに花ふる里館をもっと充実させ、他からも人が集まるようにしていく。
18. 観光振興について・ベに花の活用、染料だけではなく、野菜として活用し、栄養面からもPRする。ベに花を使った献立作製。・川田谷等の旧家の見学会（しょうゆ製造）。・中山道桶川宿の街並み）観光・街並みの開発のためコンペ等でPRする。
19. 東口中山道は景観を悪くしている。宿場町や歴史のある町などとは定着しておらず、もう変えるべき。上尾の東口が20年以上も前に変わったように。

1-5-2 国際交流 （1件）

1. 国及び世界各地との姉妹都市関係を結んだり、他地域との交流を深めて桶川市の活性化を図る。
--

1-5-3 コミュニティ （8件）

1. 地域の人のつながりを強くすること。市域全体に勢いが感じられず、暗い感じがある。
2. 市民のふれあい。
3. まず、近所の方たちとのコミュニケーション、私は桶川生れではありません嫁に来た者です。どうも、私は元々桶川と言う方との見方がちがうので、何かとわからない事ばかり。私の取り方もありますが…。40年経っても変わらず、よそ物あつかいされることも、主人に色々教えてもらいここまで来ました。集まる時も、みんな一緒に別々にならない、明るい人とのつながりがいつもほしいです。明るい毎日はコミュニケーションです（朝のあいさつから）。
4. 桶川市にずっと住んでいる人と、新たに入ってきた人（家持ち）又、新住人（アパート、マンション等）の人たちの意見が通じる市政でなければ進歩は？かな？私は他市から転入者です。転入者にとって回り（近所住民の目は？）はとても冷たいです。転入してから障害者になったので特に思います。
5. 地域の交流がうすいので、団らん（話し合）があればと思います。
6. 住民が交流するための施設を増やしていくこと。
7. 「人情が豊かである」と問31で書いたのは、永年、大宮に居住している娘が孫娘をつれて遊びに来たとき、桶川マイン内で良く声をかけられたと感心していました。人とのつながり絆をどのようにして築いて行くか、この時代難しいことですが、上記のような良い面をどのようにして伸ばして行くか、一層のご努力をお願いしたいと思います。具体策が出せなくて申し訳ありません。
8. ちょっと腰をおろせる小さな休憩所のようなのがあちこちにあったらいいな～と思います。散歩しながら立ち寄って、人と会えば会話もできます。

1-6 NPO・ボランティア

1-6-1 NPO・ボランティア （9件）

1. 高齢者の為、なるべくウォーキングをするようにしています。道端に植えてあるつつじ等に雑草がはびこっています。私のようなひま人を集めて、会話をしながら草取りができるようなボランティア人集まらないのかしらと思っています。私は今、社協でのボランティアを1つしています。
2. 桶川駅での通勤風景を見ると、市外、県外で働く市民が多い様に思います。それは、市内で働く場所や、魅力的な職場や、商売をしたいと思える環境が少ないことが要因に1つだと思います。もっと働きやすい環境を整え、特に若い世代が市内で働きたいと思える様になるといいなと思います。市内に住み、市内で働く人が増えることで、桶川に対してより愛着を持ち、もっと良くしていきたいと思える人が増えるのではないかと思います。また、地域活動や、ボランティアなどにも参加しやすくなると思います。そして、いろいろな世代の人が交流し、お互いに刺激しあえる関係になっていければいいなと思います。
3. 長い間、働き、知識、経験の豊富な中高年のパワーを活用できる場が沢山あったらいいと思います（小学生の登下校時の見守りなども、現在行なわれていますが、相方にとって良いことと思います）。
4. 地域ボランティアの育成

5. 団体やグループへの支援は最初が必要かもしれませんが、自立させていくことが必要だと考えます。行政が講座などを開き安価で参加できるようにするのはもう不要であると思います。すべてのことにおいて民間に任せられることは任せ、必要な支援を行っていくことで十分だと思います。
6. ボランティアなどの行事も学校で強制的にやらすなど。
7. 観光ボランティアや歴史ボランティア、通学の際の安全ボランティアなど、人と人とのつながりを意識させる活動において、マナーを知ると良いと思う。
8. 余った時間で「まちづくり協働」活動をする。他のボランティア活動等。

2 心豊かな人をはぐくむいきいきとした暮らしを創造する都市をつくる

2-1 児童青年の健全育成

2-1-1 児童青少年の健全育成 (5 件)

1. 先日、教育コーディネーターなる方が新潟の小学校で活躍しているとTVで見ました（教員のサポートと12週4日半日、地域の年より、及びボランティアの人達と連携し、小学生の育成に携わっている様子でした）。この様な学様が増え、桶川の学校教育もこの様な地域全体での子供達の育成を試みてはと思いました（すでにしていたらゴメンなさいね）。私も晩年は、このボランティアに参加し、小学生だけではなく、幼児から中・高生の育成に少しでも協力できたらすてきだなと感じます。子供達のため、又、年より達のため、市役所の方、教育委員の方々達の努力を切に願っております。宜しくお願い致します。
2. たまに早朝、少年・少女がオートバイをふかしながら遊んでいる姿をみかけます。小・中・高生がいきいきと健全に成長出来るよう学校と地域に、市が大きな手をさしのべてほしいと思います。明るい街であること、期待致します。
3. 子供達が、思いやり精神に基づいた行動が出来るような学校、地域、家庭等での教育の充実。
4. コンビニエンス等でよく目にする青少年向けのよくない本（女のはだか・性に関するもの）を本屋及びコンビニからなくすことがよい。
5. 少子化の言葉が亡くなることが夢です。子どもが親共々身・心（特にことばや動作）を“良くあるべき姿”に見直す心がけが必要です。他人の批判ではなく、己の生き方、桶川市への愛着のもち方、住民一人一人が心がけられたら素敵です。

2-2 教育の充実

2-2-1 就学前教育 (4 件)

1. 先日、教育コーディネーターなる方が新潟の小学校で活躍しているとTVで見ました（教員のサポートと12週4日半日、地域の年より、及びボランティアの人達と連携し、小学生の育成に携わっている様子でした）。この様な学校が増え、桶川の学校教育もこの様な地域全体での子供達の育成を試みてはと思いました（すでにしていたらゴメンなさいね）。私も晩年は、このボランティアに参加し、小学生だけではなく、幼児から中・高生の育成に少しでも協力できたらすてきだなと感じます。子供達のため、又、年より達のため、市役所の方、教育委員の方々達の努力を切に願っております。宜しくお願い致します。
2. 市民に開かれた行政、子供達に良い教育、議員を少なく。
3. 一人一人がゴミを捨てたりしないよう、自覚をもって気をつける。小中学校によって特色がちがったりするので、自分にあった居住地区に住む。騒音や公害に影響を受けたりする人も多いので、気をつける。
4. (A) 桶川市民全体のモラルのレベルアップを図る (1) 教育制度の充実に特化する (B) 教育環境の充実 (1) 参画の場の拡大 (2) 教育レベルアップへの取組み。

2-2-2 義務教育 (10 件)

1. 学校教育の充実—全国的な課題であるけれど、いじめ、不登校が多すぎる。教員の数と質を高める工夫を。
2. 70年も生きておりますと、体もがたがた、医者にかかる事も多くなり、一割負担（期限つき）をいただいております私としましては、心苦しく思っております。年々老いてゆくわけですから、これからの人生を考えますと不安がいっぱいです。せめて子供達やまわりの方に迷惑をかけないよう、一日一日を大切にしたいと思っております。私が今一番気になっている事、それは、学校給食の事です。小・中学校の給食費は無料にするべきだと思います。他の事もカットしてでも補って下さい。ぜひお願い致します。

3. 教育は、制約主義（あれはダメ、これもダメ）ではなくて、こうすれば良くなるというような自由な発想を育てる教育をする。
4. なお、小・中学校の校舎は老朽が目立ってきており、改築・新築を進めてはどうか。
5. また教育面でも特色なく、また住宅街はせまく公園もない為、子供が元気にあそべない。子供がいない街は廃れていくのでは。教育や公園等を特色を付けて充実させ、他市からもあそびに来る、転入したくなる様な、子育て世代にもアピールできる様にすべきだと思う。子供が多い街は元気になれるのでは。
6. 先日、教育コーディネーターなる方が新潟の小学校で活躍しているとTVで見ました（教員のサポートと12週4日半日、地域の年より、及びボランティアの人達と連携し、小学生の育成に携わっている様子でした）。この様な学様が増え、桶川の学校教育もこの様な地域全体での子供達の育成を試みてはと思いました（すでにしていたらゴメンなさいね）。私も晩年は、このボランティアに参加し、小学生だけではなく、幼児から中・高生の育成に少しでも協力できたらすてきだなと感じます。子供達のため、又、年より達のため、市役所の方、教育委員の方々達の努力を切に願っております。宜しくお願い致します。
7. 上尾市と比較して町造り対策が貧弱（公園の規模を見れば歴然）。小学校の教育を見て、県内の先進市と比較して新しい試みに対する意欲が感じられない。
8. ある地区の小学生の学力が他校と比べて劣っていると聞いています。全校同じというのは難しいでしょうが、解決策を望みます。また朝食を抜く家庭が多いとも伺います。学校側の御指導期待します。
9. 桶川市を発展させる為には子育て支援と教育の充実を願うばかりです。
10. 学校教育と福祉のつながりを強くできればいい。

2-3 人権教育・啓発の推進

2-3-1 人権教育・啓発

※該当意見なし

2-4 同和教育・同和対策の推進

2-4-1 同和教育・同和対策

※該当意見なし

3 健やかに安心して暮らせる都市をつくる

3-1 保健・医療の充実

3-1-1 地域保健活動（6件）

1. 他市町村と比べ、誰でも参加できるスポーツ、ダンスなど健康にやさしい練習場が少ない。各自治会館などをもっと利用して、近場でできる様にしてほしい。東公民館、べにばな会館、川田谷など行くのに遠いと、習いたくても行けない（健康な人作り）。
2. 桶川市民となって3年をすぎました。・特定検診の項目に、心電図等が以前はあったと思いますが、メタボに力が入っていて、昨年が入っていません。医療機関で有料でもいいから同時にできるとよいと思う。
3. 限られた税収の中で、桶川市を良くするのであれば、何もかもやろうとせず、医療、保健サービスの充実や、防犯対策、道路補修等にしばって、本当に不安のない生活のできる街にしていきたいと思います。
4. 大きな市と違って、アットホームな行政サービスは良いと思う。ただ、子育てや健康診断などの保健の面などで充実していないと思うことがしばしばある。子どもと高齢者などを大切にしたり、保健サービスを充実していけば人は住みやすいと感じて集まってくるのではないかと思う。
5. 病気を防ぐ生きがい作りを希みます。
6. 医療、保健サービス、文化、芸術に力を入れて下さい。

3-1-2 地域医療体制（9件）

1. 子供だけでなく、大人、高齢者にとっても医療機関が少ないのは不便です。又、子供の予防注射、ポリオの時期（期間）接種する日時を増やして欲しい（他の市町村と比べ、少ない気がする…）。
2. 医療、保健サービス、文化、芸術に力を入れて下さい。

3. 大きな病院、総合病院等を駅近くに作って欲しい。
4. 医療機関も耳鼻科や皮膚科や眼科が少なく、一学期の健診後はどこも混んでいて、仕事帰りや土曜日は待ち時間があつという間に1～2時間費やすことになり、なんとかならないかなあーと思います。
5. 子供手当も大事ですが、安心できる（24時間態勢）産婦人科、小児科専門の病院、建設願う。
6. 救急医療施設を強化して欲しいです。
7. 医療機関や福祉施設の整備と充実などに力を入れてほしい。
8. 市民への医療情報の提供（病院との連携）
9. 医療機関：更なる充実（現状では数が少ない）。

3-2 福祉の充実

3-2-1 地域福祉づくり（24件）

1. 桶川市民がお互いに助け合うことです。
2. 私は77才1人暮らしです。年に2回位熱を出し寝込む事があります。買物にも出られず、食事でも作れず勤めのある子供にも頼めませんので困ります。こんな時すぐに対処して下さるところがないのでしょうか？以前社協にお願いしたことがありましたが曜日と時間が決められ長期的には良いのですが、2、3日のお手伝いは難しい様です。家政婦会の様なところもあるのでしょうか高いお金は払えませんが、家の中に入ってもらえとなると信頼のおける人と云うことになります。高齢者には気軽にお願い出来るところがあるといいのですが。
3. 80年近く生れ育った所なので何の不満もございません。申し上げるとすれば福祉の充実を望んでいます。
4. 子供、老人の施設を増やし、安心して生活できる街にしてほしい。
5. 子供を出産しやすく、また育てやすいように、児童福祉に力を入れてほしい。県営団地や、市営団地に入りやすいようにしてほしい。
6. 学校教育と福祉のつながりを強くできればいい。
7. 公営の単身者用のアパートを何とか確保出来ないものか。家賃の高さで生活が困窮している。贅沢かもしれないが、趣味迄、手が廻らない。
8. 子供が活き活きと成長するまちづくり。
9. 高齢者、障がい者など、子供、中学生と色々な世代の交流の場ができる施設をつくり、大切にするという心をお互いに育てていくことが大切かと思う。
10. 収入の少ない人のために公営の住宅を作って入居しやすい状態にしてほしい。
11. 福祉の充実。
12. 医療機関や福祉施設の整備と充実などに力を入れてほしい。
13. 市民への医療情報の提供（病院との連携）。
14. 医療機関：更なる充実（現状では数が少ない）。
15. 貧富の差がすごくある世の中、福祉の充実化を促進し、生きがいを持って生活が出来る市民、それが町全体の向上につながると思います。
16. 弱者と言われる子供や、お年よりが住みやすい市にしてほしい。
17. 市民が、他人や自然に対して思いやりを持って暮らしていければよいと思う。
18. 人を思いやる気持ちが大切だと思います。がんばって下さい。
19. 私には難しくてもよくわかりませんが、1人1人がやさしい心をもって人に接すれば、それだけでも住みよい環境になるということ、最近実感いたしました。
20. 私はひとりで生活しており、労働賃金のほとんどがアパート代等の出費が占るので、市営住宅があると助かると常々考えていますが、質問の主旨と違ってるかもしれませんが、住む場所の環境整備として、市営住宅建設を 望みます。
21. 桶川市民がお互いに助け合うことです。
22. 80年近く生れ育った所なので何の不満もございません。申し上げるとすれば福祉の充実を望んでいます。
23. 収入の少ない人のために公営の住宅を作って入居しやすい状態にしてほしい。県営団地や、市営団地に入りやすいようにしてほしい。
24. 収入の少ない人のために公営の住宅を作って入居しやすい状態にしてほしい。

3-2-2 高齢者福祉 (16 件)

1.	高齢者が今後増えてくるので、人を信用できて防犯、防災も良く、安全、安心で心安らかに暮らせる街づくりを推進してほしい。
2.	皆さん年を取ります。高齢者にやさしい町づくりが良い人間、助け合う精神を（子供の頃より）身につけ、年寄りだけでなく、弱い者を思いやる桶川市に…皆さん環境の良い事は知っていると思いますので、夢のあるまちになってほしい…という願望もあります。
3.	年寄りの住みやすい街であってほしい。相談しやすい窓口、人材などがほしい。親身になって話を聞いてくれる場所がほしい。相談できるところが、現在わからない。
4.	高齢者や福祉の充実した街。
5.	子どもが安心して生活出来る市。高齢者にやさしい町、人と人とのふれあいがある町。
6.	◎階下に住んでる老夫婦はボケて火事とかが心配である。今はとても元気だが、いつ老老介護になるのやら…市からの訪問は？
7.	今現在、借家住んでいます。一戸建て10軒ありますが、2軒が空室、男のひとり住まいが5軒です。（内）60才3軒にて、コミュニケーションはなく（隣りはなりする人か）その内自治会に入っているのは私だけのみ、班長さんも大変です。民生委員（前秩父市に住んでいた時など、こまめに民生委員の巡回があり、個別に相談等にも乗っていただいた。だが桶川では民生委員が働いてないのでは。それと生活保護、生活支援なども相談できる事がない。60才になりますが、仕事なし、シルバー人材があると聞いてますが、どのような方法で説明又は個々にどうすればよいか疑問です。市役所の職員さんも‘ガンバッ’ている事には感謝しております。もうすこし個々の調べをしてほしいです。民生委員についても一考されたし。
8.	福祉の充実。
9.	病気等で苦しんでいる市民に対しての経済支援が、もう少し充実していれば良いと思う。
10.	私は97才の母が1人で生活してます蕨駅（川口市）まで行って、母をときどき見舞いにいきます（空いている時間をねらって）。母も一人暮らしです。それでJR桶川～蕨駅迄、シルバーカーを押してJRに乗りますので、駅が便利になれば良いと1番強い想いでアンケートに、駅のところへ〇をしました。いつも桶川がすてきな町になる様願っております。よその駅と同様に桶川駅が便利になれば良いと考えてます。乗り降りの時、皆様がとても親切に下さるので助かってます。読みにくいと思います。ごめんなさい。ありがとうございます。（追）買物不便。近くのヤオコーがなくなり買物に困ってます。時々東京から車で息子が届けにきます。
11.	弱者と言われる子供や、お年よりが住みやすい市にしてほしい。
12.	高齢者が住みよい地域にしてほしい。1人暮らしが安心して暮せる桶川市にしてほしい。
13.	私は77才1人暮らしです。年に2回位熱を出し寝込む事があります。買物にも出られず、食事でも作れず勤めのある子供にも頼めませんので困ります。こんな時すぐに対処して下さるところがないのでしょうか？以前社協にお願いしたことがありますが曜日と時間が決められ長期的には良いのですが、2、3日のお手伝いは難しい様です。家政婦会の様なところもあるのでしょうかが高いお金は払えませんが、家の中に入ってもらえとなると信頼のおける人と云うことになります。高齢者には気軽にお願い出来るところがあるといいのですが。
14.	子供、老人の施設を増やし、安心して生活できる街にしてほしい。
15.	高齢者、障がい者など、子供、中学生と色々な世代の交流の場ができる施設をつくり、大切にするという心をお互いに育てていくことが大切かと思う。
16.	高齢者、障がい者など安心して暮らせるよう福祉の充実（低所得者でも入れる高齢者マンション介護付き老人ホーム等）また、高齢者が気軽に参加又は集まれるレクリエーションの企画。

3-2-3 障害者（児）福祉 (4 件)

1.	私事で恐縮ですが、長年うつ病を患っていて仕事に就いても再発することが何度もありました。東京ではうつ病患者の社会復帰のためのリハビリ施設ができたそうです。最初は公民館の一室でもいい、同じ悩みをかかえる仲間とリハビリ訓練を受けたいと切に思います。現在の閉塞感を打破する鍵をうつ病患者は持っている経験的に断言します。
2.	障害者です。この市は障害者にとって、住み良い街とは思えません。
3.	高齢者、障がい者など安心して暮らせるよう福祉の充実（低所得者でも入れる高齢者マンション介護付き老人ホーム等）また、高齢者が気軽に参加又は集まれるレクリエーションの企画。
4.	高齢者、障がい者など、子供、中学生と色々な世代の交流の場ができる施設をつくり、大切にするという心をお互いに育てていくことが大切かと思う。

3-2-4 児童福祉 (11 件)

1.	近隣の市と違うことをする。子ども医療費の無料など。
2.	子供を出産しやすく、また育てやすいように、児童福祉に力を入れてほしい。
3.	子育てをしていて、子供を安心して遊ばせる場所が少ない。安心して、受診できる産科や小児科が少なく、市外を受診することが多くなってしま（総合病院等もない）。

4.	乳幼児医療費支給申請書を提出するのは大変である。桶川市の病院・医院、受診時は仮支払いをしないで済む様にしてほしいと思います。
5.	病気をかかえた子供がいる為子供の医療がしっかり対応できる今後は願っています。働きながら子育て、普段から医療費を受ける為の雑費（交通費、e t c …）本当に困っている市民が相談できる場がしっかりある桶川市であってほしいです。
6.	5年前、川口市より移り住んでいます。住むには環境もよく、快適ですが、子供の医療費、病院窓口での無料化等、推進をお願いします。
7.	こども・ひとり親等、医療の一時負担をなくして欲しい。共働きや片親世帯の為に、保育・児童クラブ等の施設を増やし充実させて欲しい。
8.	低所得者でも安心して子供を産み育てられるような支援を強化して欲しい。
9.	こども医療費を上尾の様に窓口支払いをしないで済む様に！！
10.	子供、老人の施設を増やし、安心して生活できる街にしてほしい。
11.	子供が活き活きと成長するまちづくり

3-2-5 子育て支援 （13件）

1.	子どもが育てやすく、市民がそれぞれの役割で互助し合って、働く女性（子育てしながら）が安心出来る環境作り。
2.	考えというより思いです。この街にお世話になるようになった時は、すでに子育てや教育は終っており、その変化は良くわかりません。ただ孫の為には子育て支援が強化されれば嬉しいです。
3.	妊婦助成金は、他市より回数を多くされ、すばらしいと思っていましたが、子育てをするには不便な点が多いです。私は、駅東口付近に住んでいます。保育所が近くに無く、車もない為、家庭保育室を利用していますが、大変負担です。子供を遊ばせる公園も少ないです。道路もせまく、自転車が多く走っている為、お年寄りやベビーカーをひいている方には危険です。医療費は充実していますが、子育て環境を整えていただければ、子供を産もうと思う方も増えるのではないのでしょうか。
4.	出産・子育ての支援サービスの充実を強化してほしい。母子家庭や収入の少ない人が住みやすいように低額で借りられるアパートや団地を増やしてほしいと思います。
5.	子育てをしていて、子供を安心して遊ばせる場所が少ない。安心して、受診できる産科や小児科が少なく、市外を受診することが多くなってしまう（総合病院等もない）。
6.	子育てに関しても上尾の方が良い。
7.	保育所（認可）をもっと、作って欲しい。
8.	桶川市を発展させる為には子育て支援と教育の充実を願うばかりです。
9.	共働きや片親世帯の為に、保育・児童クラブ等の施設を増やし充実させて欲しい。
10.	これからの社会の支えになる子供達の育成の為、公園、児童館、図書館など充実した支援をしてほしい。
11.	子育てを支援する「場」として利用する。例えば、保育施設、育児相談や援助の場として利用する。
12.	子ども：子育て経済的支援の強化、保育サービスの充実。
13.	少子化の言葉が亡くなるのが夢です。子どもが親共々身・心（特にことばや動作）を“良くあるべき姿”に見直す心がけが必要です。他人の批判ではなく、己の生き方、桶川市への愛着のもち方、住民一人一人が心がけられたら素敵です。

3-2-6 ひとり親家庭福祉 （5件）

1.	母子家庭にもっと優しくして欲しいです。
2.	子育てに対する経済的援助。一保育園や学童は曜日、時間が限られる為仕事も限られてしまう。パートで何とか働いているが、うちは母子家庭なので、毎日がギリギリの生活。市からの補助では全く足りない。今後子供達が中学、高校とお金がかかるようになったら、生活できないと思う。ファミリーサポートなどは負担金が高すぎる為預けて働く方が赤字になる。祝日等は休みをとらざるを得ないので、もちろん給料も減る。お金のために週6日ぎりぎり働く事もある。このままでは身体が壊れるか、子供達との3人の生活ができなくなるかという選択をしなければならないほど、母子家庭の生活はとても苦しいです。何とかして下さい。
3.	出産・子育ての支援サービスの充実を強化してほしい。母子家庭や収入の少ない人が住みやすいように低額で借りられるアパートや団地を増やしてほしいと思います。
4.	母子家庭優先の市営アパートを！！（けやき団地とか、けっこう、お金がある人が沢山いますよ）。母子家庭は毎年調査するのに、市営団地は入ったもん勝ち。出なければ勝ち！！おかしい！！
5.	こども・ひとり親等、医療の一時負担をなくして欲しい。共働きや片親世帯の為に、保育・児童クラブ等の施設を増やし充実させて欲しい。

3-2-7 低所得者福祉 (4 件)

- | |
|---|
| 1. これは10数年以上前から色々な人が云っていることですが、法を逆手にとってとでも云うのか偽装生活保護者の人達の件はきちんとした方が良くはないのでしょうか。必要な人の為の福祉は尊いことですが、偽装して桶川市に転入してくる人も中には居て、苦情もよく聞きますし、その為に市の開発が他市より遅れたり、市税が上がるのでは困ります。そして、もっと本当に困っている人に目を向けて下さい。せっかく歴史も古く、文化もある街なのですから。 |
| 2. 低所得者が住みやすい町。500万円以下税金を下げしてほしい。 |
| 3. 生活保護者、良く調べて支給してほしい。不正受給者撲滅に努めて下さい。 |
| 4. 公営の単身者用のアパートを何とか確保出来ないものか。家賃の高さで生活が困窮している。贅沢かもしれないが、趣味迄、手が廻らない。 |

3-2-8 社会保険・年金制度 (2 件)

- | |
|---|
| 1. 何事も行政は法に従うのではなく、新しき仕事をする時は必ず本人の十分な理解と納得のもとに実施して頂きたい（特に介護保険料や高齢者医療等について…年金生活者より）。 |
| 2. 医療保険制度の拡充。 |

4 活力とにぎわいのある都市をつくる

4-1 産業の振興

4-1-1 農業 (10 件)

- | |
|--|
| 1. 農業行政のありかたを考えた方が良くと思います。 |
| 2. 桶川産の野菜などをスーパーに置いてほしい。 |
| 3. 農業、商業が活発になるような改革がほしい。 |
| 4. 東京の郊外として老人による農業ではなく、ビジネスとして若い農業集団が企業会社と同じ様に農業会社システムを造る事ができるのではないかと。同時に高齢者の町も充実し、工場と農業集団を住み分けて整理し、都市景観を守る。 |
| 5. 市街化調整区域の高齢化が進み、農業をやめる人が多く、田畑が荒地になってしまっている。 |
| 6. 農地も元気な人々で希望者参加で守り育て、目標を持った組織作り。 |
| 7. 農業地域の休耕地の活用（もちろん農産物）に支援を！ |
| 8. 市内の歴史的遺産を保存し緑豊かな自然を残しながら商業、農業を盛んにして平和で楽しく過していききたい。 |
| 9. あらゆる産業の充実発展を図る。 |
| 10. 公園や水辺の整備、農地の確保など自然や緑を生かして、きれいな街作りを目指して欲しいです。 |

4-1-2 商業 (95 件)

- | |
|--|
| 1. ショッピングモールをふやす。 |
| 2. 駅前のお店関係が古く（マインは魅力がない）あまり利用出来ない。 |
| 3. 県央道整備にともない、新たな企業誘致をし、雇用を増す。 |
| 4. 日常生活をする上で、お買い物をするのに不便だなと思うことがありますので、もう少し住民が1歩遠くまで車を使わなくても通える範囲に、お買い物が出来施設をもっと増やしていただけたらなあと思います。 |
| 5. 商店街の活性化をしないと若者が減ってしまうので、若者のあふれる街づくりをしてほしい。 |
| 6. デパートなどを多くしてほしい（電器店が少ない）。安いスーパーがもっとほしい。 |
| 7. 旧中仙道の商店街及び駅前商店街のシャッター通り化を何とか防ぐ。 |
| 8. ここ数年、年を追うごとに市の中心にある店が減っている様に感じられ不安です。中心部がさびれていると市全体がさびれている様な印象が強く焼きつきます。駅周辺が活気づく政策を住民と一緒にやってほしいです。市役所、住民が力を合わせた取り組みがこれから増々、大事になるのではと考えています。 |
| 9. 企業誘致をし、雇用の確保、高い税金を少しでも少なくなるようにして頂きたい。大きな商業施設も素敵だが、広い土地の確保や近くの道路の整備等、時間やお金がたくさん必要になってしまう為。・エコ推進 |

も兼ねて歩きや自転車でお買い物ができる商店街アーケード等をつけて雨の日でも利用しやすくする等、荷物が多くなったり重くなってしまった時は商店街全体の買い物をまとめて宅配するなどのサービスもあると便利なのは。
10. 駅前のショッピングセンター等の活性化。
11. 駅周辺に店を増し、また、道路の整備を行い駅の利便性を良くしてほしい。
12. 活気がないので、企業、商業施設などを誘致する、できるよう努める。税金を増やせるよう、市の財政がよくなるように住みやすく、働きやすくする。
13. ショッピングも市外に出ないとな。
14. 駅前がシャッターが降りる様な光景がない様な市になれば良いなあと思います。市の玄関口だと思いますので。
15. 大規模商業施設の誘致されれば、人の流れが変わって行き、街が活性化されると思います。
16. ショッピングモール、若い人達のショッピング、喫茶店
17. 市が小さいのはしょうがないと思いますが、町に人に活気がなく特に駅前がさみしすぎるし、道路は狭いし考えた方がいいと思う（ショッピング等、道路を広く）。
18. 中山道通りにスーパーか店をつくってほしい。近くに店がなく困っている。
19. 買い物ができるだけ桶川市で出来る様にする。
20. 東口駅前を広く取り、商業店舗ができるように。
21. 駅周辺の整備、特に東口駅通りはひどい。買い物に不便。ここで買おうという店がなく駐車場もないので、どうしても上尾等、他市に行ってしまう。マインがあるが、申し訳ないが中途半端なので、イオンモールみたいな一カ所で買い物が済む所がほしい。べに花にしても、駅にしても、商店にしても、中途半端なので、一つでも良いので、これはという自慢できるものがほしい。
22. 桶川駅東口の道路の拡大と商店街の充実。
23. 産業の誘致と駅東口の整備。
24. もっと工業商業産業活動を活発にした方がよい。
25. 北本市や上尾市はお店がいろいろあり、充実しているが桶川はお店が撤退していく。どうしてか？
26. 国道17号沿いに大規模小売店、圏央道の桶川ICやJCT周辺で住宅地以外の広大な土地に大企業の工場等（北本市へのグリコ工場進出の例のように）誘致して、法人税収入を増やし、地域の活性化を図ってほしい。
27. 行政のスリム化。企業（本社）の誘致。
28. 大きい商業施設を誘致してもらいたい。
29. 5年・10年後今より人口も数段増え若い人達、働く人達が桶川市内で職が（働く場）がある様な町作りをお願いしたい。それには、工業、商業に力をいれてほしい。
30. ショッピングセンター（モールではなく、洋服や日用品、雑貨など買い物できる程度のもの）が近くになるので、不便だと感じます。
31. 産業の誘致や雇用・就労機会の推進。
32. 駅前が「活気」のあるものになると良いと思います。商店街の活性化に期待します。
33. 大型書店をつくってほしい。
34. 桶川市役所、桶川駅の建直しと東口駅前商店街の活性化と道路の拡大等。
35. 桶川駅東口周辺地域の整備と商業機能の活性化。
36. 駅東は商店に灯がともるまちに。
37. 桶川駅東口、中山道周辺の整備と開発及び利便性のある商業施設を増やして欲しい。また、中山道沿いの魅力ある町づくりを推進して欲しい。
38. 駅前の商業施設の整備。
39. 職場が市内でないで、昼間に利用できる場所については知らない点が多い。強く思うのはロクな飲食店が駅周辺にないこと。東口再開発を考えるのであれば、大規模小売店舗の誘致もありではないかと思う。駅前の整理については当然賛否があるのであろうが、活性化のためには、せめて鴻巣駅東口並みの「大手街」は必須であろう。
40. 商店街はあるものの、少しものさびしいので、東口の活性化をしてほしい。・
41. 他市へ流れて行くことのない商業施設、東口の商店街などを充実させる。
42. 桶川商店街の活性化。
43. 駅周辺にウインドーショッピングを楽しんだり、お茶をしながら楽しめる場があったら、活気づくと思う。
44. 桶川駅東口の商店街が駐輪場をしているのではなくて、団体となり活性化をはかり、商店街としての雰囲気作り出来るだけでいいので、努力をし、いずれは川越のような街を目指してほしいです。
45. 桶川駅東口周辺地域の整備。商業エリアの拡大。
46. 駅前を商業地区として再開発する必要があります（特に東側地区）。
47. 地域によっては日常の買い物が不便なところが多いです。車がなくても便利なまちづくりをしてほしいです。環境にも良いし、地元で買い物ができれば、市の活性化につながると思います。
48. 商店街の再整備＝暗い町にしか見えない。大型の商業施設や企業を誘致。

49.	中山道商店街が活気づいてくれると、それにともなって観光面でも伸びると思う。桶川の夏祭りはとても情緒があってステキだと思う。これからも続いてほしい。イメージ的には川越みたいな街並みで…。
50.	隣りの上尾市や伊奈町の生き生きとした活気ある発展と較べると、このままではいよいよ暗く沈む地域になってしまう。まず、駅（東口）を何とかして、新しい大型店舗も誘致して、活気ある町にしてほしい。
51.	桶川駅、東口商店街がさみしいです。西口マイン周辺は、大きな公園もあり、買物も便利ですが、北上尾、上尾に比べればまだまだです。
52.	隣、北本より転入しましたが、子供がまず「ママなんで不便なのに桶川に引っ越したの？」と不満を述べました。駅の道が狭く危険な事、駅前にコンビニ、スーパーがなく歩いて買物にはマインしかありません。今のままの店舗ではあまりにわびしすぎます。
53.	車を運転出来る人ばかりでない。日出谷の様に商店街を作るのなら老人のため運転出来ない人のため両隣町からバスが入ればひまな老人が散歩してお金がおちるのではないかな？
54.	商店、工場がたくさん増えると良くなると思います。
55.	まず、根本をハッキリさせて、町づくりに迷いがないようにする事。そして、その実現にむけて、具体的な努力をしていく事だと思う。そして、個人的には商店街をなんとかしてほしいと思う。商店街に活気、文化が感じられないようでは、いい町づくりをしようと思ってもダメ。訪れる人を増やしたいなら、まずそこから取り組んだらどうか。
56.	商業施設が少ない。又は規模が小さい。西側（西口側の住民）にとっては充実している駅周辺～17号沿線までは遠すぎるので、西口住宅地域内に大型施設（ショッピングモールetc）が欲しい。モール内に複数の施設（保育施設や老介護…）入れると、より活性化されると思う。
57.	若い世代が住みたいと思う街作りにし、税収を上げる。折角、子供医療費を無料化しているのだから、そういった子供のいる世帯が転居してきたいと思う街にする。今の時点で、買い物に不便という点等が改良されて欲しい（伊奈などはユニクス等が出来、若い世帯も住み易い）。
58.	桶川独自のものを促進させて、高崎線がせつかく上野から直通で来ているのだから、東口のしまっているシャッターを開け、鎌倉の様にここに来たら楽しいという観光産業の町にして、県外からの人を呼び込むといいと思う。
59.	日用品などが買える商業施設が郊外に増えると良いと思う。
60.	2つのインターチェンジの周辺の整備を充実して、大型商業圏を実現して活気ある桶川を希望します。
61.	桶川駅東口前通の道路の拡張整備を是非実現していただきたい思います。又、川田谷、加納の桶川インターチェンジ予定の周辺への産業誘致を桶川発展のため、是非お願いいたします。
62.	駅前開発を行った方が良くと思う。商業施設が少ない。道路（歩道）がせまいので危ない。広くした方が良く。
63.	人口が少なく商売もなかなか難しいらしく、まともなお店が少ないので、都内に買いに行っている。欲をかかず少ないながらも、内容を充実した小売店を多くして、地元で買物をする人を増やすようにすると良いと思う。
64.	遊休地への企業（但し本社機能を持つこと）の誘地。ベンチャービジネス、中小企業へのビジネス支援情報拡充。
65.	食品等で名物、名産品を作り、マスメディアへ情報を発信し、全国的に桶川市の名を売り込む（宮崎県のように）。
66.	桶川東口駅前通りの活性化にむけて、道路幅を広げ、商店街を南小跡にモールの様なものを作ったらどうでしょうか。個々の商店が昔からある事を大切に存続する事が良いと思います（中仙道も同じ事かも知れません）。
67.	駅東口開発も南小跡地も含めて、旧仲の商業再建も考える必要が有と思う。道
68.	駅周辺の整備に加え、商業の発展を支援し、市民の暮らしを便利にする。
69.	桶川駅東口周辺にスーパー・コンビニがないため、西口へ行かなければいけない点が不便です。駅東口の道路幅が狭く、迎えの車や、タクシーが通る際、危険を感じる。東口の商店街は機能しているのか？（再掲）
70.	西口の特定の商業施設のみがにぎわい、東口が機能停止している現状をしっかりと認識すること。大型のショッピングセンターは不要。
71.	東口が暗いイメージなので、なんとか明るく、友人などを呼びたい町にしてほしい。
72.	桶川駅周辺、駅前通りの整備を早くやってほしい。又、中山道の商業衰退がさみしい。農業、商業が活発になるような改革がほしい。
73.	東口にエレベーターをつける。川田谷にスーパーをつくる。
74.	私の家の近くにコンビニつくってほしい。とにかく、緑をふやしてほしいです。
75.	駅周辺の整備。ショッピングモールなどの拡張、建設。
76.	桶川駅前東口道路を広くして、大きな店を作してほしい。
77.	桶川東口駅周辺の活性化に力を入れ、南小の跡地の利用も迅速に対策をしていただき、町の商業の振興に役立ててほしい。桶川の町で何でも調達できるようになればいいと思います。
78.	スーパー、病院、もっともっと出来たらと思います。

79. 菖蒲モラージュや羽生イオン、川島町も大型ショッピングモールを建て、地域活性に力を入れている。行田、鴻巣も。桶川も誘致活動を行ない、雇用拡大につなげてほしい。
80. まつり・飲食施設の充実等で楽しい街造りの推進。あらゆる産業の充実発展を図る。
81. 大型の総合店舗の導入。
82. 桶川駅東口開発が遅れすぎている。早急に商業地化にして欲しい（民家は駅通りにはいない）。
83. 市街地に生活用品・食品等の買物が出来ない。中心部など住みにくい町になった。
84. 桶川駅東口の開発。・道路開通にともない大型店をつくる。
85. 中山道宿場町の古い街並を残しつつ、新しい商業化を図り、観光事業を発展させれば良いのではないのでしょうか？その中で市民も桶川に関心を持つような活動の場を作っていく。
86. 合併して人口を増やし、企業誘致を図り、安定した財源を確保して頂きたいと思います。
87. 駅周辺の商業の活性化は必要だと思う（駅周辺は、川越市をモデルにしても良いのでは）。
88. あまり特徴はないと思います。上尾ではなく、北本とも違う何か欲しい。シャッター街を増やさない為に、起業推進を。
89. 商店街がさみしくて（閉店時間も早い為）、通行人もいない。町が活性化されるといい。
90. 買物不便。近くのヤオコーがなくなり買物に困ってます。時々東京から車で息子が届けにきます。
91. 桶川駅前にファミレス、ラーメン屋中心に複数単位の利用者が食事を取れる店の充実(まちの活性化増大)。
92. 桶川マインの利用者を増やすための改新。
93. 大きな商業施設、家電店など、出来ないのはなぜか？
94. 物流収益性の高い企業〔限られた土地である為〕誘致。
95. 市内の歴史的遺産を保存し緑豊かな自然を残しながら商業、農業を盛んにして平和で楽しく過していききたい。

4-1-3 工業 （21件）

1. 桶川市で働く場所が増えれば、市の収入も増え活性化につながるのでは…。その為に工業用地が増えるのも多少はいいと思います。
2. 駅の近辺に工場地がほしい。
3. 現在、西側地域に文化施設が集中、東部地域に工業を誘致、図書館併設文化施設を、坂田・加納方面の活性化を。
4. 工場の活性化と企業誘致。
5. 県央道整備にともない、新たな企業誘致をし、雇用を増す。
6. 企業誘致をし、雇用の確保、高い税金を少しでも少なくなるようにして頂きたい。大きな商業施設も素敵だが、広い土地の確保や近くの道路の整備等、時間やお金がたくさん必要になってしまう為。・
7. 活気がないので、企業、商業施設などを誘致する、できるよう努める。税金を増やせるよう、市の財政がよくなるように住みやすく、働きやすくする。
8. 産業の誘致と駅東口の整備。
9. もっと工業商業産業活動を活発にした方がよい。
10. 国道17号沿いに大規模小売店、圏央道の桶川ICやJCT周辺で住宅地以外の広大な土地に大企業の工場等（北本市へのグリコ工場進出の例のように）誘致して、法人税収入を増やし、地域の活性化を図ってほしい。
11. 行政のスリム化。企業（本社）の誘致。
12. 5年・10年後今より人口も数段増え若い人達、働く人達が桶川市内で職が（働く場）がある様な町作りをお願いしたい。それには、工業、商業に力をいれてほしい。
13. 産業の誘致や雇用・就労機会の推進。
14. 商店街の再整備＝暗い町にしか見えない。大型の商業施設や企業を誘致。
15. 商店、工場がたくさん増えると良くなると思います。
16. 川田谷、加納の桶川インターチェンジ予定の周辺への産業誘致を桶川発展のため、是非お願いいたします。
17. 遊休地への企業（但し本社機能を持つこと）の誘地。企業や高等教育機関の研究施設の誘地。ベンチャービジネス、中小企業へのビジネス支援情報拡充。
18. 工場誘致して、働く場を確保する。ゆとりの時間を増やす事が出来ます。
19. 合併して人口を増やし、企業誘致を図り、安定した財源を確保して頂きたいと思います。
20. 物流収益性の高い企業〔限られた土地である為〕誘致。
21. あらゆる産業の充実発展を図る。

4-1-4 観光 （14件）

1. 近々、開通される圏央道で普段寄ることのなかった年齢層及び業種・職種の幅広い分野を見据えて出来る
--

だけ早く行動をおこして欲しい。これまでになかった観光収入の増加で、「将来に向けての体力」を蓄える時期だと思います。
2. 観光事業に力を入れて、他の地域からも人々が集まって来るようになれば良いと思う。名所、名物を作り、人が集まり町が活性化すること。例えば総合運動公園の整備（←スポーツを盛んにする）、自転車ロード、ウォーキングロードの整備、富士山をのぞめる公園、桜の名所を作る。ホテル公園があるので、ホテルの復活、べに花まつりにべに花音頭を作り、花笠や桶川音頭、つりが楽しめる所を作るとか、これらを組み合わせることもいいのではないかと思います。
3. 河川敷でのモータースポーツのPR（観光客を増やす）
4. このアンケートを見ると祭や中山道に自信を持っているようだが、全く知らない。やるならもっとPRした方がよい、でなければやめた方がいい。
5. 水辺や緑など自然環境を残し、田園風景を保全しつつ、観光事業に取り組んで下さい。
6. 中山道商店街が活気づいてくれると、それにともなって観光面でも伸びると思う。桶川の夏祭りはとても情緒があってステキだと思う。これからも続いてほしい。イメージ的には川越みみたいな街並みで…。
7. 桶川独自のものを促進させて、高崎線がせっかく上野から直通で来ているのだから、東口のしまっているシャッターを開け、鎌倉の様にここに来たら楽しいという観光産業の町にして、県外からの人を呼び込むといいと思う。
8. 市内各所にべにばな会館のような集客施設を作る。もっと活気ある街になって欲しい。
9. 圏央道の恵みを最大限に活用。市に税収が大いに潤う事。例、1. 泉福寺〔東の比叡山〕の整備、道路、道の駅→SPA、企画し宣伝する。観光・人集め（集客）・アクセス。
10. まつり・飲食施設の充実等で楽しい街造りの推進。あらゆる産業の充実発展を図る。
11. 中山道宿場町の古い街並を残しつつ、新しい商業化を作り（図り？）、観光事業を発展させれば良いのではないのでしょうか？その中で市民も桶川に関心を持つような活動の場を作っていく。べに花ふる里館をもっと充実させ、他からも人が集まるようにしていく。
12. 観光振興について・べに花の活用、染料だけではなく、野菜として活用し、栄養面からもPRする。べに花を使った献立作製。・川田谷等の旧家の見学会（しょうゆ製造）、中山道桶川宿の街並み）観光・街並みの開発のためコンペ等でPRする。
13. べに花によるふるさと作りを目指しておいでの様ですが、歩いて居りましても、どの畑も小さく点々としております。農家さんの事情もおありでしょうが、もっと広い場所で見応えのあるもので売り出してはいかがでしょう。べに花で売り出すとしたら規模が少し小さい様に思われます。他の町からももっと見に来るになれば町にお金が落ちます。合わせて中山道の開発、発展をのぞみます。
14. 食品等で名物、名産品を作り、マスメディアへ情報を発信し、全国的に桶川市の名を売り込む（宮崎県のように）。

4-2 勤労者福祉の充実

4-2-1 勤労者福祉 （10件）

1. 今その問題より、60才を過ぎると仕事先が見つからず、自分のこれからの生活をどうしようかとすごく悩んでいる所です。もう少し働ける場所がほしいです。
2. 桶川市内の60才以上の人にもっと雇用促進事業をし、高齢者の人にも毎日やりがいのあることにして欲しい。
3. 雇用の充実、パート最低賃金時給1000円以上。
4. 学校卒業者の就職浪人は一人も出さないように力をかけてあげてください。
5. 最近、会社都合で年齢的な事もあり、解雇され生活面で苦心しているので市内に高齢者でも働ける施設を必要と感じています。
6. 産業の誘致や雇用・就労機会の推進。
7. 若者が働ける場所
8. 圏央道整備にともない、新たな企業誘致をし、雇用を増す。
9. 企業誘致をし、雇用の確保、高い税金を少しでも少なくなるようにして頂きたい。
10. 桶川市で働く場所が増えれば、市の収入も増え活性化につながるのでは…。その為に工業用地が増えるのも多少はいいと思います。

5 安全で住みよい都市をつくる

5-1 良質な生活基盤の形成

5-1-1 緑と景観の創造 (24 件)

1. 最近都市化の波が桶川にも来ている感じがします。一つには、林がなくなり住宅が増えています。人口が増加する反面、自然環境が悪くなって行くような気がしてなりません。静かな桶川市であってほしいと思います。
2. 桶川の田園風景が大好きです。商業施設や工業施設に力を入れるよりも、今ある自然を大切に残す町づくりをして頂きたいです。又、子供達が自然の中で色々な事を学べるようなレクリエーション施設（公園や博物館の様な）があればうれしいです。
3. 水辺や緑など自然環境を残し、田園風景を保全しつつ、観光事業に取り組んで下さい。
4. 田園風景のある町を望みます。
5. バス停をもっとふやし、美しい街並み、明るい夜道になって景観のある町作りを希望します。
6. なるべく自然を残し、自然と共存しながらの開発を行い、過度の開発はしないで欲しい。現在、朝にうぐいすやカッコウの鳴き声を聴けるこの環境を壊さないで頂きたい。
7. 自然との調和を保ち、安心して暮せるように整備をする。自転車で安心して走れる、歩行者も安心して歩ける道にする。今は車が主体で自転車や歩行者は車がこわいとか、走りにくい道が多い。駅からの道をもっと明るくすれば、車の利用を減らし、速く自転車に乗ることもできるので、CO2が減り、自然も守れると思う→街灯を増やして欲しい。
8. 緑化計画…（１）林を所有している場合は固定資産税は無税にする。（２）植栽の推進。緑の多い街づくり。
9. 桶川（川田谷地城の江川（桶川西高校の下）の業者による危険な残土の盛土の為、江川の景観が失われている。このままで良いのか、しっかりと行政として指導、改善をしていくことは、出来ないのだろうか？
10. 自然環境を考えながら開発をし、オオタカ等のいる自然を守りつつ、圏央道の周辺整備をすみやかに進めていくこと。
11. 東京都心から50km圏内でこれだけ自然に恵まれたところも珍しいと思いますので、自然（緑）ゆたかな街をアピールして行く。
12. 桶川市で育ち、10年前に市外に出て、昨年、桶川市に戻りました。道路環境と住宅環境が良くなりましたが、田園風景にあった自然の緑が、特に大きな木々が減りました。このままでは、一部に緑を残すだけのベッドタウンになってしまいます。休日は桶川を寛げる町にしたい。現存する町中の林を保護すべきです。歪んだ自然になりませぬように。
13. たまに、ホンダエアポートや城山公園のあたりを散策してみると荒川の川べりなど景観もよく、桶川という町の良さを感じます。緑も多く農園なども住宅地の中に散在していてゆったりした田舎の良さをこれかも生かしていったり、あるいはアピールしたら1つのPRのポイントになるように思います。
14. 水辺・緑・自然環境を良くし生き物たちがいっぱい住める所。
15. 幹線道路の整備で新たに、道路工事が必要だが、自然環境をなるべく壊さぬように進めていただきたい。
16. 市内の歴史的遺産を保存し緑豊かな自然を残しながら商業、農業を盛んにして平和で楽しく過ごしていきたい。
17. 空き家をもっときれいにして手をくわえ、林、緑をきらずに大事にして、もっともっと本当に住みよい、お年寄りの方々に大切に、楽しみをしていただく事の出来る町。今は本当にお年よりが多くなりつつあります。そんな中で、レクリエーション等の中で楽しさを味わえる人に、やさしく人を大切に、緑を大切に、これ以上大きな道路は必要がないと思います。
18. 子供や老人の為に住みやすく、緑豊かな環境と駅前の都市造りに力を入れて、市民に住みやすい町に。
19. 現在残っている自然や農地を住宅地にせず、べに花ふるさと館の周辺のような所が沢山あった方が良くと思います。
20. 自然を生かした開発。
21. 現在残っている自然を大切にしていく。
22. 公園や水辺の整備、農地の確保など自然や緑を生かして、きれいな街作りを目指して欲しいです。雑草が生い茂っている場所が目立ち過ぎます。
23. 圏央道の開通による自然破壊が心配です。自然に恵まれている事の有難さをもっと皆が感じるべきです。
24. 急速に発展させるのではなく、今の桶川に残されている歴史的な物を生かしつつ、整備し落ち着いた桶川色のある街になれば良いと思います。

5-1-2 公園・緑地 (48 件)

1. 西口方面は公園が充実しているのに比べ、東口は公園が少なく感じる。安心して子供達が遊ぶ事の出来る場所と、軽運動、ウォーキング等が出来るコース、場所があってほしい。
2. 町をきれいにするために、もっと花を植える。
3. 緑を増やして下さい（街路樹とか）。
4. 町の中を広くウォーキングしていますが、緑が少ないと思います。道端に樹木を植える等して、温暖化対策をして下さい。
5. ともかく、ここ数年の環境破壊がすごい。なまず、トノサマガエル、イナゴなどはもうほとんど見られない。どれほどの農薬が使われているのか？水質もひどい。調査ぐらいしろ！今、いなくなってしまった生きもの、カマキリ、トカゲ、ヘビ、カエル、イナゴ、なまず e t c、ともかくひどい環境だ！！
6. すぐ出来ることから始める。交差点に花を飾る。
7. 子供が安心してあそべる公園が少ないと思います。もう少し身近かにあればよいと思います。
8. 大きな道路がどんどん出来ていくようですが、交通が増えるといろいろな公害が出てくるのではと心配です。道路の両側に緑地帯を作って排気ガスから農地や住居地を守れるように出来たらと思いますが無理でしょうか？べに花の郷といいながらべに花も咲かせられないような畑にならないように環境を良くしていく事だと思います。
9. 公園など、できるだけ武蔵野の緑を残し、自然な公園を作ってほしい、緑の保全。
10. やたら住宅が増え、子供が自由に遊びその中から創造力を養う緑が減ったので、増やしてほしい。とにかく、緑をふやしてほしいです。
11. 公園でお花のボランティアさんがお花を大切に思う気持ちはわかるのですが…先日、子供の様子を見に朝日中央公園へ行きましたら、広場の方はゲートボールをしていて、遊具のある狭い場所では子供達は遊ぶ事ができず、仕方なくボールで遊んでいた様でした。そうすると、お花のボランティアの方々が“あっちに行って遊びな！！”“こんな所でボールで遊んだら、花が折れるに決まってるだろう！！”などと子供達に言っていました。それを見て、子供達はいったいどこで安心して遊べるのだろうと悲しくなりました。お年寄りばかりの公園ではないのです！！
12. 東口に運動も出来る大きな公園が出来たらうれしいです。
13. 私の唯一の夢は城山公園が南北に広がり、毎年アトラクションの多い美しい公園、川越県道を歩いて横断する必要がないように公園全体をモノレールが走ってくれる公園。有料の公園・遊園地化して収入源にもする。この様な企画に先行投資は出来ないだろうか。桶川は？
14. もっと緑を増やしてほしい。高い所がないから夜景も見れないし、ホッとする所が少なく、半年くらいイライラが取れなかった。
15. 大規模な公園は郊外の立地が多く、市内中心部からは利用しにくい。住民の体力作りに資するような公園・運動施設を中心部にも整備してはどうか。
16. 道路周辺の緑地化。
17. それに公園がありません。幼児を安心してあそばせる緑地があったらと思います。
18. 桶川の田園風景が大好きです。商業施設や工業施設に力を入れるよりも、今ある自然を大切に残す町づくりをして頂きたいです。又、子供達が自然の中で色々な事を学べるようなレクリエーション施設（公園や博物館の様な）があればうれしいです。
19. 街路樹の整備、自転車と歩行者が十分に通れる歩道の整備。
20. 公園が近くにない。
21. 桶川東口側（中山道含む）を昭和を思い出させる商店街や街並の整備。公園、スポーツのできるグラウンドを造って、潤いのある市にしたいです。
22. 子供達の遊び場、老人達のちょっとしたおしゃべりの公園、ぜひ実現してほしい。
23. 自然環境が整った大きな公園を作る事
24. 桶川市にも運動公園を作りまわりには、一年中、花とか紅葉が見られるような町作りをしたらいいのではないかな…と思います。
25. 川などの水辺と親しめる環境。地足院のそばに、江川が流れています。流れはよいのですが、きれいにして魚が住みやすい川にして下さい。廻りは背の高い枯草、ゴミが一杯、ウォーキングが楽しめません。季節が味わえる、川田谷なので残念です。
26. 本当に住みやすい所は、緑が多い自然の中で暮らしていけるのが、いいのではないかと思う。
27. 道路などで騒音や大気汚染で生活環境を壊さないように、又地球温暖化にもつながります。土が熱を吸収してくれるので是非土の面を多くし、緑豊かなまちづくりを希望します。
28. 他市へ流れて行くことのない商業施設、東口の商店街などを充実させる。・これからの社会の支えになる子供達の育成の為、公園、児童館、図書館など充実した支援をしてほしい。・
29. 公園や水辺の整備、農地の確保など自然や緑を生かして、きれいな街作りを目指して欲しいです。雑草が生い茂っている場所が目立ち過ぎます。

30.	小さな子供達が集まる場が（公園などが）家の近くには全然ないので、外遊びができない。特に夏休みなど、多くの子供達が遊べる場があったら良いのではー！
31.	緑化計画…（１）林を所有している場合は固定資産税は無税にする。（２）植栽の推進。緑の多い街づくり。（再掲）
32.	日々の生活で精一杯でなかなか考える余裕はありませんが、東口の子供が外で安全に遊べる所が学校の校庭しかないので、住宅ばかり増やすのではなく、公園やグラウンドを作って欲しいです。
33.	広く道を造り、緑を植えたきれいな街づくりを目指して欲しいです。
34.	四季の花々が気楽に楽しめる、かつ、市民が栽培や手入れをボランティアで行なう、大規模フラワーガーデン。
35.	空地や道端の草や木が夏場は大きくなり、通路を妨げたり、街灯をさえぎったりしている為、危険です。自治会等と相談し、明るい環境作りを進めて下さい。
36.	もう少し土地の使い方を考えるべきだと思います。子供が安心して遊べそうな公園などを増やすべきだと、私は思います。
37.	東口側は道路が狭く、緑も少ないし、公園がありません。緑地や親水場のアナウンスをして欲しいと思います。
38.	公園を増やす。
39.	田園風景や森林も残し緑地公園やウォーキング、ジョギングのできる運動公園を充実して頂き、子供達の遊び場や体力づくりの場をお願いしたい。又、空いている土地・場所など、木々を植えて、緑豊かな街になってほしい。緑に囲まれた住宅街になってほしい。
40.	南小跡地を災害等時の利用、桶川駅よりバイパス迄の通りの整備、子供や老人のくつろげる公園作り。
41.	緑地、公園の整備をし、環境のよい街づくりをする。
42.	子供達の環境に関する理解を深める見学コースなど作る。子供から高齢の方まで利用出来る公園、運動場にするマウンド付き少年少女野球場、サッカー、テニス多目的広場、ジャブジャブ池など常に市民が利用し集まる他市町村に誇れる施設を望む。
43.	観光事業に力を入れて、他の地域からも人々が集まって来るようになれば良いと思う。名所、名物を作り、人が集まり町が活性化すること。例えば総合運動公園の整備（←スポーツを盛んにする）、自転車ロード、ウォーキングロードの整備、富士山をのぞめる公園、桜の名所を作る。ホテル公園があるので、ホテルの復活、（再掲）
44.	公園を住宅街に増やして欲しい。
45.	川のまわりが環境が悪すぎる。林がどんどん少なくなり、自然が悪くなってきている。
46.	教育面でも特色なく、また住宅街はせまく公園もない為、子供が元気にあそべない。子供がいない街は廃れていくのでは。教育や公園等を特色を付けて充実させ、他市からもあそびに来る、転入したくなる様な、子育て世代にもアピールできる様にすべきだと思う。公園、スポーツは他市へ、買い物も他市、仕事も他市。観光も教育も。桶川は寝るだけの場所だと思う。他市町村を研究しては？
47.	街路樹のある歩道にして欲しい。・南小学校の桜の樹、伐ってしまうのは勿体ないと思った。東京都江東区では、小学校の思い出の樹として、街路樹に植え替えたそう。勿論たくさん税金を使うことになったが、市民の声が活かされたそう。
48.	日々の生活で精一杯でなかなか考える余裕はありませんが、東口の子供が外で安全に遊べる所が学校の校庭しかないので、住宅ばかり増やすのではなく、公園やグラウンドを作って欲しいです。

5-2 安全な生活基盤の形成

5-2-1 防災 （6件）

1.	南小跡地を災害等時の利用。
2.	防犯、防災について・防災放送が聞きにくい。各公園に防災倉庫をつくる、地域に根ざした防災訓練等。
3.	防犯・防災に力を入れて、市民が、高齢者が、より安心して生活できるような環境づくりをしていくこと（特に防犯）。
4.	大きな震災が無ければ良いのですが全国的に地震がおきて居ますので（避難場所経路）飲料水食料炊き出し確保救助活動が大変と思われますが、地域で取り組む事で安心して暮らせるとします。
5.	消防団も10分団もいるのかどうか疑問です。
6.	最近地震が多くなっているの、地震の際にすぐ壊れないか事前に点検してほしい（道路・建物など）。

5-2-2 消防・救急

※該当意見なし

5-2-3 防犯 (27件)

1. 市内循環バスを増やしてほしい。あと、電車の時間と合わせてほしいです。川田谷に住んでいる友達の家に行ったら夜すごく暗くておどろきました。外灯をつけてあげてください。とても危ないです。
2. 桶川市についてはわかりません。物騒な世の中、柏子木の音が聞こえてくるとほっとする。夜廻りをしている皆様に感謝いたします。
3. 街並みをキレイにして欲しい。・夜は、街灯が少なく、全体的に暗いと思う。もう少し住宅街にも、明るい街灯がほしい。うちは空き巣にも入られました。
4. 夜、暗いと危いので、街灯の整備をしてほしいです。
5. 桶川市という“いなか”や“犯罪が多い”とよくイメージされるので、そこを改善してほしい。実際、夜道は真っ暗だし、特に住宅地はいつ犯罪が起きても不思議ではない。また、駅が汚なすぎると思う。まずはトイレから、そしてホームなど。東口の車待ちの多さも危険。いつも言い争いが起きている。道が狭い。小さい所からでも直してもらいたい。
6. 桶川市に転入して18年。都内の仕事を終え駅に降りて、驚きました。夜8:00頃、東口のメインストリート(?)は、店のシャッターがほとんどおりて、真っ暗!とても淋しく決して明るくもない街灯の住宅街を歩き、帰路へと…。
7. 生活の中で犯罪の少ない街。
8. 街灯が少なく、防犯がしっかりしていない。少ないなら、もっと明るくしてほしい。駅前も活気がないし、何年経っても同じ。
9. 桶川市は、夜になると、街灯が少ない。夜は、住宅街に入ると暗すぎる。もう少し明るい街になると良い。防災、防犯を少なくするには、明るい街灯が一番良いと思う。
10. こちらへきて、常々思うのが、街灯の少なさです。暗い路が多いので、不安です。
11. 安全対策に力を入れ、人々が安心して暮らせる街づくりを。
12. A. 防犯、防災について・防災放送が聞きにくい。・各公園に防災倉庫をつくる、地域に根ざした防災訓練等。・他市から比べて街灯が少ないので、もっとつけてもらいたい。・夜間パトロールの強化。
13. 夜道が暗すぎます。明るい照明に期待したいです
14. 街灯をふやしてほしい。
15. 防犯等の強化。
16. 夜は、街灯も少なく、外出するのが恐いです。もう少し周辺を整備して頂けたらと思います。
17. バス停をもっとふやし、美しい街並み、明るい夜道になって景観のある町作りを希望します。
18. 警察本部がないので不便。若宮のおまわりさんがいない時が多々あって、誰か常駐しないと困る。
19. 防犯・防災に力を入れて、市民が、高齢者が、より安心して生活できるような環境づくりをしていくこと(特に防犯)。
20. 住宅街に住んでおりますが、外灯が少ないと思います。治安の改善も今後ご検討下さい。
21. 公園など夜には明かりも少なく、あぶないので、安全な様にしてほしい。
22. 自転車と安心して走れる、歩行者も安心して歩ける道にする。今は車が主体で自転車や歩行者は車がこわいとか、走りにくい道が多い。
23. 限られた税収の中で、桶川市を良くするのであれば、何もかもやろうとせず、医療、保健サービスの充実や、防犯対策、道路補修等にシフト、本当に不安のない生活のできる街にしていきたいと思います。
24. 街灯の整備(犯罪抑止のため)。
25. もっと街灯を増やして道路を明るくして欲しい。
26. 警察官の対応の仕方を変えてほしいです(親切さが見られない)。
27. 防犯に力を入れて欲しい。

5-2-4 国民保護

※該当意見なし

5-2-5 交通安全 (17件)

1. 東口の商店街の道は、道の狭さの割に交通量が激しい。特に朝の通勤時は、バスが勢よく真横を通るので事故を起こしかねない。なんとか改善して欲しいと思う。
2. 自動車道の建設が進んでいますが、交通量が増えるので安全で安心な街作りをして下さい。
3. 桶川市に限らず、マナーや道徳性の低下が心配です。特に毎日運転する者として交通ルールをしっかり守ってほしいです。学校における道徳の時間を増やせというではありません。一人ひとりがくらしやすい街づくりのためにルールを守ることの大切さをピーアールする啓発活動をしてほしいです。
4. あまり福祉の面は知識がないので、何も言えません。ただ、西口の朝夕の車での送迎のマナーの悪さには閉口します。二ツ家に駅を作り、徒歩の人を増やすかバス等の更なる充実をはかるかお願いしたいです。

5.	車の運転マナー、自転車の運転マナーが悪いです。交番の前を自転車信号無視を普通にしているのをたびたび見かけます。自転車のマナーの悪さが特に目立ちます。もう少し交通ルールを厳しくする必要があると思います。学生よりも、30～50代の方のマナーの悪さに驚きました。
6.	東口駅前からの道路整備は必ず行うべき。西口の駅前ばかりが整備されている。電柱を地下にうめるなどして、道幅の確保、十分な歩道の確保が必要。運転手の歩行者への思いやり促進活動が必要。現状は車が優先のような状況になっている。
7.	川田谷の桶西高校入口のところに信号をつけて下さい。事故も多発してるし、だいたいあの道はおかしすぎる！！
8.	交通事故をなくし、豊かな自然環境の良い町にするには、子どもの飛び出しに注意を向上させていきます。徐行を常に真剣に考えて車を走行したいと思います。
9.	昼間、信号が見えにくい場所があるので（特に上日出谷ヨークマート近くの信号）、事故などが心配。早めに付け替えて欲しい。
10.	家と会社とスーパーしか行き帰りしないのでまだ何も知りませんが、交通マナーが悪い。車も自転車も人も。道路の狭さや信号の長さなど、改善できるところはしないと危ないと思います。これは桶川市に限った事ではありませんけどね。頑張ってください。
11.	要望：あちらこちらで道路整備を進めている中で、特に通学道路にかかる場所では、通学時間帯には警備の方の強化を行なっていただき、安心して通学出来る様お願いします。：地や道端の草や木が夏場は大きくなり、通路を妨げたり、街灯をさえぎったりしている為、危険ですので自治会等と相談し、明るい環境作りを進めて下さい。
12.	桶川に住みはじめてまだ5ヶ月です（仕事の都合で転入）。桶川の第一印象はよくありませんでした。それは駅（東口）の様子です。自転車の多さ、雑然と停められているのを見て、「キレイな街」には思えませんでした。また、駅に入る放置自転車の監視員の愛想の無さ。ただ立ってブラブラと人の事をジロジロと。あの印象はよくないです。せめて朝くらいアイサツすればと思います（エラそうに見えます）。
13.	町や道路などタバコの灰、ゴミの落ちていない、きれいな町になってほしい！車や自転車などのルールをよくもった走りをしてほしい！
14.	1）現在の桶川市老人福祉センター、入浴施設を改良出来ませんか。自分は足が不自由ですが、隣の北本市の福祉センターまで自転車で入浴に行っています。危険な目にも随分あっています。ぜひ市議会の議題で検討をお願いします。2）高崎線桶川駅東側の踏切は車と自転車と人が渡るには、幅が狭過ぎて事故の起こらないのが不思議です。特に自転車の人が左側通行を守らないので、何とか対策を取って下さい。
15.	安全面：電灯の増設、歩道の整備、危険カ所等ミラーの設置。
16.	西口駅前広場の自動車の出入が不便である。
17.	西口駅前の駐停車スペースがない。北上尾のように、おくり迎え車の待てるスペースを確保してほしい。タクシーやバスといがみ合いになり、地域交流など絶対に生まれない。

5-2-6 消費生活

※該当意見なし

5-3 環境にやさしいまちづくり

5-3-1 環境保全（22件）

1.	県の条例により路上タバコは禁止ですが、タバコの吸える所を大幅に増やしてほしい。公園／駅周辺に増設を求める。又、マナーの指導を学校やポスターで知らせ、それでも守らない人は特別に罰金を過すようにすれば良いと思う。
2.	太陽光発電や生ゴミ処理機購入時の補助金をもっと多くして、市民に優しい市になってほしいと思います。また、ECO先進都市などを前面に打ち出して、他の市には無いようなオリジナルを持って、たくさんの人に興味を持ってもらえるようになってほしいです。
3.	地球環境を考えて、学校、保育所、公民館などの公共施設に太陽光発電を積極的にとり入れると良いと思う。ゴミも生ゴミ、木など、全世帯分も資源として生かせるような取り組み、ゴミになるものを最小限にする。
4.	道路などで騒音や大気汚染で生活環境を壊さないように、又地球温暖化にもつながります。土が熱を吸収してくれるので是非土の面を多くし、緑豊かなまちづくりを希望します。
5.	あまり考えた事などありませんでしたが、地域の活性化を進める中で、環境・エコなど重点にまち作りをしたらどうかと思います。
6.	町や道路などタバコの灰、ゴミの落ちていない、きれいな町になってほしい！
7.	企業と連携して環境への取り組みを行い、エコで知名度を上げる→企業、市民にメリットがでる仕組みを考える。
8.	きれいな街づくり・主要部に雑草がないこと・投げ捨てゴミをなくす。
9.	今、近辺で道路整備が行なわれているので、アパートの部屋が振動する。高齢なので、地震と勘違いしてあたたふたする事も。それもいずれ終わると納得はしているが。

10. モラルの向上を。
11. 良くなるためには市民1人1人がそれを意識できる環境を市が創る事だと思います。
12. モラルの向上。マナーの向上。
13. 問33-7（環境への負荷に配慮した、地球にやさしいまち）において、他をリードするまちで有ってほしい。
14. 便利さも必要だと思いますが、やっぱり自然の緑を残す事が一番だと思います。STOP地球温暖化！
15. みんなが住みやすい市になるには、一人一人が環境問題に気を使って、ボランティア活動に参加するようになればよいと思います。
16. 夏の町内の雑草、住民それぞれ自分の廻り位の除草する様な政治教育を。3. 歩きながらのタバコ。吸がらの投捨て等、全市歩行中禁煙政治を。
17. 子供達の環境に関する理解を深める見学コースなど作る。
18. ムクドリ対策（駅前）。難しいかもしれませんが、追い払いは限度があり、捕獲等はできないのでしょうか。
19. 桶川市がよくなるためというか…CO2削減のために開発より緑を残すことを考えてもらいたい。
20. 町の中を広くウォーキングしていますが、緑が少ないと思います。道端に樹木を植える等して、温暖化対策をして下さい。
21. 税金はごみの減量化のテスト費用に使ってほしい。又ゴミ消却した物を何らかの物に使えるか専門の会社に依頼して地球温暖化防止に努めてほしい。
22. ハト対策の強化（フンでベンチが利用しにくい）。

5-3-2 ごみ処理 （25 件）

1. ゴミ集積場所を公園、公民館等、公共施設の所に広い場所を作って欲しい。少し位遠い方が運ぶのに労力を使うので、各家庭でエコ・整理を考え、量も少なくなり、あちらこちらでゴミの散乱がなくなるのでは。少し歩くとゴミの山では、いただけません。
2. 指定ゴミの廃止。コンビニ袋を指定袋に入れている現状、無駄でしかたない。
3. 荒れた田んぼや畑がそのままの状態であれ、草が伸び放題で、とても環境に悪く、見た目にとっても悪いです。又、ごみを捨てる方が多く困っています。
4. 近所にドラムカンでゴミを焼く人がいます。何年もつづけています。マナーを守らない人がいるのでやめてほしい。市にTELしたが一時やめたがまたやっています。煙がくさくて、窓もあけられません。
5. 一人一人がゴミを捨てたりしないよう、自覚をもって気をつける。小中学校によって特色がちがったりするので、自分にあった居住地区に住む。騒音や公害に影響を受けたりする人も多いので、気をつける。
6. アパートに住居している人達ですが、自治会費を納めずごみを出している。本下水が出来ているのに20年以上も側溝に流れているので、北風の季節になると悪臭がしてこまっている。
7. ゴミ焼却問題は他市町村に頼らず環境センターの充実を東西2km南北2kmの用地確保する（これは最小規模）。子供達の環境に関する理解を深める見学コースなど作る。
8. ゴミの回収を増やしてほしい（プラスチックや特殊なゴミ）。
9. ・ゴミ分別の減少、ゴミ袋は減ったが、分別の内容ももっと少なくするべきである。共働き家庭では、できるだけ家ではゆっくりしたい。
10. 近くのスーパー（桶川ヨークマート）に、リサイクルボックスがありません。もっと桶川市でリサイクル活動を進めていく方がよいと思います。ペットボトルやアルミ缶やキャップなどをリサイクル出来るスーパー（上尾や北本）に通っています。身近な所から、増やす取組が必要かと思います。
11. 具体的には良くわかりません。町内によってはゴミの収集場所が無料の所と有料の所がありますが？
12. 疑問があります。ゴミ袋に関してですが、なぜ燃えるゴミだけが指定のゴミ袋なのでしょう。早く透明のゴミ袋にして下さい。以前、6種類のゴミ袋の指定があった時一袋（10枚）180円前後でずいぶん高く、なにやら行政と業者の癒着???その後市民の反発もあったのか一年後位で5種類については透明袋で可能となったと思いますがこの事だけでもなにやら信用の出来ない感じです。市民の立場で考えて行動して下さい。
13. まず、ゴミの分別の用紙を毎年配布して欲しいと思います。配布が無理でも、必ずどこかに貼ってあるか、市役所のわかりやすい所に置いてあるなど、何ゴミがいつなのか、細かい分別などを分かるようにして頂きたいです。ゴミの集積所の汚い原因の1つは、いつ何を出せばいいかわからないからだだと思います。
14. 上尾から桶川へ転入して来て一番いやな事、それはゴミ分別。仕事がいそがしいのにそんな事やっていたらいい。頭に来る。
15. ゴミの分別に、もっと力を入れて欲しい。
16. ゴミの分別をもっと細かくした方がよい。ペットボトル、缶、びんを分ける。
17. ゴミの分配についても、こまかすぎる。他の市町村とくらべるとよく分かります。（再掲）
18. ゴミの集収を休日に当たってしまったても、曜日に合わせて行ってもらいたい（間違えて出す家庭が多く、衛生面と景観も悪いので。現にさいたま市等は実施されています）。

19.	桶川は住みやすい所だと思っているが、例えばゴミの出し方が徹底しておらず、回収されずに残っている事が多い。出し方の啓発活動を積極的にする等、市民ひとりひとりが住みやすい市にするためには…を考えていけるようになっていけば、おのずと市として全体がよくなると思う。
20.	ゴミも生ゴミ、木など、全世帯分も資源として生かせるような取り組み、ゴミになるものを最小限にする。
21.	ゴミの分別（良い事だと思います）の多さにも同じく驚きました。
22.	ごみ収集について・収集予定日が祝日でも回収を変更しない。曜日で決まっている分類を守ってほしい。・祝日も休まず収集（年末年始を除く）。・可燃物ごみ収集袋（有料）の廃止。
23.	ゴミの分別を減らして欲しい。
24.	ゴミ処理（特に委託業者）関係者の再教育
25.	ゴミの件。生ゴミは少くしようと努力していますが、袋の色の指定は如何なものか。市販のものは、大きすぎたりしてます。

5-3-3 し尿処理

※該当意見なし

5-3-4 斎場・墓地（1件）

- | |
|--|
| 1. 墓を無くし、移転困難ならば大きな寺院を作り、永代納骨堂を寺院の中に置く様にし、空き地は緑の木を植える。 |
|--|

6 身近な生活環境が整備された都市をつくる

6-1 都市基盤の整備

6-1-1 土地利用（21件）

1.	工業用地を増やして積極的な財源の確保。住宅地の近くに緑地を増やす（公園に行くのに歩いてはいけないようでは利用できない）。東京圏のベッドタウンとしての魅力ある街づくり。
2.	地域の状況は変えず、出来るだけ建物を建てすぎないようにしていく。スポーツ施設が増えれば交流がもっとはかれると思う。
3.	広々とした住空間を確保出来るような取り組みを実施して欲しい
4.	今後、高速や17号バイパスの影響で道路事情が変化していくと思われるので、周辺の整備が遅れないようにしてほしい。
5.	川田谷地区、加納地区に工場誘致し、税収入増を計る。
6.	区画整理という言葉でただ道路をつくるだけで、何も無い。
7.	他市から転入して来ましたが、市街地から少し離れると、整備がほとんどされていない土地が多いのにおどろきました。都市部への通勤、通学の便にも恵まれ、他市に比べ、人口の増加も十分に期待出来る市だと思うのですが、未開発さが残念です。景観に重点を置くのであれば、ある程度整備をした上で、大きな公園を作るなど、方法はあるように思います。他市、他県から、人が集まるような町作りを期待しています。
8.	現在残っている自然や農地を住宅地にせず、べに花ふるさと館の周辺のような所が沢山あった方が良くと思います。
9.	人口10万人位の中核都市に発展して欲しいと思います。人口増加率は今後難しいと考えられますので、無理と思いますが、都市計画の画期的手段で可能かも。
10.	市街地調整区域が多過ぎる。見直す。早速に整備が必要であり、遅れてはならない事と思います。
11.	居住して30年になりますが当初は田園風景が広がり気持ちのいい散策が出来ましたが、ここ4～5年で梨園も減り、農地も減り、住宅が増えて淋しく感じます。
12.	休耕田畑が多く、雑草が樹木になっているところが多く、珍獣が住みつき、農業作物や民家に多大なる被害をおよぼしている。そのような場所を公園や観光地として利用するように、改善していったらよいのではないのでしょうか。このままでは、益々、荒地になると思いますが！！よく考えてもらいたいですね。
13.	とにかく区画整理を進めてほしい。途中でやめる所が水たまりが出来てどうしようもない。やり出した事は最後までやるべし！！
14.	バラバラの都市計画で統一されていない為、景観が美しくない。住民が誇れるまちの芯を統一して、計画的にまちづくりを進めて欲しい。その為の広報・情報をもっと伝えて欲しい。今は情報不足で、住民も感情が薄く、愛着もあまりない。

15. もう少し土地の使い方を考えるべきだと思います。子供が安心して遊べそうな公園などを増やすべきだと、私は思います。
16. 区画整理の推進（自然環境を残す）
17. 客観的には、東口の整備（せますぎる）などができれば望ましい。
18. 道路を上尾並に整備し、住宅地、商業地、工業地を増す。これにより、人口、税収を増すこと！
19. なるべく自然を残し、自然と共存しながらの開発を行い、過度の開発はしないで欲しい。現在、朝にうぐいすやカッコウの鳴き声を聴けるこの環境を壊さないで頂きたい。
20. 田舎らしさのある所が好きですが、中山道付近や東口のゴチャゴチャした感じは何とかして欲しい。北本の二ツ家周辺が少しずつにぎわって来ているので、桶川にも負けないで欲しいと思います。今ある自然を残しつつ、街を活性化させたいと願うのはバカかもしれませんが…。
21. 圏央道周辺に企業誘致は当然考えていると思うが、区画整理をしてでも大々的にやるとよい。

6-1-2 市街地整備 （175 件）

1. 下水道の整備をすること。現在はそれ程でもなくなったが、一時期「どぶ」の臭いがした。墓を無くし、移転困難ならば大きな寺院を作り、永代納骨堂を寺院の中に置く様にし、空き地は緑の木を植える。
2. 旧桶川市住民が強い意志に左右されて居る事あり。時代は変り、もっと漸新な考えが必要であるとする。
3. 桶川駅周辺の整備（東口）、道路には歩道をつける。
4. 中山道宿場町の活性化を願います。桶川市に住んで約30年経ちますが、あまりにも商業の発展等が遅れていると思われます。特に東口の開発に力を注いでいただきたいと思います。
5. 東口の駅前には、友達を呼ぶのが恥ずかしいくらい汚い。はやくきれいな町にするために、まずは道路を整備してほしい。
6. 1. 桶川駅東口の開発。2. 区画整理の推進（自然環境を残す）。3. 自転車道路の確保（走行時、ヒヤリとする事がある）。☆現在は、上記に力を入れてほしい。
7. 駅東口の商業地域の大半が駐輪場となっているのは、中心市街地の活性を阻害する大きな要因と考える。駐輪場を集約的に整備するとともに、地権者の住宅は移転させ、集客力のあるテナントが利用しやすいように街を整備すべきである。
8. 桶川駅西口周辺について、いつも自転車等の整備がよく行き届いていることに大変満足しています。花壇等もとても美しく、心が癒されております。これからも美しい街であることを望みます。
9. とにかく、桶川駅東口の環境をどうにかしてもらいたい。道はせまいし、交通量も多く、自転車利用の方が多いので、いつもキケンな思いをしています。上尾や北本は開発しているので、うらやましいです。
10. 駅しかり、西側より東側の方が不便をしいられている。市役所へ行くにも、べに花陸橋は自転車、歩きの人は大変である。
11. 1. 駅東口附近の整備。2. 私道等の整備。
12. 東口を見捨てないで下さい。
13. 中山道、駅前（東口）がもっと発展して活気づいて欲しいです。
14. 駅周辺をもう少しうまく開発して、徒歩や自転車でも行ける公共の施設（たとえばプール）を作ってほしいです（図書館、運動公園など）。
15. 桶川東口駅前通りの活性化にむけて、道路幅を広げ、商店街を南小跡にモールの様なものを作ったらどうでしょうか。個々の商店が昔からある事を大切に存続する事が良いと思います（中仙道も同じ事かも知れません）。
16. 桶川駅東口の都市環境整備を進めてほしい。
17. 桶川駅東口開発。
18. 桶川駅東口の開発、整備（人々が集まらない為） ・桶川駅西口側は、アスレチックや遊園地的なものがほしい。
19. 東口から中山道の活性化。市民とのふれあいを深め、桶川市の産物を全国にアピールして、市民間に一体感をつくり、町づくりをしていく。
20. 駅前東口の整備。
21. 特に考える事はありませんが、駅周辺の整備（東口）が出来なければ桶川の発展はないと思います。
22. 平成5年より住み、ずっとここにいたいと思いつつ、圏央道で立ち退かねばならない中で、せめて今の近くで、同じような所に住みたい住めると信じてきましたが、少ない立ち退きの金額で、中古あるいは、他の地価の安い所を探していかなければとは、このことを桶川市はどう見ているのでしょうか。立ち退き損になるとは夢にも思っておりませんでした。何とかして頂きたいです。※国の事業とは言え、住民のことを考えるなら良い土地を用意すべきです。
23. 桶川駅東口周辺の開発、整備。
24. 桶川東口の整備と開発、宿場町としての特色を打ち出す。
25. 駅周辺の整備に加え、商業の発展を支援し、市民の暮らしを便利にする。

26. 桶川駅東口の整備。
27. 東口の駅前の開発をお願いします。
28. また、桶川市の教育施設で一番文化的な価値が高い南小、その後何に使うのか。更地になっていて、今後どうするか立看板位は立ててこういう計画で検討している位の周知はできないのか。駅前の下水道の整備も含めて、早く決断してやって欲しい。とにかく隣接の上尾・北本と比して何事も遅い。決断して実行、実施の秋だ。
29. 東口駅前の整備。人も車も混雑して、非常に危険である。早い対策をお願いします。
30. 桶川駅東口周辺にスーパー・コンビニがないため、西口へ行かなければいけない点が不便です。駅東口の道路幅が狭く、迎いの車や、タクシーが通る際、危険を感じる。東口の商店街は機能しているのか？
31. 桶川駅東口の開発をぜひ行なってほしいと思います。
32. 東口駅周辺の整備。西口もきれいだが車で走るには走りづらい（ロータリー周辺）。
33. 桶川東口駅の整備開発。道路の整備。
34. 桶川東口側（中山道含む）を昭和を思い出させる商店街や街並の整備。
35. 転入して間もないため、現状もまだ把握していませんが、まずは駅周辺の整備を望みます。
36. 東口の開発。一部の古い考えを一掃し、今以上の明るい町づくり。
37. 一日も早く新しい市政所庁舎の建設と駅東口周辺の整備を望む。
38. 西口の特定の商業施設のみがにぎわい、東口が機能停止している現状をしっかりと認識すること。大型のショッピングセンターは不要。
39. 道路整備は一度で終わらず。同じ所を何度もしない。
40. 駅前、交通まったくダメ。
41. 桶川に住みはじめてまだ5ヶ月です（仕事の都合で転入）。桶川の第一印象はよくありませんでした。それは駅（東口）の様子です。自転車の多さ、雑然と停められているのを見て、「キレイな街」には思えませんでした。
42. 桶川市が一番取り組む事は、17号の旧道及びバイパス周辺を再開発する事が産業促進になる事です（自然と周辺の住宅、工業、農業等が自信をもつと思われます）。私自身が25年都内に通勤していて一番思う事です。又、桶川市以外に住む人々、都内の方々は特に思っていると思われます。（注）よく他の駅周辺を見て下さい。市長さんへ。桶川市東口の現在の姿を見ますと、都内から30分前後なのに、非常に情けない事です。
43. 桶川駅、東口一帯の開発、整備。旧南小跡地の早急な対策。なんといっても桶川の表玄関ですから。
44. 桶川駅東口の開発。
45. 旧道（中山道）を活性化して、歴史の感じられる街づくりを行ってほしい。
46. 1. 東口の再開発。2. ムクドリ対策（駅前）。難しいかもしれませんが、追い払いは限度があり、捕獲等はできないのでしょうか。
47. 桶川市の現状で、駅周辺、西口と東口の格差。東口に関してこれ程、変化しないのも珍しいと思う。大規模開発などはなく、桶川の歴史に配慮した利便性を考え、西口とは異なった市民参加の景観を守る、生かす。川越の良さを取り入れた、雰囲気のある市民の町作りが大切だと思う。
48. 東口駅前の都市化（もしくは、買い物などに便利な商店街の活性化）。・桶川駅の都市環境化。
49. 桶川駅東口周辺地域の整備推進をお願いします。
50. 桶川駅周辺は整備がととのってますが、川田谷あたりはまだまだ住みずらく感じます。自然が沢山ある事は嬉しいのですが、スズメバチやヘビなどが出て、子供が遊ぶ時に心配になります。夜は、街灯も少なく、外出するのが恐いです。もう少し周辺を整備して頂けたらと思います。
51. 5年前、川口市より移り住んでいます。住むには環境もよく、快適ですが、駅東口周辺の整備推進お願いします。
52. 駅東口の開発に力を入れてほしいです。元南小の空き地も自然のある公園などとして活用してほしいです。駅前もバス、タクシー、歩行者と狭い所にあふれ、雨の日などは特に危険です。今もこれからも一番重要なのは、防災や防犯対策がなされ、安心安全のまち、（にますます充実するよう願っています）だと思っています。
53. 桶川駅東口の整備、東口一方通行の解消、駅再開発をぜひしてもらいたい。
54. 桶川駅前東口前の整備。道が狭くて危険な為、ロータリー等も含めて広く安全に通れる様に何より一番にとりかかるべきなのは。また、上尾からくる中仙道は広く工事をしているが桶川に入るとたんに狭くなる。桶川の行政は力がないのだと実感する。
55. 桶川市の中心である中山道がとてもさびしいです。どうにかなりませんか？南小学校の土地はどうなるのですか。街をよくするためのチャンスだと思っていますが。
56. 1. 桶川駅東口の都市開発、小学校跡地及び駅通り商店街を一体として開発、西口同様。バス停、駐車場、公共施設を含んだ商業施設を誘致し、駅利用者及び近隣より集客する東側の核作りを行う。
57. 桶川駅東口整備、南小学校跡地の活用（市役所・コミセンなどを含んだ商業ビルとか…）。
58. 桶川駅東口の早期開発。駅東口から中山道まで上尾や北本に較べて距離が長くて大変ですが、町の発展

	並に活性化のために早期開発を望みます。
59.	桶川駅東口の都市環境。桶川駅東口の道路状況。
60.	駅東口周辺の再開発が不可欠。活気がまるで感じられない。
61.	西口だけではなく、東口も整備。
62.	駅周辺の整備。
63.	桶川東口駅又商店街、又は東口駅通りをきれいにする事、昔とかわらない暗いまちです。東口の商店街の道幅を広げる事。
64.	1. 東口の再開発、17号までは片側2車線にする。2. 駅の再開発、エスカレーター、エレベーターを東・西口に付ける（改札口近く）。
65.	桶川に住みながら、過すのは土・日曜日だけなので、余り考えてはいませんでしたが、目下南小の跡地がどうなるのか関心があります。本当ならば、緑地にしてベッドタウン桶川として面目を立てればいいのですが、それは無理でしょう。大型商業施設などは大反対です。ウォーキングをしたくても歩く公園や、子供を遊ばせる広場もない現状。少しでも空間として役立つ方向を望みます。
66.	埼玉医大に時々出掛けます。北上尾、上尾駅はどんどん良くなっていきます。桶川の駅前はどうして良くなってくれないのでしょうか？皆様の協力をお願い致します。
67.	桶川駅、東口と旧南小学校敷地の開発。駅前道路を拡大し、旧小学校跡地に市役所を移転。行政に必要な申請交付等一ヶ所で一日で済ませるように、市役所周辺に店舗を収容する建物、そのために旧郵便局跡地、利用（駐車場）し中山道迄広々とした道路を整備してほしい。
68.	桶川東口再開発を一刻も早く進めて頂きたい。西口はそれなりに評価できる街並みになってきているが、それと比較して東口は道路の狭さ、買い物にかなり不便である状況が一向に良くなる傾向にない。まず東口の再開発をすすめることが今後の桶川を考える上で重要だと考えている。
69.	東口駅前商店側を全て取り除き、中山道までの地域を近代的な街にしてください。また、せっかく江戸時代からの歴史ある街並みをもっと利用し、歴史に興味ある人々が観光できる川越の様にしてください。大変だと思いますが、じきに、軌道に乗れば、桶川市が豊かになりますのでよろしくお願いします。また、人事も、国が行っている様な、大企業からの交流等により、専門家の知識もある方が便利です。積極的に税収を得られる取組を行うべきです。桶川市を有名にしていけることが大切ですが、ストーカー殺人事件のイメージではなく、クリーンなイメージアップへの脱却をお願いします。
70.	桶川駅東口の再開発は旧桶小の跡地を活用して、早急に進めてもらいたい。
71.	今の桶川市には何の取り柄のないと、私からみてもあまりにも活気のない市に見受けられる。時折、関東近県の市（町）に趣味で出掛ける事が多いのですが、どこの市に行っても市の顔である駅近辺が整備されていることです。桶川市は経済的にも大変と思いますが、市の先頭に立つ方々の努力が市民には感じられません。他の市と同じ事をしろとはいいいませんが、この市のよい所を引き出し、個性ある将来若い人達がこの市に住んでよかったと思える市に作り上げる努力を、市民一丸となって行っていってほしいと思います。まずは、市の外側の区画整理より市の中心（駅東口）からの区画整理が必要ではないかと思います。
72.	桶川市通り（東口）の環境の改善。
73.	桶川駅東口の整備～旧中仙道の整備
74.	◎駅東口周辺の整備を早く実現してほしい（旧南小の跡地を含めて…）。・市役所の建て替え（暗く、狭い…）。※なぜ今頃この様なアンケートを実施しているのですか？すでに第5次までいっているのに、まだ具体的に計画が決まっていないのでしょうか？これでは後10年はかかりますネ。
75.	☆東口中山道は景観を悪くしている。宿場町や歴史のある町などとは定着しておらず、もう変えるべき。上尾の東口が20年以上も前に変わったように。☆菖蒲モラージュや羽生イオン、川島町も大型ショッピングモールを建て、地域活性に力を入れている。行田、鴻巣も。桶川も誘致活動を行ない、雇用拡大につなげてほしい。☆西口駅前の駐停車スペースがない。北上尾のように、おくり迎え車の待てるスペースを確保してほしい。タクシーやバスといがみ合いになり、地域交流など絶対に生まれない。
76.	田舎らしさのある所が好きですが、中山道付近や東口のゴチャゴチャした感じは何とかして欲しい。北本の二ツ家周辺が少しずつにぎわって来ているので、桶川にも負けないで欲しいと思います。今ある自然を残しつつ、街を活性化させたいと願うのはバカかもしれませんが…。あと、分庁所でもう少し色々と手続きが出来るかと有難い。それにしてもあそこ人はヤル気がなさそうに見える。
77.	東口の整備。
78.	東口駅前の開発に力を入れ、頑張ってもらいたいと思います。
79.	桶川駅東口の整備、道路の整備
80.	桶川駅東口の都市環境と駅入口道路が広がってほしい。
81.	長く住んでいるので、他との違いをあまり思わず、日々戻る場所として考えることもない日々でした。ただ、上尾、北本と比べると、以前は鴻巣の前は桶川という自負も薄くなる程、駅を中心とした地区のさびれを空しく思っていました。今回、偶然に届いたアンケートの記入のため、表紙しか見ず片付けていた市報にも目を通し、改めて桶川市に関心を持つことができました。ただ、私の様な考えの方も多いのかも知れないな、とも実感しています。そうした者の望むのは、少し古さは残るが、しっかり運営されているなァと感じる駅に降り立った時の感じでしょうか。雑記になり申し訳ないのですが、こうしたアンケートの届いた事に感

	謝をし、次の参加の布石にしたいと思いました。
82.	桶川生まれの桶川育ちのため、桶川が大好きです。住みやすく気に入っていますが、街並みがいまひとつパツとしないような気がするので、何か桶川の特徴になるような美しい街並みをのぞみます。
83.	隣接する市町村の状況をまず把握し、何が他市より劣っているのか、何をしなければいけないかを、まず持って検討して頂きたいと思います。アンケートの中でも、中山道を太宮方面から向って来ると、誰れしもが桶川の中仙道の街は明るくない、発展していないと言われる程。今後、歴史の町・文化の町、そして、美しい都市ができることを期待しております。頑張ってくださいと願います。
84.	第一は桶川駅東口をなんとかしてほしい。
85.	東口中山道沿いの発展。総合病院をつくって欲しい。
86.	町の中心の道路など整備し、活気ある町にしたいです。
87.	・桶川駅東口前の整備・中山道の整備・ドーナツ化現象の解消・近年、高崎線太宮以北の駅周辺や市街地を見ると、桶川の立ち遅れがはっきりと見える。桶川の顔としての駅前整備を早急に行うべき。
88.	桶川駅東口の都市：若い人が集まる街。
89.	東口を活発にしてほしいと思う。自転車と歩行者がぶつかるので歩道橋を整え(みんなのマナーも必要だが)てほしい。
90.	桶川東口駅周辺の開発。
91.	鴨川1丁目の区画整理、東口の開発。
92.	桶川駅南口の開発。・広場、ロータリー、主要道路、メンストリートを広く。
93.	桶川駅東口開発が遅れすぎている。早急に商業地化にして欲しい(民家は駅通りにはいない)。
94.	駅西口中央口を整地して、上尾方面よりの車の乗り入れをすべきだと思います。
95.	駅周辺の活性化。
96.	見栄程無駄なものはない。格好悪くても中身が良ければ良い。周りと比べる事なく桶川独自のあり方で街づくりをして下さい。東口開発に関しては、出来るだけ少ない予算で、不便な部分を無くすだけで良いと思います。所詮片田舎のベットタウンなのですから、その良さを最大に引き出して下さい。西側の区画整理は難しいと思いますが、推進したほうが良いと思います。頑張ってください。
97.	桶川駅東口の整備、道路整備(車道と歩道の分離)、街灯の整備(犯罪抑止のため)。
98.	全てが中途半端な気がするので、目的をはっきりとして活動してほしい。・駅周辺をもっと利用しやすくしてほしい。
99.	桶川駅前の活生化。
100.	桶川市がやることは、駅前東口開発。
101.	駅近辺の区画整理して、大型駐車場施設？
102.	桶川駅東口及び旧中山道の整備。東口は19:00頃でも暗く寂しい感じがします。旧中山道は歩道が狭く、自転車の通行も多く、またガタガタなため、高齢者が歩きずらいです。
103.	桶川駅と北本駅の間で駅をもうけて欲しい。高速が近くに走りインターチェンジを作って欲しい。東口の開発。
104.	東口駅前の道路拡張と再開発、とそれに続く中山道の整備、町をきれいにし、人の呼べる市へ。
105.	桶川駅東口前の開発早く進めて下さい。それぞれの立場で開発に関係する方々もっと本気で取組んで下さい。このままだと市のイメージ益々ダウン。
106.	桶川駅東口の開発。・道路開通にともない大型店をつくる。・自然を生かした開発。
107.	東口駅前整備の充実。市役所早期移転。
108.	道路について→圏央道は、素晴らしい田園風景を無惨に破壊した。一方→駅前通りや中山道の中心市街地はもとより、周辺部街路等、人々が安心して往き来できるよう、歩道・自転車道・街路樹、また電柱地中下や公園・緑地の整備による街づくりが、住民の生活に潤いを与え、市の活性化に繋がると思う。東京・原宿表参道は、あのユッタリとした歩道と並木が多くの人々を引き寄せた。そして、江戸の昔から人々が往き来する道路(クルマの往き来ではない)こそが、コミュニティを醸成する場であった。
109.	○東口駅前の開発を早急にする事だと思います。東口と西口の駅前が競合する事が一番大事と思う。それから、次のステージが始まるでしょう。○地下鉄の新設をして、JRと競合させる。そうして、JR独占をなくす。埼玉高速鉄道の延長。混雑緩和をする。サービス向上させる。
110.	中山道宿場町の古い街並を残しつつ、新しい商業化を作り(図り?)、観光事業を発展させれば良いのではないのでしょうか?その中で市民も桶川に関心を持つような活動の場を作っていく。
111.	桶川駅東口の活性化をもっとがんばってほしい。17号越えて北方面(坂田の方)の公共機関(銀行など特に!!)の充実をお願いしたい。
112.	小さな変化では何も変わらないと思います。大変な時期だからこそ、大きく変わる必要があります。以前からあったと思いますが、例えば桶川駅東口の整備など、諸事情があると思いますが、何も変わっていません。まずは大きな変化を求めます。
113.	駅東口の整備、活性化。
114.	区画整理を何とかしてほしい。

115. 市街地の整備。
116. 区画整理を行ない、住みよい環境にしてほしい。
117. (1) 市の顔である駅東口の整備が進んでいないので、市役所より先に駅前整備に力を入れるべき。(2) 市内各所にべにばな会館のような集客施設を作る。もっと活気ある街になって欲しい。
118. 桶川駅東口開発をいつまで先延ばしにするのか？桶川南小学校跡地の問題についての結論を早く出すべき！
119. 桶川駅東口の整備、早くしてほしい。
120. 駅前のお店関係が古く（マインは魅力がない）あまり利用出来ない。また、東口の前も車では大変通りづらく、利用出来ない状態なので、開発を期待しております。
121. 日常生活をする上で、お買い物をするのに不便だなと思うことがありますので、もう少し住民が1歩遠くまで車を使わなくても通える範囲に、お買い物ができる施設をもっと増やしていただけたらなあと思います。それから桶川駅を降りると、少しどんよりとした暗い静かなイメージがあるので、駅や周辺をもっと明るく活性化させて、住みたくくなるような明るい街にしていけたらと思います。
122. 市役所移転。・駅東口の開発。
123. ここ数年、年を追うごとに市の中心にある店が減っている様に感じられ不安です。中心部がさびれていると市全体がさびれている様な印象が強く焼きつきます。駅周辺が活気づく政策を住民と一緒にやってほしいです。市役所、住民が力を合わせた取り組みがこれから増々、大事になるのではと考えています。（再掲）
124. 桶川駅の整備、東口の町並と大胆な道路等の改善。
125. 駅、東口の整備。
126. 駅東口開発（特に小学校跡地利用、開発）。川田谷地区、加納地区に工場誘致し、税収入増を計る。
127. 桶川駅東口の整備をすすめてください。桶川だけが近隣市から取り残されているようでさびしいです。
128. 桶川駅東口が開発され、整理され、美しい街並になる。東口駅前を広く取り、商業店舗ができるように。
129. 駅周辺の整備、特に東口駅通りはひどい。買い物に不便。ここで買おうという店がなく駐車場もないので、どうしても上尾等、他市に行ってしまう。マインがあるが、申し訳ないが中途半端なので、イオンモールみたいな一ヵ所で買い物が済む所がほしい
130. 桶川駅を自転車でも東口～西口に通れる様にしてほしい。・東口近辺をきれいにしてほしい。
131. 桶川駅東口周辺の市街地の活性化をする。・窮屈さを取り払い、伸び伸びした環境にする。・子育ての支援、援助体制の充実などの環境を良くする。・人口増になる街づくりをする。
132. 街並みをキレイにして欲しい。・夜は、街灯が少なく、全体的に暗いと思う。もう少し住宅街にも、明るい街灯がほしい。うちは空き巣にも入られました。
133. 公共下水道を整備。桶川駅東口周辺地域の整備と商業機能の活性化。
134. 桶川駅東口、中山道周辺の整備と開発及び利便性のある商業施設を増やして欲しい。また、中山道沿いの魅力ある町づくりを推進して欲しい。高額な住民税の用途を市民が納得のいく無駄のない行政を是非、心掛けて頂きたい。
135. 職場が市内でないのに、昼間に利用できる場所については知らない点が多い。強く思うのはロクな飲食店が駅周辺にないこと。東口再開発を考えるのであれば、大規模小売店舗の誘致もありではないかと思う。駅前の整理については当然賛否があるのであろうが、活性化のためには、せめて鴻巣駅東口並みの「大手街」は必須であろう。
136. 桶川市に越してきてからようやく3年目に入ります。今でも一方通行の狭い道が縦横無尽に走っているのので道に迷う事も多々あり、もう少し道路の整備をしてもらいたいです。あと、国道17号線という道路がありながら、上尾と鴻巣との間に位置しているため、桶川は通過地点に甘んじすぎていると思います。隣の北上尾も駅の前は活性化して人も集まっているようです。桶川市の古い部分も大事ですが、余り古い部分を大事にしすぎると市としては活性化することは厳しいと思います。通過点ではなく、桶川にも立ち寄れる人の集まるセンスのある新しい市に変えていってほしいと思います。
137. 桶川駅前の開発。高齢者を大切にする福祉。
138. 考えというより思いです。この街にお世話になるようになった時は、すでに子育てや教育は終わっており、その変化は良くわかりません。ただ孫の為には子育て支援が強化されれば嬉しいです。街の開発も近代的にするのは利便性で良い事でしょうが、東口はマーケット風に人肌の温もりを感じる街に残して欲しいです。何でも高いビル風にするのは悲しいです。
139. 外灯が少なく、防犯がしっかりしていない。少ないなら、もっと明るくしてほしい。駅前も活気がないし、何年経っても同じ。昼の時間帯の交通の便があまりにも悪すぎ。宿場町をもっと前面に出して、活気ある町になったら良いと思います。
140. 桶川駅東口周辺地域の整備。・商業エリアの拡大。
141. 駅前を商業地区として再開発する必要があります（特に東側地区）。
142. 自然環境を考えながら開発をし、オオタカ等のいる自然を守りつつ、圏央道の周辺整備をすみやかに進めていくこと。

143.	隣りの上尾市や伊奈町の生き生きとした活気ある発展と較べると、このままではいよいよ暗く沈む地域になってしまう。まず、駅（東口）を何とかして、新しい大型店舗も誘致して、活気ある町にしてほしい。（再掲）
144.	桶川駅、東口商店街がさみしいです。西口マイン周辺は、大きな公園もあり、買物も便利ですが、北上尾、上尾に比べればまだまだです。
145.	商業施設が少ない。又は規模が小さい。西側（西口側の住民）にとっては充実している駅周辺～17号沿線までは遠すぎるので、西口住宅地域内に大型施設（ショッピングモールetc）が欲しい。モール内に複数の施設（保育施設や老介護…）入れると、より活性化されると思う。道路の整備がされておらず凸凹が多い。直して欲しい。
146.	桶川に居住しはじめて20年になりますが、職場はさいたま市で、仕事からの帰りも遅いので市政の状況や町の中のことはほとんどわからずすごしています。たまに、ホンダエアポートや城山公園のあたりを散策してみると荒川の川べりなど景観もよく、桶川という町の良さを感じます。緑も多く農園なども住宅地の中に散在していてゆったりした田舎の良さをこれからは生かしていったり、あるいはアピールしたら1つのPRのポイントになるように思います。東京圏の近く新宿ラインが通っていて交通の利便性は良く（さいたま市（浦和などの）より意外に利便性は高いと感じています）、住みやすい街ですので。後は駅付近（東口）を整備し街並みもセンスを良くして“桶川”のイメージを高めて欲しいです。
147.	2つのインターチェンジの周辺の整備を充実して、大型商業圏を実現して活気ある桶川を希望します。
148.	駅前開発を行った方が良くと思う。商業施設が少ない。道路（歩道）がせまいので危ない。広くした方が良くい。
149.	桶川駅周辺の開発、中山道沿いの活性化。上尾市との差が大きすぎる。上尾市の駅周辺に負けない開発を望む。大規模な総合病院の誘致。
150.	他市に比べ誇れるもの、魅力がない。東口の再開発必要。図書館の規模が小さすぎる。
151.	病院、交通機関（特にバス）の改善。桶川駅東口周辺の整備。
152.	住環境を良くすべき。17号沿いはほこりっぽい。安全対策に力を入れ、人々が安心して暮らせる街づくりを。緑を増やして下さい（街路樹とか）。駅周辺を美しく整え、活気あるまちになって欲しいです。（再掲）
153.	◎階下に住んでる老夫婦はボケて火事とかが心配である。今はとても元気だが、いつ老老介護になるのやら…市からの訪問は？◎桶川中学校うらをもう少し見通しのよい安全な道にしてほしい。◎東口の活性化、車が近く（店の）にとめられない以上いい店があってもむずかしいと思う。
154.	バスを利用する人の時間帯を知らないでバスを走らせていること。バスの小型化も必要（利用する人がいない時間帯）。・雇用環境の充実、働ける所をふやす努力。企業の収益を増やす。・桶川駅のまわりをすっきりさせる（東口を整備化する）。協力する気持ちがないと実現はむずかしいと思います。保守的であるため。
155.	私的事情においては、湘南ライナーの本数増加を望んでおります（快速が止まってくれるのが望ましい）。問30と重複しますが、家賃が高い（UR賃貸）ので、長期的展望はありません。客観的には、東口の整備（せますぎる）などができれば望ましい。
156.	・桶川駅東口から伊奈方面への道路整備。・倉田地区の下水道、ガス等の整備。
157.	駅通り、17号国道から東中への道路など、自転車、歩行者は安全に通行できない。特に雨の日は危険を感じる。東中、東公民館に行くのに、えん石は逆に邪魔である。塀とえん石の間の狭い通路は果たして道路と言えるのか東口にゆとり場（例えば小学校跡地など）を作してほしい。
158.	産業の誘致と駅東口の整備。
159.	桶川駅周辺、駅前通りの整備を早くやってほしい。又、中山道の商業衰退がさみしい。農業、商業が活発になるような改革がほしい。又、道路整備を進める事。
160.	駅前が「活気」のあるものになると良いと思います。・商店街の活性化に期待します。
161.	駅周辺の整備。ショッピングモールなどの拡張、建設。子供達が安心して遊べるグラウンド作り。
162.	桶川駅東口駅前の道路が狭く、交通しにくい。また、商店街はあるものの、少しものさびしいので、東口の活性化をしてほしい。・幹線道路の整備で新たに、道路工事が必要だが、自然環境をなるべく壊さぬように進めていただきたい。
163.	桶川市に転入して18年。都内の仕事を終え駅に降りて、驚きました。夜8:00頃、東口のメインストリート(?)は、店のシャッターがほとんどおりて、真っ暗!とても淋しく決して明るくもない街灯の住宅街を歩き、帰路へと…(※道路の状態も非常に悪いです)。駅周辺は当時とほとんど変わりません。いつも何とかならないものかと考えていますが…。もっと積極的に住民の意見を聞き、少しは賑やかな町or市になればとつくづく思います。
164.	中山道商店街が活気づいてくれると、それにともなって観光面でも伸びると思う。桶川の夏祭りはとても情緒があってステキだと思う。これからも続いてほしい。イメージ的には川越みたいな街並みで…。
165.	隣、北本より転入しましたが、子供がまず「ママなんで不便なのに桶川に引っ越したの?」と不満を述べました。駅の道が狭く危険な事、駅前にコンビニ、スーパーがなく歩いて買物にはマインしかありません。古い家屋が多く不気味です。駅前の道路を広く、安全にして欲しいと思います。今のままの店舗ではあまりにわびしすぎます。

166.	子供が育つ環境、教育環境、自然環境をより強化してそれをもっと外へアピールしていく。駅周辺の商業の活性化は必要だと思う（駅周辺は、川越市をモデルにしても良いのでは）。環境の強化としてもっと施設の増設が必要だと思う（医療、教育、子育ての施設）。
167.	子供や老人の為に住みやすく、緑豊かな環境と駅前の都市造りに力を入れて、市民に住みやすい町に。
168.	桶川駅東口の道路整備と市街地の活性化。工場の活性化と企業誘致。
169.	県央道整備にともない、新たな企業誘致をし、雇用を増す。
170.	桶川の良さをもう一度見直し、よい点は積極的にアピールしていく（上尾などに比してアピール不足）。駅西口の整備をなおいっそう進め、住みよい街づくりを行う。中山道桶川宿の遺産を生かすため、街並みの整備を図る（新しい建物も景観を統一したものにする）。
171.	他の市町村より税金が高過ぎると思う。西口駅前広場の自動車の出入が不便である。また東口駅前を整備してもらいたい。西口南小の土地を市民のために開放してほしい。
172.	道路環境が悪くて不便・危険・うるさい。このアンケートを見ると祭や中山道に自信を持っているようだが、全く知らない。やるならもっとPRした方がよい、でなければやめた方がいい。駅周辺が東西ともに整備されていない。圏央道周辺に企業誘致は当然考えていると思うが、区画整理をしてでも大々的にやるとよい。
173.	バス停をもっとふやし、美しい街並み、明るい夜道になって景観のある町作りを希望します。
174.	桶川駅前東口道路を広くして、大きな店を作してほしい。大学病院があった方が良くと思う。
175.	桶川駅周辺の活性化を望みます。

6-1-3 道路 （117 件）

1.	道路の複雑なことは昔からでしたので、考えて下さい。いつもご苦勞様です。
2.	生活道路、下水等をきちっと整備して欲しい！
3.	基本的には桶川市は良い町だと思います。しかし地形が変形の為、境界等が入り混んで居り、道路の環境整備が必要です。
4.	桶川駅東口の道路の整備。
5.	桶川市に引越し3年目です。住宅地内の道路は狭いと感じますが、一般道路は整備されて安全と思うが、歩行者用の歩道が狭い所が多い。
6.	バスの本数増加、道路の整備がよくなれば良いと思う。
7.	桶川駅東口通を整備し、人と車が安心して通行できるように早く整備して下さい。
8.	高崎線と国道17号線における旧住宅地の地域道路の整備、依然各戸住宅居住用地通路が2m巾が多く、都市計画実施後整備が行き届いていない。そのため、道路の拡巾等の計画実施を行い、住民のゆとりある生活並びに緊急対応時等の利便性を図る必要がある。
9.	道路の整備。
10.	東口駅前がせまいと思います。バスや車がすれちがうときなど、歩道も子供を乗せてる自転車など少し道がせまいのであぶないと思います。駅前の西口みたく広く安心のできるロータリー駅前を作っていただきたいです。
11.	駅から中山道・17号へ行く道路が狭い為、歩行者、自転車、車、全て危険でこわい。東中、東小前の道も通学路でありながら狭く危険。出来れば整備して頂きたいです。
12.	県道12号の高崎線西側を早く整備して欲しい。渋滞だけならまだ良いが、交差点が複雑である事と、交通量に見合った道路になっておらず、危険である。・市西部で北本市方面との連絡道路が足りない。日出谷小前の道路と大変危険。至急改善を望みます。
13.	中途半端な取組ではなく、市街化調整区域の道路は、途中途中ではなく、ちゃんと通れるようにするなど、期間を決めて整備して欲しい（見直しもありでは？！）。大変ですが、よろしくお願いします。
14.	桶川駅東口の道路整備を広く道路幅を取って、走行車の行き来が今よりスムーズに安全に通れるような道幅にしたいと思います。
15.	自転車で走る道が狭いため、ヒヤリとする事がある。東口は現代の交通状況に適していない。
16.	道路環境が悪くて不便・危険・うるさい。このアンケートを見ると祭や中山道に自信を持っているようだが、全く知らない。やるならもっとPRした方がよい、でなければやめた方がいい。
17.	桶川駅東口から伊奈方面への道路整備。
18.	希望としてですが…1. 東口駅前の道路を広げて、駅前の商店街をもっと充実させる（他から来た人から、道路が狭いのと、何にも無い事にあきられる）。
19.	駅通り、17号国道から東中への道路など、自転車、歩行者は安全に通行できない。特に雨の日は危険を感じる。東中、東公民館に行くのに、えん石は逆に邪魔である。塀とえん石の間の狭い通路は果たして道路と言えるのか。
20.	桶川駅東口を西口と同じようにロータリーを作る。道がせまい。
21.	道路を上尾並に整備し、住宅地、商業地、工業地を増す。これにより、人口、税収を増すこと！
22.	税金が高い割に市民サービスが良くない。道路が整備されてなく道路わきの雑草がひどいので整備を望む。
23.	新たな道路を作り、整備する。

24.	東口と西口道路違い。バス路線の時間表。
25.	首都高速入口（与野）までが遠い。もっと近くに造ってほしい。・今年4月に転入してきましたが「桶川市」という名前から、友人達に「治安の悪い、怖い所」とよく言われます。悪いイメージを取除けるような明るい話題を世間に提供してほしい。
26.	生活が車中心だと言うのはわかるが、もう少し人が歩きやすい町にしてほしい。
27.	鴨川に限ることしか知りませんが、行き止まりの道路が多く、表示がない。
28.	駅東口～中山道。中山道の人（自転車を含む）が安全に通れる道路作り。
29.	駅東口の道路整備を早急に。桶川市の玄関口があればイメージが良くなるはずがない。道路を拡張することが重要なのではなく、空き店舗だらけでマイカー族が暴走する。かなりはずかしい街です。駅前なんて桶川だけです。駅から北向きに道沿いを歩きたいのに、マイカーお迎えでズラーッと並んでいて、歩行者が道路中央側によけなければならないのはおかしい。おまけに暴走車や暴走自転車にはねられそうになる。駅の横をコインパーキングにしたのが全ての元凶です。せめて“みずほ銀”側寄りに並ぶように規制を！！車の道路を整備するのではなくぜひ安心して歩ける歩道を！！
30.	昨年転入し、一番びっくりしたのが、道がデコボコ、暗い。特に駅からバイパスを渡り住宅地の区域、学校がいくつかあるにも関わらず、整備されていない。夜、ウォーキングや犬の散歩の方に出会うが、暗闇からいきなり出沒との形でとても危ない。普段、自転車で駅まで通っているが、帰宅時に危険と感じない日はない。車優先でなく、自転車や歩行者に優しい道づくりをする事が必須です。夜、自転車で農園さんから、コープ、セイムスへ向かう道を荷物をかごに積んで通ってみて下さい（往復）。
31.	駅前広場は市のひとつの象徴です。（東口）駅前には、バス・タクシーで雨天の日など歩行者がやっと一列に並んで歩きます。雨水も溜まると思います。これから、ずっと現在の市道のままでは困るのが私の意見です。昭和時代はもうサヨナラです。
32.	世界（他国）や国内をまわっていると地方自治の自助努力を感じるものがたくさんあります。たとえば坂田の交差点、歩道橋をなくしてきれいにしましたが、車道と歩道の縁石をカットしてあります。自転車の前カゴに荷物を入れて通って下さい。荷物がはね上ります。京都の歩道を参考にしたら市民にいろいろ余分な気をつかわずに通行できます。良くてもと悪ければ、くそみそが行政のつらいところです。がんばって下さい。
33.	道路整備。国道17号の東側、西口の市民ホール西の道路より西側等、住宅地の細い道路が多く、車での移動は決まった大きな道路しか利用していません。大きな道路を選んで遠回りしています。東西南北通りぬけができるような幹線道路整備をおねがいします。◎圏央道桶川IC（坂田）早期完成をおねがいします。来年、川田谷ICまで開通するのはうれしいのですが、川田谷ICから国道17号までの川越・栗橋線の渋滞を考えると、ゆううつです。
34.	HPを閲覧したことがないが、閲覧したいと思う市にしてほしい。小、中学校は桶川市に住んでいたが、昔と変わらない。道はせまいし、自転車だと大変！！
35.	道路をきちんと決めてほしい。半端な部分が多すぎる。
36.	桶川市に越してきてからようやく3年目に入ります。今でも一方通行の狭い道が縦横無尽に走っているのので道に迷う事も多々あり、もう少し道路の整備をしてもらいたいです。あと、国道17号線という道路がありながら、上尾と鴻巣との間に位置しているため、桶川は通過地点に甘んじすぎていると思います。隣の北上尾も駅の前は活性化して人も集まっているようです。桶川市の古い部分も大事ですが、余り古い部分を大事にしすぎると市としては活性化する事は厳しいと思います。通過点ではなく、桶川にも立ち寄れる人の集まるセンスのある新しい市に変えていってもらいたいです。
37.	自転車、歩行者などが安心して通れるような整備をしてほしい。
38.	桶川駅東口駅前通りの道路の整備。現状だと桶川市でなく桶川町のような気がする。近隣の市に比べ桶川市が遅れている。・桶川市役所の建て替え。
39.	桶川に住んで35年たちますが、一向に道路が良くなりません。まず、生活道路を良くしていただかないと、次の事は考えられません。とにかく道路が良くなる事を望んでいます。よろしくお願い致します。
40.	中山道を広い道路にしてほしい。歩行者、自転車用道路が無かったり、あっても人間一人しか通れない道を自転車が行きかたが通れたり、車椅子では通れない道もある。
41.	全体的なことはわかりませんが、いつも桶川駅東口を利用するたびに、バス、タクシー、人が同じスペースを行きかた危険を感じます。人の歩くスペースをバスが停車、Uターンには道路にまで出てきます。その間を今度はタクシーがUターン、今時こんな駅があるのでしょうか。
42.	桶川駅を中心に道路整備が必要、現在は狭く、大変危険です。広く道を造り、
43.	昔から住んでる所では、私道が狭く、車も入らない為、次の世代の人達が入って来ない為、高齢者が多くなり活気がない。子供達の声が聞える町作りをする為、市は既存の家を立て替える時、奥の人達の為に私道4mになるようにアドバイスしてほしい。そうすることによってお年寄り達のデューサービスの車が入り楽になる。又若い人達も入って来て活気のある町になる為に、お願いします。
44.	中山道をはじめ、右折や路駐をしている車が目立ち、大幅な車移動で時間ロスはいつもイライラする。道路が狭く、右折車の多い曲がり角に右折専用レーンがないのもっと心にゆとりのもてる道路を作してほしい。
45.	とにかく東口を何とかして欲しい。市の窓口とも言うべき駅前がタクシーがわがもの顔でいる事、狭い道路、

	バス通りとは思えない！！友人がたずねてきても“何ここ”と必ず言われる。そして、東中の前～17号へ向けた通路、ここも歩道が狭すぎる。結局縁石がある事で道幅をとり、せまい歩道は誰も通らないというムダなつくりだと思う。
46.	道路が悪すぎる。
47.	車がないととても不便を感じることがあり、駅前に商業施設や病院がある場所へ行く方が簡単なことがあります。桶川市として、大きな商業施設を入れるよりは、より美しい街作りをして欲しいと思います。東口側は道路が狭く、緑も少ないし、公園がありません。
48.	駅の西口周辺の車の環境は、本当に早く改善していただきたいです。朝も夜も、送り迎えの車ばかりで、毎日、車にはねられそうになります。ドライバーの意識問題かもしれませんが、道路状況等を改善していただくよう、お願いします。
49.	駅東口の道路がせまい。
50.	無駄な道路工事が多いように感じるので、それをなくすべきだと思う。何度も同じ場所を工事しているのが見受けられ、税金の無駄遣いと思えない。
51.	陸橋についてのお願い。以前、歩道（自転車）がありました。非力な方々は歩道橋の階段はつらく、自転車を押すのも大変です。陸橋で自転車の老男性がトラックの風圧でよろめいているのを見ました。あまり混んでない車道2車線必要ですか。ぜひ専用歩道を！
52.	私は週に3～4日ウォーキングをしています。日頃、思いますのは幹線道路の際は道幅が非常に狭く、一人通るのがやっとの所が多いように思います。自転車の往来も激しいので、安心して歩行出来る道路があればと思います。
53.	私道等も整備する。
54.	道路には歩道をつける。
55.	東口の商店街の道は、道の狭さの割に交通量が激しい。特に朝の通勤時は、バスが勢いよく真横を通るので事故を起こしかねない。なんとか改善して欲しいと思う。（再掲）
56.	東口の駅前は、友達を呼ぶのが恥ずかしいくらい汚い。はやくきれいな町にするために、まずは道路を整備してほしい。（再掲）
57.	駅通り、中山通迄の道巾がとてもせまく、歩行者はキケンを感じる。
58.	とにかく、桶川駅東口の環境をどうにかしてもらいたい。道はせまいし、交通量も多く、自転車利用の方も多いので、いつもキケンな思いをしています。
59.	私道等の整備。
60.	歩道の整備。
61.	桶川駅よりバイパス迄の通りの整備。
62.	桶川中学校うらをもう少し見通しのよい安全な道にしてほしい。
63.	それと、歩道をもっと整備して下さい。危ないです。子供達が安心して歩ける街にして下さい。
64.	すぐ出来ることから始める。交差点に花を飾る。駅前通りを広げる。
65.	駅周辺に店を増し、また、道路の整備を行い駅の利便性を良くしてほしい。
66.	桶川東口駅の整備開発。道路の整備。
67.	市が小さいのはしょうがないと思いますが、町に人に活気がなく特に駅前がさみしすぎるし、道路は狭いし考えた方がいいと思う（ショッピング等、道路を広く）。
68.	桶川駅前通り整備、中山道通りにスーパーか店をつくってほしい。近くに店がなく困っている。
69.	桶川駅東口の道路の拡大と商店街の充実。
70.	現在残っている自然や農地を住宅地にせず、べに花ふるさと館の周辺のような所が沢山あった方が良くと思います。道路整備を進めるのであれば、東口駅前の通りを何とかしてほしいと思います。バスと車が通ると歩行者は歩かれません。
71.	歩道の整備。
72.	医療行政最低、道路行政最低、そのくせ無駄が多い。（R17号に繋ぐ道路の建設（地区、区画整理内）など）。都市整備に携わる職員の能力が低すぎると思われる。大型公共工事を止め（凍結ではない）、実際の生活を中心にした公共工事にする事である。
73.	桶川駅東口の整備、東口一方通行の解消、駅再開発をぜひしてもらいたい。
74.	桶川駅前東口前の整備。道が狭くて危険な為、ロータリー等も含めて広く安全に通れる様に何より一番にとりかかるべきなのは。また、上尾からくる中仙道は広く工事をしているが桶川に入ったとたん狭くなる。桶川の行政は力がないのだと実感する。ま
75.	道路を利用する時に、渋滞や、踏切での渋滞が目立ち、一方通行の道路がとても使いにくい。駅（東口）がとても狭く危険なので道路を改善してほしい。
76.	桶川駅東口の都市環境。桶川駅東口の道路状況。
77.	東口駅前からの道路整備は必ず行すべき。西口の駅前ばかりが整備されている。電柱を地下にうめるなどして、道幅の確保、十分な歩道の確保が必要。運転手の歩行者への思いやり促進活動が必要。現状は車が優先のような状況になっている。
78.	桶川東口駅又商店街、又は東口駅通りをきれいにする事、昔とかわらない暗いまちです。東口の商店街の道

幅を広げる事。
79. 東口の再開発、17号までは片側2車線にする。
80. 桶川市役所、桶川駅の建直しと東口駅前商店街の活性化と道路の拡大等。
81. 桶川駅、東口と旧南小学校敷地の開発。駅前道路を拡大し、旧小学校跡地に市役所を移転。
82. 圏央道の恵みを最大限に活用。市に税収が大いに潤う事。例、1. 泉福寺〔東の比叡山〕の整備、道路、道の駅→SPA、企画し宣伝する。観光・人集め（集客）・アクセス。2
83. 自然との調和を保ち、安心して暮せるように整備をする。自転車安心して走れる、歩行者も安心して歩ける道にする。今は車が主体で自転車や歩行者は車がこわいとか、走りにくい道が多い。駅からの道をもっと明るくすれば、車の利用を減らし、速く自転車に乗ることもできるので、CO2が減り、自然も守れると思う→街灯を増やして欲しい。
84. 桶川駅東口の道路が狭く、雨の日はとても危険です。道路を広げるか、抜け道を造ってもらえたらよいのですが。
85. 桶川駅東口の整備、道路の整備
86. 桶川駅東口の都市環境と駅入口道路が広くなしてほしい。
87. 桶川駅東口の道路整備（雨の日などは特に歩行者と車が行き交って危険な為、早急な対策を望む）・桶川商店街の活性化
88. 町の中心の道路など整備し、活気ある町にしたいです。
89. 桶川市に転入して18年。都内の仕事を終え駅に降りて、驚きました。夜8:00頃、東口のメインストリート(?)は、店のシャッターがほとんどおいて、真っ暗！とても淋しく決して明るくもない街灯の住宅街を歩き、帰路へと…(※道路の状態も非常に悪いです)。駅周辺は当時とほとんど変わりません。いつも何とかならないものかと考えていますが…。もっと積極的に住民の意見を聞き、少しは賑やかな町or市になればとつくづく思います。
90. 東口を活発にしてほしいと思う。自転車と歩行者がぶつかるので歩道橋を整え(みんなのマナーも必要だが)てほしい。
91. 桶川駅南口の開発。・広場、ロータリー、主要道路、メインストリートを広く。
92. 駅西口中央口を整地して、上尾方面よりの車の乗り入れをすべきだと思います。
93. 桶川駅東口の整備、道路整備(車道と歩道の分離)。
94. 旧中山道は歩道が狭く、自転車の通行も多く、またガタガタなため、高齢者が歩きずらいです。
95. 東口駅前の道路拡張と再開発、とそれに続く中山道の整備、町をきれいにし、人の呼べる市へ。
96. 隣、北本より転入しましたが、子供がまず「ママなんで不便なのに桶川に引っ越したの？」と不満を述べました。駅の道が狭く危険。駅前の道路を広く、安全にしたいと思っています。
97. 家と会社とスーパーしか行き帰らないのでまだ何も知りませんが、交通マナーが悪い。車も自転車も人も。道路の狭さや信号の長さなど、改善できるところはしないと危ないと思います。これは桶川市に限った事ではありませんけどね。頑張って下さい。
98. 妊婦助成金は、他市より回数を多くされ、素晴らしいと思っていましたが、子育てをするには不便な点が多いです。私は、駅東口付近に住んでいますが、保育所が近くになく、車もない為、家庭保育室を利用していますが、大変負担です。子供を遊ばせる公園も少ないです。道路もせまく、自転車が多く走っている為、お年寄りやベビーカーをひいている方には危険です。医療費は充実していますが、子育て環境を整えていただければ、子供を産もうと思う方も増えるのではないのでしょうか。
99. もっと緑を増やしてほしい。高い所がないから夜景も見れないし、ホッとする所が少なく、半年くらいイライラが取れなかった。ホッとする所があっても、交通の便が悪い。自転車の道が細く、自転車になれていない私には、一番自転車に乗るのが嫌だった。もう少し、道を広くするか、自転車用の道を作してほしい。じゃないと、子供が出来ても安心できない。
100. 桶川駅東口の道路整備と市街地の活性化。工場の活性化と企業誘致。
101. 中山道商店街の活気をのぞむ。・独居老人が安心して外出出来る様、バス路線、停留所の増設。路地の整備。
102. 1. 桶川駅東口の開発。2. 区画整理の推進(自然環境を残す)。3. 自転車道路の確保(走行時、ヒヤリとする事がある)。☆現在は、上記に力を入れてほしい。
103. (1) 広々とした住空間を確保出来るような取組みを実施して欲しい。(2) 街路樹の整備、自転車と歩行者が十分に通れる歩道の整備。(3) 市内循環バスの時刻が電車の時刻とあまり合っていないため利用がしにくい。(4) 駅西口ロータリーが混雑しやすい→大型車が入ってもすれ違うのに十分な幅がない。
104. 桶川駅の整備、東口の町並と大胆な道路等の改善。
105. 東口駅前の再開発(特に道路)。良い意味で中途半端な町だが、今後、圏央道と17号バイパスが出来る為、市政の方向性をしっかり持つ事が重要でしょう。
106. 駅東口開発も南小跡地も含めて、旧仲の商業再建も考える必要が有と思う。道路整備も高速道が出来た後の事を頭に入れ、今の計画の見直しも必要かもしれません。
107. 桶川駅前東口道路を広くして、大きな店を作してほしい。
108. 道路、通学路、安全な道路環境にしてほしい。

109.	夜道は真っ暗だし、特に住宅地はいつ犯罪が起きても不思議ではない。また、駅が汚なすぎると思う。まずはトイレから、そしてホームなど。東口の車待ちの多さも危険。いつも言い争いが起きている。道が狭い。小さい所からでも直してもらいたい。
110.	桶川駅と北本駅の中間に駅をもうけて欲しい。高速が近くに走りインターチェンジを作って欲しい。東口の開発。
111.	商業施設が少ない。又は規模が小さい。西側（西口側の住民）にとっては充実している駅周辺～17号沿線までは遠すぎるので、西口住宅地域内に大型施設（ショッピングモールetc）が欲しい。モール内に複数の施設（保育施設や老介護…）入れると、より活性化されると思う。道路の整備がされておらず凸凹が多い。直して欲しい。
112.	桶川駅東口前通の道路の拡張整備を是非実現していただきたい思います。又、川田谷、加納の桶川インターチェンジ予定の周辺への産業誘致を桶川発展のため、是非お願いいたします。
113.	駅前開発を行った方が良いと思う。商業施設が少ない。道路（歩道）がせまいので危ない。広くした方がよい。
114.	桶川駅周辺、駅前通りの整備を早くやってほしい。又、中山道の商業衰退がさみしい。農業、商業が活発になるような改革がほしい。又、道路整備を進める事。
115.	桶川駅東口駅前の道路が狭く、交通しにくい。また、商店街はあるものの、少しものさびしいので、東口の活性化をしてほしい。・幹線道路の整備で新たに、道路工事が必要だが、自然環境をなるべく壊さぬように進めていただきたい。
116.	桶川市に住みはじめて約11年です。仕事場と実家との距離から、桶川市に引越して来ました。外から来た人間の意見としてとらえて頂ければと思いますが、まず以前から（今でも）「宿場町としての歴史を感じられ、観光地として…」という認識は全くありません。ただ、まわりの住民の方や、古くから桶川にお住まいの方とコミュニケーションを取りますと、同じ価値感の方が多く、本当に快適に過ごさせて頂いております。限られた税収の中で、桶川市を良くするのであれば、何もかもやろうとせず、医療、保健サービスの充実や、防犯対策、道路補修等にしばって、本当に不安のない生活のできる街にして頂きたいと思います。
117.	車を利用しない人には、歩きにくくて不便を感じる。17号の、ニトリ方面は、横断も怖くて、歩道橋が欲しい。・エコのために、アスファルトを保水するタイプ（←これを使うよう業者に徹底とか）のものにする。街路樹のある歩道にして欲しい。

6-1-4 交通 （53件）

1.	下りホームの改善。せまい階段の改良のないのは通勤者に少しも思いやりのない。
2.	桶川駅東口、駅の下りのエレベーターorエスカレーターがほしい（今、ベルで呼んでいるがとても気を使い、がまんして降りている。老人、赤ちゃん連れ、ケガ人）。・駅通り、中山通迄の道巾がとてもせまく、歩行者はキケンを感じる。
3.	バスを利用する人の時間帯を知らないでバスを走らせていること。バスの小型化も必要（利用する人がいない時間帯）桶川駅のまわりをすっきりさせる（東口を整備化する）。協力する気持ちがないと実現はむずかしいと思います。保守的であるため。
4.	東京圏のベッドタウンとして住みやすい町づくりをしてほしい。それは、交通の便がよく（JR桶川駅に行きやすい、バス、駐車場、駅ロータリーなど）。あと、高崎線がおわるのが早すぎ！帰れないことが多い！
5.	桶川駅の整備、東口の町並と大胆な道路等の改善。
6.	市内巡回バスをもう少し整備してもらえれば、自家用車を使わなくても良くなるのではないのでしょうか。
7.	駅、東口の整備。
8.	桶川市には、駅が1つしかない。電車の便を増やしてほしい。例）川越市。
9.	私的事情においては、湘南ライナーの本数増加を望んでおります（快速が止まってくれるのが望ましい）。問30と重複しますが、家賃が高い（UR賃貸）ので、長期的展望はありません。客観的には、東口の整備（せますぎる）などができれば望ましい。
10.	私は老人ホームに入っている者なのですが、桶川駅まで出るのに、バスの便が良くありません。老人ホームからもバスが出るのですが、駅から出る便が12時代から1時間おきになってしまいます。1時から3時まで便がないのです。もう少しよくなって欲しいです。
11.	交通機関の良さ。バスの本数。行き先の数など。
12.	桶川駅を自転車でも東口～西口に通れる様にしてほしい。・東口近辺をきれいにしてほしい。
13.	桶川駅前の西口タクシー乗り場→駅のエレベーターまで雨にぬれてしまう。高齢者や足が不自由な人は、早く歩けないので雨にぬれる時間が多くなってしまいます。できれば屋根をつけて欲しい。桶川市がよくなるためというか…CO2削減のために開発より緑を残すことを考えてもらいたい。
14.	桶川市がどうこう意見を述べる前に私自身があまりに考えなく生活していたな、ということに気づきました。「自分の住んでいる所に不自由を感じていないから」と促えることも出来ますが独身一人暮らし、という自由な立場にあるからなんだろうと思います。多くいる市民の中から私が選ばれたのに、あまり参考になる意見が書けずスマセン。ひとつ思うのは桶川駅周辺はよいですが、少しはなれると、車なしには生活で

きないのは不便あるかな？と思います。
15. 社会的弱者（子ども、障がい者、お年より、妊婦等）を大切にすることが、健常者も生きやすい街になると考えています。駅から遠くても循環バス等の便が増えると、お年寄も生活不便が解消されるのではないのでしょうか。また、車で駅までの送迎、買い物ということも減り、温暖化への取り組みにもなると思います。
16. バスの充実が必要だと思う。高齢者が多い街なのに、あまりにも数がない。バスの本数が増えれば、働いている人も助かるし、高齢者も、外に出向くチャンスが増えてくると思う。
17. べにばなGOの利用性の向上。終電用のバスや運行本数を増やしてほしい。
18. 桶川駅東口のエレベーター設置など障がい者が利用しやすいようにしてほしいです。
19. 市役所、桶川駅の改築。特に市役所の建て替えを希望します。
20. 年寄りが買物、交通機関利用にあたり、駅のエスカレーター増設を市で働きかけてほしい。
21. 独居老人が安心して外出出来る様、バス路線、停留所の増設。路地の整備。・駅東口のエレベーター、外の下りエスカレーターを。・
22. 病院、交通機関（特にバス）の改善。
23. 駅しかり、西側より東側の方が不便をしいられている。市役所へ行くにも、べに花陸橋は自転車、歩きの人は大変である。
24. バスの本数増加、道路の整備がよくなれば良いと思う。
25. 私は97才の母が1人で生活してます蕨駅（川口市）まで行って、母をときどき見舞いにいきます（空いている時間をねらって）。母も一人暮らしです。それでJR桶川～蕨駅迄、シルバーカーを押してJRに乗りますので、駅が便利になれば良いと1番強い想いでアンケートに、駅のところへ〇をしました。いつも桶川がすてきな町になる様願っております。よその駅と同様に桶川駅が便利になれば良いと考えてます。乗り降りの時、皆様がとても親切にして下さるので助かってます。読みにくいと思います。ごめんなさい。ありがとうございました。（追）買物不便。近くのヤオコーがなくなり買物に困ってます。時々東京から車で息子が届けにきます。
26. 東口駅周辺の整備。西口もきれいだが車で走るには走りづらい（ロータリー周辺）。
27. 駅前、交通まったくダメ、市長ダメ。市役所の対応がなっていない。
28. 桶川駅、東口一帯の開発、整備。旧南小跡地の早急な対策。なんといっても桶川の表玄関ですから。
29. 他、市町村と比べ、誰でも参加できるスポーツ、ダンスなど健康にやさしい練習場が少ない。各自治会館などをもっと利用して、近場でできる様にしてほしい。東公民館、べにばな会館、川田谷など行くのに遠いと、習いたくても行けない（健康な人作り）。市営バスのコースの件、東・西を別々に運行し、回数を増してほしい。福祉バスなら段差はいらないと思います。
30. 若人、子供さん増えるといいですね。田園風景のある町を望みます。余り歩けない私は、市役所へ行くのが大好きです。はにわの里前のバスが12時迄に帰れるバスがあったら嬉しいです。どうぞ皆様、お身体お大切になさって下さいませ。
31. あまり福祉の面は知識がないので、何も言えません。ただ、西口の朝夕の車での送迎のマナーの悪さには閉口します。二ツ家に駅を作り、徒歩の人を増やすかバス等の更なる充実をはかるかお願いしたいです。
32. 東口と西口道路違い。バス路線の時間表。
33. これから先の事を考えていきたいのなら、子育て支援をもっと真剣に取り組まないと、どんどん人口は減ってしまうと思います。バスなども少なすぎて、住みづらいと思います（車がないと買い物ができない町は、人は集まらないと思います）。
34. 市内循環バスを増やしてほしい。あと、電車の時間と合わせてほしいです。川田谷に住んでいる友達の家に行ったら夜すごく暗くておどろきました。外灯をつけてあげてください。とても危ないです。
35. 農協合併と同様に、上尾市、北本市と広域合併をし、南北本駅（仮）の早期建設を進めてもらいたい。
36. 駅前の商業施設の整備。・駅ホームの改築…ホーム内の階段が狭すぎる。
37. 桶川というと“いなか”や“犯罪が多い”とよくイメージされるので、そこを改善してほしい。実際、夜道は真っ暗だし、特に住宅地はいつ犯罪が起きても不思議ではない。また、駅が汚なすぎると思う。まずはトイレから、そしてホームなど。東口の車待ちの多さも危険。いつも言い争いが起きている。道が狭い。小さい所からでも直してもらいたい。
38. 桶川駅と北本駅の中間に駅をもうけて欲しい。高速が近くに走りインターチェンジを作って欲しい。東口の開発。
39. ○東口駅前の開発を早急にする事だと思います。東口と西口の駅前が競合する事が一番大事と思う。それから、次のステージが始まるでしょう。○地下鉄の新設をして、JRと競合させる。そうして、JR独占をなくす。埼玉高速鉄道の延長。混雑緩和をする。サービス向上させる。○工場誘致して、働く場を確保する。ゆとりの時間を増やす事が出来ます。余った時間で「まちづくり協働」活動をする。他のボランティア活動等。
40. 引越して来て、6年目なので、地域をよく把握していない。特に桶川市の地理がよくわからない。ですので、

よくわからず解答したり、書かなかった事がある。福祉の充実化。(1) バス交通費の無料か割引〜東京は70才になったら、バスが無料になる所だったが、埼玉へ引越をしたので今迄、都民税をいっぱい支払ったのに恩恵に報われなかった。(2) バスの本数を増やす〜川越行きのバスの本数が少なく、日中や土曜日に夜8時台がない。(3) 高齢者にタクシーの割引〜私はまだ歩けるし、バスへ乗れるので関係ないが、近所の人で腰が悪く、一人でバスへ乗れないので、駅前迄タクシーで通っているが、お金が大変のようである。ボランティアで送り迎えする人が桶川市で無いのか？問34の解答にならないが、私は車の運転が出来ないので道路ばかり作っても影響がない。それよりも高崎線の朝のラッシュには疲れる。折角都内へ行くのに、新宿迄立って行く有様で、つい出掛けるのにちゅうちょする。せめて私鉄が都内迄入線していたら、交通混雑が緩和されるのに。そしたら益々、桶川が好きになれるのにと考えます。早くJRが東京駅迄開通したらと待ちつつ、長生きして利用したいと思います。
41. ベに花号の増発。
42. バス路線の充実。
43. 桶川駅の都市環境化。
44. 東口にエレベーターをつける。
45. バス停をもっとふやし、美しい街並み、明るい夜道になって景観のある町作りを希望します。
46. 1. 東口の再開発、17号までは片側2車線にする。2. 駅の再開発、エスカレーター、エレベーターを東・西口に付ける(改札口近く)。
47. バスをもっと便数を増やしてほしいです。
48. 東口を活発にしてほしいと思う。自転車と歩行者がぶつかるので歩道橋を整え(みんなのマナーも必要だが)てほしい。循環バスをせめて1時間に1本は走ってほしい。不便を感じている。
49. 外灯が少なく、防犯がしっかりしていない。少ないなら、もっと明るくしてほしい。駅前も活気がないし、何年経っても同じ。昼の時間帯の交通の便があまりにも悪すぎ。宿場町をもっと前面に出して、活気ある町になったら良いと思います。
50. 水道代の高さにおどろいています。ゴミの分別(良い事だと思います)の多さにも同じく驚きました。住みやすい市になってもらいたいですが、車を使用しなくても市をまわれる環境はほしいです。バスも一方通行ではなく、逆区間に走るべきだと思います。
51. 東京圏の近く新宿ラインが通っていて交通の利便性は良く(さいたま市(浦和などの)より意外に利便性は高いと感じています)、住みやすい街ですので。後は駅付近(東口)を整備し街並みもセンスを良くして「桶川」のイメージを高めて欲しいです。
52. 広々とした住空間を確保出来るような取組みを実施して欲しい。、自転車と歩行者が十分に通れる歩道の整備。市内循環バスの時刻が電車の時刻とあまり合っていないため利用がしにくい。駅西口ロータリーが混雑しやすい→大型車が入ってもすれ違うのに十分な幅がない。
53. 桶川市役所、桶川駅の建直しと東口駅前商店街の活性化と道路の拡大等。

6-1-5 河川・水路 (6件)

1. 治水についての今後、大雨の時、現在の下水道があふれて市内を洪水から防ぐために、地下貯水槽の設置が必要と考えます。10年以内に道路が舗装され、そして農地が少なくなって住宅地になると、雨水が地下に浸透しなくなり、やがては下水道があふれる時が来ると思います。もちろん費用もかかりますが。※問34とは趣旨が若干異なるかも知れませんが。
2. 人工の川をつくってほしいなと思います。
3. 川などの水辺と親しめる環境。地足院のそばに、江川が流れています。流れはよいのですが、きれいにして魚が住みやすい川にして下さい。廻りは背の高い枯草、ゴミが一杯、ウォーキングが楽しめません。季節が味わる、川田谷なので残念です。
4. 川のまわりが環境が悪すぎる。
5. 公園や水辺の整備、農地の確保など自然や緑を生かして、きれいな街作りを目指して欲しいです。
6. 「子ぶな(小ぶな)釣りしあの川」と子どもが大人になったとき懐かしさを感じるような、河川の浄化と整備。かといって、コンクリートで固めた三面護岸などもってのほか。

6-1-6 上水道 (1件)

1. 水道代の高さにおどろいています。ゴミの分別(良い事だと思います)の多さにも同じく驚きました。住みやすい市になってもらいたいですが、車を使用しなくても市をまわれる環境はほしいです。バスも一方通行ではなく、逆区間に走るべきだと思います。

6-1-7 下水道 (9件)

1. これからは環境が大事です。特に下水道が遅れていると思います。古民家が多いのも事実ですが、住宅開発を許可する場合は、事前に下水道を完備する事。下水道の全域が出来てる町は、生活環境の整ったステータスのある市になると思う。
2. くみ取り式のトイレを無くして欲しい。

3. 下水道の整備をすること。現在はそれ程でもなくなったが、一時期「どぶ」の臭いがした。
4. ◎生活道路、下水等をきちっと整備して欲しい！
5. 本下水が出来ているのに20年以上も側溝に流しているの、北風の季節になると悪臭がしてこまっている。
6. 倉田地区の下水道、ガス等の整備。
7. 縦割、横割の行政が1度で出来るものなら、いっしょに出来るものは1度ですませられないものかと常に思います。例えば、道路と下水、別々にやると出来あがるまでに5回掘り直し、すごい無駄を感じます。夏になると異臭を放つ下水、貧しい年よりの老後、いろいろありますが、年金手帳があれば誰でも入れる介護施設が出来れば最高です。
8. 昭和38年4月、桶川団地に移住して住み続けている。当時からの懸案である市庁舎の建設はどうしたのか。また、桶川市の教育施設で一番文化的な価値が高い南小、その後何に使うのか。更地になっていて、今後どうするか立看板位は立ててこういう計画で検討している位の周知はできないのか。駅前下水道の整備も含めて、早く決断してやって欲しい。
9. 公共下水道を整備。桶川駅東口周辺地域の整備と商業機能の活性化。

7 計画の推進

7-1 市民参加の推進

7-1-1 市民参加・参画 (68件)

1. 協力、協同。
2. I T 技術を導入して便利にしてほしい（このようなアンケートもネット上で可能なようにしてほしい）。
3. 行政と市民が共通の認識をもち、行政のトップが我身をけずっても突き通す意志を持っていることが皆んなにわかる行動をすること…で丸となって桶川市を前向きにみられる人々を増やしていくことに努力できる、市議会、議員、市長であることを示すことです。市の職員の質の向上は、まさに、市長の腕であります。死ぬつもりで頑張してほしい。市民はその人に付いていきたいのです。
4. 桶川市に住み始め1年半ですが、交通の便の良さ、市のサービスには比較的満足し、利用させていただいています。しかしながら、市政がどのように動き、どのように市民サービスや公共サービスへと還元されているのか大変わかりにくい。学生の一人暮らしなので関心を持たない限り、また自発的に情報を求めない限りわからないのですが、どこで、どのように、誰に聞けばいいかわかりません。もっとアクセスしやすい情報源や興味をひくようなPRがあればいいと思います。
5. 行政活動がもっと市民に理解できる方法であってほしい。何がどの様に進行しているのか、わかりにくい。仕事場所が他市という事もあります、（自治体活動も参加するが、前向きな発言は少ないと思う）あまり期待は出来ない老後なのかと不安です。市民が活発に参加できる行政であってほしいと思います。又、実行して頂ければと思う。
6. アンケートの対象が若い人、老人等により答えられるものと答えづらいものがある。老人や子供のいない夫婦などは子供に関する事が余り情報として伝わってこないのでは答えに困る。年令層で分けるような質問の形にしてほしい。
7. ・市民レベルの活動状況をみてもしかり、庁舎内の職員の方達の勤務時間内の態度みてもしかり、市民も一体となり意識改革の必要性を感じる。究極のサービス業という意識をどれだけ持っておられるか。協働のまちづくりが絵に描いたもちにならぬ様に（職員）各人の意識、認識の“リーエンジニアリング”リノベーション。今更だが職員の教育徹底、ブラッシュアップ研修を切にのぞみます。※べに花の種ありがとうございます。蒔きます。
8. 行政、市民がより良い街づくりに向けて協力していく体制を整える。
9. 子どもがいないのに子育てについてきかれてもわからない。問15、16に「わからない」の番号を増やすべき。市からの知らせや広報などを、自治会以外からも入手できるようにしてほしい。
10. 市民ひとりひとりが桶川市（地域）に関心を持つこと。
11. それぞれの町会に1ヶ所、きちんとした掲示板を作ってください。市民に意見を求めるのではなく、市としてしっかりとしたビジョンをもってください。
12. 市民の為に良い市制を作してほしいです。官民一体となって努力していく他ないと思いますので、宜しくお願い致します。
13. なるべく幅広い年令層からの意見を集め、議会等で積極的に議論し、「無駄を省き」限られた財源を有効に利用してほしい。
14. もう少し簡単なアンケートを多くの人にやってもらった方がよい。歩道の整備。
15. 情報提供の場を増やし、市の活動がわかりやすく見れるようになればいいと思う。

16.	無理に新庁舎をたてず、何が一番必要な物か、市民とともに考えていってほしいです。逆に、あの古い建物は桶川市の節約のシンボルになるのでは？他の町や市くらべて見劣りしますが、それを逆にアピールしてみてもいいのでは？
17.	定年された方の力を大いに借りる。経験等。地域、又は年代層、子供を含むあらゆる発想、展開等を市民と行政が一緒になって考え実行する。部所には頭の柔い発想、転換のきく方を配置して欲しい。
18.	本当にこういうアンケートが役に立っているか疑問に思う。ただ、市がこういう事もやっていますという自己満足に過ぎないのではないかな。
19.	住み始めて1年未満ですが、生活環境が良く、気に入っています（静か、繁華街がなく安全、買い物も便利など）。ただ、行政に関してはほとんど関心がありませんでした。住民の関心を引くような情報提供がもっと必要ではないかと感じています。
20.	より市政情報の開示を高め、先を見すえて行政をおこなって下さい。
21.	行政の情報公開。
22.	都内への通勤に便利と思い住んでみたが、幸福感を味わえず、税は高いがビジョンが見えず、私は自治の原点は戸祭町の住民参加型がベストだと思ってます。「本アンケート」で感じたのは、ハコ物を作ることや発展云々と云っているが、住民参加の街づくりの方向が見えないです。
23.	「おけがわくらしの便利帳」が成功したのを見れば、協働事業について行政側は理解されていると思う。市民側の大部分は、未だ動けるようになってはいない研修会のような形式も含めて、指導しながら協働の桶川街造りを推進して頂ければ幸いです。
24.	市の財政はどうなっているか年度別に広報などにのせてほしい。
25.	難しいとは思いますが、市政に関わる人なるべく多くし考え方の片寄りのない様に、色々な人々が市民として住んでいると思います。その方々をより良く巻き込んで（言葉があまり良くないかも？）もうすこし魅力のある町に出来たらいいなと思います。私の先代は県内のいろいろな所に住んで桶川が風光明媚ではないけれど「災害が少ない」と住むことを決めたと書いていました。そんな所を逆手に取ってもいいのでは…。
26.	桶川広報が配布されてないので、桶川市の事よくわかりません。40年近く住んでいるが、町内会に入っていない為、広報がもらえません。
27.	迷子や迷人の時の放送がすごく聞きとりずらく、何を言っているのか分からない。
28.	情報発信の機会を多くし、市民に市政に対する関心を持たせるようにすべき。
29.	住民参加の機会が非常に少ない。これでは桶川市のことを好きだと感じる人は少ない。もっと知ってもらう機会の創出が必要。
30.	本アンケートの内容は充実しておるが、専門的な事柄についても、市民からの論旨を募ってはいかがでしょうか。
31.	市役所が直接行うのではなく、関係する市民・団体の活動が活発になること。とりわけ商工会、農協、経済団体、スポーツ団体、自治会関係者達が元気になることが欲しいと考えます。
32.	このアンケートを頂いて初めて考えたことも多く、一人一人の街のあり方の意識付けと、市からのPR、働きかけが市民全体に行き渡ることが大事だと思いました。日々の生活で精一杯でなかなか考える余裕はありませんが、
33.	先日配布の便利帳はとても役立つ。
34.	市民の声を聞き、取りくんでほしいと思います（道路1つつくる事でも、住んでいる人の事を考えて、地図の上で決めつけず、つくってほしいと思います）。
35.	市民がまちづくりに活動参加できる機会を多く設けていただき、地域活動が多くできるように、日ごろの思い、考えを行動できる場を。・自治会（地域）などの意見や要望を直接話し合いできるような機会を充実していただければと思います。
36.	適確な情報を得ることができればいいですね。「くらしの便利帳」は活用できると思います。
37.	住民の積極的に市政への参加、意識改革。
38.	今まで市政に興味ありませんでした。今回のアンケートで少し興味がわきました。今はまだどうしたらいいかわかりませんが、このアンケートを定期的に行なってほしいです。
39.	桶川市を良い所にするには、市民と行政が持つ意見を分かり合えるまでトコトン話し合い地道に一步一步進んでゆく必要があると思います。
40.	このアンケートの多設問には「わからない」としか回答できないのに選択肢として存在しないため無回答とした。このようなアンケートで市民の意識を適切に集約できるか疑問です。
41.	市職員より将来ビジョンを答申させ、定例的に町全体でディスカッション出来る様なシステム作り。
42.	転勤族です。各種選挙の投票所の地図を、ぜひ投票券に記入してほしい（場所名だけでなく）。
43.	住民不在の事業を行わないで、住民の声を市政に反映させる。街づくりについて積極的に情報提供を行う。
44.	世代を超えた情報交換と、実現に向けたフットワーク。
45.	何ごとにも積極的に関与して関心を増やし、他人の事と思わず対応する心を持つ←行政も市民も。
46.	・市民が自分達で街を築き上げることができると意識を持たせることが大切だと考える。
47.	自分は桶川生まれでないで、生活は長いが自分の地域について、あまりに知らないことが多い。市民の地域に対しての参画意識を高めるため行政サイドでそれとなく、もっと誘導して欲しい。“市民力のupが必

要”。
48. 市民の声を色々聞けるような環境整備。
49. 桶川市ホームページを携帯でも閲覧出来るようにしてほしい。桶川市の負債をへらす努力をもっとすべきだと思う。
50. 改めて、自分の住む市について、考えていない事を（このアンケートによって知らされました。市が大きく発展するには企業の誘致、購買、人口、多くの要因が必要だと思います。昔は、町の町内会の活動が盛んでした。小さな輪から大きな輪につなげる試みはいかがでしょうか。町内会の充実も市の発展の一つを担っていると思います。提出が遅れましたことお詫び申し上げます。
51. あまり関心を持ったことがないのでわかりません。アンケートにある子育てなど（教育含む）、子がないので答えようがありません。わからないので。まちづくりに感じて良くなったと感じるか？との質問ですが、簡単にこんなことをやったと、例が記載されているとわかりやすいです。このようなアンケート回答で参考になるのでしょうか？とりあえずご返信します。
52. 1. 政策審議室を市長部局から独立させる。2. 政策審議室の下に市民、行政議員で構成される「市政政策審議委員会」を発足させ、市政政策について審議し、市長に答申勧告できるようにする。3. 市民審議委員は公募。4. 市政のチェック機能も持つ。5. 条例を制定し組織化する。
53. 情報提供→引越してきて2年たちますが、「広報おけがわ」を1度も見たことがありません。市役所などに行けばいいかもしれませんが、時間がかかります。インターネットもつないでいないため、市の情報がまったく入ってきません。選挙も、誰が立候補して、どんな公約をかがけているかもわからないので、選挙に行ったことがありません。結果がどうだったかも1度もきいたことがありません。せめて、「広報おけがわ」だけでもほしいです。
54. 読みたくなる広報作りも必要。難しい言葉、用語等、見直しが必要かと思う。・自分が分かっている、相手も分かっていると考えている人が職員に多すぎ。市役所行って対応がイマイチと思うことがあります。
55. 市政の情報（広報おけがわ）をワザワザ、図書館、市役所まで出向き、取りに行くより、配布していただければ、もっと市政への感心が高まると思うのですが…（一部の住宅へは配布していると聞いています。不平等だと思います）。
56. このようなアンケートをもっと実施して、多くの人々の意見を反映させて下さい。
57. （1）情報開示を促進する。（2）守秘義務（市職員の）の大幅緩和により、行政の内容を市民に良く知らせる。
58. バラバラの都市計画で統一されていない為、景観が美しくない。住民が誇れるまちの芯を統一して、計画的にまちづくりを進めて欲しい。その為の広報・情報をもっと伝えて欲しい。今は情報不足で、住民も感心が薄く、愛着もあまりない。
59. ムダを省く。行政はサービス業だと意識して欲しい。今回、アンケートにべに花の種が入っていたのはお礼として素敵です。春に全世帯に配布したら良いのに…と思いました。べにばな祭り以外で、べに花を見る機会があればもっと桶川が好きになれると思います。
60. 子供から大人までが気楽に集まれる娯楽施設があればよいと思う。上尾市にあるような、ワクワクランドのような室内プールなどが桶川にも出来ればよいと思う。アンケートに答えるのは大変な面もあるが、時々このような形で、市民の声をとり上げ、反映させて下さい。
61. 夏の町内の雑草、住民それぞれ自分の廻り位の除草する様な政治教育を。西口公園広場をもっと有効に使って、いろいろミニ集会、農産物即売等を。何があるのか行ってみようか等の集が少ない。
62. ここ数年、年を追うごとに市の中心にある店が減っている様に感じられ不安です。中心部がさびれていると市全体がさびれている様な印象が強く焼きつきます。駅周辺が活気づく政策を住民と一緒にやってほしいです。市役所、住民が力を合わせた取り組みがこれから増々、大事になるのではと考えています。（再掲）
63. HPを閲覧したことがないが、閲覧したいと思う市にしてほしい。小、中学校は桶川市に住んでいたが、昔と変わらない。20年ぐらい前は桶川市にいたが、20年たって変わらないなら、こんなアンケートは無意味だ！！アンケートに答えるこっちのことも考えろ！けっこうめんどくさい！！
64. （A）桶川市民全体のモラルのレベルアップを図る（1）教育制度の充実に特化する（2）地域ボランティアの育成（3）意識の向上を図るための支援制度（B）教育環境の充実（1）参画の場の拡大（2）教育レベルアップへの取り組み。
65. もっと積極的に住民の意見を聞き、少しは賑やかな町 or 市になればとつくづく思います。
66. いろいろな情報も市役所から得たいと思う。広報も読んでいますので、これからもいろいろ教えて下さい。
67. くらしの便利帳、定期的に見直しての発行を望みます。
68. もう少し簡単なアンケートを多くの人にやってもらった方が良い。

7-2 計画的な行財政運営

7-2-1 行政運営 (111件)

1. 市民のニーズをうけ、柔軟に即対応できるようにしてほしい。
2. きめ細かな行政サービス（行政にも営業感覚が必要）。
3. 市の仕事に専門的に意見が云える部門を作る。例えば、農業の地区割り、作物の選定、工業の誘地の場所設定（条件設定等）、住宅地の市有地の格安分譲等。各部門別に意見をまとめ、市の概要をとりまとめる等。
4. 市民に開かれた行政、子供達に良い教育、議員を少なく。
5. 私達に新たな負担を求めないで、安心して暮らせる町づくりをしていただきたいです。
6. 住民サービスは大部良くなったと思うが、民間並みに横の連絡を密にし、新しい事に個々人がチャレンジして、失敗しても大目に見れる大きな気持ちに市職員が全員なってほしい（先輩がやってきた道だけで歩んでは何の発展も望めない。今の自民党の様に信用されなくなってしまう）。
7. 「おかげわ、くらしの便利帳」はとても良いと思います。
8. 市役所へのアクセスが不便であるので、庁舎＋文化施設として新たな場所に移設し、市民が集うような場にかえていくことが、市と市民の真のコラボレーションの第一歩となると思う（桶川市に限らず税収が伸びない中では難しいと思うが…）。
9. 市長の人選、議員の質の向上。
10. 市役所移転。
11. 役所の窓口の対応（特に年金課）もう少しにこやかに、ていねいに。市役所の早目の建て替えて、移動せず用件が済む様にしてほしい。
12. 市民のための市政。
13. 大きな市と違って、アットホームな行政サービスは良いと思う。
14. 市長含めて、市役所職員の仕事に対する熱意を改善されない限り、期待出来ない。市のホームページ見ても、がっかり。←全日ベストテニスの市町村と比べる…！
15. 1. 政策審議室を市長部局から独立させる。2. 政策審議室の下に市民、行政議員で構成される「市政政策審議委員会」を発足させ、市政政策について審議し、市長に答申勧告できるようにする。3. 市民審議委員は公募。4. 市政のチェック機能も持つ。5. 条例を制定し組織化する。
16. 市民が困っていることをもっとくみとってほしい（特に市長はじめトップの方々）。市役所窓口対応の方は頑張っていると思います。
17. 浦和より転入して、35年桶川市に暮していますが、あまり変らない所が好きです。只、市役所があまりにも古い建物で財政に余裕が無いと思いますが、市の顔でするので建て替えをした方が良いと思います。
18. 役所で働く人、全てが該当するわけではないが、対応が悪すぎる。上から物言を言い、迷惑そうな顔つきで受ける。転入してすぐ転出しようかと思うほど。接客業のアルバイトより対応の仕方が悪い。少しは見直して欲しい。特に年配の職員の対応が悪い。
19. 市役所職員、評判悪いです（全体的）。特に市民課の受付の職員の方の挨拶ができなく、笑顔がない。非常に感じが悪く事務的。久しぶりに市役所に行くととてもがっかりしました。受付は市の顔です。上からの教育が必要だと思います。市長が変わらなければ桶川はよくなりませんと思います。
20. 計画的な街づくり、防犯等の強化、高齢化に対する福祉充実をお願いしたいと存じます。
21. まず、ずっと気分が悪くなる対応（電話も）してきている警備員！！あの傲慢で脅すような態度やめさせていただきたい。以前から考えていた事は、市役所の庁舎を広く大きくきれいにし、市民が利用出来る施設をたくさん隣接しておく。近くに店などあるとなおいい。さいたま北区役所が理想。先を越されてしまった。
22. 数十年、百年先を見越した長期的でより詳細なビジョンを持ち、目標を立てるべき。次に、時機を見計らって目標にそうよう実行する。市長の交代により方向性がコロコロ変わる様な行政では、他の街と同程度の発展しか望めない。
23. 古いしがらみにとらわれない、新しい発想で市政の運営を望む。
24. 市役所の新築。
25. 車時代なので市役所の場所を多少遠くても駐車場を多くとれる場所に移動して、市役所を利用する方たちへ便宜をはかってもらいたい。
26. 行政の効率化を計って下さい。無駄を省く事に力を入れてほしい。
27. 役所の人員を整理し、地域住民のサービスを充実させて欲しい。人づてに聞くと、ちゃんと仕事も出来ない人が公務員という職にあぐらをかいている。職を失って働きたくても働けない人が沢山いるのだから、仕事をしない人はやめさせるべきではないか。一生懸命働いている人もいるのに不公平だなと感じています。普通の会社のようにしっかり人材の評価をして欲しい。
28. 道路や公共工事の迅速化等、全てにおいてスピードアップしてほしい。
29. 転入して日が浅いため、桶川市の事は良くわからないが、アンケートを見ると住民に聞くより市長、議員、職員が全員で現場を確認して市政に反映したら良くなると思います。市長、議員の約束を実行したら解決し

	ます。職員の方も家庭ゴミを区分していると思いますが、疑問に感じませんか。住民に対するサービスですか。小さい事で解決してあげる事が大事だと思います（毎々ですよ）。袋も買わせて住民に対する行政サービスだとは思われません。郵便ポストもどこにあるかわからない。
30.	（１）市庁舎の建設を早急に実施し、行政をスムーズに、特に防災に設えるべきであると思います。（２）職員の意識改革を実施し、如何にしたら市民の生活を充実させることが可能か、常に考え実行することが求められていると思って頂きたい。
31.	縦割、横割の行政が１度で出来るものなら、いっしょに出来るものは１度ですませられないものかと常に思います。例えば、道路と下水、別々にやると出来あがるまでに５回掘り直し、すごい無駄を感じます。
32.	１．一層良くする。方法、資金があれば。これは不可能。２．土地の有効利用。残念ながら、全面積に限度あり。３．最後は人のアイデア。政策審議室が中心になって市職員の特に４０才前の全員に他業種との交流をして、沢山の知識体験を集約され、意識の改革を願う。優秀な人材、そしてそれを生かす。市政に携わる方々には感謝しております。
33.	公共施設は一部の人間が利用するだけこれ以上施設は必要ない。なぜならば施設を作れば工事費、管理費、人件費が必要になり無駄な税金を使う事になる。
34.	市役所庁舎の建設について、現在のプレハブ庁舎が手狭のため市民への行政サービスが遅滞するようであれば検討も必要と思います。日本全国で市庁舎がプレハブ建とは数少ないと思います。器より市民のためになる政行「力」を注いでいると確信致しております。
35.	歴史や伝統を大切にしながら、交通利便性を高め、医療福祉を充実させ、子供たちが伸び伸びと元気に成長していけること。このために市は住民が安心して暮していける方策を誠実に実施して頂くようお願い致します。
36.	行政が明確なコンセプトを打ち出し、街づくりのリーダーとして住民と行政による新たな街づくりを行なわなければ、単なる田舎のベッドタウンになってしまう。
37.	市役所の新しい建て物を、と思います。
38.	転入してくる時に市役所の人の態度が気になった。田舎らしくサバサバかわしすぎるのは、よくないと思う。ファミレスのアルバイトの人の方が気持ちのいい対応してくれる。どこの市役所も機械的な感じだが、愛想良くしてもいいと思う。
39.	桶川市の財政を黒字化する様、努力してほしい。・箱物を建てない（市役所など）。・無駄を省く（財政的に）。
40.	市役所が点々としてる。古く狭いので、庁舎整備を計画していけば、いいと思う。
41.	行政の向上。意識の改革。
42.	行政サービスもいいが、その負担を市民に頼る前にまずは、桶川市に利益をもたらす事を考えたかどうか。大型の商業施設、企業を誘致するなど、積極的に働きかけるべきです。桶川市は、隣接する市に比べどんどん遅れをとっているように思われます。社会主義思想の強い市や町は、発展しないと思います。このまま赤字経営をしていたら夕張のようになるのではないかと心配です。
43.	あらゆる面での行政の力を豊かにする事。人材育成、他市民の為にクリアに動ける体勢作り。
44.	公務員の質を良くすることです。危機感のない無能な職員に任せられない！それに尽きます。以前、桶川市役所に税金のことで書類を持って行ったら、お昼（１２時すぎ）だったのか、窓口のすぐ後ろにいた職員（３０代・男性）が「少年ジャンプ」を堂々と読んでいました。驚きです。民間にはお昼休みもなく交代で仕事もしますし、お客様が来ている時、ふざけた低レベルの対応はしません。ましてやマンガ雑誌を堂々と席に座って読んでいるとは…。一事が万事ムダな人は即クビにしてもらわないと、まじめに納税してられない。やてられない。
45.	いきあたりばったりの政策をやめる。
46.	職員採用は地元優先に採用し、庁舎が古いとか、ガタきてると言う職員を再教育してから、上下関係なく意見交換してのばして下さい。これから桶川を背負う人材を大切にして下さい。他市との交流も必要と思います。これからさらに高齢化が進みます。冷たい市でなく、思いある市に期待しています。
47.	いづれの分野でもスピード感がない。モデル地域を示して欲しい。
48.	ムダを省く。行政はサービス業だと意識して欲しい。今回、アンケートにべに花の種が入っていたのはお礼として素敵です。春に全世帯に配布したら良いのに…と思いました。べにばな祭り以外で、べに花を見る機会があればもっと桶川が好きになれると思います。
49.	役所・市民共に、市政を盛り上げられるように、主導していただきたい。
50.	市役所の職員の対応が悪すぎるので改善してもらいたい。
51.	視野を広く物事に当てほしい。
52.	市役所の土、日営業、又は分庁舎で行なえる事を増して欲しい。・子ども医療費を上尾の様に窓口支払いをしないで済む様に！！・上尾や北本に負けない街づくりを！！
53.	どちらの市も同じ様に財政が許さないと思います。桶川市は昔からの桶川です。のどかな時もあり、市民がおたがいおとなしい所もありますから、市役所の職員の皆様の大変さが判ります。役所のせまい所で御苦労様と存じます。市役所を働きやすい様に新しくなされたと存じます。働きやすい様にね、それからがんばって下さい。

54.	前ページでも書きましたが他役所と桶川市役所はすべての方が親切、丁寧でひとりひとり親身になり接して下さいます。悪口ではないのですが、以前の役所は番号札だけで笑顔もなく何しにきたと言う感じでしたが、桶川市役所は、御苦勞様ですと誰もが笑顔です。ほんの少しの事で嬉しいのです。いつまでも現状のままをお願い致します。ありがとうございます。
55.	ともかく、お金が市に沢山入る（落ちる）様にシステムを図る事。すべては、お金があつて成り立つもの（環境、健康…エトセトラ…すべてお金があつて良くなる）。
56.	箱もの行政はもう古いと思います。現在の桶川市は次々と施設を作っていないことが評価できると思います。団体やグループへの支援は最初は必要かもしれませんが、自立させていくことが必要だと考えます。行政が講座などを開き安価で参加できるようにするのはもう不要であると思います。すべてのことにおいて民間に任せられることは任せ、必要な支援を行っていくことで十分だと思います。道路や公園の整備もその地区を開発するものに負担を求める仕組みを作つてよいと思います。
57.	共産党の議席が無くなり、創価学会が居なくなれば住みやすくなると思う。市民課の職員は感じが良いが、年金、徴税の職員の態度が悪い。
58.	IT技術を導入して便利にしてほしい（このようなアンケートもネット上で可能なようにしてほしい）。
59.	新庁舎建設を急ぎ、複合的な施設で良いから加納地区の子供達の為に図書館を造つて欲しい。議員達は私利私欲で動かないで将来の桶川を見て欲しい。
60.	自分達が税金で楽なくらしをしてるからパソコンがない家を想像出来ないのかもしれませんが、窓口での対応に言葉を選んで頂きたい。・市長車の運転手を変えて頂きたい。市役所に右折して車を入れる時バスから降りた人が歩いていても平気でひこうとするので。
61.	市役所はとにかく「これは決まっていることだから」と線引をして、いっさいの融通が効かない印象がある。ある程度の線引は必要だが、民間のような臨機応変さが必要。お金をかけて新しく何かつくったりするのはなく、今あるものをアイディアで活用していく。書類・数値ばかり見てないで、もっと現実把握した上で、市政を！！
62.	桶川市役所庁舎建設整備。
63.	公民館の使用申込みなどのコンピューター化。
64.	桶川の良さをもう一度見直し、よい点は積極的にアピールしていく（上尾などに比してアピール不足）。行政がもっと市民の側に立って、市民目線で仕事をする。
65.	別件で分庁舎がもう少し市の施設として活用していただけるといいなあとと思います。図書館の分室等々。（再掲）
66.	市民レベルの活動状況をみてもしっかり、庁舎内の職員の方達の勤務時間内の態度みてもしっかり、市民も一体となり意識改革の必要性を感じる。究極のサービス業という意識をどれだけ持っておられるか。協働のまちづくりが絵に描いたもちにならぬ様に（職員）各人の意識、認識の“リーエンジニアリング”リノベーション。今更だが職員の教育徹底、ブラッシュアップ研修を切にのぞみます。※べに花の種ありがとうございます。蒔きます。
67.	行政、市民がより良い街づくりに向けて協力していく体制を整える。行政のムダを無くし、スリム化していく。
68.	区画整理という言葉でただ道路をつくるだけで、何もない。住宅も古くなり建て替えをしたくても高齢者が増え、それすらままならない。住民税は高い。なのにそれが、どこに反映されているかはっきりしない。古い住宅に住んでる住民に対しての市からの補助がおおいに必要である。
69.	昭和38年4月、桶川団地に移住して住み続けている。当時からの懸案である市庁舎の建設はどうしたのか。
70.	一日も早く新しい市政所庁舎の建設と駅東口周辺の整備を望む。
71.	市民の為に良い市制を作つてほしいです。官民一体となって努力していく他ないと思いますので、宜しくお願い致します。
72.	市職員を減らす。道路整備は一度で終わらず。同じ所を何度もしない。
73.	無理に新庁舎をたてず、何が一番必要な物か、市民とともに考えていってほしいです。逆に、あの古い建物は桶川市の節約のシンボルになるのでは？他の町や市くらべて見劣りしますが、それを逆にアピールしてみても？
74.	定年された方の力を大いに借りる。経験等。地域、又は年代層、子供を含むあらゆる発想、展開等を市民と行政が一緒になって考え実行する。部所には頭の柔い発想、転換のきく方を配置して欲しい。
75.	マインの駐輪場のシルバー人材の方々態度（大人数は必要ないのでは…）。
76.	イメージ的に暗いなと思います。市庁舎を近代的に明るい建物にしてみたり、と色々思います。
77.	より市政情報の開示を高め、先を見ずして行政をおこなって下さい。
78.	今の桶川市には何の取り柄のないと、私からみてもあまりにも活気のない市に見受けられる。時折、関東近隣の市（町）に趣味で出掛ける事が多いのですが、どこの市に行っても市の顔である駅近辺が整備されていることです。桶川市は経済的にも大変だと思いますが、市の先頭に立つ方々の努力が市民には感じられません。他の市と同じ事をしろとはいいませんが、この市のよい所を引き出し、個性ある将来若い人達がこの市に住んでよかったと思える市に作り上げる努力を、市民一丸となって行つていってほしいと思います。
79.	市役所の建て替え（暗く、狭い…）。※なぜ今頃この様なアンケートを実施しているのですか？すでに第5

	次までいっているのに、まだ具体的に計画が決まっていないのでしょうか？これでは後10年はかかりますネ。
80.	あと、分庁所でももう少し色々と手続きが出来ると有難い。それにしてもあそこの人はヤル気がなさそうに見える。
81.	隣接する市町村の状況をまず把握し、何が他市より劣っているのか、何をしなければいけないかを、まず持って検討して頂きたいと思います。アンケートの中でも、中山道を太宮方面から向って来ると、誰れしもが桶川の中仙道の街は明るくない、発展していないと言われる程。今後、歴史の町・文化の町、そして、美しい都市ができることを期待しております。頑張っ頂きたいと願います。
82.	桶川市役所の建て替え。
83.	新しい市役所を建設して欲しい。駐車場を大きくして欲しい。
84.	全てが中途半端な気がするので、目的をはっきりとして活動してほしい。
85.	新しい市庁舎を早く実現する事です。
86.	市役所早期移転。
87.	役所の方の対応が悪い印象を受けます。もちろん、丁寧な方も（特に女性の方や若い方）いらっしゃいますが、ある程度、年齢のいった男性職員の方々は、言葉も対応も丁寧でなく、いつからこの人と友達になったのだろう…という感じがして気分が良くありません。カウンターに行った際、長い間無視されたこともありましたが。今後気をつけて頂きたいと思います。
88.	何ごとにも積極的に関与して関心を増やし、他人の事と思わず対応する心を持つー行政も市民も。
89.	市役所、桶川駅の改築。特に市役所の建て替えを希望します。
90.	市に、プロの担当者を配置し、市民団体と共に具体化して欲しい。
91.	その場しのぎ的なことは止めて欲しい。選挙対策的なことも止めて欲しい。“子育てするなら桶川市”と言うなら“無料”を増やすだけでなく、どうすればよいかを考えるべき。経済的に産めない以外に環境的に不安があるから産めないというのがあります。・読みたくなる広報作りも必要。難しい言葉、用語等、見直しが必要かと思う。・自分が分かっている、相手も分かっていると考えている人が職員に多すぎ。市役所行って対応がイマイチと思うことがあります。
92.	それぞれの町会に1ヶ所、きちんとした掲示板を作ってください。・桶川駅東口の整備をすすめてください。桶川だけが近隣市から取り残されているようでさびしいです。市民に意見を求めるのではなく、市としてしっかりとビジョンをもってください。
93.	駅前、交通まったくダメ、市長ダメ。市役所の対応がなってない。
94.	行政のスリム化。企業（本社）の誘致。
95.	桶川市役所、桶川駅の建直しと東口駅前商店街の活性化と道路の拡大等。
96.	桶川駅、東口と旧南小学校敷地の開発。駅前道路を拡大し、旧小学校跡地に市役所を移転。行政に必要な申請交付等一ヶ所で一日で済ませるように、市役所周辺に店舗を収容する建物、そのために旧郵便局跡地、利用（駐車場）し中山道迄広々とした道路を整備してほしい。
97.	地駅西口の線路側のフェンスに使われていない地図が何枚もある。せっかくお花を植えて下さっているのに見えないし、残念です。市の職員はフットワークを良くして、すぐ見に行ってきた綺麗な町になるようにしてほしい。
98.	高額な住民税の用途を市民が納得のいく無駄のない行政を是非、心掛けて頂きたい。
99.	（1）情報開示を促進する。（2）守秘義務（市職員の）の大幅緩和により、行政の内容を市民に良く知らせる。又、職員の活性化、行政の効率化を図る。
100.	新しく行政サービスを行うときに市民の声や上層部の意見が中心になりがちですが、同様に現場の職員の意見も多く受け入れて、長期的に無理のない、行政運営をしてほしいです。
101.	市庁舎の早期建設。
102.	職員の皆さんは何処の職場の人も優しいのは有難い。感謝。
103.	市役所の職員が他に比べて高齢化しているので、50代以上の職員を有無言わず退職し、若返り化をはかって欲しい（50代職員が何で全体の半数いるのか？）。
104.	庁舎がとても老朽化しているので建て替えが必要だと思います。
105.	周辺の市町村と比べて、公共施設の割には住民税が高い気がする。良い意味で中途半端な町だが、今後、圏央道と17号バイパスが出来ると、市政の方向性をしっかり持つ事が重要でしょう。
106.	行政や生活環境（全て）も大切ですが、今の現実として住んでいる人間、特に高齢者の介護、医療関係の充実を早急に検討してもらいたい（もちろん住人全員の事も頭に入れてです）。駅東口開発も南小跡地も含めて、旧仲の商業再建も考える必要が有と思う。道路整地も高速道が出来た後の事を頭に入れ、今の計画の見直しも必要かもしれません。美しい街並みも有りますが、場所によっては役所の人がここは見ているかなと思うような所も有ります。今以上に市の定期的な市内パトロールというのもやれば、他の部分でも（ゴミなど）良い所、悪い所が把握出来るのではないかと。
107.	市役所を新しくする。

108. 市役所の方の応待はとても良いと思う。
109. 市役所を、もっとキレイにして欲しい。
110. 究極は市庁舎を建てる事（ぜいたくは言いません）。※それぞれの市に良い面、悪い面があると思うが、合併も一考〔さいたま市桜区の庁舎と桶川の庁舎では話しにならない。経済を建て直して頑張りましょう〕。
111. 年寄りの住みやすい街であってほしい。相談しやすい窓口、人材などがほしい。親身になって話を聞いている場所がほしい。相談できるところが、現在わからない。

7-2-2 財政運営 （29 件）

1. 税金が高い！！
2. 我々が納めている税金等をもっと平等に使用して欲しい。無駄な経費をおさえて、有意義に使って欲しいと考える。
3. 行政も民間企業を見習い、無駄の排除を徹底し、市民の為に有効に税金を使用する。大阪府の例で新聞代を見直したら、年間8千万円も無駄があったとの事（テレビ、ニュースより）。行政の本質は、これに象徴されるもので、信頼できない。
4. 予算の無駄を省き、大切に使う。
5. 不必要な公共工事の削減・医療保険制度の拡充。
6. 他の市町村より税金が高過ぎると思う。
7. 周辺の市町村と比べて、公共施設の割には住民税が高い気がする。
8. いろいろな活動団体がある中、必要、不必要な物がたくさんあると思います。これから力を入れたい活動も視野に含め、見直しが必要なところはすぐに直していった方がいいと思います。消防団も10分団もいるのかどうか疑問です。
9. 税金の無駄使い、又無駄と思われる様な建物は、作らないでほしいと思います。市民が苦しむ財政破綻などにならない様に、市政を運営してほしいと願っています。
10. 無駄な出費をおさえる市政。
11. 産業等の誘致で財源を確保し、環境整備をする。
12. 市職員の人件費をとりあえず2分の1にすること。
13. 企業誘致で税収増を計る。
14. 桶川市の今後には財政の問題が有る。莫大な市債の返還を次世代に残さない対策が必要である。市町村合併の推進による行政コストの削減（速やかな住民投票の実施）。上尾市と比較して町造り対策が貧弱（公園の規模を見れば歴然）。小学校の教育を見て、県内の先進市と比較して新しい試みに対する意欲が感じられない。
15. 税金の無駄使いをしない事。
16. 住民税の負担の少ない市。
17. 市役所職員の方々の給料見直しをされたほうがよろしいかと思います。知人といいますか、知りあい程度の方ですが、月の半分は出勤しなくとも月給を頂いているそうです。欠勤理由はしかるべき理由ではありません。そういった税金のムダ使いは決してあってはならないと思いますので厳しく取り締まっていただきたい。良く思える話ではありません。
18. なるべく幅広い年齢層からの意見を集め、議会等で積極的に議論し、「無駄を省き」限られた財源を有効に利用してほしい。
19. あと住民税がまわりの市にくらべて高い。高い割には、あまり市がなにをしてるかわからない。
20. 公共施設は一部の人間が利用するだけこれ以上施設は必要ない。なぜならば施設を作れば工事費、管理費、人件費が必要になり無駄な税金を使う事になる。その様な税金はごみの減量化のテスト費用に使ってほしい。又ゴミ消却した物を何らかの物に使えるか専門の会社に依頼して地球温暖化防止に努めてほしい。又、税金未納者については完全納入する様努めて下さい。あと生活保護者、良く調べて支給してほしい。不正受給者撲滅に努めて下さい。
21. 桶川市の財政を黒字化する様、努力してほしい。・箱物を建てない（市役所など）。・無駄を省く（財政的に）。
22. 税金の無駄使いをしない。住民不在の事業を行わないで、住民の声を市政に反映させる。街づくりについて積極的に情報提供を行う。福祉の充実。
23. 桶川市ホームページを携帯でも閲覧出来るようにしてほしい。桶川市の負債をへらす努力をもっとすべきだと思う。
24. 行政、市民がより良い街づくりに向けて協力していく体制を整える。行政のムダを無くし、スリム化していく。
25. 財政困難な昨今、何をするのも制限あり。税金の無駄使いをやめ、市民が予算をつけてほしい所に配分を。
26. 高齢者の負担が少なくなり、安心して老後を過ごせるようにして欲しい。低所得者でも安心して子供を産み育てられるような支援を強化して欲しい。（再掲）税金を安くして欲しい。
27. 子どもや高齢者、持病者、障害者が安心して低医療費で高度な医療が受けられるようになってほしい。まずは、桶川市の税金の使い道を考え直す。市

28.	医療行政最低、道路行政最低、そのくせ無駄が多い。（R 1 7 号に繋ぐ道路の建設（地区、区画整理内）など）。都市整備に携わる職員の能力が低すぎると思われる。大型公共工事を止め（凍結ではない）、実際の生活を中心にした公共工事にする事である。又、能力ない職員を整理して、広く能力の有る人材を求めるべきである。このアンケートに、どの位費用がかかっているのか、コスト意識が低すぎる。
29.	また、人事も、国が行っている様な、大企業からの交流等により、専門家の知識もある方が便利です。積極的に税収を得られる取組を行うべきです。

7-3 広域行政、地方分権の推進

7-3-1 広域行政 （2 件）

1.	近隣の市町村と色々な事にとりくんでいってほしい。
2.	近くの市と情報交換し、お互いに良いところを勉強しあう。

7-3-2 地方分権 （18 件）

1.	反対ばかりではなく、合併する方向で進んでいくようにしてほしい。現状では桶川市だけどんどん遅れてしまおうと思います。中山道を走っていると、上尾、北本、鴻巣の発展はかなり進んでいるように感じます。桶川市をよくするのも、悪くなるのも、市長・市民であると思います。
2.	1. 上尾市と桶川市の合併により、二つの市の良い所をもっと強化していく。2. 全国及び世界各地との姉妹都市関係を結んだり、他地域との交流を深めて桶川市の活性化を図る。3. 桶川市の文化活動を活発にして、桶川市に対する振興を深め、良好な教育を行い、今後すばらしい市民を発掘していく。4. 桶川市のイメージを上げる為、民謡を作ったり、郷土品の開発、農業・工業・商業から市民との交流を促進したり、健全な街づくりをする。
3.	他市との合併を実施し行政効率を上げる。
4.	早く、隣接の自治体と合併して無駄な公務員、議員を大幅に減らすこと！
5.	小さな市では予算的にできることに限りがあります。他市との合併に期待していたのですが、残念です。まだチャンスはあると思いますが…。
6.	合併（上尾、北本等。ゴミ処理、水道、警察など共同自治体と）本市のみでは財政的に厳しいのではないかと？
7.	上尾市との合併。
8.	農協合併と同様に、上尾市、北本市と広域合併をし、南北本駅（仮）の早期建設を進めてもらいたい。
9.	上尾市との合併。
10.	合併する。
11.	上尾市との合併。対等合併ではなく、上尾市の一部として取り込んでもらう。
12.	何をやるにしても税金が必要となる。その為には合併等拡大すべきではないか。
13.	合併して人口を増やし、企業誘致を図り、安定した財源を確保して頂きたいと思います。
14.	他市との合併がいいと思います。市役所を建て直す必要がなくなるからです。
15.	文化、芸術、文学関係の方針がないのが不満。その点が本庄市や所沢市と全然ちがう。経済的だけでなく、もっと自立した自治区になって欲しい。できれば上尾市や北本と合併しなければ、そうした総合的な政策はとれない。町が小さすぎる。
16.	桶川市の今後には財政の問題が有る。莫大な市債の返還を次世代に残さない対策が必要である。市町村合併の推進による行政コストの削減（速やかな住民投票の実施）。上尾市と比較して町造り対策が貧弱（公園の規模を見れば歴然）。小学校の教育を見て、県内の先進市と比較して新しい試みに対する意欲が感じられない。
17.	国道 1 7 号沿いに大規模小売店、圏央道の桶川 I C や J C T 周辺で住宅地以外の広大な土地に大企業の工場等（北本市へのグリコ工場進出の例のように）誘致して、法人税収入を増やし、地域の活性化を図ってほしい。・上尾市、北本市、伊奈町との 3 市 1 町合併を改めて堅実に推進し、広域的行政サービスの質的向上と広域的自然環境の保全の実現を望む。
18.	圏央道の恵みを最大限に活用。市に税収が大いに潤う事。例、1. 泉福寺〔東の比叡山〕の整備、道路、道の駅→S P A、企画し宣伝する。観光・人集め（集客）・アクセス。2. 物流収益性の高い企業〔限られた土地である為〕誘致。究極は市庁舎を建てる事（ぜいたくは言いません）。※それぞれの市に良い面、悪い面があると思うが、合併も一考〔さいたま市桜区の庁舎と桶川の庁舎では話しにならない。経済を建て直して頑張りましょう〕。

8 その他

8-1 その他（67件）

1. 問33にある1～13のことは全部あれば本当に理想のまちであると思います。何を優先して実現していくかが難しいところです。先づ桶川市に根づかせる為に、その人材を育てていかなくてはならないのでは、急性には何事も創り得ないと思います。
2. 市民が他市へお金を落さなくてすむ様、問33の8、9、10に力を入れてもらい、活気のある町に。
3. 市民1人1人がしあわせになる事を考え、実行にうつしてほしい。特に年寄り、子供に税金をいっぱい使ってもおしくない。
4. 桶川は「何も無いのいいところ」と引越して来た時、近所で言われました。何か特徴のあるものが欲しい。〈全国にアピールできるような…〉
5. 歴史のある桶川市ではありますが、駅の汚れも気になり、又、商業環境も充実しているとは思にくい（駅前にはマインのみ）。これから国際化が進む中で海外からの住人希望も少なくないはず。今後は、共存をモットーに歴史の良さを活かし未来の子供達が安心して心から桶川市を好きである様、高齢者を敬い、若者の意見を上手に聞入れ、バランス良く各人、認識を持ち、生活をしていきたいです。
6. 人口が減少しないよう、魅力的な街作りをする。住みやすい街であることを内外にアピールする。
7. 短期計画※子育て支援、若夫婦が子育て支援により生活しやすい市にし定住する、町づくりを目標に活動する。中期※地域活性化、バイパス、高速道の開通により、環境にやさしい商業、工業の産業活動の活発を計る。長期※都市計画、古くなった市役所新設や桶川東口の整備により、周辺地域から人が集ります。若い人が定住、税収も高くなり、市運営も良くなる。
8. ・幹線道路ができ、交通の便がよくなり、それによって産業が活発になること。人も集まり活気ある街へ。・子どもたちが伸び伸びと育つよう、スポーツがさかんで色々なことにチャレンジできる催し（家庭に負担にならない予算で）、イベントを開催すること。
9. “不況”とは世間一般の共通事項ですが、そこから端を発するような住民の不安、不満やささいなトラブル～本当に起こってはいけない犯罪まで全く無くならないまでも、行政の力で抑止、軽減されるような方向性とはどのようなものでしょうか？抜本的な政策はこれだという風に小生とても言えませんが、そういった方向性を私自身も考えていきたいです。
10. 子育てや高齢者に対して力を入れた行政対策を行う事で、働きやすい環境を作ってもらいたい。また、大宮～下り路線に対して知名度が低いので、何か1つでも市全体で力を入れた市政を行なった方がよいと思う。
11. 35年前に住民になりました。まず道路が狭くて砂利でした。舗装になり、ガス、上・下水道が整い西口側発展の基礎道路が出来ました。しかし地域密着の商業店舗がなくなり時代の流れとはいえ、残念です。少子高齢化の中で減収が現実です。暮らしと環境作りは行政だけが作るものでなく市民一人一人が考えて実行したいものです。風致地区の鎌倉を歩くとどの家の前にも花鉢が置いてあり道を歩く人を楽しませてくれます。行政住民の要望をいかに効率良く達成させる事が出来るか“考える集団”になって下さい。不況による不条理の中、人間育成を第1として、小都市だから出来る事柄をみつけ誇れる街にて生涯を終りたいと思います。がんばりましょう！！
12. 桶川市へ越して来て、まだ1年余。このアンケートに答えるにもわからないことが多くて、そのままにしています。駅に近いこともあり、今は便利で快適に過ごしています。子供達はこちらで生活して長くなり、生涯住むことでしょう。子供や孫達が安心して暮らしていけるような町づくりをお願い致します。
13. 住み良く、生活環境の整った町。
14. 子ども、高齢者が一番住み良い町になりますよう。
15. ここ最近、桶川市は子どもを育てやすいまちにしたいようだが、そこばかり力を入れて、税金を使うのはやめてほしい。誰が市民税払ってると思ってるんだ！？独身の者にとっては何の得もなく、こんなに苦しい生活をしているのに高い税金を取られ、子どもは医者代タダとか勘弁してほしい。子どもを産んだら親が責任もって下さい。私たちの親は、自分たちのお金で私たちを育てました。もうこれ以上たくさんです。子どもがいるのって、そんなにエライんですか！？
16. 病院など、となりの市に行かなくてもすむ様な市。何をしても隣町に頼らない町。買物、病院など、たとえば北上尾、上尾へ大宮へと。
17. 金もうけの町ではなく、住む町である。
18. 市民の心がけと努力。よいリーダーを選ぶこと。
19. 私は実家が群馬なので高崎線で家を探しました。都内への交通も1時間以内で上尾のようなゴミゴミした感じも苦手なので桶川にしました。住宅地を増やすと上尾と同じになってしまうと思います。分別などのエコ、住みやすさを売りにして頂けたら嬉しいです。
20. 東京圏のベッドタウンでもあるので、教育環境を整えれば転入者は増えるのでは（群馬県太田市にアメリカンスクールが出来、そこに子供を通わせる目的で転入者が増えたという事例もありますし。）。東京都内に充分通勤範囲内なので、何か売りになるものがあれば、注目される要素はあると思うのですが。

21.	桶川市に限らず、埼玉県都市は東京のベッドタウンとしてのイメージしかない。思いきって良い中学、高校、大学を誘致して、若い人を中心とする活性化をした方がいいとおもいます。また、比較的今の所は住居費が少なくで住めるので、結婚してこれから子供を生もうとしている世代が住みやすい町にすれば、もっと若い世代が集まって愛される町となるのではないのでしょうか。
22.	町を歩いていてもどなたにも笑顔で話かけられるそんな町になったらいいな一と思って居ます。桶川はすばらしい住みよい町だと思います。私も46年間お世話になっております。
23.	・政治であまり取り扱われない単身者などへの配慮や皆がのぞむ物を中心に、防犯など、転入者が住みやすい価値の有るまちづくり。・桶川のバリューアップ（知人は知らない方が多い）。・医療機関の充実。・魅力有るまちづくり。現在あまり感じない。
24.	市の活性化と生活面の安定、安心。
25.	桶川市を日頃からよく思っていれば一層よく思えてくると思う。
26.	倫理感と思いやりを持った人間性。教育基本法を先取りして日本古来の柔道、剣道等、市の援助で充実した施設作り（大人も子供も男女も）。
27.	市の財政を安定させる為、工場誘地を積極的に進め雇用関係を充実させ新しい市民をとりいれ医療福祉文化、スポーツ等の充実を計り進めていけばと思います。
28.	子育てと高齢者が安心して住める町。
29.	今以上に新たな道路・駐車場をつくらず、脱クルマ強制社会を目指してほしい。道路整備に向けられる予算を市内循環バスの改善・充実や福祉・教育に回す。
30.	高齢者ですので、自分を中心になりました。川田谷地区は特に農家、何世代も続いた人が多いので、都会生活をするとなんにも不便を感じます。以前よりは大幅改善されて来ていることは感じられます。不十分なアンケートで申し訳ありません。桶川市の発展を祈ります。
31.	市民が安心して生活できる街である様にと願っています。
32.	未来を担う子供、高齢者が安心して暮らせる所であって欲しい。そして問33の9（雇用環境が充実して、働く場所の多いまち）で答えた部分が充実していれば本当に日本一の桶川市になると思います。
33.	誰でも利用できる公共施設が充実しているといいです。町の行事、施設、雰囲気をもっとオープンで参加・利用がしやすいといいのですが…。
34.	※高崎線沿線桶川市のこれまでの遅れだれに聞いても答えは一つ。これから20年後桶川市の顔、駅前通りの開発には無を感じる。これから圏央道も出来、市も発想の転換をして新しい駅通りを造る事などはいかなるものなのか。新しい街造りにこだわらず、今の街並を売り物にする古さを尊重する案など、財政難？県からの財源の確保？背伸びするより身の丈で、ここだけは桶川が1番！！市街地に生活用品・食品等の買物が出来ない。中心部など住みにくい町になった。
35.	余りたくさんありますので何を書いたら良いか解りません。都会から入って来た人々が多いので、そんな事も中心に考えた方が良いでしょう。このままでは田舎の町そのままです！！
36.	桶川に行ってみよう、〇〇が欲しい、おいしい、楽しいからというのが、通年で何か1つでもあると良いのにいつも思います。
37.	桶川市として近隣の町とは違う特長を持ち、アピールする事が必要ではないか。
38.	多くの子供達の声が聞こえる街であって欲しい。少子化をストップさせる施策を望みたい。
39.	本当に大事なものをなくさないで下さい。沢山のいろんな意見があると思いますが、アンケートに答えながら、反対に思ってしまった。“どうしていきたいと思っているんだろう”と…。私に関わっていないことや、分からないことについては、アンケートに答えられないので、〇をつけられませんでした。すみませんでした。
40.	私は田舎育ちなので、桶川の田舎らしさに引かれているのかもしれませんが。そういった良さを残しながら、公共施設、医療、福祉が充実していってベストだと思う。
41.	田舎は田舎らしくすべき。
42.	子供が育つ環境、教育環境、自然環境をより強化してそれをもっと外へアピールしていく。駅周辺の商業の活性化は必要だと思う（駅周辺は、川越市をモデルにしても良いのでは）。環境の強化としてもっと施設の増設が必要だと思う（医療、教育、子育ての施設）。
43.	子供や老人の為に住みやすく、緑豊かな環境と駅前の都市造りに力を入れて、市民に住みやすい町に。
44.	子育てが安心してでき、福祉が充実していて、住宅地、農業、工業、商業地、そして自然環境がバランスよく、道路が整い、誰もが憧れる様な市に向って欲しい。市に、プロの担当者を配置し、市民団体と共に具体化して欲しい。
45.	市民の方々が参加しやすい行事などを増やし、街、全体を盛り上げてほしいです。子ども達が生活しやすい東京圏のベッドタウンでもその人達も参加できる行事、イベントをしたらいいと思います。
46.	あまり特徴はないと思います。上尾ではなく、北本とも違う何か欲しい。シャッター街を増やさない為に、起業推進を。ホームページは活用してください。反応が楽しみです。こどもと高齢者が休日を一緒に過ごせる場所を増やして、家族の形を思い出させて下さい。行政はサービス業だということを忘れないでください。
47.	高齢者や福祉の充実した街。希望を持てる桶川。
48.	地域の人のつながりを強くすること。市域全体に勢いが感じられず、暗い感じがある。

49.	環境を良くし、総合病院のような大きな病院が欲しい。子どもや高齢者の住みやすく負担にならない（経済的に）ような市にして欲しい。
50.	駅前ショッピングセンター等の活性化。田舎町的な雰囲気からの脱却。
51.	医療の充実（24時間体制での病院の確立）。2. 自然と文化の融合（高齢化社会に向けての）。3. 体力作り（スポーツ施設の充実）…少子化・高齢化…。
52.	1. 桶川駅東口の都市開発、小学校跡地及び駅通り商店街を一体として開発、西口同様。バス停、駐車場、公共施設を含んだ商業施設を誘致し、駅利用者及び近隣より集客する東側の核作りを行う。2. 人口増の継続として市内転入者及び転出予備者の確保。1）制度面の優遇を行う。転入後期間に応じる。2）桶川駅利用者の広域行政、井戸木、上地区等。3）中、小売業者を東口拠点に集め、次世代経営者を育成する。
53.	・首都高速入口（与野）までが遠い。もっと近くに造ってほしい。・今年4月に転入してきましたが「桶川市」という名前から、友人達に「治安の悪い、怖い所」とよく言われます。悪いイメージを取除けるような明るい話題を世間に提供してほしい。
54.	大型書店をつくってほしい。もっと知的欲求の満たされるまちになってほしい。
55.	桶川市に限らず、高齢化が進み、経済の伸び悩み中、多くの人々が考える事は、おそらく定年後も働ける環境や老後の経済保障でしょう。自治体の負担を減らし、一人一人の自立できる街づくりが本来の桶川市のコンセプトではないでしょうか？そんな中、私の創作した街の様なものが市の力で現実的になればと思います。政策審議室様の方で関心を持たれた場合には、ご連絡して下さい。
56.	桶川駅東口の商店街が駐輪場をしているのではなくて、団体となり活性化をはかり、商店街としての雰囲気作り出来るだけでいいので、努力をし、いずれは川越のような街を目指してほしいです。合併などはせずに小さな市でも一人一人にやさしい素朴な桶川市が私にとっては、とても住みよい市だと考えます。
57.	ショッピングモールをふやす。大きい病院をふやす。若者が楽しめる場をもうける。
58.	駅周辺の整備、特に東口駅通りはひどい。買い物に不便。ここで買おうという店がなく駐車場もないので、どうしても上尾等、他市に行ってしまう。マインがあるが、申し訳ないが中途半端なので、イオンモールみたいな一カ所で買い物が済む所がほしい。べに花にしても、駅にしても、商店にしても、中途半端なので、一つでも良いので、これはという自慢できるものがほしい。
59.	・桶川駅東口周辺の市街地の活性化をする。・窮屈さを取り払い、伸び伸びした環境にする。・子育ての支援、援助体制の充実などの環境を良くする。・人口増になる街づくりをする。
60.	東口駅前商店側を全て取り除き、中山道までの地域を近代的な街にして下さい。また、せっかく江戸時代からの歴史ある街並みをもっと利用し、歴史に興味ある人々が観光できる川越の様にして下さい。大変だと思いますが、じきに、軌道に乗れば、桶川市が豊かになりますのでよろしくお願いします。また、人事も、国が行っている様な、大企業からの交流等により、専門家の知識もある方が便利です。積極的に税収を得られる取組を行うべきです。桶川市を有名にしていくことが大切ですが、ストーカー殺人事件のイメージではなく、クリーンなイメージアップへの脱却をお願いします。
61.	市役所の土、日営業、又は分庁舎で行なえる事を増して欲しい。・こども医療費を上尾の様に窓口支払いをしないで済む様に！！・上尾や北本に負けない街づくりを！！
62.	◎現在、西側地域に文化施設が集中、東部地域に工業を誘致、図書館併設文化施設を、坂田・加納方面の活性化を。◎桶川市唯一の文化の殿堂、響の森市民ギャラリー、借りるのに苦労している。市民の公平、また収入を上げる販売目的の業者に貸し出しするのは如何なものか。芸術文化発表の場として、桶川文化発展の場としてのギャラリーでありたい。◎ギャラリーの使用予約方法の改善を望む（インターネットなど）。◎アート展、絵画等展示作品（プチホール）では照明が不足していて、せっかくの作品も台なし、展示物に対応出来るよう照明など施設の改善を望む。
63.	（1）市役所の職員が他に比べて高齢化しているので、50代以上の職員を有言無言を問わず退職し、若返り化をはかって欲しい（50代職員が何で全体の半数いるのか？）。（2）桶川駅東口開発が遅れすぎている。早急に商業地化にして欲しい（民家は駅通りにはいない）。（3）老人人口が多すぎる。若者の街へと変えて、老人を減らして欲しい。
64.	1. 上尾市と桶川市の合併により、二つの市の良い所をもっと強化していく。2. 全国及び世界各地との姉妹都市関係を結んだり、他地域との交流を深めて桶川市の活性化を図る。3. 桶川市の文化活動を活発にして、桶川市に対する振興を深め、良好な教育を行い、今後すばらしい市民を発掘していく。4. 桶川市のイメージを上げる為、民謡を作ったり、郷土品の開発、農業・工業・商業から市民との交流を促進したり、健全な街づくりをする。
65.	桶川駅前東口前の整備。道が狭くて危険な為、ロータリー等も含めて広く安全に通れる様に何より一番にとりかかるべきなのでは。また、上尾からくる中仙道は広く工事をしているが桶川に入ったとたん狭くなる。桶川の行政は力がないのだと実感する。また教育面でも特色なく、また住宅街はせまく公園もない為、子供が元気にあそべない。子供がいない街は廃れていくのでは。教育や公園等を特色を付けて充実させ、他市からもあそびに来る、転入したくなる様な、子育て世代にもアピールできる様にすべきだと思う。子供が多い街は元気になれるのでは。公園、スポーツは他市へ、買い物も他市、仕事も他市。観光も教育も。桶川は寝るだけの場所だと思う。他市町村を研究しては？
66.	子どもや高齢者、持病者、障害者が安心して低医療費で高度な医療が受けられるようになってほしい。環境、

雇用などに力を入れてほしいと思う。道路、通学路、安全な道路環境にしてほしい。まずは、桶川市の税金の使い道を考え直す。市民一人一人が住み良い桶川市にしようと思う事。

67. 独創性のあるまちづくりをしてほしい。国内ではなく、海外都市を見習うような。



参考資料
依頼文及び調査票



市民アンケートのお願い

皆様には、日ごろより、市政に対しご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、市民の皆様の市政に対するご意見やご要望をお聞きし、平成21～22年度にかけて策定を予定している「第五次総合振興計画」の資料とするために、アンケートを実施することになりました。

このアンケートは、桶川市に住民登録をされている18歳以上の方から、無作為に3,000人を抽出させていただきました。

なお、このアンケートは統計的に処理し、目的以外には利用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成21年8月

桶川市長 岩崎 正男

※ご記入にあたって

1. お答えは、必ずあて名のご本人がお答えください。
2. お答えは、該当する番号に○をつけてください。なお、質問によっては回答が複数になるものもあります。
3. お答えの中で「その他」を選んだときは、その内容を（ ）内に具体的にご記入ください。
4. この調査について、わからない点がありましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

**【お問い合わせ先】 桶川市 政策審議室 電話：048-786-3211（代）
（内線）1226、1356**

◎アンケートにご記入いただきましたら、同封の返信用封筒（切手不要）にて、

9月7日（月）までに郵便ポストへご投函いただきますようお願い申し上げます。

～べに花の種～

桶川市では、「べに花の郷づくり」を推進しています。
アンケートへのご協力のお礼として、種を同封させていただきます。
ご家庭などで育てて頂けると幸いです。



桶川市第五次総合振興計画 市民アンケート

桶川市の住みやすさや生活環境についておたずねします

問1 あなたは、今住んでいる桶川市を住みよい所であると思いますか。（○は1つ）

1. 住みよい 2. どちらかといえば住みよい	4. どちらかといえば住みにくい 5. 住みにくい
3. ふつう	6. わからない

問1-1 「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。（○は2つまで）

1. 自然環境がよい
2. 道路の状況がよい
3. 都市基盤施設や公共施設が充実している
4. 住宅(生活)環境がよい
5. 通勤、通学、買い物の便がよい
6. 子供の教育環境がよい
7. 人間関係がよい
8. 住み慣れている
9. 騒音、振動、大気汚染等の公害がない
10. 災害の心配が低い
11. 商売や事業がしやすい
12. 防犯面で安全・安心である
13. 高齢者支援が充実している
14. 医療機関が充実している
15. 障がい者支援が充実している
16. 文化活動が充実している
17. その他（ ）

問1-2 「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。（○は2つまで）

1. 自然環境がよくない
2. 道路の状況がよくない
3. 都市基盤施設や公共施設が充実していない
4. 住宅(生活)環境がよくない
5. 通勤、通学、買い物に不便
6. 子供の教育環境がよくない
7. 人間関係がよくない
8. 住み慣れていない
9. 騒音、振動、大気汚染等の公害がある
10. 災害が心配である
11. 商売や事業がしにくい
12. 防犯面で不安を感じる
13. 高齢者支援が充実していない
14. 医療機関が充実していない
15. 障がい者支援が充実していない
16. 文化活動が充実していない
17. その他（ ）

問2 あなたは、桶川市の生活環境について、どのように感じていますか。それぞれの項目について該当する番号を選び○をつけてください。

	満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である
(1) 快適さについて					
ア みどりの豊かさなどの自然環境	1	2	3	4	5
イ 川などの水辺と親しめる環境	1	2	3	4	5
ウ 音や振動などの静けさ	1	2	3	4	5
エ 空気のきれいさ	1	2	3	4	5

(2) 衛生について					
オ 家庭ゴミの収集・処理	1	2	3	4	5
カ し尿や家庭雑排水の処理	1	2	3	4	5

(3) 安全性について					
キ 信号機・ガードレールなどの交通安全施設	1	2	3	4	5
ク 地震や風水害などへの災害対策	1	2	3	4	5
ケ 防犯灯などの防犯施設	1	2	3	4	5

(4) 便利さについて					
コ バスの利用	1	2	3	4	5
サ 鉄道の利用	1	2	3	4	5
シ 買い物・金融機関などの利用	1	2	3	4	5

(5) 公共施設等について					
ス 保育所や幼稚園などの施設	1	2	3	4	5
セ 小学校や中学校などの施設	1	2	3	4	5
ソ 子供の遊び場や公園など	1	2	3	4	5
タ 道路の整備状況	1	2	3	4	5
チ 下水道の整備状況	1	2	3	4	5
ツ 趣味や学習のための施設	1	2	3	4	5

	満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である
(6) 保健医療・福祉について					
㊦ 健康診査などの保健活動	1	2	3	4	5
㊧ 病院・診療所などの医療機関	1	2	3	4	5
㊨ 保育所・放課後児童クラブ等子育て支援サービス	1	2	3	4	5
㊩ 高齢者福祉サービス	1	2	3	4	5
㊪ 障がい者福祉サービス	1	2	3	4	5

(7) 教育・文化について					
㊫ 図書館や公民館など社会教育活動	1	2	3	4	5
㊬ 文化・芸術活動	1	2	3	4	5
㊭ スポーツ・レクリエーション活動	1	2	3	4	5
㊮ 生涯学習の機会・内容	1	2	3	4	5
㊯ 国際交流の推進	1	2	3	4	5

(8) 地域社会について					
㊰ 近所づきあいや地域のつながり	1	2	3	4	5
㊱ 自治会・町内会等の地域活動	1	2	3	4	5
㊲ 子供を育てる場所として	1	2	3	4	5
㊳ 高齢者が生活する場所として	1	2	3	4	5

(9) 市政について					
㊴ 窓口・電話口での職員の対応	1	2	3	4	5
㊵ 住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	1	2	3	4	5
㊶ 広報「おけがわ」の内容	1	2	3	4	5
㊷ 市のホームページの内容	1	2	3	4	5
㊸ 行政のスリム化	1	2	3	4	5
㊹ 市民意見・要望の市政への反映	1	2	3	4	5

桶川市のまちづくりについておたずねします

まちづくり全般について

- 問3 下記の項目のうち、ここ数年で（桶川市に転入して間もない方は、お住まいになってから）よくなったと感じる項目を3つまで選んで、その番号を「回答欄 ア」にご記入ください。
また、もっと住みよいまちにするために、これからの市政において、特に力をいれるべき項目について、下記の中から3つまで選び、その番号を「回答欄 イ」にご記入ください。

回答欄	ア よくなったもの 3つ			
	イ 力をいれてほしいもの 3つ			

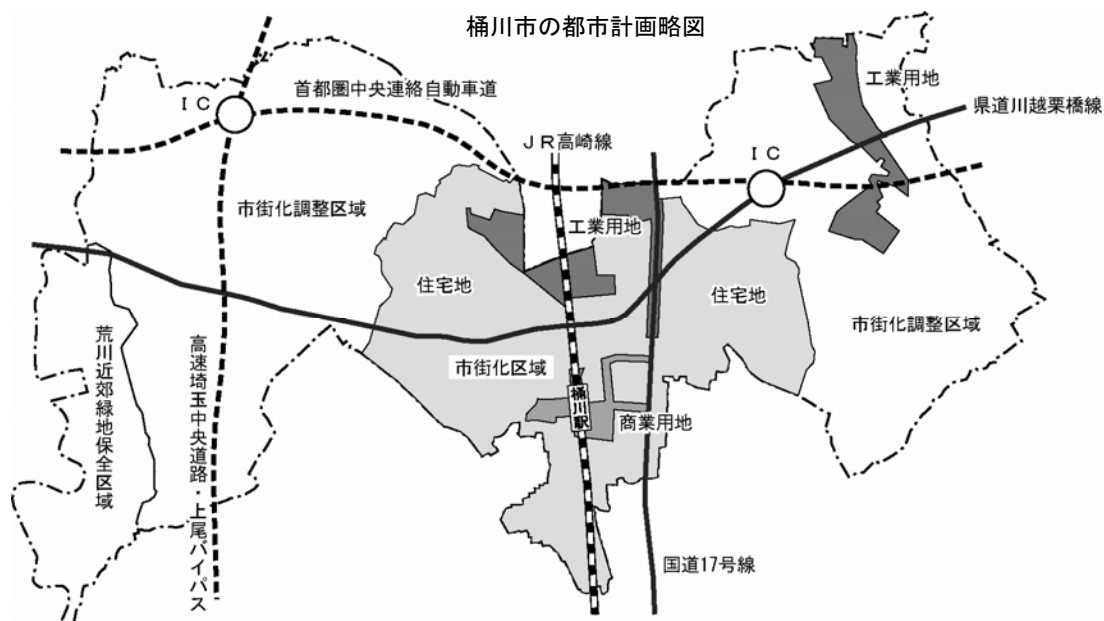
- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 土地利用の適正化 | 22. 女性の地位向上（男女共同参画） |
| 2. 市街地の整備 | 23. 情報提供の充実 |
| 3. 桶川駅の整備 | 24. 国際交流の推進 |
| 4. 市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備 | 25. ボランティア活動の支援育成 |
| 5. 身近な生活道路の整備 | 26. 農業の振興 |
| 6. 上水道の整備 | 27. 工業の活性化、企業誘致 |
| 7. 公共下水道の整備 | 28. 地元商業の振興 |
| 8. 治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備 | 29. 雇用対策 |
| 9. 自然環境の保全 | 30. 桶川駅周辺の中心市街地の活性化 |
| 10. 良好な住宅地の整備 | 31. 観光振興 |
| 11. 街並み・景観づくり | 32. スポーツ・レクリエーションの振興 |
| 12. 信号機など交通安全施設整備 | 33. 学校教育の充実 |
| 13. 公害防止対策 | 34. 生涯学習の振興 |
| 14. 消防、防災、防犯対策の充実 | 35. 地域文化の振興 |
| 15. 公園・緑地の整備 | 36. 広域行政の推進 |
| 16. ゴミの減量化やリサイクルの推進 | 37. 公共施設の市町村間の相互利用の推進 |
| 17. 保健や医療の充実 | 38. 行政のスリム化 |
| 18. 高齢者福祉サービスの充実 | 39. その他（ ） |
| 19. 障がい者福祉サービスの充実 | 40. 特になし |
| 20. 出産・子育て支援サービスの充実 | |
| 21. こども医療費の無料化の充実 | |

桶川市の土地利用と都市整備について

桶川市では下図のように都市計画区域を設定し、まちづくりを推進しています。

桶川駅周辺は商業用地、JR高崎線の沿線両側は住宅地で沿線中央北側と東部には工業用地、東部と西部のほとんどは市街化調整区域で農地が高くなっています。また、現在、西部を南北に縦断する上尾バイパスや北部を東西に横断する首都圏中央連絡自動車道の建設が進められています。

これらを踏まえて、今後の土地利用の基本的な方向性について、問4～問8にお答えください。



問4 桶川市の将来を考える上で、土地利用を計画的に図っていく必要がありますが、今後どのような方向性が望ましいとお考えですか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 住宅地を増やす | 5. 開発を抑制していく |
| 2. 工業用地を増やす | 6. 現状のままでよい |
| 3. 商業用地を増やす | 7. その他() |
| 4. 農地の保全を進める | |

問5 今後の住宅地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------------------------|-------------|
| 1. 市域全体に住宅地を増やしていく | 3. 現状のままでよい |
| 2. 街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在の住宅地の質を高める | 4. その他() |

問6 今後の工業用地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。(〇は1つ)

- | |
|---|
| 1. 積極的な誘致を行うため、新たな工業用地の造成を推進する |
| 2. 住宅と工場が混在している地域を解消するため、市内中小企業用の工業用地の造成を推進する |
| 3. 現状のままでよい |
| 4. その他() |

問7 今後の商業用地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。
(○は1つ)

1. 桶川駅周辺の商業機能の充実を促進する
2. 幹線道路沿いへの大規模商業施設の誘致を推進する
3. 住宅地の近くに近隣型商業の分散立地を図る
4. 現状のままでよい
5. その他()

問8 今後の市街化調整区域内の農地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。(○は1つ)

1. 農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく
2. 農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者と市民とのふれあいの場を形成していく
3. 農地を計画的に住宅、公園、商業施設等への転用を図っていく
4. 現状のままでよい
5. その他()

問9 市における長期的な都市整備に関する事業項目について、どのようにお考えですか。
該当する番号にそれぞれ○をつけてください。

	是非とも 実現して ほしい	どちらかと いえば 実現して ほしい	どちらかと いえば 必要ない	必要ない
A 桶川駅東口周辺地域の整備推進	1	2	3	4
B 川田谷地域の桶川・北本インターチェンジ予定地周辺への産業の誘致	1	2	3	4
C 加納地域の桶川インターチェンジ予定地周辺への産業の誘致	1	2	3	4
D 新しい市役所庁舎の建設	1	2	3	4

問10 お住まいの地域や市内に特に整備を望む公共施設はありますか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| 1. 市営駐車場 | 12. 住民票の発行などの市民サービスが受けられる市役所の派出所 |
| 2. 市営駐輪場 | 13. 美術品・芸術品等を鑑賞できる施設 |
| 3. 自治会や町会等の地域活動のための施設 | 14. 市内を自転車で行き来できる自転車道路 |
| 4. 趣味や学習、ボランティアの活動ができる施設 | 15. 交番や派出所など、地域防犯のための施設 |
| 5. 地区住民が気軽に交流できる施設 | 16. バス停留所・バス路線 |
| 6. 図書館 | 17. 安心して通行できる道路 |
| 7. 総合運動場など、複合的なスポーツ施設 | 18. 児童館や子育て支援センターなど、子育て支援のための施設 |
| 8. 広場やグラウンドなど、身近でスポーツができる施設 | 19. 下水道 |
| 9. 子どもたちが安全に遊べる身近な公園 | 20. その他() |
| 10. 病院 | 21. 特にない |
| 11. 高齢者の生活を支援するための施設 | |

景観について

問 11 あなたは、桶川市には優れた景観があると思いますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. あると思う | 3. どちらかといえばあると思わない |
| 2. どちらかといえばあると思う | 4. あると思わない |

問12 問 11 で、「1. あると思う」、あるいは、「2. どちらかといえばあると思う」を選んだ方におたずねします。特に優れた景観として挙げられるものを具体的にお書きください。

【特に優れていると思う景観】

観光振興について

問 13 あなたは、桶川市の更なる観光振興のために、市は、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。（○は2つまで）

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1. インターネット等を活用したPRや情報発信の強化 | 5. 中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進 |
| 2. 観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進 | 6. 観光ボランティアガイドの育成支援など、住民主体の観光まちおこしの支援 |
| 3. 観光資源(自然や歴史文化)の掘り起こしと創造 | 7. 近隣市町村と連携した広域的観光の促進 |
| 4. 観光案内版、マップ、ルートづくりなどの充実 | 8 その他() |

問 14 あなたは、観光振興にかかわる、次のどの活動への参加に興味がありますか。（○は2つまで）

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 郷土学習会への参加 | 5. 観光ボランティアガイド |
| 2. 観光資源発掘ツアー(まち歩き)への参加 | 6. その他 () |
| 3. 観光マップや観光ルートづくりへの参加 | 7. 興味はない |
| 4. 文化財など、資源を守り育てる活動への参加 | |

子育て環境について

問 15 あなたは、桶川市は、安心して子育てしやすいまちだと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問 16 安心して子どもを育てられるまちにするために、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。（○は2つまで）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 出産や子育てに関する相談・援助体制の充実 | 4. こども医療費助成制度など経済的支援の充実 |
| 2. 多様な保育サービスの充実 | 5. その他 () |
| 3. 子育てを支援する地域づくりの促進 | 6. 特にない |

地球温暖化への取り組みについておたずねします

問 17 あなたは、普段の生活の中で、地球温暖化への取り組みをしていますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. している | 3. あまりしていない |
| 2. ときどきしている | 4. 全くしていない |

問 18 次のうち、あなたが取り組んでいるものはありますか。（○はあてはまるものすべて）

- | |
|--|
| 1. 車を使わず、公共交通機関を利用するようにしている |
| 2. 近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている |
| 3. 買い物にはマイバッグを持参している |
| 4. 冷房温度を 28 度以上、暖房温度を 20 度以下に設定するようにしている |
| 5. こまめな消灯や、コンセントを抜く等節電に心がけている |
| 6. 自宅にソーラーパネルを設置している |
| 7. シャワーや食器洗いの際に、水を節約している |
| 8. 生ゴミなどのコンポスト(※)行っている |
| 9. その他（ ） |
| 10. 特に何もしていない |

※「コンポスト」: 野菜くずや残飯などの生ゴミや、落ち葉などを堆肥に変えること。

男女共同参画についておたずねします

問19 あなたは、生活や社会における男女の地位について、どのようにお考えですか。
(それぞれの項目で○は1つ)

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平 等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている
A 家庭生活において	1	2	3	4	5
B 職場において	1	2	3	4	5
C 政治において	1	2	3	4	5
D 社会全体において	1	2	3	4	5

問20 男女共同参画社会の実現のために、どのようなことが必要だと思いますか。（○は2つまで）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 社会における男女共同参画に関する啓発活動 | 6. 男性の意識や生活面における自立能力の向上 |
| 2. 学校における男女共同参画に関する教育 | 7. 育児や介護への社会的支援の充実 |
| 3. 雇用格差の解消 | 8. 女性に対する差別や人権侵害への対策 |
| 4. 政策や意思決定等の場での女性登用の促進 | 9. その他（ ） |
| 5. 女性の意識や能力の向上 | |

高齢期の生活についておたずねします

問 21 あなたは、桶川市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思いますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問 22 高齢者の生活を支えるために、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。
（〇は3つまで）

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 相談窓口の充実や相談機能の強化 | 8. 住宅改造補助の充実 |
| 2. 壮年期からの健康づくりの推進 | 9. 高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化） |
| 3. 学習機会の充実 | 10. 医療施設の整備・充実 |
| 4. スポーツ・レクリエーション活動の支援 | 11. 貸付菜園の確保・拡充 |
| 5. 就労機会の充実 | 12. その他（ ） |
| 6. 活躍機会の充実 | 13. 特に必要ない |
| 7. 福祉施設（高齢者マンション、介護付有料老人ホームなど）の整備と充実 | |

市民と協働（※）のまちづくりについておたずねします

※ 協働とは、市民と行政が対等な立場で協力し、互いに同じ目的意識を持ちながら目的達成に向けてまちづくりに取り組んでいくこと。

問 23 あなたは、桶川市では、協働のまちづくりが進んでいると思いますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問 24 桶川市が今後さらに「協働のまちづくり」を進める上で、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。（〇は3つまで）

- | |
|---|
| 1. 市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する |
| 2. まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする |
| 3. まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる |
| 4. 自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める |
| 5. 地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる |
| 6. 活動に対する社会的評価を高める（協働事業の表彰制度など） |
| 7. ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、企業との連携を進める |
| 8. ボランティア保険の整備など、活動にともなう危険や事故への対応を充実させる |
| 9. 活動団体やグループを資金面で支援する |
| 10. 行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する |
| 11. 市民が市政に参画していくための条例などのルールをつくる |
| 12. 行政の意識改革や人材育成に努める |
| 13. その他（ ） |
| 14. 特にない |

桶川市の市政についておたずねします

問 25 市政全般に対するあなたの関心度について、該当するものを選んで下さい。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. とても関心を持っている | 3. あまり関心を持っていない |
| 2. ある程度関心を持っている | 4. 全く関心を持っていない |

問 26 市役所の仕事や行事などについて、何から情報を得ていますか。（○は主なもの 2 つまで）

- | | | | |
|-----------|-----------|--------------|--------------------------|
| 1. 広報おけがわ | 4. 新聞 | 7. 議会傍聴 | 10. 人づて |
| 2. 議会だより | 5. 掲示板 | 8. 議会議員 | 11. その他 |
| 3. 回覧 | 6. ホームページ | 9. 自治会、団体の会合 | （ ） |

問27 あなたは市役所からの市政情報の提供についてどのようにお考えですか。（○は1つ）
 なお、「不十分なところ」については、（ ）内に具体的にお書きください。

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 必要な情報が十分伝えられている | |
| 2. 一部、不十分なところがある→（不十分なところ | ） |
| 3. 不十分である→（不十分なところ | ） |

問28 あなたは、行政サービスとそれに伴う負担の仕方について、どのようにお考えですか。（○は1つ）

- | | |
|--|---|
| 1. 必要な行政サービスを行うためには、新たな負担もやむをえない | |
| 2. 新たな行政サービスを行うには、現在の行政サービスを見直し一部削除等に対応し、できるだけ新たな負担を求めない | |
| 3. 公共施設の利用等については、受益者や利用者負担の原則を幅広い分野に適応していく | |
| 4. その他（ ） | ） |

あなたの定住意向についておたずねします

問 29 あなたは、今後も桶川市に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 住み続けるつもりでいる | 3. 事情が許せば転出したい |
| 2. 事情が許せば住み続けたい | 4. 転出するつもりでいる |

問 30 問 29 で「 3.事情が許せば転出したい」、あるいは「4.転出するつもりでいる」を選んだ方におたずねします。その理由は何でしょうか。（○は3つまで）

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| 1. 家族構成が変わったから | 9. 自然環境が良くないから |
| 2. 家賃や地価が高いから | 10. 道路などの都市基盤が整っていないから |
| 3. 仕事の都合で | 11. 公共施設が不足しているから |
| 4. 通勤・通学など交通が不便だから | 12. 災害などの発生時に不安があるから |
| 5. 日常の買い物が不便だから | 13. 子育て環境が良くないから |
| 6. 知人や親戚がいない、低いから | 14. その他（ ） |
| 7. 教育環境が良くないから | 15. 特に理由はない |
| 8. 高齢者の介護サービスなどがよくないから | |

桶川市のイメージや将来像などについておたずねします

問 31 桶川市についてどのようなイメージをお持ちですか。(〇は2つまで)

- | | | |
|-----------------|---------------|----------------|
| 1. 歴史のあるまち | 6. 生活環境の整ったまち | 11. 安心して暮らせるまち |
| 2. 豊かな文化のあるまち | 7. 東京圏のベッドタウン | 12. 地形的に平坦なまち |
| 3. 緑豊かなまち | 8. 近郊農業の盛んなまち | 13. その他 |
| 4. 美しい都市景観のあるまち | 9. 工業の盛んなまち | () |
| 5. 田舎らしさの残るまち | 10. 商業の盛んなまち | |

問 32 桶川市の自然、歴史文化、生活環境などで誇れるもの、自慢できるものは何ですか。

(〇は2つまで)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 荒川河川敷などの自然 | 7. べに花によるふるさとづくり |
| 2. 中山道宿場町の歴史 | 8. 田園風景が残っていること |
| 3. 富士山に見える景観 | 9. まつりが盛んなこと |
| 4. スポーツ・レクリエーションが盛んなこと | 10. 住みよい地域社会がある |
| 5. 文化的な催しが盛んなこと | 11. その他 () |
| 6. 桶川駅西口の都市環境 | 12. 特にない |

問 33 あなたは、10年後の桶川市がどのようなまちであってほしいと思いますか。

(〇は3つまで)

- | | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 子どもが育つ環境や教育環境が良いまち | 8. 農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち |
| 2. 医療機関や保健サービスが充実しているまち | 9. 雇用環境が充実して、働く場所の多いまち |
| 3. 文化・芸術・スポーツに力を入れているまち | 10. 美しい街並みや都市景観のあるまち |
| 4. 高齢者や障がい者などを大切にする福祉の充実したまち | 11. 防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち |
| 5. 道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち | 12. 歴史や伝統を大切にするまち |
| 6. 水辺や緑など、自然環境の良いまち | 13. 人が集い、賑わいのある観光事業が盛んなまち |
| 7. 環境への負荷に配慮した、地球にやさしいまち | 14. その他 () |

問 34 あなたは、桶川市が今後一層よくなるためには、何をどうすればいいと思われますか。

日頃のお考えをお書きください。

あなたご自身のことについておたずねします

※それぞれの項目について、該当する番号を選び、○をつけてください。

1. 男	2. 女
------	------

1. 18～19歳	4. 30～34歳	7. 45～49歳	10. 60～64歳	13. 75歳以上
2. 20～24歳	5. 35～39歳	8. 50～54歳	11. 65～69歳	
3. 25～29歳	6. 40～44歳	9. 55～59歳	12. 70～74歳	

1. 農業(主として)	6. 学生
2. 勤め人(サラリーマン等)	7. 家事従事者(主婦・主夫等)
3. 自営業(商工業・サービス業)	8. パートタイマー
4. 自由業(弁護士・医師・税理士等専門職)	9. 無職
5. 会社・団体等の役員	10. その他 ()

1. 3 年未滿	3. 5 年～10 年未滿	5. 15 年～20 年未滿
2. 3 年～5 年未滿	4. 10 年～15 年未滿	6. 20 年以上

1. 東1～2丁目、西1～2丁目、南1～2丁目、北1～2丁目、寿1～2丁目、神明1～2丁目、末広1～3丁目
2. 泉1～2丁目、鴨川1～2丁目、若宮1～2丁目、朝日1～3丁目
3. 上日出谷、下日出谷、下日出谷西1～3丁目
4. 坂田、加納、小針領家、倉田、篠津、五丁台、舎人新田、赤堀1～2丁目
5. 川田谷

1. 夫婦だけ 2. 二世帯世帯 3. 三世帯世帯 4. 単身世帯 5. その他

1. 一戸建持ち家
2. 一戸建以外持ち家(分譲マンション等)
3. 民営借家(民間アパートを含む)
4. 公営(県営、公団、公社)の賃貸住宅
5. 社宅(独身寮、公務員住宅を含む)
6. その他 ()

～ご協力ありがとうございました～

